EPSON
EXCEED YOUR VISION

CW-C6020 Series
CW-C6520 Series
詳細取扱説明書

製品概要

製品の特長について説明します。

セットアップ

製品の設置･設定作業について説明します。

製品の取り扱い

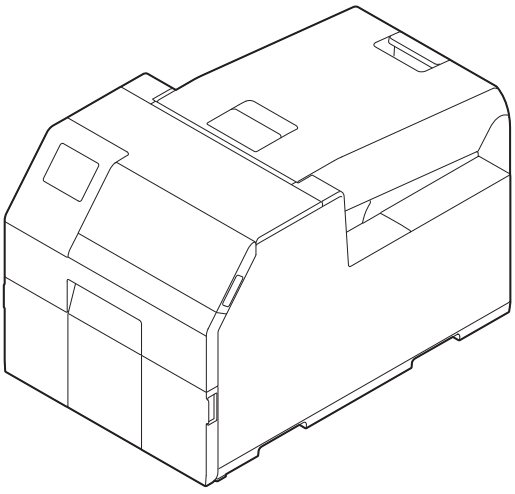
製品の基本的な取り扱い方法について説明します。

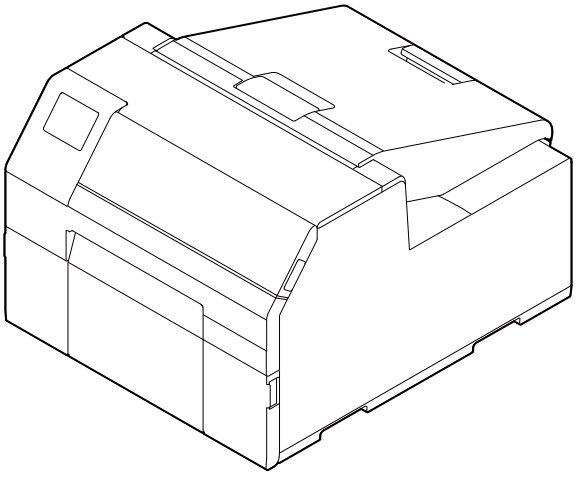
アプリケーション開発情報

本プリンターの制御方法と、アプリケーションを開発する際に必要な情報について説明します。

付録

製品の仕様などについて説明します。





M00125210
Rev.K

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理･変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON、EXCEED YOUR VISION および ESC/Label はセイコーエプソン株式会社の商標または登録商標です。
Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、および Windows Server® は米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標です。
Mac、macOS、OS X、ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Zebra Technologies Corporation および ZPL II は Zebra Technologies Corporation 社の商標または登録商標です。
Intel®、Celeron®、および Pentium® は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF Print Engine、Adobe PDF Print Engine ロゴ、Illustrator、Photoshop、PostScript および Reader ロゴは、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。
BarTender® は Seagull Scientific, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
NiceLabel® は Euro Plus d.o.o. の商標または登録商標です。
CODESOFT は、TEKLYNX International の商標または登録商標です。
本製品は、米国 Dell Inc. の Dell BSAFE ™ソフトウェアを搭載しています。
Copyright© 2021 Dell Inc. All rights reserved.
BSAFE は，米国 Dell Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

©Seiko Epson Corporation 2019-2022.

ご使用の前に

本章では、本製品をご使用いただく前に知っておいていただきたい情報について説明しています。

本製品マニュアルの使い方

紙のマニュアル

はじめにお読みください



本製品の同梱品の確認・設置・セットアップの方法について説明しています。また、本製品を取り扱う上での注意事項も記載しています。安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、ご使用の前には必ずお読みください。

パソコンで見るマニュアル

ユーザーズガイド



本製品の機能や操作方法、メンテナンスに関する情報や各種トラブルの解決方法について説明しています。付属の CD から閲覧できます。

パソコンで見るマニュアル

CW-C6020シリーズ/CW-C6520シリーズ 詳細取扱説明書(本書)



本製品のセットアップや日常的に行う作業、システム開発に必要な情報を説明しています。

パソコンで見るマニュアル

Web 動画マニュアル



操作方法や困ったときの解決方法を動画で分かりやすく説明しています。以下の URL からご覧ください。
<https://support.epson.net/p_doc/790/>
動画の内容は変わることがあります。

最新版のダウンロード

プリンタードライバー、ユーティリティー、マニュアル類の最新版は、下記 URL からダウンロードできます。
< https://www.epson.jp/support/ >

本文中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

安全に関するマーク

本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関するマーク

重要	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には、必ず本書および本製品に添付されているその他の取扱説明書をお読みください。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように大切に保管してください。

設置上のご注意

⚠ 警告	本製品の通風口を塞がないでください。(20 ページ「本体背面」) 通風口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。 布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。 また、マニュアルで指示された設置スペースを確保してください。
⚠ 注意	• 不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。 • 油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。感電・火災のおそれがあります。 • 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。 • 本製品は重いので、１人で運ばないでください。開梱や移動の際は２人以上で運んでください。本製品の質量は以下を参照してください。(321 ページ「製品仕様」) • 直射日光などの強い光が当たる場所に置かないでください。検出器が誤動作し、正常に印刷ができなくなるおそれがあります。 • マットインク仕様でインク充填状態の場合、本製品の設置場所の温度が -10 ℃以下になることが想定されるときは、電源を切る前にインクの排出処理を行ってください。凍結によりプリントヘッドが破損するおそれがあります。(277 ページ「-10 ℃以下の環境での輸送や保存（マットインク仕様の場合）」)

取り扱いのご注意

⚠ 警告	• アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。 • 煙が出たり、変なにおいや音がしたりなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。 • 異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。すぐに電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。 • マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。 • お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。 • 可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。引火による火災のおそれがあります。 • 各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。 • 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。 • 開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災のおそれがあります。 • 本体の画面が破損したときは、中の液晶に十分注意してください。万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。 ＊ 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し、石けんでよく洗い流してください。 ＊ 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。 ＊ 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
⚠ 注意	• 本製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。 • 各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。火災やけがのおそれがあります。マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。 • 本製品を移動する際は、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外したことを確認してから行ってください。コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。 • 本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。 • 用紙カバーを取り外して使用しないでください。正常に動作、印刷ができなくなります。

電源のご注意

⚠ 警告

- AC100V 以外の電源は使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口に相談してください。また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
  - 電源コードを加工しない
  - 電源コードに重いものを載せない
  - 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - 熱器具の近くに配線しない
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱して火災になるおそれがあります。電源コンセントから直接電源を取ってください。
- 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

⚠ 注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

インクカートリッジに関するご注意

⚠ 注意

- 製品の機種型番によって、使用できるインクカートリッジが異なります。お使いのプリンターの機種型番に合うインクカートリッジを使用してください。(372 ページ「インクカートリッジ」)
- インクカートリッジの IC チップには触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- ファームウェアバージョン TS05JC、TS06JC、TS26JC、TS19K2、TS25K3、TS21K5 以外の製品をお使いの場合は、初期充填時にブラックインク仕様を設定します。初期充填時に設定したブラックインク仕様は変更できません。また、異なる仕様のブラックインクをセットしても、本製品は動作しません。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- 充填中（⏻(電源)LED の点滅中）は、電源をオフにしたり、インクカートリッジカバーを開けたりしないでください。カバーを開けると、閉じたときにインクが再度充填され、さらにインクが消費されます。また、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- モノクロ印刷した場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが使われます。
- インクカートリッジを分解しないでください。分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。開封後は 6ヵ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱をご覧ください。
- インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。
  - 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
  - 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。
  - 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジの袋は、本体に取り付ける直前まで開封しないでください。
- インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したり、側面を強く押したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。
- カートリッジセット部に異物を入れたり落としたりしないでください。
  印刷できなくなるおそれがあります。落としてしまったときは、セット部に傷をつけないように取り除いてください。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できるページ数が少なくなることがあります。
- 本体の⏻（電源）ボタンで電源をオフにするとプリントヘッドは自動的にキャップ（ふた）をされ、インクの乾燥を防ぎます。インクカートリッジ取り付け後、本製品を使用しないときは、必ず本体の⏻（電源）ボタンで電源をオフにしてください。電源がオンの状態のまま、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。

⚠ 注意

- アート紙等の表面撥水処理を施した用紙に印刷すると、インク速乾性が悪く印刷汚れを起こす場合があります。また、光沢紙に印刷した場合は、印刷面に触れると指の跡が付いたりインクが指に付着することがあります。印刷汚れを起こさない用紙を選定して、ご使用ください。
- インクカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- インクカートリッジは冷暗所で保管することをおすすめします。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。
- 本製品を保管、または輸送するときは、本製品からインクカートリッジを取り外さないでください。

メンテナンスボックスに関するご注意

⚠ 注意

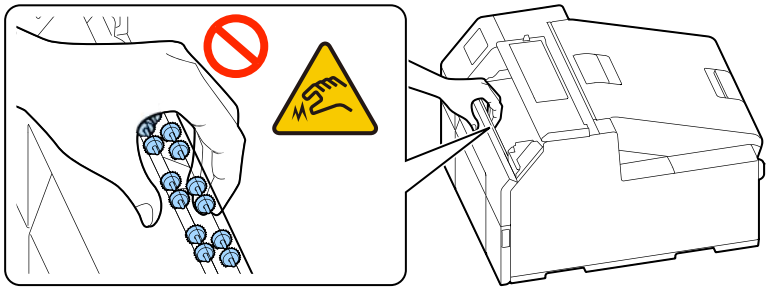
- 子供の手の届かない場所に保管してください。また、インクは飲まないでください。
- メンテナンスボックスを分解または改造しないでください。分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
- メンテナンスボックス上の IC チップは触らないでください。
- 使用可能なメンテナンスボックスを取り外して長期間放置した場合は再使用しないでください。
- メンテナンスボックス上面のフィルムは剥がさないでください。
- インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。
  - 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
  - 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。
  - 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。
- 使用したメンテナンスボックスは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、メンテナンスボックスからインクが漏れるおそれがあります。
- 高温下及び凍結状態での保存は避けてください。
- 直射日光を避けてください。

注意ラベル

本製品に貼付されているラベルは、以下の注意事項を示しています。

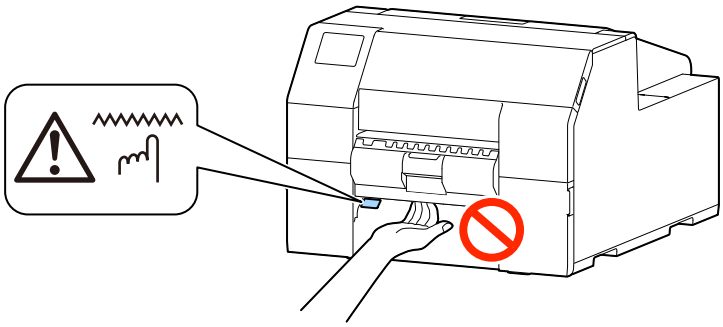
警告

用紙押さえユニットの底面にあるローラーに手を触れないでください。けがをするおそれがあります。



注意

ピーラーカバー下部にあるマニュアルカッターに手を触れないでください。けがをするおそれがあります。



使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本書について

本書の目的

本書は、システムの開発、設計、設置、またはプリンターアプリケーションの開発、設計に必要なすべての情報を開発技術者に提供することを、その目的としています。

本書の構成

本書は以下のように構成されています。

第 1 章　製品概要

第 2 章　セットアップ

第 3 章　製品の取り扱い

第 4 章　アプリケーション開発情報

付録　製品仕様

掲載画面

お使いの製品および OS によって、本文中の表記と実際に表示される Windows の画面が異なる場合があります。本書では、特に指定がない限り Windows 10 の画面を掲載しています。
お使いのプリンタードライバー、ユーティリティーのバージョンにより、本書で説明している画面とは表示が異なる場合があります。

掲載イラスト

本文中のイラストがお使いの機種と若干異なる場合があります。本書では特に指定がない限り CW-C6020A のイラストを掲載しています。

もくじ

■ ご使用の前に 3
本製品マニュアルの使い方 3
本文中のマークについて 4
安全にお使いいただくために 5
設置上のご注意 5
取り扱いのご注意 6
電源のご注意 7
インクカートリッジに関するご注意 8
メンテナンスボックスに関するご注意 9
注意ラベル 10
■ 使用制限 11
■ 電波障害自主規制について 11
■ 本書について 11
本書の目的 11
本書の構成 11
掲載画面 11
掲載イラスト 11
■ もくじ 12

製品概要 17
■ 本製品のモデルについて 17
オートカッターモデル 17
ピーラーモデル 17
フォトインク仕様 / マットインク仕様 18
プリンタードライバー、ユーティリティーのバージョンについて 18
■ 各部の名称と働き 19
本体前面 19
本体背面 20
本体内部 21
スピンドルとフランジ 22
操作パネル 23
■ ノズル自己診断システム 26
ノズル自己診断システムの設定 26
ノズル抜け補完機能 28
■ 定期自動クリーニング 29
定期自動クリーニングの開始時刻の設定 29
定期自動クリーニングの実行 29
印刷作業を中断しない効果的な設定例 29
■ プリンターの状態を確認する 31
ステータスシート印刷 31
ネットワーク接続診断レポートの印刷 32
消耗品の状態を確認する 33

セットアップ 34

■ 同梱品の確認 34
■ 保護材の取り外し 35
■ プリンターの設置 36
■ 電源ケーブルの接続 37
■ 電源のオン / オフ 38
電源のオン 38
電源のオフ 38
■ 操作パネルの設定 39
■ ブラックインク仕様の選択 39
■ インクカートリッジの取り付け 40
インクカートリッジの交換 41
■ メンテナンスボックスの取り付け 43
メンテナンスボックスの交換 43
■ プリンタードライバーのインストールと接続 45
Install Navi を使用する場合 45
Install Navi を使用しない場合 46
■ 用紙の設定 47
■ 用紙カバーの開け方 48
製品正面から見て手前側のレバーを引いて用紙カバーを開ける 48
製品正面から見て奥のレバーを引いて用紙カバーを開ける 48
■ 用紙のセット 49
用紙のセット（オートカッターモデル・内部供給の場合） 50
用紙のセット（オートカッターモデル・外部供給の場合） 54
用紙のセット（ピーラーモデル・内部供給） 58
用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合） 65
用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合） 67
用紙エンド時の排紙（オートカッターモデルの場合） 69
用紙エンド時の排紙（ピーラーモデルの場合） 70
手動での給紙方法 71
■ 印字確認 72
テスト印刷 73

製品の取り扱い 74

■ プリンタードライバー（Windows） 74
プリンタードライバーの開き方 74
プリンタードライバーの画面構成 75
用紙設定 76
給紙方法・用紙検出の設定 83
ユーザー定義用紙 85
長尺印刷 90

バーコード印刷 92
2 次元シンボル印刷 103
.NET 環境でバーコード /2 次元シンボル印刷 111
お気に入り 113
ユーザー定義情報 116
プリンタードライバー設定の書き出し / 取り込み 116
プリンタードライバーから PrinterSetting を起動する 121
高速バッチラベル印刷機能で印刷速度を上げる 122
プリンタードライバーを共有する 131
EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定 153
プリンタードライバーの制限事項 159
プリンタードライバーの分離 160

■ プリンタードライバー（Mac） 162
基本の印刷手順 162
プリンタードライバーのカスタマイズ 168
Epson Label Printer Utility 170

■ プリンタードライバー（Linux） 172
パッケージ (epson-inkjet-printer-cw-c6000c6500) の入手 173
プリンタードライバーのインストール 173
I/O モジュールのインストール 173
CUPS にプリントキューを登録する 173
Epson Label Printer Utility for Linux のインストール 175
Epson Label Printer Utility for Linux を起動する 175
Epson Label Printer Utility for Linux を終了する 176
プリンタードライバー、Epson Label Printer Utility for Linux のアンインストール 176

■ SAP システムからの印刷 177
SAP システムからの印刷方式について 177
Direct printing で印刷するには 179
Indirect printing で印刷するには 179
High Volume printing で印刷するには 179

■ PrinterSetting (Windows) 180
PrinterSetting の起動 181
設定の反映 182
用紙を設定する 183
レイアウトを設定する 184
位置を調整する 186
印刷結果を調整する 188
プリンターにデータを登録する 189
プリセット画像を設定する 193
クリーニングを行う 197
プリンター本体の設定 198
プリントヘッドの調整 199
パネルの設定 204
動作時間の設定 206
ノズルチェックの設定 207
高度な設定 208
プリンターの初期化 216
プリンター情報の表示 217
設定の保存と復元 219
オプション 220

■ 操作パネルの設定項目 221
■ WebConfig 231
■ Epson Device Admin 233
■ 特色の設定 234
特色設定を作成する 234
特色設定を使用して印刷する 239
■ 色補正方法 240
ドライバー上の設定と色補正方法と特色設定の関係 240
プリンターで設定する 242
OS で設定する 243
ICC プロファイルを作成する 250
色補正なし 253
■ 先頭のラベルから印刷する（オートカッターモデルのみ） 254
■ フチなし印刷のためのラベルサイズ / 用紙レイアウトの設定 255
フチなし印刷のための考え方 255
ラベル用紙の設定 256
■ 検出器の感度やラベル検出のしきい値を調整する 257
■ ラベルコマンドで用紙サイズ違いを検出する 257
■ ギャップ検出器の操作 258
円形ダイカットラベルでの検出器調整例 259
■ パネル操作を制限する（管理者ロック機能） 260
管理者パスワードを設定する 260
管理者ロック機能を有効にする 261
管理者パスワードを変更する 261
管理者パスワードを初期化する 262
■ プリンターのクリーニング 263
外装のクリーニング 264
オートカッターのクリーニング（オートカッターモデルのみ） 265
ピーラーのクリーニング（ピーラーモデルのみ） 266
用紙ガイド（固定と可動）のクリーニング 267
プラテンのクリーニング 268
紙送りローラーのクリーニング 269
紙押さえローラーのクリーニング 271
プリントヘッドのクリーニング 274
操作パネルから実行する 275
プリンタードライバーから実行する 275
WebConfig から実行する 275
■ インク充填後の本製品の保存 276
本製品の長期保存 276
-10 ℃以下の環境での輸送や保存（マットインク仕様の場合） 277
本製品の再稼動 277
■ 輸送時の処置 278
■ トラブルシューティング 279
画面にメッセージが表示された 279
印刷品質の低下 283

印刷できない 285
ネットワーク接続診断のエラー 288
コンピューターの画面にメッセージが表示された 289
コンピューターから印刷できない / 急に印刷できなくなった 290
PC 上で印刷キャンセルしても本体パネル表示が「印刷中」のまま動かない 291
エラーを知らせるブザー音が止まらない 292
用紙が詰まった 292

アプリケーション開発情報 299

■ プリンターの制御方法 299

■ Epson Inkjet Label Printer SDK を使用 300
動作環境 300
入手方法 300

■ ESC/Label コマンドを使用 300

■ ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え 301
2 ステップ印刷から 1 ステップ印刷への切り替え 301
テンプレートの活用 318

■ ソフトウェアとマニュアル 319

付録 321

■ 製品仕様 321
動作環境 322
用紙仕様 323
電気的仕様 362
信頼性 362
環境仕様 363
外形寸法 364

■ 消耗品仕様 372
インクカートリッジ 372
メンテナンスボックス 372

■ オプション仕様 373
ロール紙ホルダー 373

■ 外部装置仕様 374
給紙方法の設定 374
用紙送り速度 374
用紙張力 375
用紙カール 376
用紙進入角・排出角 377
用紙供給装置・用紙巻き取り装置の位置 378

■ ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード 379

■ ラベル印刷アプリケーション 379
入手方法 379

■ お問い合わせ 380

製品概要

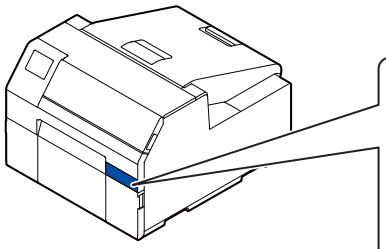
本章では、製品の特長を説明しています。

本製品のモデルについて

オートカッターモデル

特長：オートカッターを搭載しています。アプリケーションの設定や、操作パネルのカットボタンで用紙をカットできます。

型番：



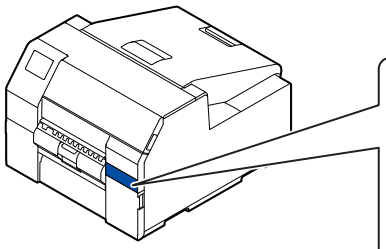
CW-C6020A（4 インチモデル）
ColorWorks C6020A

CW-C6520A（8 インチモデル）
ColorWorks C6520A

ピーラーモデル

特長：ピーラー機構が搭載されています。ピーラーに台紙を通すことで、台紙とラベルを剥がしながら印刷することができます。

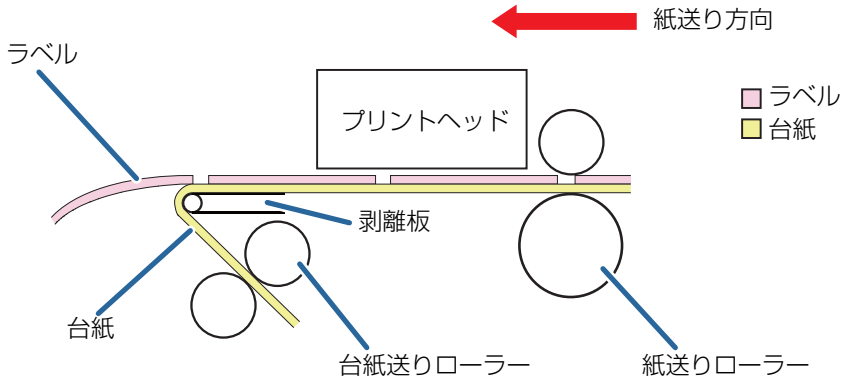
型番：



CW-C6020P（4 インチモデル）
ColorWorks C6020P

CW-C6520P（8 インチモデル）
ColorWorks C6520P

側面図（ラベル除去待ちの状態）：



フォトインク仕様 / マットインク仕様

ファームウェアバージョン TS05JC、TS06JC、TS26JC、TS19K2、TS25K3、TS21K5 以外の製品をお使いの場合は、フォトインクまたはマットインクいずれかのブラックインクが使えます。インクの初期充填時に、どちらのブラックインクを使用するのかを設定します。

重要

インクの初期充填時に設定したブラックインクの仕様は、一度設定したら変更できません。

プリンタードライバー、ユーティリティーのバージョンについて

製品のファームウェアバージョンにより、使用可能なプリンタードライバー、ユーティリティーのバージョンが異なります。
以下に示す「使用可能（推奨）」の組み合わせ、かつファームウェア、プリンタードライバー、ユーティリティーともにすべて最新版をダウンロードしてご使用ください。
「使用不可能」の組合せの場合は正常に動作しなかったり、機能に制限が出ることがあります。

		ドライバー /PrinterSetting のバージョン	
		Ver.1.0.0.0 / Ver.1.1.0.0	左記以外（左記以降のバージョン）
製品のファームウェアバージョン	TS05JC、TS06JC、TS26JC、TS19K2、TS25K3、TS21K5	使用可能	使用不可能
	上記以外（上記以降のバージョン）	使用不可能	使用可能（推奨）

製品のファームウェアバージョンは次の方法で確認できます。

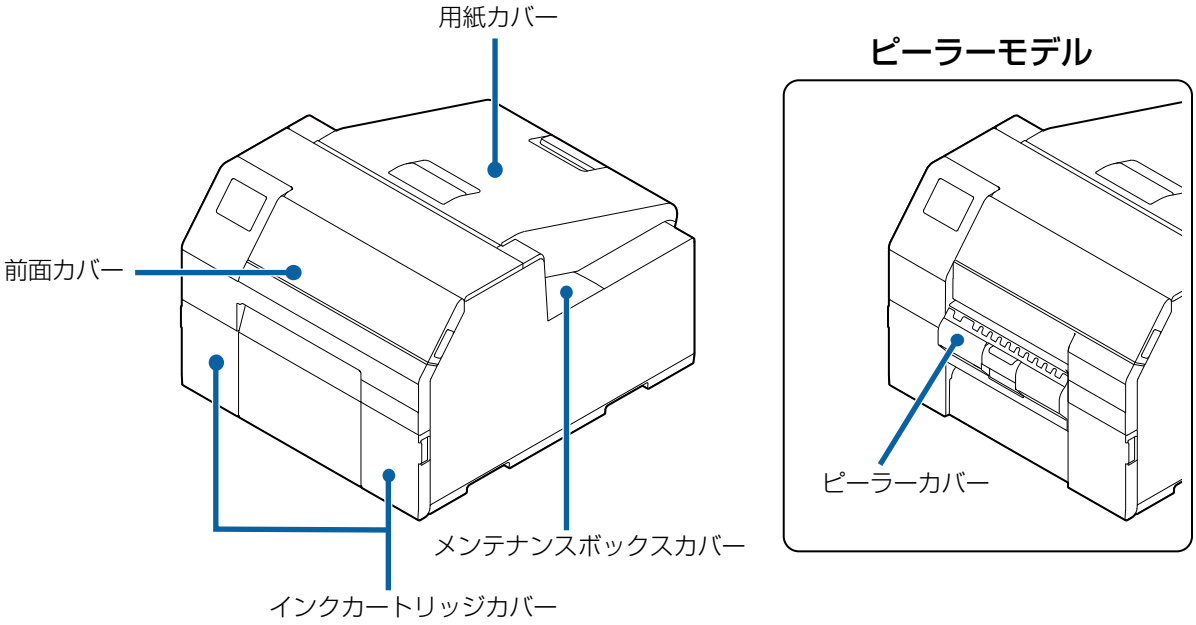
- ステータスシートを印刷する（31 ページ「ステータスシート印刷」）
- 操作パネルから確認する（221 ページ「操作パネルの設定項目」）

最新のドライバー、ユーティリティーの入手については 379 ページ「ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード」を参照してください。

各部の名称と働き

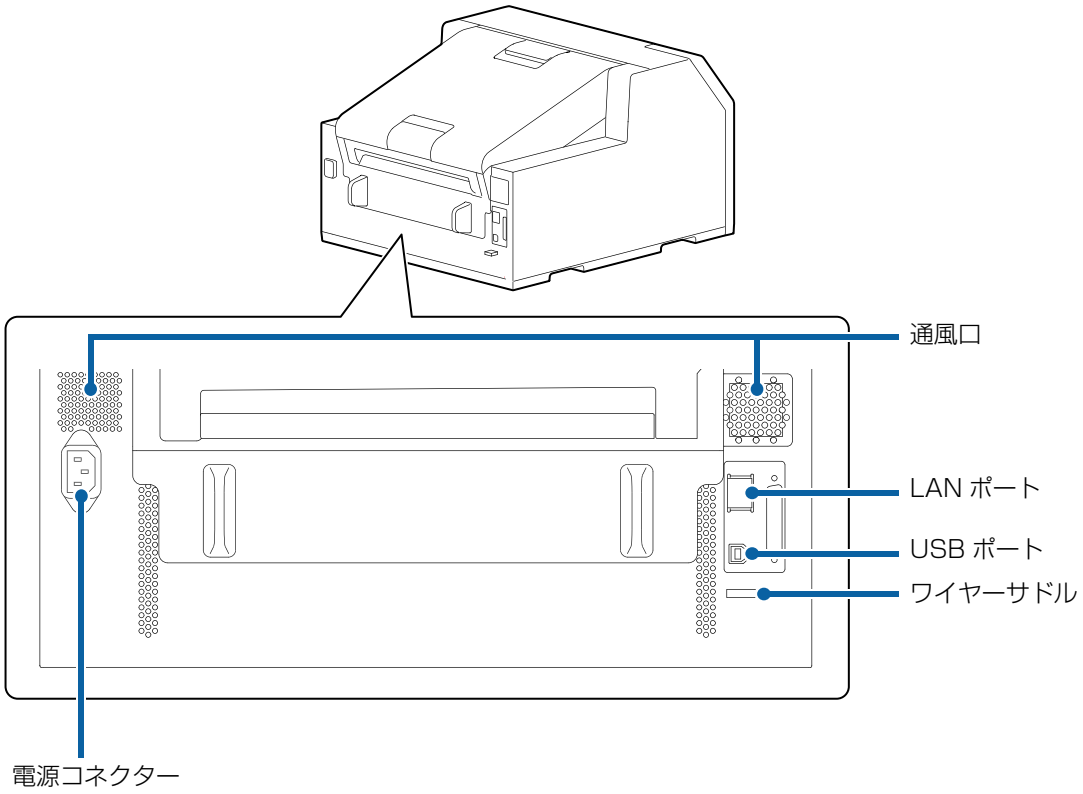
ここでは、主な操作部を説明します。

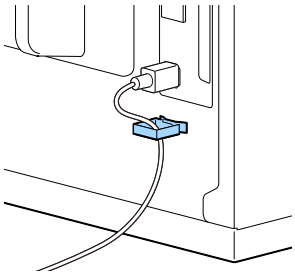
本体前面



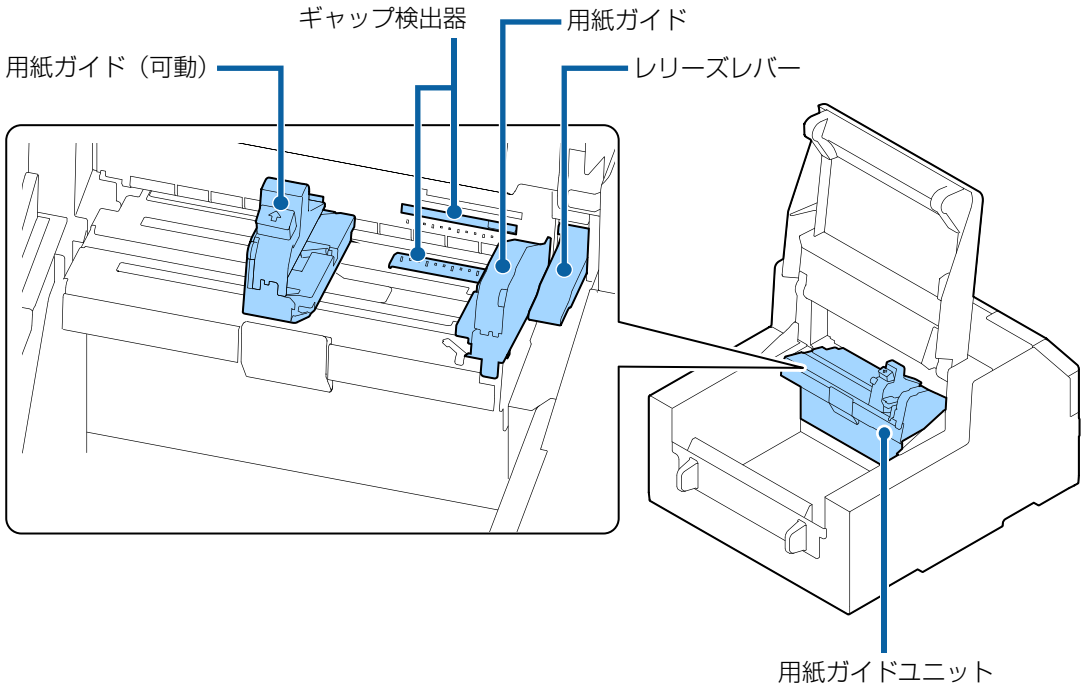
名称	説明
前面カバー	用紙が詰まったとき、用紙を除去するために開けます。 (292 ページ「用紙が詰まった」)
インクカートリッジカバー	インクカートリッジを取り付け / 交換するときに開けます。 (41 ページ「インクカートリッジの交換」)
メンテナンスボックスカバー	メンテナンスボックスを取り付け / 交換するときに開けます。 (43 ページ「メンテナンスボックスの交換」)
用紙カバー	用紙をセット・交換したりするときに開けます。用紙を内部供給する場合と、外部供給する場合で用紙カバーの開け方が異なります。 (254 ページ「先頭のラベルから印刷する（オートカッターモデルのみ）」)
ピーラーカバー （ピーラーモデルのみ）	用紙をセットするときに開けます。ピーラーに台紙を通すことで、台紙とラベルを剥がしながら印刷することができます。また、剥がしたラベルが排紙口に残っているかを判別するラベル剥離検出器が付いています。

本体背面



名称	説明
電源コネクター	電源ケーブルを接続します。
ワイヤーサドル	USB ケーブルを通して、ケーブルの抜けを防止します。 
USB ポート	USB ケーブルを接続します。
LAN ポート	LAN ケーブルを接続します。
通風口	本製品内の温度の上昇を防ぐため、内部で発生する熱を排出します。設置の際は、通風口の周辺から 10 cm 以上のすき間をあけ、風通しを良くしてください。

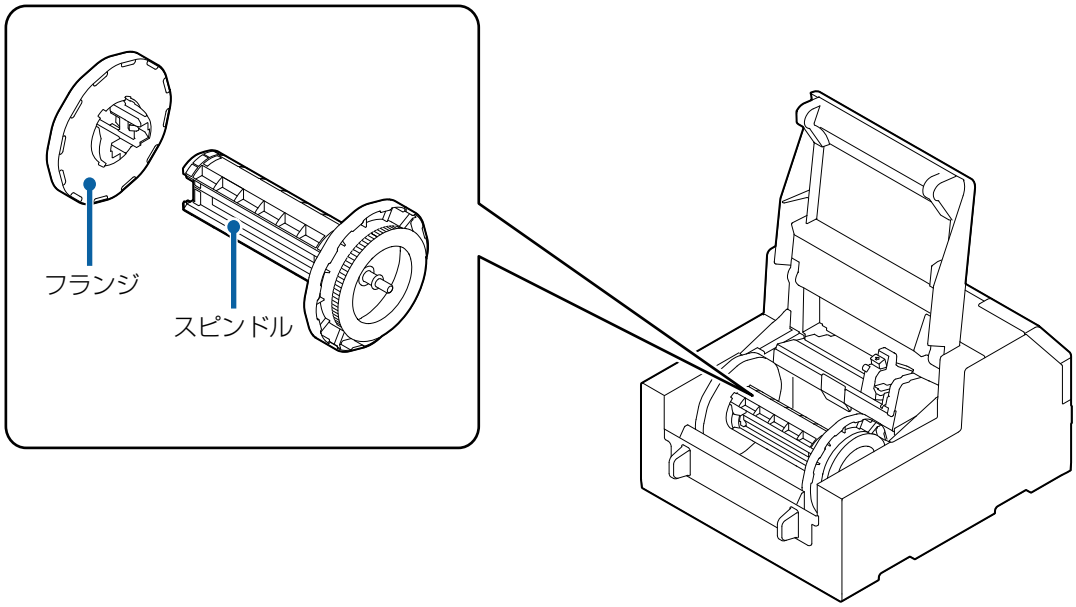
本体内部



名称	説明
用紙ガイド（可動）	用紙幅を固定するためのガイドです。青いレバーをつまむと、用紙ガイド（可動）を移動できます。用紙の幅に合わせて調整します。
ギャップ検出器	ギャップ検出器の位置を操作できます。円形のラベルなどの異形ダイカットラベルをご使用の場合に位置調整が必要です。（258 ページ「ギャップ検出器の操作」）
レリーズレバー	用紙が詰まったときに、用紙を取り除くために使用します。レバーを引き上げると紙押さえローラーの固定が解除され、前面カバー内部から詰まった用紙を引き抜けるようになります。
用紙ガイド	用紙を固定するためのガイドです。用紙を自動給紙させるときは、用紙ガイドに用紙側面が合うようにセットします。
用紙ガイドユニット	紙送りローラーをクリーニングするときに動かします。青いレバーを引くとユニット全体が移動し、紙送りローラーを確認できます。

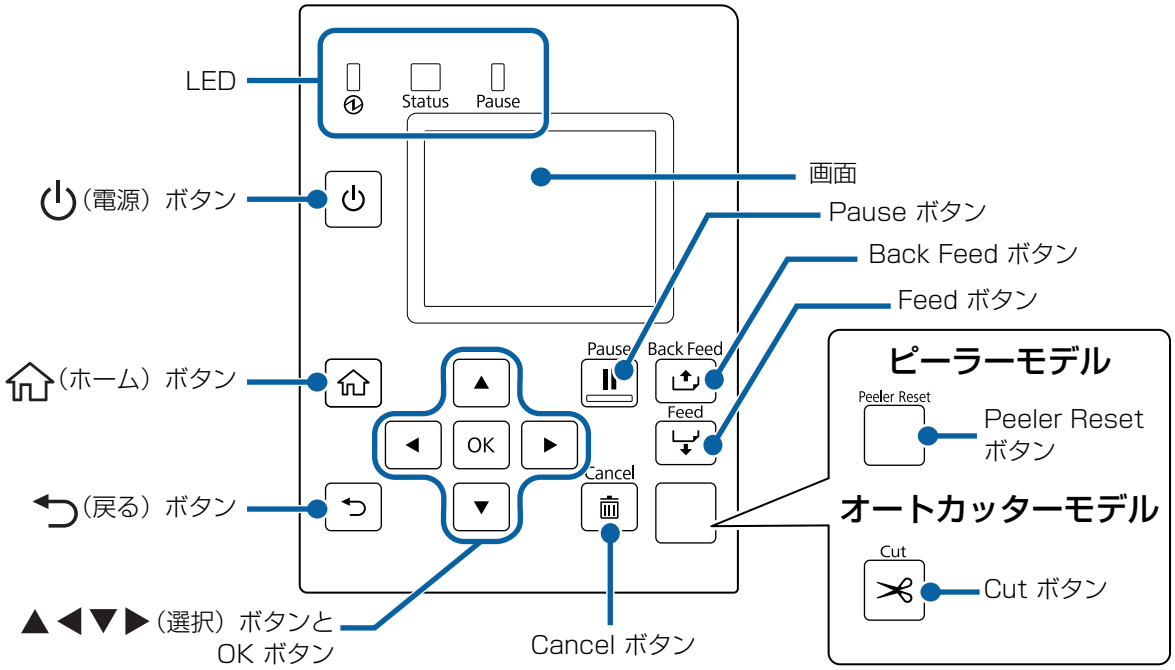
スピンドルとフランジ

用紙を内部供給するときに使用します。



名称	説明
フランジ	スピンドルにセットしてロール紙を固定します。青いレバーをつまむことで、スピンドルへ挿入したり、取り外したりできます。
スピンドル	ロール紙を差し込んで使用します。

操作パネル



名称	説明
LED	LED の点滅によって、プリンターの状態を確認できます。プリンターの状態からエラー原因と対処法を知ることができます。 • ⏻（電源）LED プリンターの電源がオンのときに、点灯します。印刷中やインクの充填中に、点滅します。 • Status LED プリンターに異常があるときに、点灯・点滅します。 • Pause LED プリンターが動作を中断しているときに、点灯・点滅します。
⏻（電源）ボタン	電源のオン / オフができます。
（ホーム）ボタン	ホーム画面を表示します。
（戻る）ボタン	前の画面に戻ります。
▲◀▼▶（選択）ボタンと OK ボタン	▲◀▼▶ボタンでメニューや項目を選択し、OK ボタンで確定します。
Cancel ボタン	印刷をキャンセルします。 プリンターの一時停止中に [Cancel] ボタンを押し、「キャンセル選択」画面で [先頭フォーマットのみ]、または [すべてのフォーマット] を選択し印刷のキャンセルを行います。
Cut ボタン （オートカッターモデルのみ）	用紙をカットします。同じ場所で 2 回はカットできません。
Peeler Reset ボタン （ピーラーモデルのみ）	印刷後に、ラベルを取り除いても次のデータが印刷されない場合に押してください。詳しくは 285 ページ「印刷できない」を参照してください。

名称	説明
Feed ボタン	短く押すと、1 ページ分用紙が送られます。 押し続けると、連続して用紙が送られます。
Back Feed ボタン	用紙交換のときに使用します。長押しすると、用紙が後方に送られ、用紙を引き抜くことができます。
Pause ボタン	• 印刷中に押した場合 印刷中のページを印刷後に一時停止し、Pause LED が点灯します。もう一度押すと印刷を再開し、Pause LED が消灯します。 • 印刷待機中に押した場合 プリンターが一時停止し、Pause LED が点灯します。もう一度押すと印刷待機中になり、Pause LED が消灯します。 • エラーによる一時停止中に押した場合 プリンターの一時停止を解除し、Pause LED が消灯します。
画面	本製品の状態やメニュー、エラーメッセージなどを表示します。

ホーム画面の操作



名称	説明
情報表示欄	プリンターの状態やエラーメッセージなどを表示します。 (279 ページ「画面にメッセージが表示された」)
用紙情報欄	プリンターの用紙設定の情報を表示します。ロール紙がセットされている場合、おおよその残量（残りの長さ）も表示されます。 このエリアを選択すると、[Menu] - [用紙設定] のメニューが表示されます。

名称	説明
消耗品情報アイコン	各色インクカートリッジの残量と、メンテナンスボックスの空き容量の目安をバーの長さで示しています。バーが短いほど、残量や空き容量が少ないことを示します。 [!] マークは、インクの交換時期またはメンテナンスボックスの空き容量が限界に近づいていることを示します。 [×] マークは、インク残量が限界値以下またはメンテナンスボックスの空き容量がない（交換が必要）ことを示しています。 マットインク仕様の場合は、ブラックインクは「MK」と表示されます。
ヘルプメニューボタン	困ったときの対処方法やプリンターの基本操作手順が確認できます。
設定メニューボタン	メンテナンスやプリンターの動作設定、ネットワーク設定などが行えます。本書では [Menu] と表現しています。設定できる項目の一覧は以下をご覧ください。 （221 ページ「操作パネルの設定項目」）

ノズル自己診断システム

本製品は、ドット抜けを検出するノズル自己診断システムを搭載しています。
印刷物のドット抜けに対するお客様の求められる要求レベルにより「ノズル自己診断システムの有効 / 無効」、「ノズルチェック間隔」、「ノズル抜け許容数」、「診断後クリーニングを実施する / 実施しない」を設定することができます。また、クリーニングを行ってもノズル詰まりを解消できない場合には、近くのノズルを使用して補完印刷をすることができます。
これを使用すると、印字品質やバーコード品質の著しい低下を補うことができます。

ノズル自己診断システムの設定

以下の場合に、ノズル自己診断を実行します。
- 電源を入れたとき
- 紙詰まり後に、前面カバーまたは用紙カバーを閉じたとき
- 定期クリーニングで指定した時刻になったとき
  （29 ページ「定期自動クリーニング」）

ノズル自己診断システムを「有効」に設定すると、以下の場合にノズル自己診断を行います。
- ノズル自己診断の診断間隔で指定された印刷枚数ごと

診断後クリーニングを実施する設定で、検出されたノズル抜け数が設定された「ノズル抜け許容数」を超過した場合には、自動ヘッドクリーニングを行い、ドット抜けを解消させます。自動クリーニング後にもノズルチェックを行い、設定された「ノズル抜け許容数」を下回らない場合には、再度自動クリーニングを行います。

⚠ 注意	本機能は、100% ドット抜け防止を保障するものではありません。ドット抜け、インク滴の曲がりを 100% 検出することができません。
✎	• ヘッドクリーニングは、すべてのヘッドに対して同時に行います。ノズル詰まりを検出したヘッドおよびインクだけに対して行うものではありません。 • ノズル自己診断システムを行うため、微量のインクを使用します。 • 診断後クリーニングを実施する設定の場合、ドット抜け検出後には自動でヘッドクリーニングを実行します。ヘッドクリーニング実行時にはインクが消費されます。

ノズル自己診断システムの有効 / 無効の設定

ノズル自己診断システムの有効 / 無効を設定します。
工場出荷時には「有効」に設定されています。

設定

本製品の操作パネルおよび PrinterSetting から設定できます。
221 ページ「操作パネルの設定項目」または 180 ページ「PrinterSetting (Windows)」を参照

ノズルチェック間隔の設定

指定した印刷枚数ごとに印刷を一時停止して、ノズル自己診断をします。

設定

本製品の操作パネルおよび PrinterSetting から設定できます。
1 ～ 13000 枚ごと、ページ単位で設定できます。
221 ページ「操作パネルの設定項目」または 180 ページ「PrinterSetting (Windows)」を参照



- 累積枚数は、設定したページ数に達し、ノズルチェックを実施した場合と、本製品の電源を切った場合に初期化されます。
- ノズルチェック間隔の初期値は「500 枚」です。

ノズル抜け許容数の設定

ノズル自己診断システム実行時の許容ノズル抜け数を設定します。ノズル抜け数がこの値を上回った場合に、本体の画面へ通知を出します。設定によっては、自動でヘッドクリーニングを実行できます。また、ノズル抜け数がこの値に達しない場合は、ノズル抜け補完機能を使用することもできます。

設定

本製品の操作パネルおよび PrinterSetting から設定できます。
0 ～ 16 ノズルの間で設定できます。
221 ページ「操作パネルの設定項目」または 180 ページ「PrinterSetting (Windows)」を参照



- ノズル抜け許容数は、4 色（BK(MK),C,M,Y）合計の許容ノズル数を示します。
- ノズル抜け許容数の初期値は「6」です。

診断後クリーニングの設定

ノズル抜け許容数を超えたとき、自動でヘッドクリーニングを実行するかを設定できます。
「実施する」を選択した場合、ノズル抜け許容数を超えると、本体の画面へ通知を出し、自動でクリーニングを実行します。
「実施しない」を選択した場合、ノズル抜け許容数を超えると、本体の画面へ通知が出ますが、クリーニングは実行しません。

設定

本製品の操作パネルおよび PrinterSetting から設定できます。
工場出荷時には「実施する」に設定されています。
221 ページ「操作パネルの設定項目」または 180 ページ「PrinterSetting (Windows)」を参照

ノズル抜け補完機能

ノズル抜け補完機能とは、ノズル詰まりが発生した場合に、近傍のノズルを使用して補完印刷を行う機能です。自動補完可能なノズル詰まりは、合計 16 ノズル以下です。ただし、隣接するノズル詰まりの場合は、補完を十分に行えません。ノズル詰まりの合計が 16 ノズルを超えた場合は、16 ノズル分の補完は実施し、印字は継続することができます。
この機能は、ノズル自己診断システムが無効だと使用できません。ノズル自己診断システムも有効に設定してください。



- この機能は、「印字品質」や「バーコード品質」などを完全に補完するものではありません。
- この機能は、印刷開始時に既知のノズル抜け情報を基に補完を行うため、印刷中に発生したノズル抜けを補完することはできません。

設定

本製品の設定メニューおよび PrinterSetting から設定できます。
工場出荷時には「有効」に設定されています。
221 ページ「操作パネルの設定項目」または 180 ページ「PrinterSetting (Windows)」を参照

定期自動クリーニング

本製品はプリントヘッドを良好な状態に保つために、自動でプリントヘッドのクリーニングを実行する場合があります。クリーニングには 3 ～ 14 分を要し、その間は印刷作業ができません。使用したいときにクリーニングが実行されることを避けるため、定期自動クリーニングの開始時刻の設定をお勧めします。
定期自動クリーニングは、あらかじめ設定した時刻になると自動でクリーニングを実行する機能です。プリンターがプリントヘッドのクリーニングの必要性を確認し、必要な場合に実行します。
お使いの状況に合わせて開始時刻を設定できるので、印刷作業を中断することなくヘッドクリーニングが実施できます。初期設定は「0：00」に設定されています。

定期自動クリーニングの開始時刻の設定

本製品の設定メニューおよび PrinterSetting から設定できます。
クリーニング中は印刷作業ができません。プリンターの電源が入っていて印刷を実施しない時間帯を設定してください。開始時刻は 1 分単位で設定できます。
設定方法は、221 ページ「操作パネルの設定項目」または 180 ページ「PrinterSetting (Windows)」を参照してください。

- 定期自動クリーニングには 3 ～ 14 分を要します。
- 開始時間を現在の時刻から10分未満に設定した場合は、24時間後の設定時刻にクリーニングを実行します。

定期自動クリーニングの実行

設定した時刻になりプリンターの電源が入っていると、ヘッドクリーニングが必要な場合に定期クリーニングを実行します。

- 長時間、本製品の電源が入らない状態が続くと、電源を入れたときにクリーニングを実行する場合があります。
- 次のような場合は、設定した時刻にクリーニングが実行されません。次回、プリンターの電源を入れたときにクリーニングを実行します。
  - プリンターの電源がオフになっている。
  - インクカートリッジの残量が不足している、または交換が必要な場合。
  - メンテナンスボックスの空き容量が不足している、または交換が必要な場合。

印刷作業を中断しない効果的な設定例

定期自動クリーニングの開始時刻を以下のように設定することで、印刷作業中に意図しないクリーニングが開始される確率を低くできます。

プリンターの電源が常時入った状態で使用している場合

印刷作業を行わない時間帯 (例えば 00:00) に設定すると、印刷作業には影響を与えません。

プリンターの電源を毎日入れなおす場合

- プリンターの電源が切れている時間帯 (例えば 00:00) に設定すると、その日の電源投入直後に定期クリーニングを実行するので印刷作業には影響を与えません。

- 昼休み等印刷作業を行わない時間帯 (例えば 12:00) に設定すると、作業再開時間までの間に定期クリーニングを実行するので印刷作業には影響を与えません。

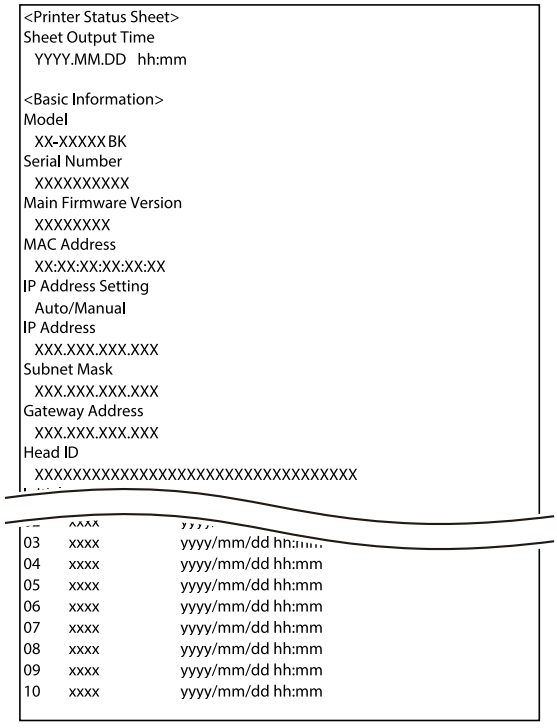
プリンターの状態を確認する

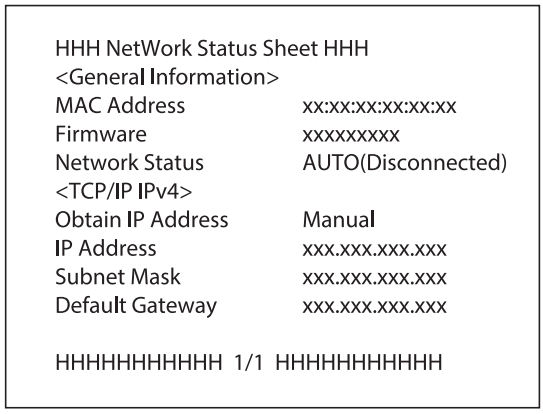
ステータスシート印刷

ステータスシート印刷をすることで、ファームウェアのバージョンや印刷動作モード、用紙検出設定などの各種設定状態を確認できます。
操作パネルから以下の手順でシートを印刷できます。
[Menu] - [情報確認 / 印刷] - [本体ステータスシートの印刷]

重要　ステータスシートを印刷するときは、ラベル幅 4 インチ以上、ラベル長 6 インチ以上の用紙をセットしてください。

ステータスシート 印刷例	ステータスシート（ネットワーク設定）印刷例





本体に登録されているフォント・バーコードや、新規に登録したイメージ・テンプレートのリストの印刷も可能です。

ネットワーク接続診断レポートの印刷

ネットワーク接続診断レポートを印刷することで、ネットワークの接続状態や各種診断項目を確認できます。
操作パネルから以下の手順でシートを印刷できます。
[Menu] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断]

重要　ネットワーク接続診断レポートを印刷するときは、ラベル幅 4 インチ以上、ラベル長 6 インチ以上の用紙をセットしてください。

ネットワーク接続診断レポート 印刷例

ネットワーク機能診断レポート

診断結果	OK

正常に動作しています。

何らかのトラブルが発生したときは、マニュアルなどをご覧の上、対処してください。

診断項目

ネットワークケーブル接続の確認	OK
IPアドレスの確認	OK
IP詳細設定の確認	OK

ネットワーク設定情報

プリンター名	XX-XXXXX
プリンター型番	XXXXXXXXXX
IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX

消耗品の状態を確認する

各色インクカートリッジ、メンテナンスボックスの状態や用紙の設定（用紙種類 / 検出方法 / ラベル幅 / ラベル長さ）、用紙残量は、本体のホーム画面で確認できます。（24 ページ「ホーム画面の操作」）

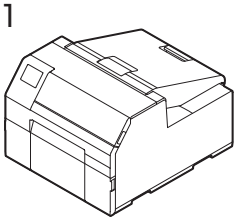


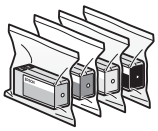
セットアップ

本章では、製品を使用する前に必要な、製品の設置と設定作業について説明しています。

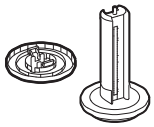
同梱品の確認

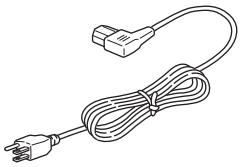
初めて使用する場合、付属品がすべて揃っていることと、本体および付属品に損傷がないことを確認してください。
付属品は以下のとおりです。

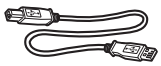
1


2


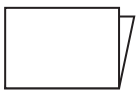
3


4


5


6


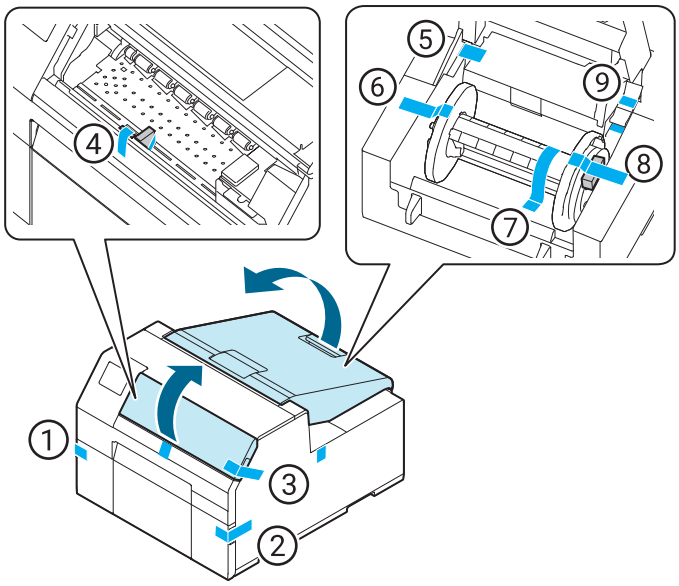
7


8


1	プリンター（CW-C6020 シリーズまたは CW-C6520 シリーズ）	2	インクカートリッジ C、M、Y、BK（MK）*（初期充填用） * ブラックインクはフォトインク（BK）またはマットインク（MK）のいずれかが同梱されます。
3	ロール紙（動作確認用）	4	フランジとスピンドル
5	電源ケーブル	6	USB ケーブル
7	CD-ROM	8	マニュアル

保護材の取り外し

テープやクッション材などの保護材を全て取り外します。保護材は全部で約 8 カ所にあり、カバーを開けた内部にもあります。



プリンターの設置

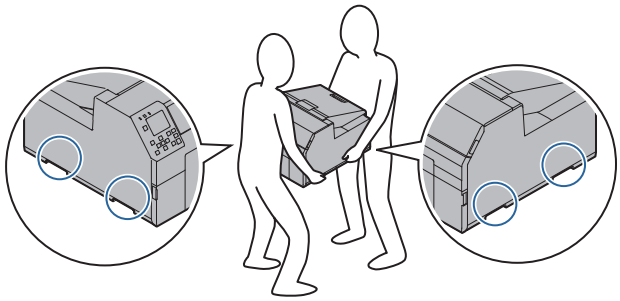
設置に適した次のような場所に十分なスペースを確保して設置します。

- 本製品の質量に十分耐えられる、水平で安定した場所
  CW-C6020A：約 22.5 kg
  CW-C6020P：約 22.8 kg
  CW-C6520A：約 25.5 kg
  CW-C6520P：約 26.3 kg
- 本製品底面が確実に載る、本製品底面よりも広い場所
- 振動や衝撃が加わらない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 用紙のセットや取り出しが無理なく行える場所
- 付属品の取り付けや消耗品の交換、普段のお手入れに支障のないよう、
  周囲に十分なスペースを確保できる場所
- 以下の条件を満たす場所
  詳細は 363 ページ「環境仕様」を参照してください。

		温度	湿度
印刷時		5 ～ 35 ℃	20 ～ 80% RH 非結露
保管時	フォトインク仕様	-20 ～ 40 ℃	5 ～ 85% RH 非結露（出荷梱包状態）
	マットインク仕様	-10 ～ 40 ℃	

⚠ 注意

- 本製品の持ち運びは、必ず 2 名以上で行ってください。
- 図のように側面のくぼみに手を掛けて持ち運んでください。他の部分に手を掛けて持つと、製品が破損する可能性があります。



- 直射日光などの強い光が当たる場所に置かないでください。検出器が誤動作し、正常に印刷ができなくなるおそれがあります。
- マットインク仕様でインク充填状態の場合、本製品の設置場所の温度が -10 ℃以下になることが想定されるときは、電源を切る前にインクの排出処理を行ってください。凍結によりプリントヘッドが破損するおそれがあります。詳細は 276 ページ「インク充填後の本製品の保存」を参照してください。

電源ケーブルの接続

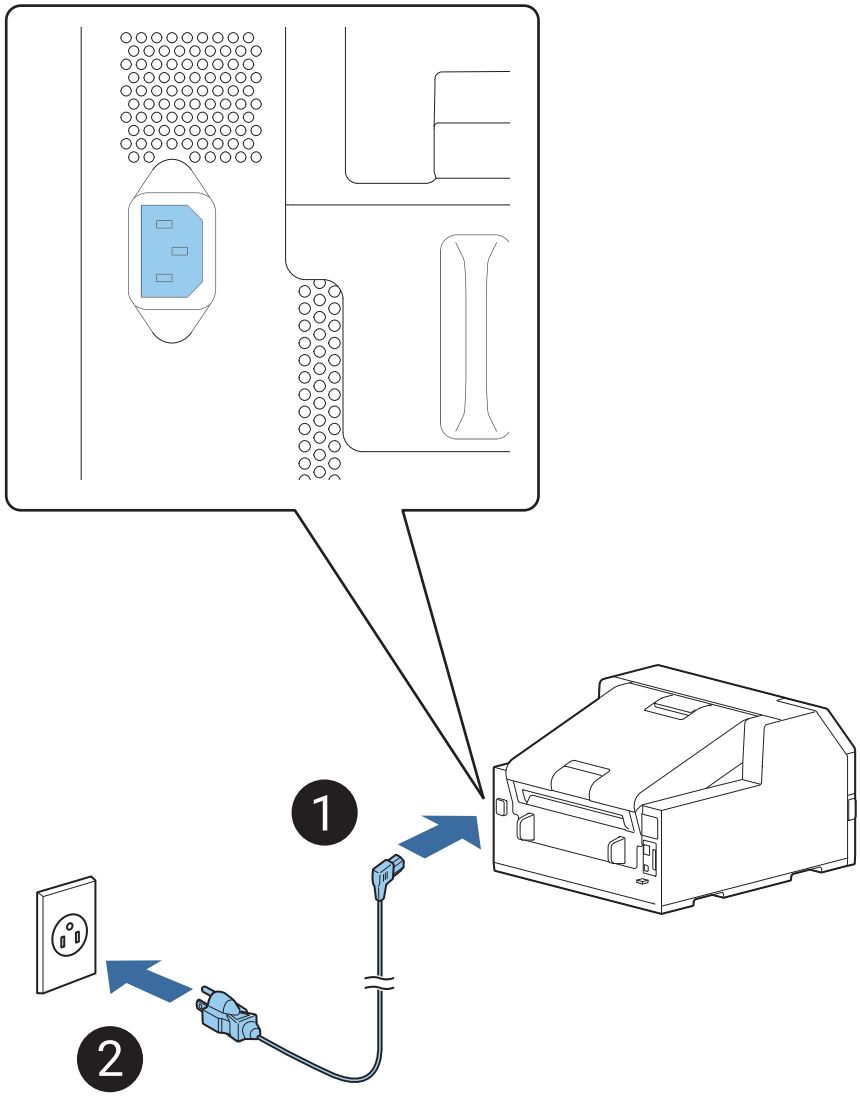
以下の手順で、電源ケーブルを接続します。

警告

- AC100V 以外の電源は使用しないでください。
- 本製品は必ずコンセントの近くに設置し、異常が起きたときはすぐに電源プラグを抜けるようにしてください。

1 **電源ケーブルを、プリンター背面の電源コネクターに奥まで確実に差し込みます。**

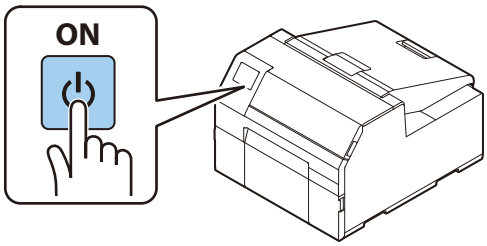
2 **電源プラグを、コンセントに奥まで確実に差し込みます。**



電源のオン / オフ

電源のオン

⏻（電源）LED が点灯するまで、⏻（電源）ボタンを押してください。

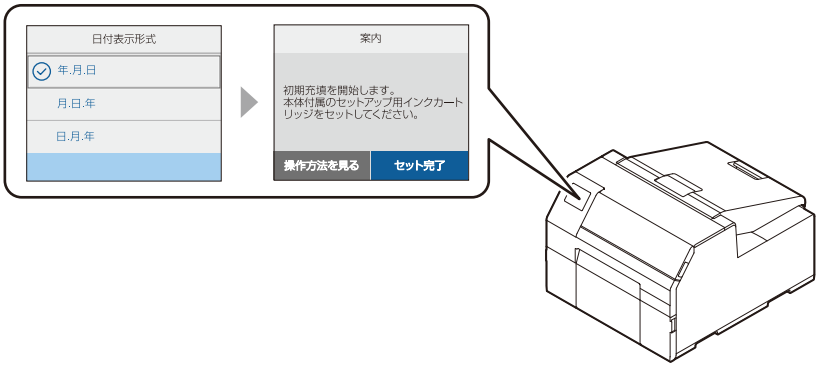


電源のオフ

⏻（電源）ボタンを押してください。電源オフ確認画面で［はい］を選択すると、⏻（電源）LED が消灯して電源が切れます。

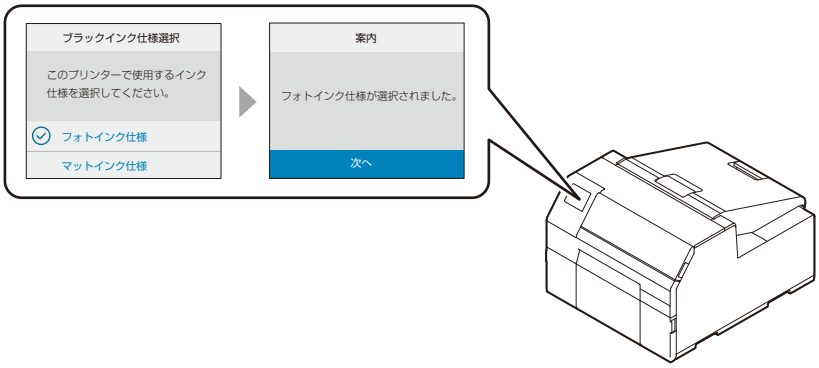
操作パネルの設定

パネルの指示に従って、日時を設定します。



ブラックインク仕様の選択

ファームウェアバージョン TS05JC、TS06JC、TS26JC、TS19K2、TS25K3、TS21K5 以外の製品をお使いの場合は、パネルの指示に従って、ブラックインク仕様を選択します。
ブラックインク仕様を確認する画面で［次へ］を選択します。



インクカートリッジの取り付け

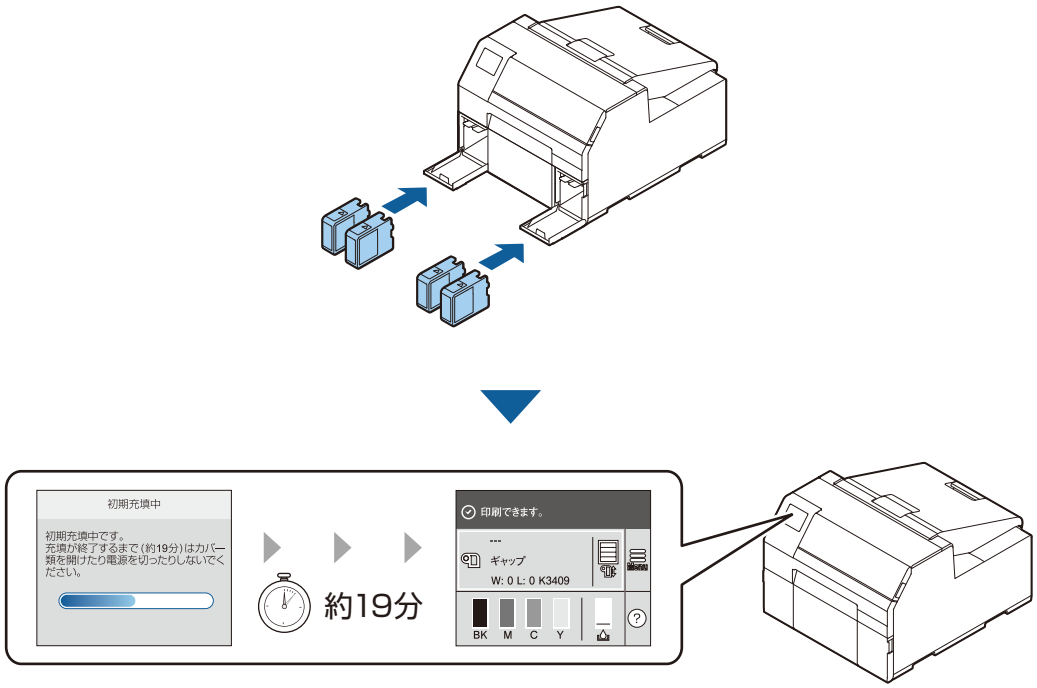
パネルの指示に従ってインクカートリッジをセットします。
カバーを閉じると初期充填の開始を確認する画面が表示されます。［はい］を選択すると初期充填が始まります。初期充填が完了すると、初期充填完了画面が表示されるので［了解］を選択します。

ファームウェアバージョンが TS05JC、TS06JC、TS26JC、TS19K2、TS25K3、TS21K5 の製品をお使いの場合は、インクカートリッジをセットしてカバーを閉じると初期充填が開始されます。初期充填が完了するとホーム画面が表示されます。

初期充填の所要時間は約 19 分です。充填時間は状況により異なります。

⚠ 注意

インクカートリッジをセットする前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。
8 ページ「インクカートリッジに関するご注意」を参照
インクの充填中は、決してカバーを開けたり、電源をオフにしたりしないでください。
インク充填中にこれらの操作が行われた場合、インクが著しく消費され、充填が完了する前にインクカートリッジやメンテナンスボックスの交換が必要になるおそれがあります。
初期充填開始後は、ブラックインク仕様は変更できません。



インクカートリッジの交換

インク残量の確認

操作パネルのホーム画面やエラーメッセージで各色のインクカートリッジの残量を確認できます。

メッセージ	説明
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	プリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。新しいインクカートリッジと交換してください。

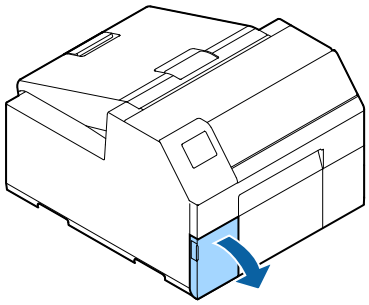
インクカートリッジの交換手順

重要

ブラックインクを交換する際は、現在セットされているものと同じ仕様のブラックインクをセットしてください。本製品は異なる仕様のブラックインクをセットしても動作しません。

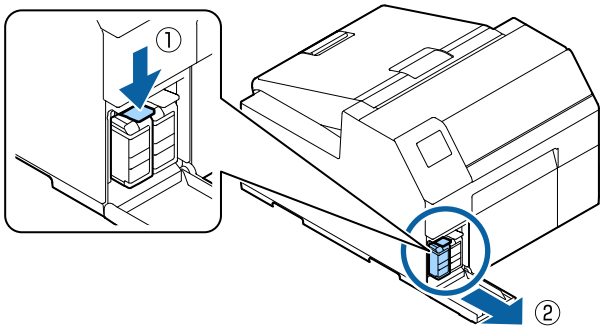
例として BK インクの交換手順を説明します。交換手順は、どのインクカートリッジも同じです。

1　左側のインクカートリッジカバーを開けます。

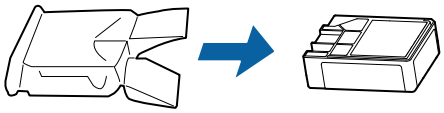


シアンまたはイエローのインクカートリッジを交換するときは、右側のカバーを開けます。

2　レバーを押して、使用済みのインクカートリッジを取り外します。

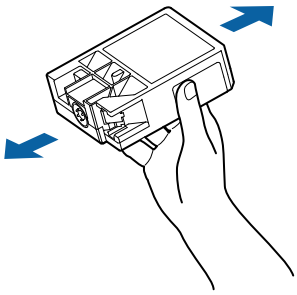


3 袋を開けて新しいインクカートリッジを取り出します。

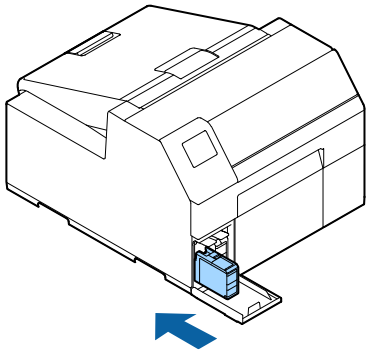


4 インクカートリッジを振ります。

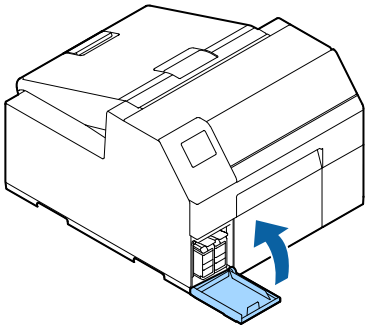
図のように水平方向に両側約 5cm の振り幅で 5 秒間に 15 回程度よく振ってください。



5 インクカートリッジ挿入部へインクカートリッジを取り付けます。



6 インクカートリッジカバーを閉めます。



メンテナンスボックスの取り付け

メンテナンスボックスは出荷時に取り付け済みです。

> **注意**
> メンテナンスボックスセットする前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。
> ９ページ「メンテナンスボックスに関するご注意」を参照

メンテナンスボックスの交換

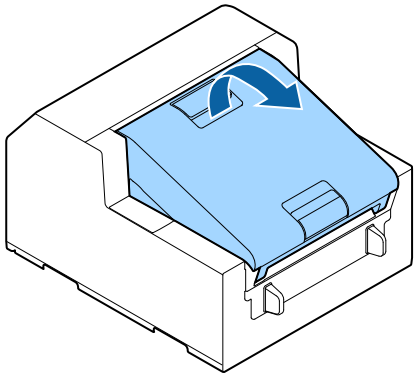
メンテナンスボックスの空き容量の確認

操作パネルのホーム画面やエラーメッセージでメンテナンスボックスの空き容量を確認できます。

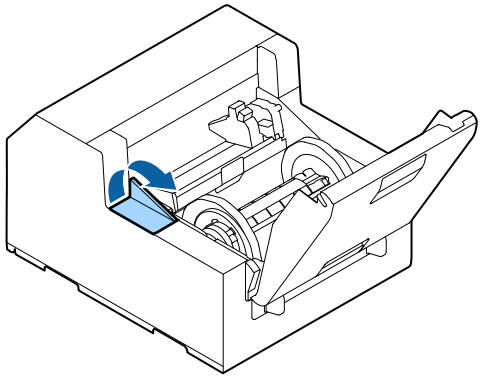
メッセージ	説明
メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。 ボックスの交換が必要です。	新しいメンテナンスボックスと交換してください。

メンテナンスボックスの交換手順

1　**用紙カバーを開けます。**

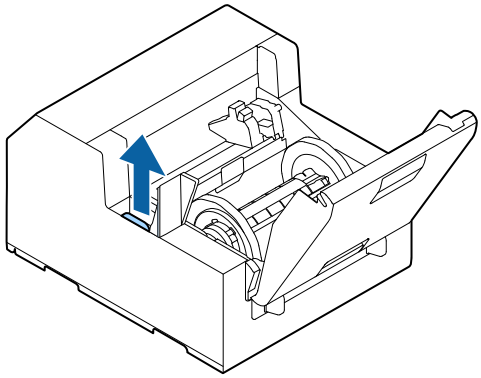


2　**メンテナンスボックスカバーを開けます。**

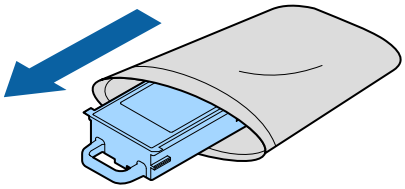


3 メンテナンスボックスを取り出します。

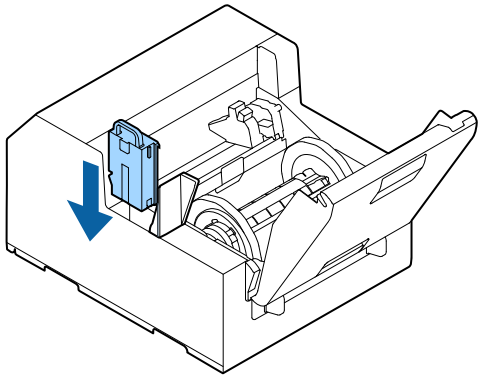
使用済みのメンテナンスボックスは付属の袋へ入れて廃棄してください。



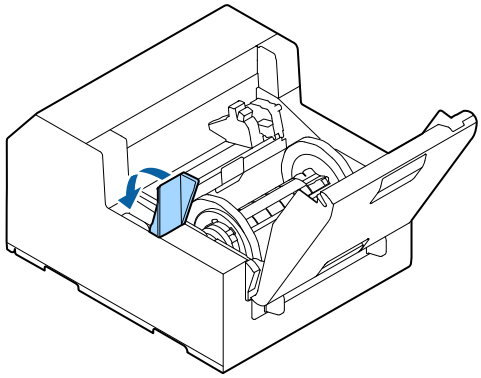
4 新しいメンテナンスボックスを袋から取り出します。



5 新しいメンテナンスボックスを取り付けます。



6 メンテナンスボックスカバーを閉めます。



プリンタードライバーのインストールと接続

プリンタードライバーのインストールと接続には、以下の方法があります。

- Install Navi を使用する場合
- Install Navi を使用しない場合

Install Navi を使用する場合

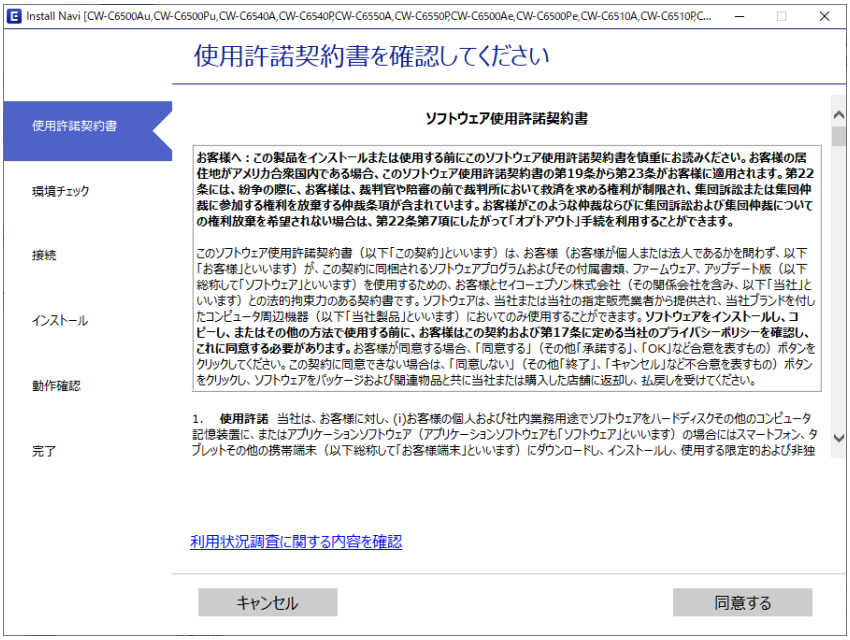
Install Navi を使用すると、コンピューターの画面の手順に従って操作することで、プリンタードライバーのインストールと、コンピューターとの接続ができます。
Install Navi を使用する場合の手順は以下の通りです。

1　コンピューターの電源を入れます。

2　本製品の電源が入っていることを確認します。

3　付属の CD-ROM をコンピューターにセットします。Install Navi が自動起動します。
Install Navi が自動で起動しないときは、InstallNavi.exe をダブルクリックします。

4　Install Navi を実行すると、以下の画面が表示されます。使用許諾に同意し、［次へ］をクリックします。以降画面の指示に従って本製品をセットアップします。



Install Navi のセットアップ手順に「ソフトウェアのインストール」があり、プリンタードライバー、PrinterSetting およびその他のソフトウェアをインストールすることができます。インストールしなくても本製品のセットアップは可能です。また、ソフトウェアは、後からインストールすることができます。

以上でプリンタードライバーのインストールと接続が完了します。

Install Navi を使用しない場合

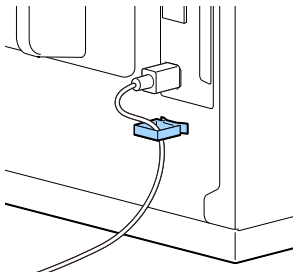
各種ソフトウェアの入手方法

以下の Web サイトから取得できます。
https://www.epson.jp/support/

コンピューターとの接続方法

使用するインターフェイスケーブルをプリンター背面のコネクターに接続します。

USB 接続の場合は、抜け防止のためワイヤーサドルにケーブルを通してください。



ネットワークの設定

以下の手順で、製品の IP アドレスを設定します。

- 本製品を Ethernet 接続で使用する場合、ネットワークの設定が必要です。USB 接続で使用する場合はネットワークの設定は必要ありません。
- ネットワークの設定をする場合、必要な情報をネットワークの管理者に確認してください。

1 **本製品の電源を入れます。**

2 **［Menu］を選択して、OK ボタンを押します。**

3 **［本体設定］を選択して、OK ボタンを押します。**

4 **［ネットワーク設定］を選択して、OK ボタンを押します。**

5 **［詳細設定］を選択して、OK ボタンを押します。**

6 **［TCP/IP］を選択して、OK ボタンを押します。**

7 **［TCP/IP 設定方法］を選択し、OK ボタンで［自動設定］または［手動設定］へ変更します。**
［自動設定］を選択した場合、ネットワークの設定は終了です。
［手動設定］を選択した場合、手順 8 に進んでください。

8 **同じメニューで IP アドレスやサブネットマスクを入力します。**
各設定値を選択し、OK ボタンを押すことで入力・設定できます。

9 **［設定を開始する］を選択し、OK ボタンを押します。**

以上でネットワークの設定は終了です。

用紙の設定

給紙方法、用紙種類、用紙形態、用紙検出などを設定します。

- Windows ドライバーを使う場合
  74 ページ「プリンタードライバー（Windows)」を参照してください。
- Windows ドライバーを使わない場合
  180 ページ「PrinterSetting (Windows)」を参照してください。
- コンピューターに接続していない環境でセットアップする場合
  221 ページ「操作パネルの設定項目」を参照してください。



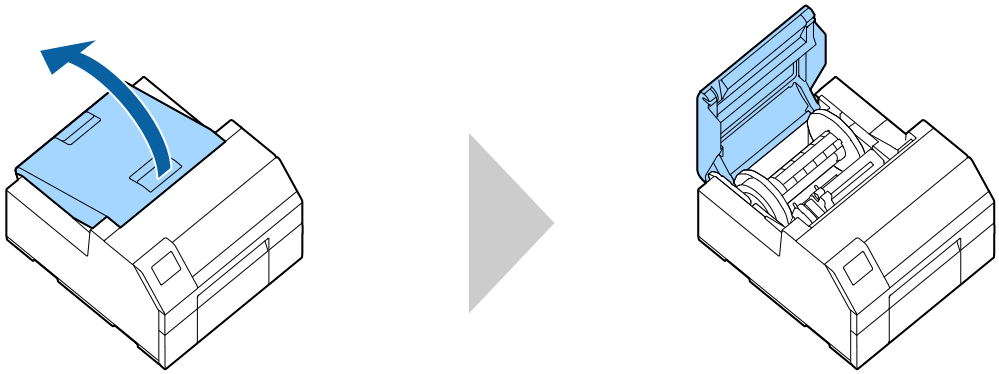
- プリンター本体の設定（操作パネル、PrinterSetting、または WebConfig で設定）と、プリンタードライバーの設定が異なる場合、プリンタードライバーの設定を適用して印刷します。
- 本製品で使用可能な用紙と用紙仕様については、323 ページ「用紙仕様」を参照してください。

用紙カバーの開け方

ここでは、用紙カバーの開け方を説明します。

> **注意**
> 用紙カバーを取り外して使用しないでください。正常に動作、印刷ができなくなります。

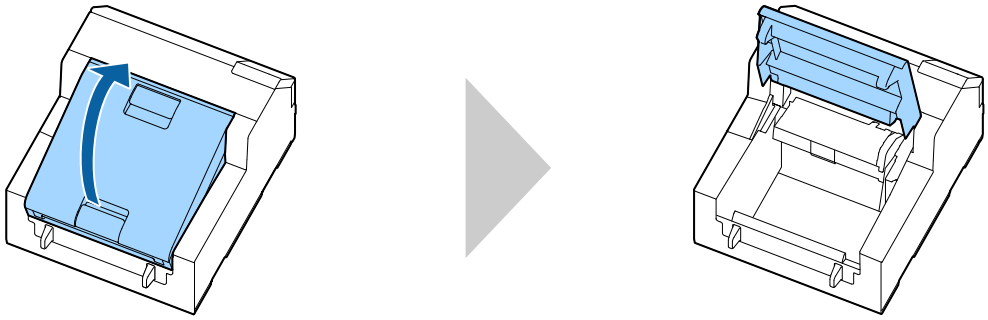
製品正面から見て手前側のレバーを引いて用紙カバーを開ける



以下のような場合に開けます。

- 用紙を内部供給でセットしたり、取り除いたりする
- メンテナンスボックスを交換する
- 用紙カバー内部をクリーニングする
- 用紙が詰まったときに取り除く

製品正面から見て奥のレバーを引いて用紙カバーを開ける

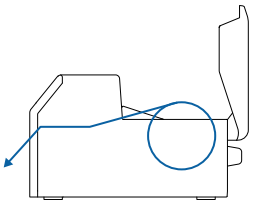
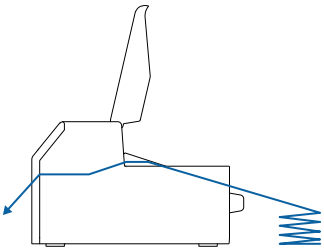


以下のような場合に開けます。

- 用紙を外部供給でセットしたり、取り除いたりする

用紙のセット

ここでは、用紙のセット・交換手順について説明します。用紙の交換方法は、次のように、交換前後の用紙のサイズと給紙形態（内部供給 / 外部供給）によって異なります。本章は動画でも手順を説明しています。
以下の URL から動画をご覧ください。
<https://support.epson.net/p_doc/790/>

内部供給	外部供給
ロール紙をプリンター内部のスピンドルへセットし、本体内部から用紙を供給します。 	ロール紙、ファンフォールド紙をプリンター後方へ置き、本体外部から用紙を供給します。 

重要

- 外部供給でロール紙をお使いになる場合は、お客様ご自身で外部装置（用紙供給装置・用紙巻き取り装置）をご用意ください。（374 ページ「外部装置仕様」）
- ピーラーモデルでは、ファンフォールド紙を外部供給で使用できません。
- 用紙の形状や形態、種類を変更する際には、用紙をセットする前に操作パネルまたはプリンタードライバーで用紙設定を変更してください。（221 ページ「操作パネルの設定項目」、83 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」、85 ページ「ユーザー定義用紙」）

モデル	内部供給	外部供給	
		ファンフォールド紙	ロール紙
オートカッターモデル	• 用紙のセット：50 ページ • 用紙の除去：65 ページ • 用紙エンド時の排紙：69 ページ	• 用紙のセット：54 ページ • 用紙の除去：65 ページ • 用紙エンド時の排紙：69 ページ	374 ページ「外部装置仕様」
ピーラーモデル	• 用紙のセット：58 ページ • 用紙の除去：67 ページ • 用紙エンド時の排紙：70 ページ		374 ページ「外部装置仕様」

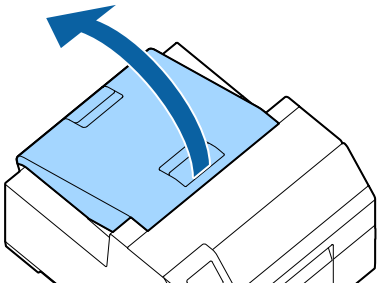
用紙のセット(オートカッターモデル・内部供給の場合)

> **注意**
> プリンターの電源を入れた後、操作パネルにホーム画面が表示されるまで待ってから用紙カバーを開けてください。ホーム画面が表示される前にカバーを開けると、正しく用紙がセットできない場合があります。

1 **プリンターの電源を入れ、操作パネルで［給紙方法］が［内部供給］に設定されていることを確認します。**

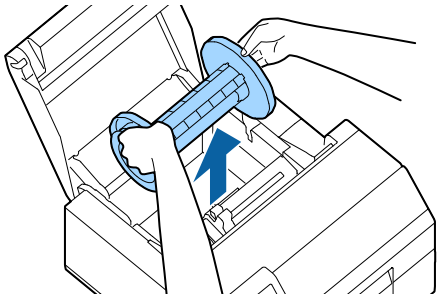
(221 ページ「操作パネルの設定項目」)

2 **用紙カバーを開けます。**



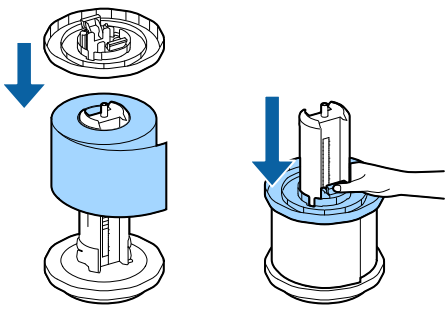
3 **プリンターからスピンドルを取り外します。**

図のように両手でスピンドルとフランジを持ち、取り外してください。



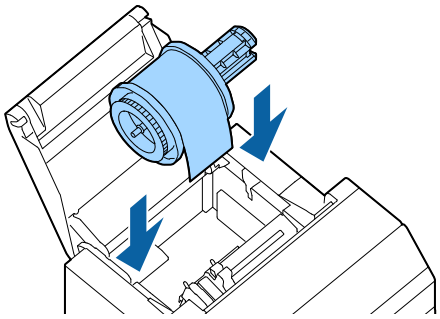
4 **スピンドルにロール紙を差し込み、フランジで固定します。**

- ２つのレバーを内側へつまむと、フランジの移動ができます。
- スピンドルへロール紙を挿入するときは、巻き方向に注意してください。正しい巻き方向はスピンドルに刻印されています。
- フランジとロール紙は隙間ができないように固定してください。



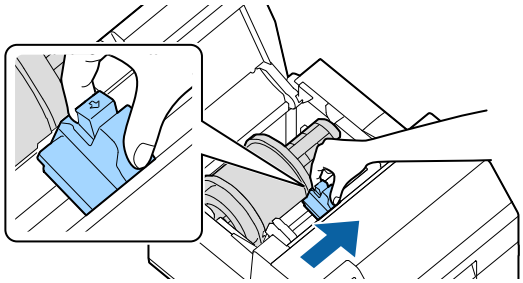
5 **スピンドルを両手で持ち、プリンターへセットします。**

スピンドルの両端をプリンター内部のホルダーにはめ込むように取り付けてください。

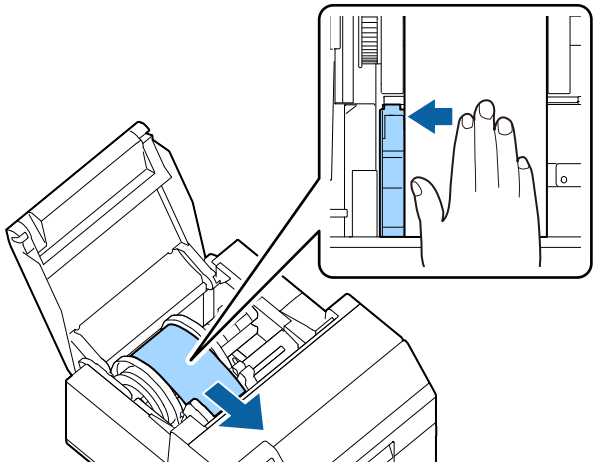


6 **用紙ガイド（可動）を広げます。**

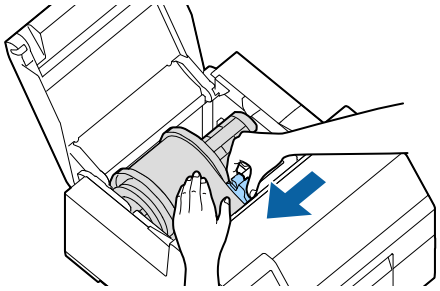
青いレバーをつまむと、用紙ガイド（可動）の移動ができます。

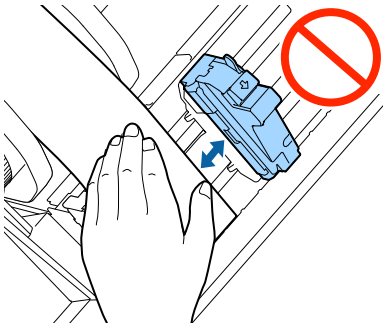
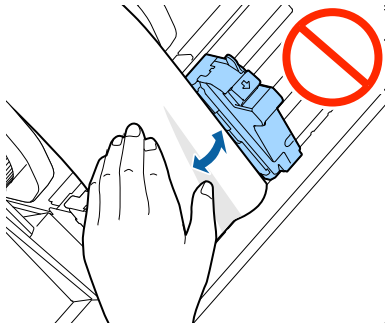


7 **左の用紙ガイドに沿って用紙をセットします。**



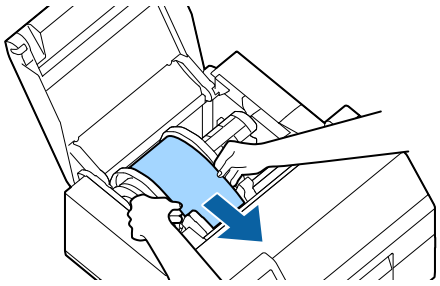
8 用紙が浮かないように手で用紙を押さえながら、用紙ガイド（可動）と用紙の端面がぴったり合うように調整します。



⚠ 注意	用紙ガイド（可動）が用紙の端面に合っていないと、印字のズレや紙詰まりの原因になります。以下の点に注意してください。	
	• 用紙ガイド（可動）と用紙の端面との間に隙間をあけない。 	• 用紙ガイド（可動）を用紙の端面に強く押し付けない。 

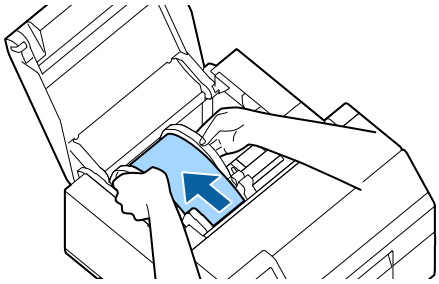
9 自動給紙が始まるまで給紙口へ用紙を挿入します。

台紙のみの用紙を挿入しないでください。プリンターが用紙を検知できず、自動給紙が行われないおそれがあります。

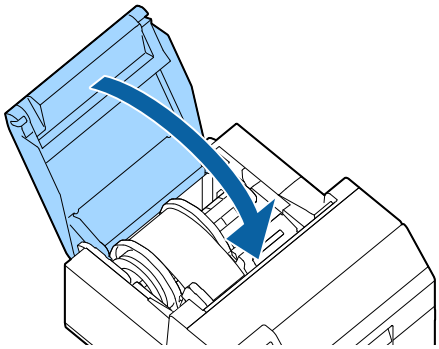


特殊な用紙を使用していると、用紙検出ができず自動給紙が開始されない場合があります。
手動で給紙設定する場合は 71 ページ「手動での給紙方法」を参照してください。

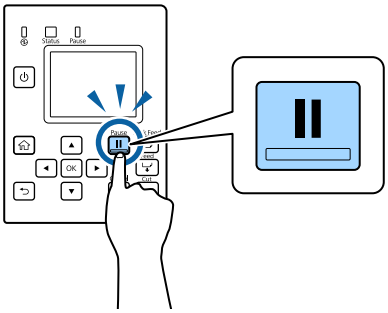
10 スピンドルを回転させて、用紙の緩みを取り除きます。



11 用紙カバーを閉めます。



12 Pause ボタンを押します。



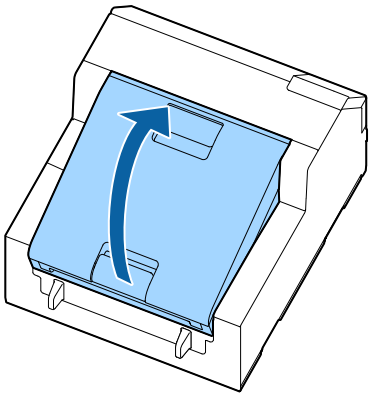
以上で、用紙のセット（オートカッターモデル・内部供給の場合）は完了です。

用紙のセット(オートカッターモデル・外部供給の場合)

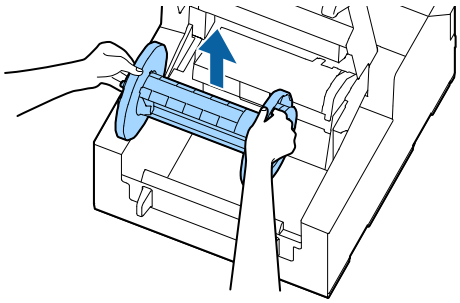
> **注意**
> プリンターの電源を入れた後、操作パネルにホーム画面が表示されるまで待ってから用紙カバーを開けてください。ホーム画面が表示される前にカバーを開けると、正しく用紙がセットできない場合があります。

1 **プリンターの電源を入れ、操作パネルで［給紙方法］が［外部供給］に設定されていることを確認します。**
(221 ページ「操作パネルの設定項目」)

2 **用紙カバーを開けます。**

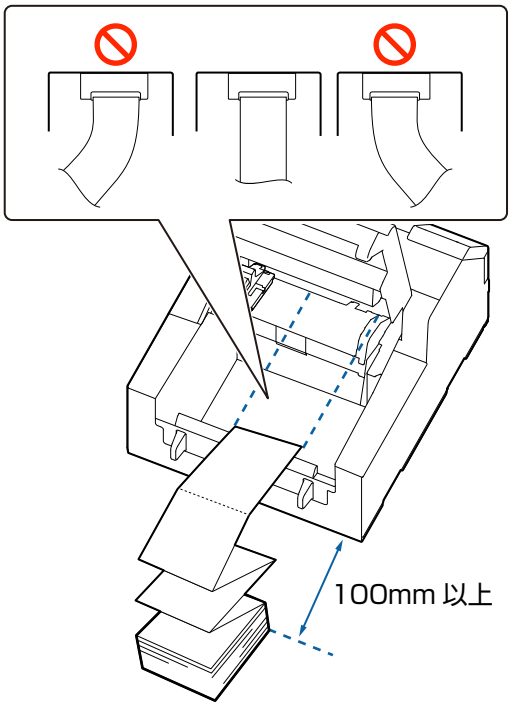


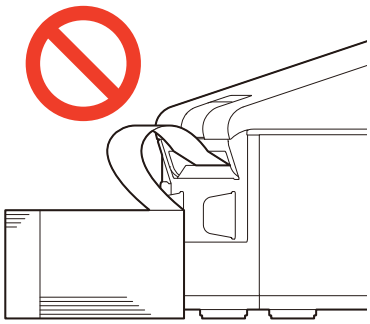
3 **スピンドルがある場合は取り外します。**
図のように両手でスピンドルとフランジを持ち、取り外してください。



4 本体後方へファンフォールド紙を置いてください。

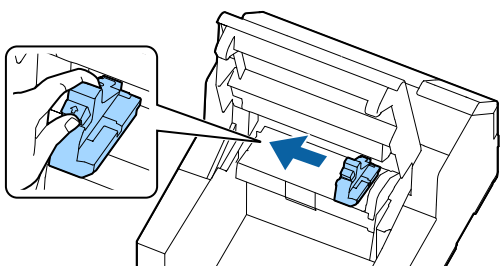
- ファンフォールド紙を置く場合は、本体から 100mm 以上離してください。
- 用紙が給紙口に対して垂直であることを確認してください。



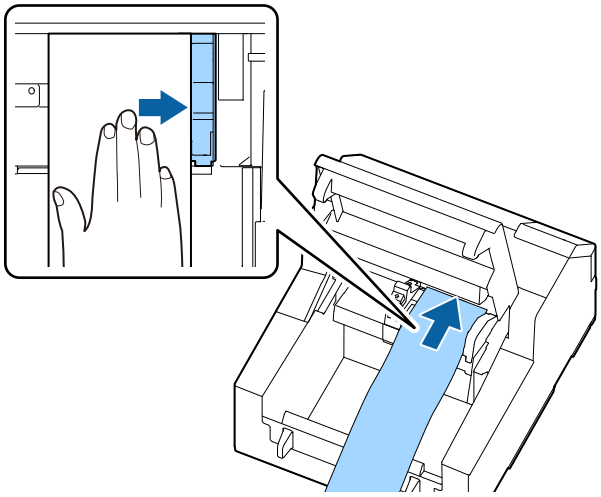
⚠ 注意	ファンフォールド紙の給紙口付近で用紙が湾曲しないよう設置してください。用紙が変形し、紙詰まりや印字不良が発生する恐れがあります。 

5 用紙ガイド（可動）を広げます。

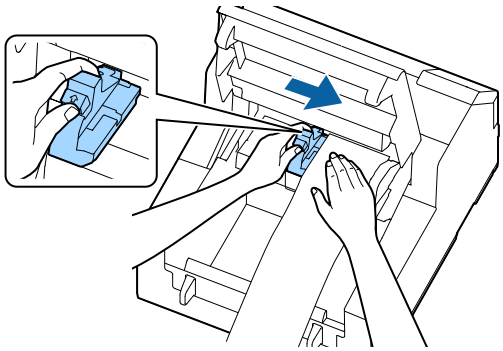
青いレバーをつまむと、用紙ガイド（可動）の移動ができます。

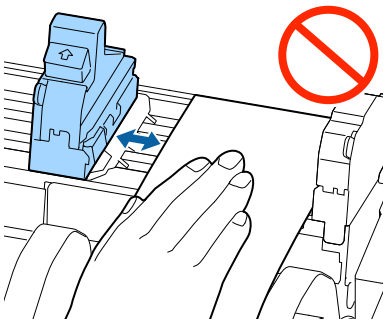
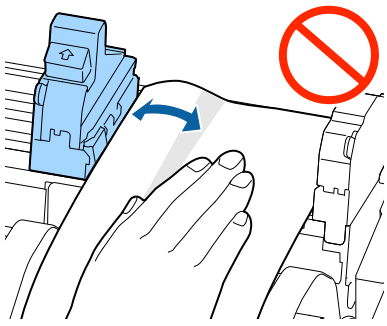


6 右の用紙ガイドに沿って用紙をセットします。



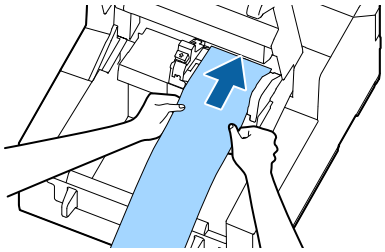
7 用紙が浮かないように手で用紙を押さえながら、用紙ガイド（可動）と用紙の端面がぴったり合うように調整します。



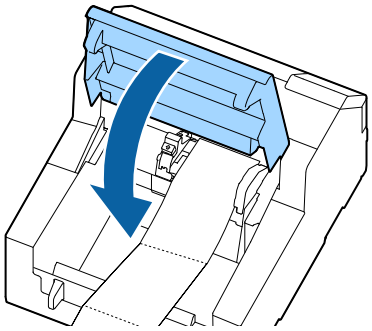
⚠ 注意	用紙ガイド（可動）が用紙の端面に合っていないと、印字のズレや紙詰まりの原因になります。以下の点に注意してください。	
	• 用紙ガイド（可動）と用紙の端面との間に隙間をあけない。 	• 用紙ガイド（可動）を用紙の端面に強く押し付けない。 

8 自動給紙が始まるまで給紙口へ用紙を挿入します。

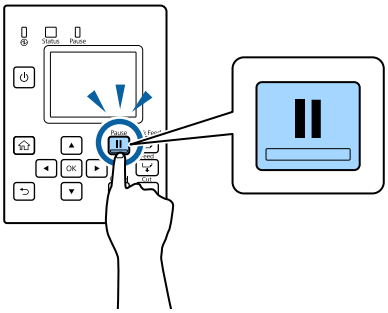
台紙のみの用紙を挿入しないでください。プリンターが用紙を検知できず、自動給紙が行われないおそれがあります。



9 用紙カバーを閉めます。



10 Pause ボタンを押します。



以上で、用紙のセット（オートカッターモデル・外部供給の場合）は完了です。

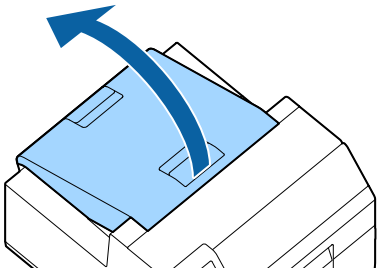
用紙のセット(ピーラーモデル・内部供給)

> **注意**
> プリンターの電源を入れた後、操作パネルにホーム画面が表示されるまで待ってから用紙カバーを開けてください。ホーム画面が表示される前にカバーを開けると、正しく用紙がセットできない場合があります。

1 **プリンターの電源を入れ、操作パネルで［給紙方法］が［内部供給］に設定されていることを確認します。**

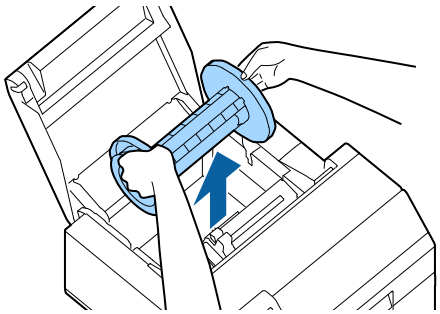
(221 ページ「操作パネルの設定項目」)

2 **用紙カバーを開けます**



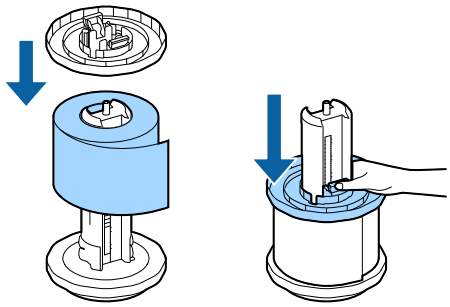
3 **プリンターからスピンドルを取り外します。**

図のように両手でスピンドルとフランジを持ち、取り外してください。



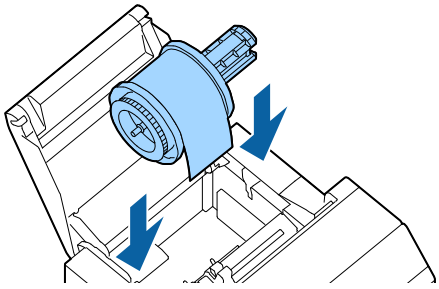
4 スピンドルにロール紙を差し込み、フランジで固定します。

- ２つのレバーを内側へつまむと、フランジの移動ができます。
- スピンドルへロール紙を挿入するときは、巻き方向に注意してください。正しい巻き方向はスピンドルに刻印されています。
- フランジとロール紙は隙間ができないように固定してください。



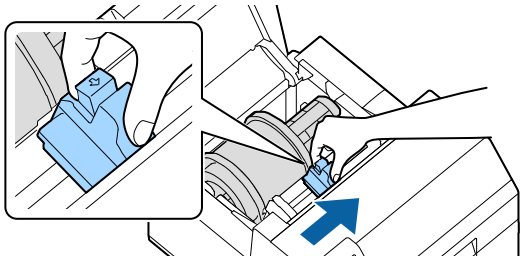
5 スピンドルを両手で持ち、プリンターにセットします。

スピンドルの両端をプリンター内部のホルダーにはめ込むように取り付けてください。

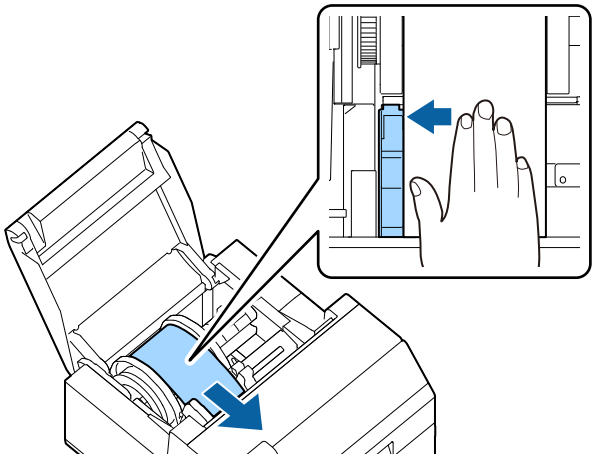


6 用紙ガイド（可動）を広げます。

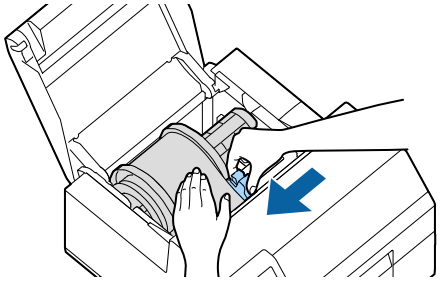
青いレバーをつまむと、用紙ガイド（可動）の移動ができます。

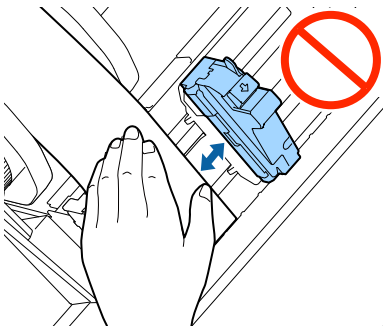
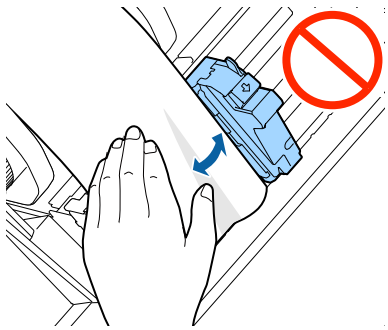


7 左の用紙ガイドに沿って用紙をセットします。



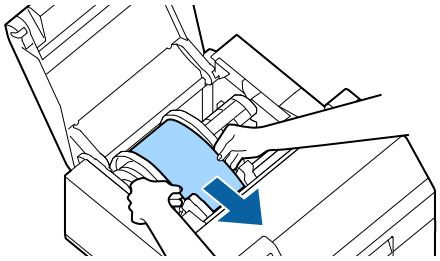
8 用紙が浮かないように手で用紙を押さえながら、用紙ガイド（可動）と用紙の端面がぴったり合うように調整します。



⚠ 注意	用紙ガイド（可動）が用紙の端面に合っていないと、印字のズレや紙詰まりの原因になります。以下の点に注意してください。	
	• 用紙ガイド（可動）と用紙の端面との間に隙間をあけない。 	• 用紙ガイド（可動）を用紙の端面に強く押し付けない。 

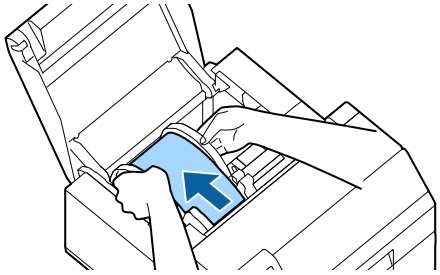
9 自動給紙が始まるまで給紙口へ用紙を挿入します。

台紙のみの用紙を挿入しないでください。プリンターが用紙を検知できず、自動給紙が行われないおそれがあります。

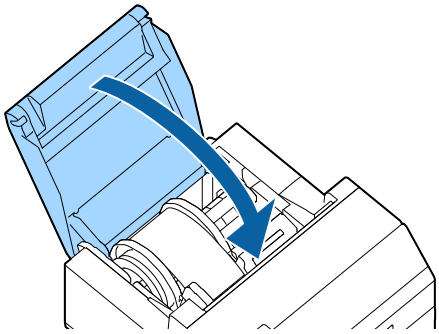


特殊な用紙を使用していると、用紙検出ができず自動給紙が開始されない場合があります。
手動で給紙設定する場合は 71 ページ「手動での給紙方法」を参照してください。

10 スピンドルを回転させて、用紙の緩みを取り除きます。

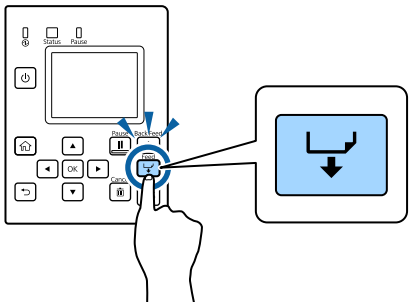


11 用紙カバーを閉めます。

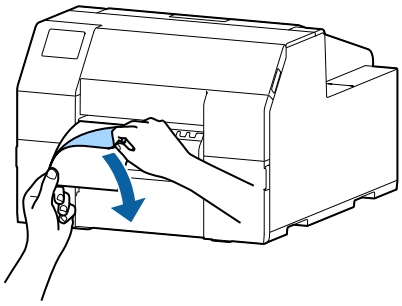


12 Feed ボタンを押します。

プリンターを設置している台に用紙の先端が付くまでボタンを押します。

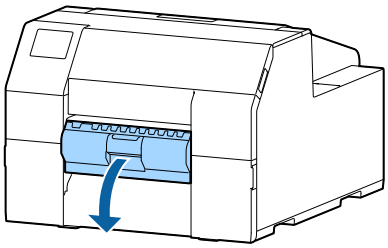


13 排出した用紙についているラベルを剥がします。

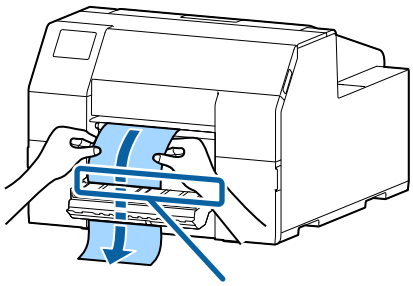


14 ピーラーカバーを開けます。

ピーラーカバー下部にあるマニュアルカッターに手を触れないでください。けがをするおそれがあります。（10 ページ「注意ラベル」）

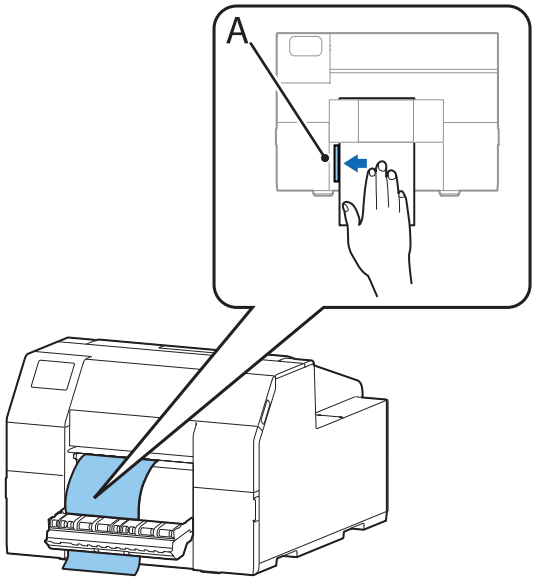


15 ピーラースロットへ用紙を通します。



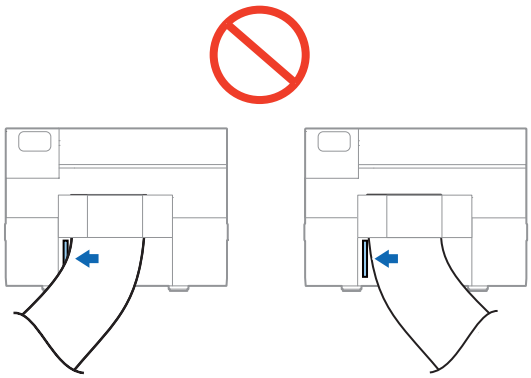
ピーラースロット

16 ピーラーカバーを閉じる前に A の突起に沿って用紙をセットしてください。



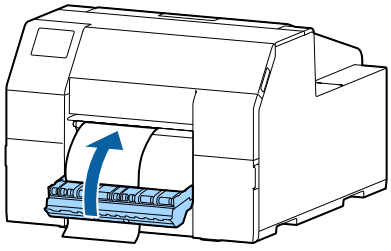
注意

用紙が A の突起にぴったり合っていることを確認してください。

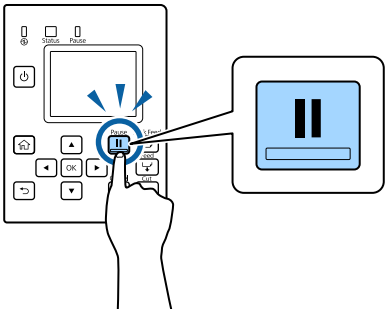


17 ピーラーカバーを閉めます。

用紙が緩んでいる場合は、用紙の先端を引っ張り、緩みを取ってから閉じてください。



18 Pause ボタンを押します。

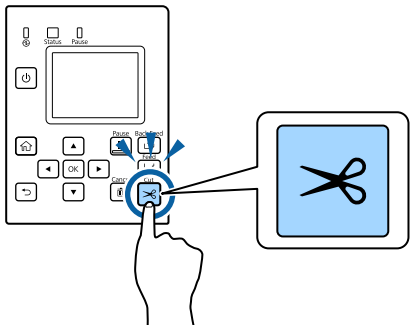


以上で、用紙のセット（ピーラーモデル・内部供給の場合）は完了です。

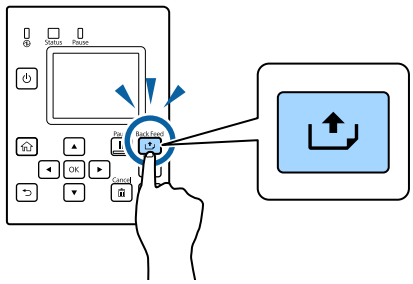
用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合）

1 プリンターの電源がオンであることを確認します。

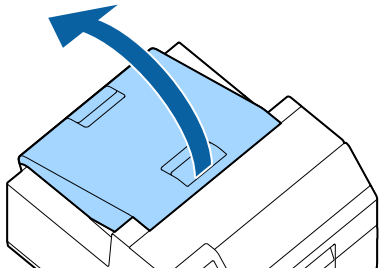
2 Cut ボタンを押し、排出されているラベルを切り取ります。



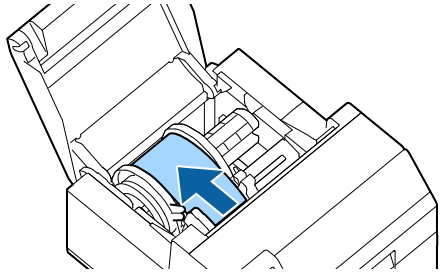
3 Back Feed ボタンを押し、用紙を後方へ送ります。
プリンター内部から用紙を引き抜けるようになります。



4 用紙カバーを開けます。



5 用紙ガイド（可動）を広げ、用紙を取り除きます。



6 用紙カバーを閉めます。

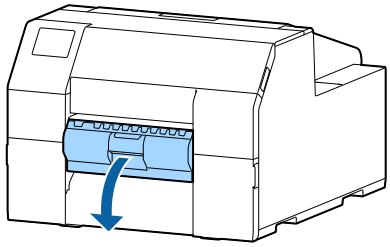
7　Pause ボタンを押します。

以上で用紙を取り除くは完了です。
引き続き用紙をセットする場合は、50 ページ「用紙のセット（オートカッターモデル・内部供給の場合）」、
54 ページ「用紙のセット（オートカッターモデル・外部供給の場合）」を参照してください。

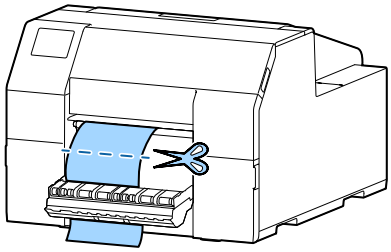
用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合）

1 プリンターの電源がオンであることを確認します。

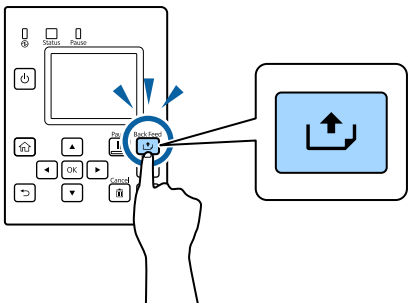
2 ピーラーカバーを開けます。



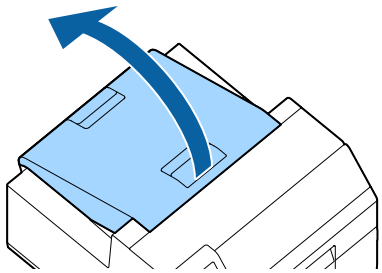
3 排紙口付近で台紙を切ります。



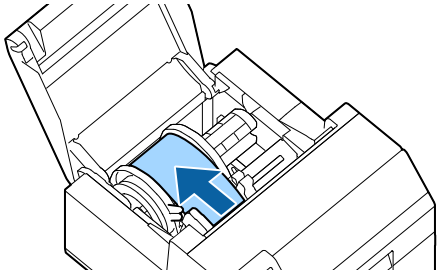
4 Back Feed ボタンを押し、用紙を後方へ送ります。
プリンター内部から用紙を引き抜けるようになります。



5 用紙カバーを開けます。



6 **用紙ガイド（可動）を広げ、用紙を取り除きます。**



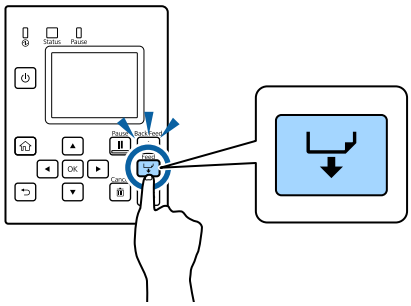
7 **用紙カバーを閉めます。**

8 **Pause ボタンを押します。**

以上で用紙を取り除くは完了です。
引き続き用紙をセットする場合は、58 ページ「用紙のセット（ピーラーモデル・内部供給）」を参照してください。

用紙エンド時の排紙(オートカッターモデルの場合)

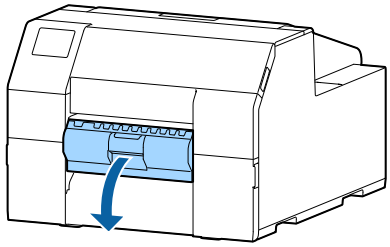
1　用紙を排出しきるまで Feed ボタンを押し続けます。



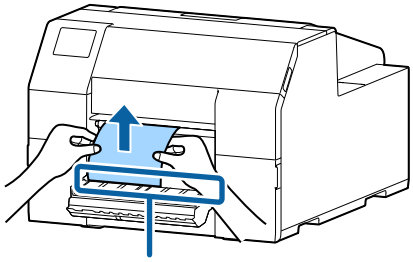
以上で用紙エンド時の排紙は完了です。
引き続き用紙をセットする場合は 50 ページ「用紙のセット（オートカッターモデル・内部供給の場合)」、54 ページ「用紙のセット（オートカッターモデル・外部供給の場合)」を参照してください。

用紙エンド時の排紙（ピーラーモデルの場合）

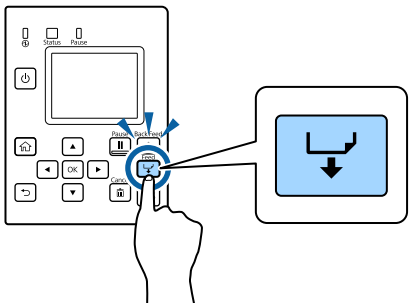
1　**ピーラーカバーを開けます。**



2　**ピーラースロットから用紙を取り除きます。**



3　**用紙を排出しきるまで Feed ボタンを押し続けます。**



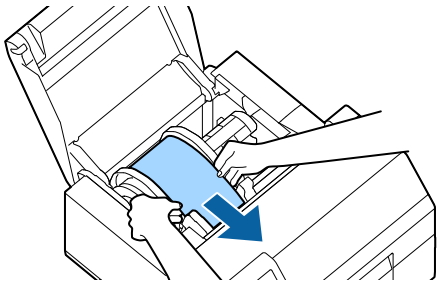
以上で用紙エンド時の排紙は完了です。
引き続き用紙をセットする場合は 58 ページ「用紙のセット（ピーラーモデル・内部供給）」を参照してください。

手動での給紙方法

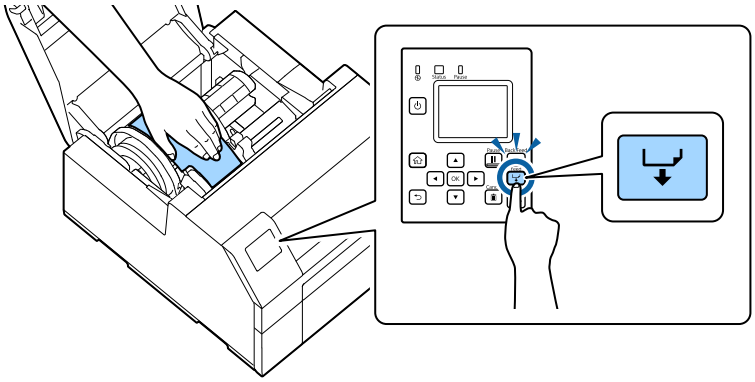
特殊な用紙を使用していると、用紙の検出ができず自動給紙が開始されない場合があります。以下の方法で給紙してください。

> **注意**
> この方法で給紙した場合のプリンターの動作および印字品質は保証できません。

1 **用紙を紙送り軸に突き当てます。**



2 **用紙を押さえながら Feed ボタンを押します。**



印字確認

プリンターが正常に動作するかどうかをノズルチェックパターンを印刷して確認します。
以下の手順で、ノズルチェック印刷をします。ノズルチェックでは、パターンを印刷して、その印刷結果でノズルの目詰まりを確認できます。

1 **本製品の電源を入れます。**

2 **［Menu］を選択して、OK ボタンを押します。**

3 **［プリンターのお手入れ］を選択します。**

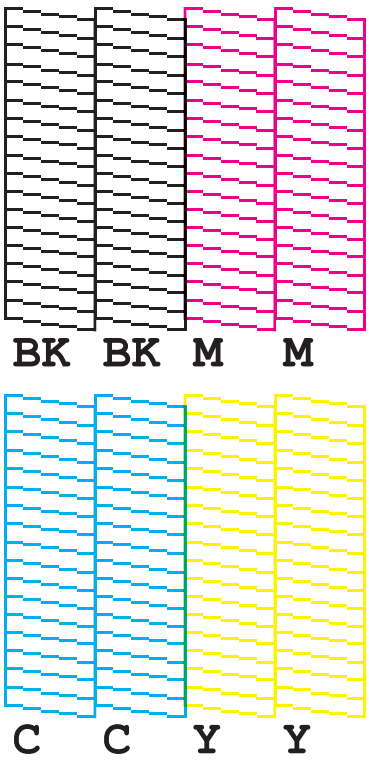
4 **［プリントヘッドのノズルチェック］を選択します。**

5 **［印刷開始］を選択します。**
ノズルチェックパターンが印刷されます。

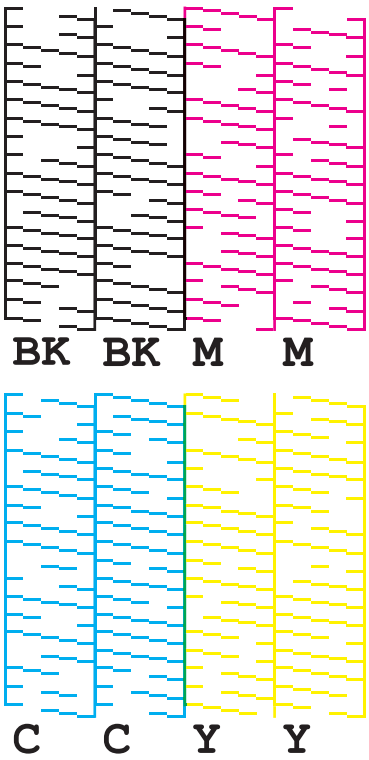
6 **印刷されたノズルチェックパターンを確認します。**
正常な場合は、左下図のようにすべてのラインが印刷されます。
右下図のように印刷されないラインがある場合は、目詰まりしています。ヘッドクリーニングを行ってください。

例：フォトインク仕様のノズルチェックパターン

正常



目詰まり



テスト印刷

プリンタードライバーをインストール済みの場合、テスト印刷をすることができます。
以下の手順でテスト印刷をします。

1 **［デバイスとプリンター］を開きます。**

2 **［EPSON CW-C6020A］を右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。**

プリンターの登録名が［EPSON CW-C6020A］の場合の表示です。

3 **プロパティー画面が表示されます。［テストページの印刷］をクリックします。**



［用紙検出方法］が［ギャップ］の場合、先頭のラベルから印刷できません。ただし、オートカッターモデルは、設定を変更することで先頭のラベルから印刷できます。（254 ページ「先頭のラベルから印刷する（オートカッターモデルのみ）」）

製品の取り扱い

本章では、製品の基本的な取り扱い方法について説明しています。

プリンタードライバー（Windows）

プリンタードライバー（Windows）の操作方法について説明しています。
プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティーを使うとプリンターの状態の確認やメンテナンスもできます。

プリンタードライバーの開き方

プリンタードライバーの設定画面は、以下の手順で表示できます。

方法 1: Windows の設定 > プリンターの管理画面 > [印刷設定]

方法 2: Windows の設定 > プリンターの管理画面 > [プリンターのプロパティ] > [全般] タブの [基本設定]

方法 3: Windows の設定 > プリンターの管理画面 > [プリンターのプロパティ] > [詳細設定] タブの [標準の設定]

方法 4: アプリケーションソフトウェアの印刷画面 > [プリンターのプロパティ]

方法 1 または方法 2 からの設定変更はログオンユーザー固有の設定となります。
方法 3 からの設定変更はそのプリンターを使用する全ユーザー共通の設定となりますが、方法 1 または方法 2 の設定が優先されます。
方法 4 からの設定変更は一時的なものとなります。
初期値として設定したい場合は、方法 1 または方法 2 からプリンタードライバーを表示・設定してください。

Windows の設定からプリンターの管理画面を開く手順は、Windows のバージョンにより異なります。

プリンタードライバーの画面構成

プリンタードライバーには、ヘルプ機能が搭載されています。項目上で右クリックしてヘルプをクリックすると、項目の説明が表示されます。



1	**現在の設定一覧画面**

現在のドライバーの設定状態を表示します。

2	**基本設定タブ**

用紙サイズや形態など、印刷時に必要な基本項目を設定します。

3	**拡張設定タブ**

印刷の向きや部数を設定します。

4	**ドライバーユーティリティータブ**

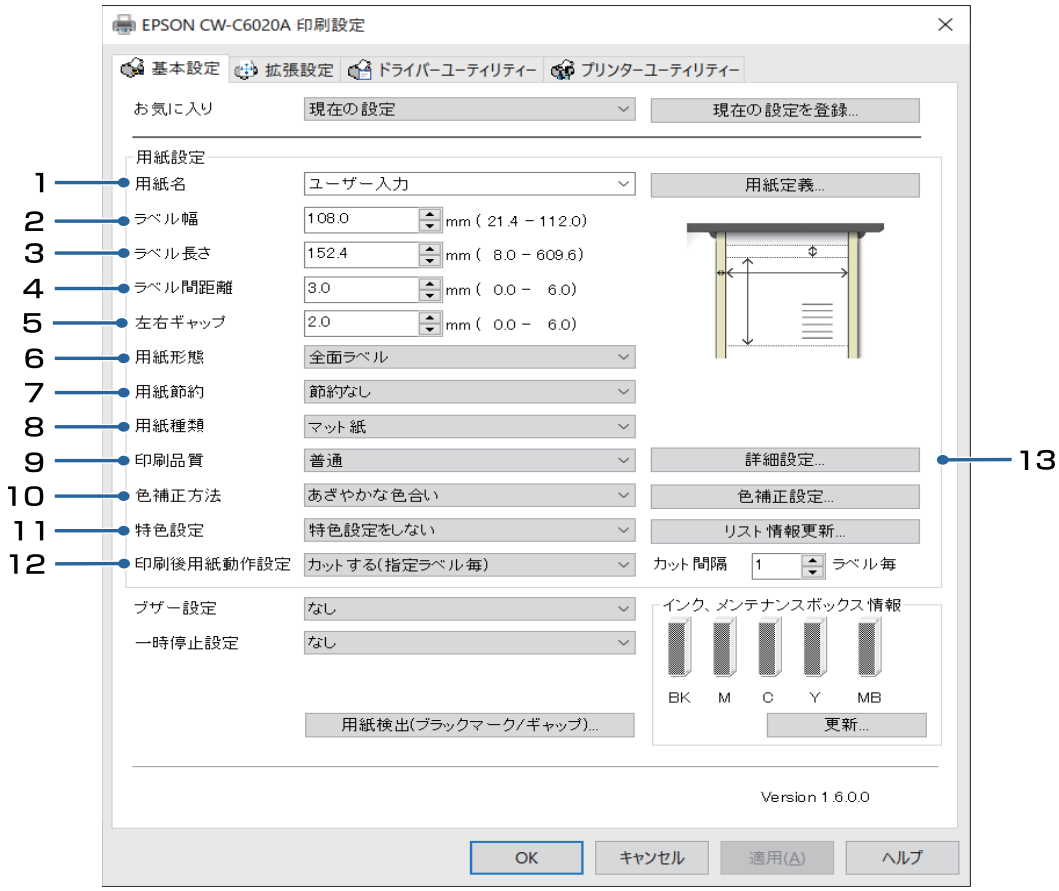
ドライバーの応用的な設定ができます。

5	**プリンターユーティリティータブ**

プリントヘッドのクリーニングや、ノズルチェックなどのメンテナンス機能の実行と、PrinterSettingを起動できます。

用紙設定

プリンタードライバーの用紙の設定項目について説明します。



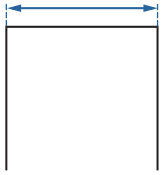
1	**用紙名**

ユーザー定義用紙で作成した設定を選択できます。また、［ユーザー入力］を選択することで、直接用紙設定を変更できます。

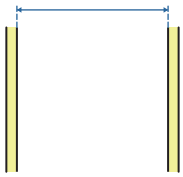
2	ラベル幅

ラベルの幅を入力します。

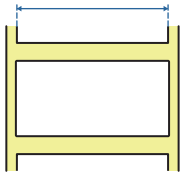
- 連続紙：用紙の幅



- 全面ラベル：台紙を除いたラベル幅



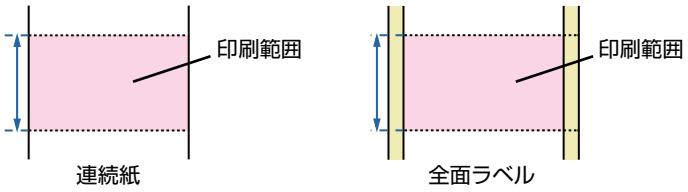
- ダイカットラベル : 台紙を除いたラベル幅



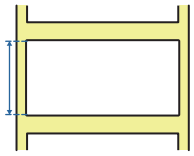
3	ラベル長さ

ラベルの長さを入力します。

- 連続紙、全面ラベル：印刷範囲の長さ（1 ページの長さ）



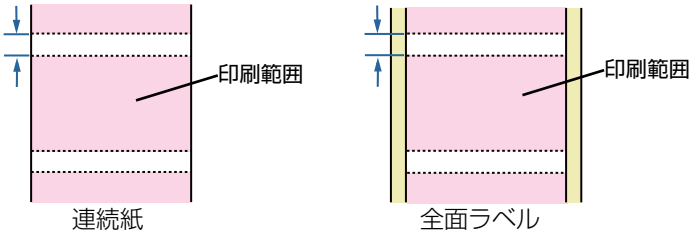
- ダイカットラベル : 台紙を除いたラベルの長さ



- 用紙をカットする間隔が 15.0mm 未満の場合には、紙詰まりが発生する可能性があるため、オートカットできません。15.0mm 未満のラベルをオートカットする場合は、印刷後用紙動作設定で用紙をカットする間隔を 15.0mm 以上にしてください。（81 ページ「印刷後用紙動作設定」）
- [拡張設定] タブの [長尺印刷] にチェックを入れることでラベル長さの最大は 3000.0mm まで指定できます。この [長尺印刷] 機能は、指定されたラベル長さをプリンターが扱える最大ラベル長さ (609mm) 以内に収まるように複数ページに分割し、そのラベル間ギャップ 0mm で印刷することで、609mm を超える長さのラベルを印刷するように処理するドライバー内の機能です。

4	ラベル間距離

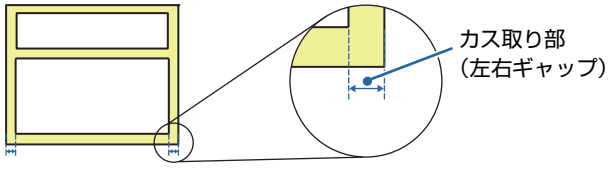
ラベル間の距離を入力します。



連続紙　　全面ラベル

5	左右ギャップ

左ギャップと右ギャップは常に同じです。このため左右ギャップとして 1 つの設定値を入力します。



重要

- 左右ギャップは 2mm 以上に設定することをお勧めします。2mm 未満に設定するとプリンター内にインクが付着し、印刷物が汚れることがあります。
- ラベルの左右カス取り部について
  オートカッターモデル：2 ～ 6mm の範囲で使用可能です。（基本は 2mm）
  ピーラーモデル：2mm のみ使用可能です。
  *2mm より大きい場合、紙ジャムなどの不具合が発生する場合があります。

6	用紙形態

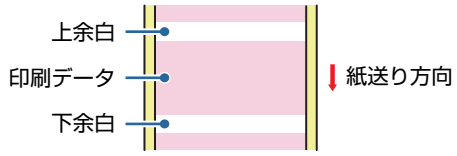
用紙の形態を選択します。（323 ページ「用紙仕様」）

7	用紙節約（連続紙・全面ラベルのみ）

用紙の節約設定を選択します。[用紙節約] とは、1 ページ分の印刷データに含まれる余白を取り除き、無駄な紙送りを抑制する機能です。

重要

[用紙節約] を「下節約」や「上下節約」に設定しても、バーコードフォント置き換えのデータが含まれている場合は、設定は無効になります。



- 節約なし： 印刷開始前と印刷終了後に用紙送りをするため、印刷データの上下部分に余白を作ります。
- 下節約：印刷終了後に用紙送りをしないため、印刷データの下部分に余白を作りません。
- 上下節約： 印刷開始前と印刷終了後に用紙送りをしないため、印刷データの上下部分に余白を作りません。

[印刷後用紙動作設定] でオートカットをする設定にすると、用紙長さは最小でも 15 mm 確保されます。印刷データが 15 mm 未満の場合は、下節約や上下節約の設定をしても余白が残ります。



ラベル長さが可変の印刷をする場合は、ラベル（ページ）サイズを最大長さに設定して [用紙節約] 機能を利用することで印刷データに合わせたラベル長さで印刷できます。

8	用紙種類

用紙の種類を選択します。（323 ページ「用紙仕様」）

9	印刷品質

印刷の品質を選択します。
用紙種類が普通紙の場合
- ドラフト：300×600dpi
- はやい：600×600dpi（初期設定）
- 普通：600×600dpi
- きれい：600×1200dpi

用紙種類が上質紙、マット紙、合成紙の場合
- ドラフト：300×600dpi
- はやい：600×600dpi
- 普通：600×600dpi（初期設定）
- きれい：600×1200dpi

用紙種類が光沢紙、光沢フィルム、高光沢紙の場合
- 普通：600×600dpi
- きれい：600×1200dpi（初期設定）
- 高精細：1200×1200dpi

重要

フォトインク仕様 / マットインク仕様により、使用可能な用紙種類が異なります。詳細は 323 ページ「用紙仕様」を参照してください。

用紙種類を変更すると、印刷品質は自動的に用紙に合った初期設定になります。［詳細設定］を選択すると、より詳細に印刷品質を設定できます。

10	色補正方法

色補正を任意に設定します。色補正について詳しくは（240 ページ「色補正方法」）を参照してください。
- あざやかな色合い：プリンタ内の色補正エンジンで、ラベルの印刷に適したあざやかな色合いに補正します。印刷結果は一般的な LCD モニタの色合いとは異なります。
- ICM：設定されている用紙種類と印刷品質に対応した ICC プロファイルにしたがって、OS 内の色補正エンジンを使って色合いを補正します。適切な ICC プロファイルを使えば、LCD モニタと印刷結果の色合いを合わせることができます。
- 色補正なし：アプリケーションソフト内で色補正を行う場合にこの設定を選択をします。プリンター内では色補正を行いません。

11	特色設定

特色設定リストファイルを選択します。特色設定の使い方は（234 ページ「特色の設定」）を参照してください。

12	印刷後用紙動作設定

オートカッターモデルの場合
- カットする (最終ラベル印刷後)
- カットする (指定ラベル毎)
- カットする (部単位印刷の最終ページ)
- カットしない (カット位置で停止)（初期設定）
- カットしない (剥離位置で停止)
- カットしない (印刷終了位置で停止)

ピーラーモデルの場合
- 手貼り（初期設定）
- 自動貼り
- 巻き取り

重要

- ［カットする（部単位印刷の最終ページ)］は、印刷終了後のオートカット動作中に紙詰まりなどで印刷を中断すると、再印刷ができません。
- [ラベル長さ] に 15.0mm 未満の値を設定した場合の注意事項
  * 紙詰まりが発生する可能性があるため、オートカットできません。
  * [印刷後用紙動作設定] の [カットする] 選択肢は以下の３つとも選択できます。
    - カットする（最終ラベル印刷後）
    - カットする（指定ラベル毎）
    - カットする（部単位印刷の最終ページ）
  * [印刷後用紙動作設定] - [カットする（指定ラベル毎）] を選択し、[拡張設定] タブで [部単位で印刷] にチェックを入れている場合は、[カット間隔] に１部あたりのページ数を指定してください。
    チェックを入れていない場合は、[カット間隔] に部数を指定することを推奨します。
  * [印刷後用紙動作設定] - [カットする（指定ラベル毎）] - [カット間隔] が「１」の場合には、カットできる最低ラベル長さ（15.0mm）以上になるように、ドライバーが自動で [カット間隔] を「2」に変更します。
    またカットできる最低ラベル長さ（15.0mm）未満にならないよう、[カット間隔] には「１」を設定できなくなります。

13 詳細設定

カラー調整やバーコード調整や用紙調整をします。設定項目の詳細については、ヘルプを参照してください。

- カラー調整
  インク打ち込みレベル：インク濃淡を設定します。
  黒比率補正：黒色を構成するインクの割合を調整します。
- バーコード /2 次元シンボルフォント調整
  バー幅補正：内蔵バーコードフォントを使用している場合、バーの幅を調整します。
- 用紙調整
  用紙吸引強度：プラテン吸引力の調整をします。
  ヘッドパス毎の乾燥時間：追加乾燥時間を調整します。



- カラー調整やバー幅補正の設定を変更すると、バーコードの読み取り品質に影響が出ることがありますので注意してください。
- 黒比率補正を上げた場合、印刷直後にはラベル表面のインクが指に付着しやすくなります。取り扱いには十分注意してください。

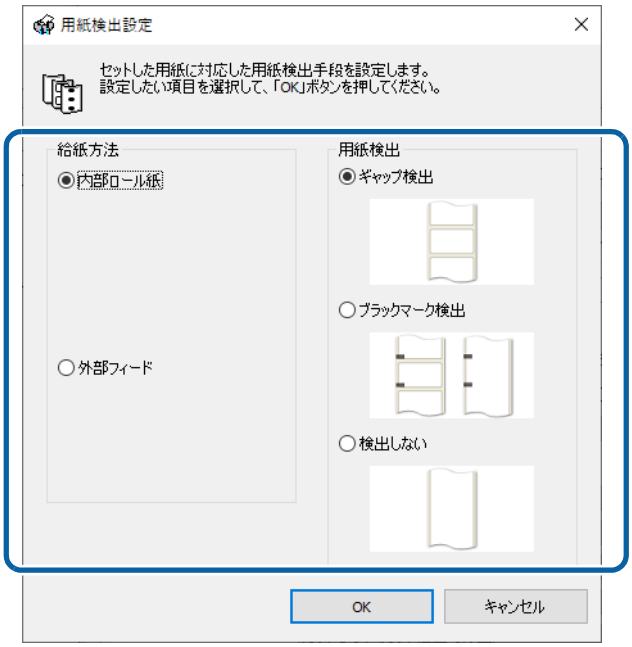
給紙方法･用紙検出の設定

1 プリンタードライバーを表示します。

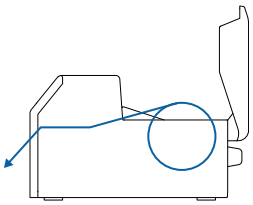
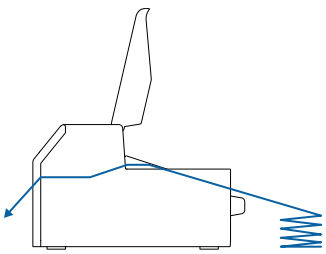
2 ［基本設定］タブの［用紙検出（ブラックマーク / ギャップ）］をクリックします。



3　使用する用紙に合わせて、以下の項目を設定します。



- 給紙方法：用紙をどのように供給するか選択します。

設定項目	説明
内部ロール紙（内部供給） 	ロール紙をプリンター内部のスピンドルへセットし、本体内部から用紙を供給します。
外部フィード（外部供給） 	ロール紙、ファンフォールド紙をプリンター後方へ置き、本体外部から用紙を供給します。

- 用紙検出：使用する検出方法を選択します。

設定項目	説明
ギャップ検出	ラベル間のすき間を基準に、印刷位置を検知します。
ブラックマーク検出	用紙の裏または台紙に印刷された黒いマークを基準に、印刷位置を検知します。
検出しない	ギャップ検出器や、ブラックマーク検出器を使用した用紙検出を行いません。

4 **［OK］をクリックします。**
以上で給紙方法・用紙検出の設定は完了です。

ユーザー定義用紙

よく使う用紙のサイズや形態、種類などを、用紙定義としてプリンタードライバーに登録しておくことができます。あらかじめ登録しておくと、アプリケーションから印刷するときにドライバーの用紙設定が不要となるため便利です。

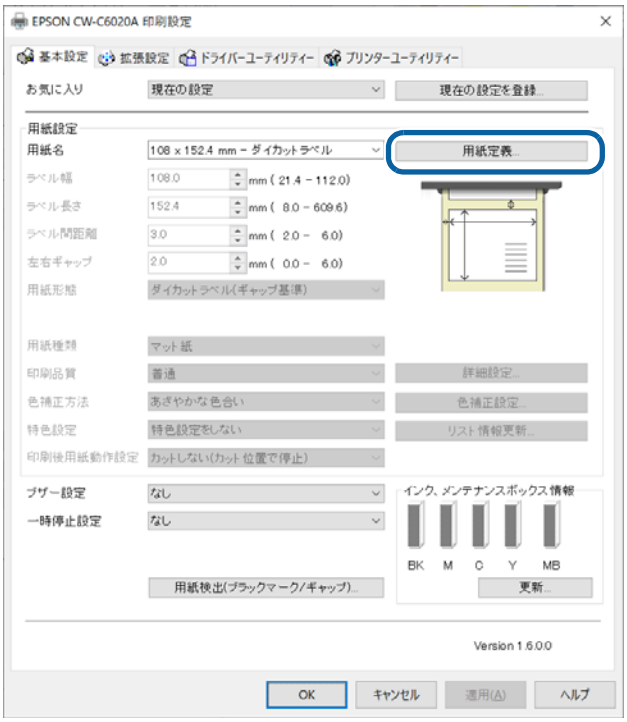
> 用紙定義をせずに、そのつど用紙サイズなどを設定したい場合は、［基本設定］タブの用紙名プルダウンからユーザー入力を選択します。［基本設定］タブ内の各種設定項目が有効になり、用紙サイズなどの設定ができるようになります。

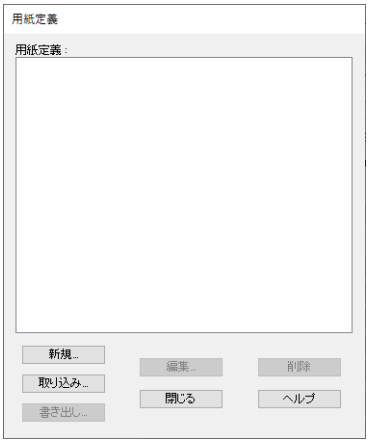
新規登録

以下の手順で、用紙定義を新規に登録します。

1 **プリンタードライバーを表示します。**

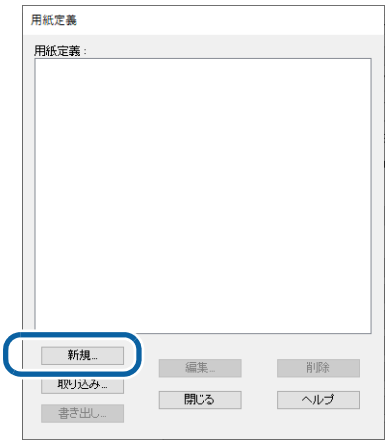
2 **［基本設定］タブの［用紙定義］ボタンをクリックします。**
用紙定義画面が表示されます。





3 ［新規］ボタンをクリックします。

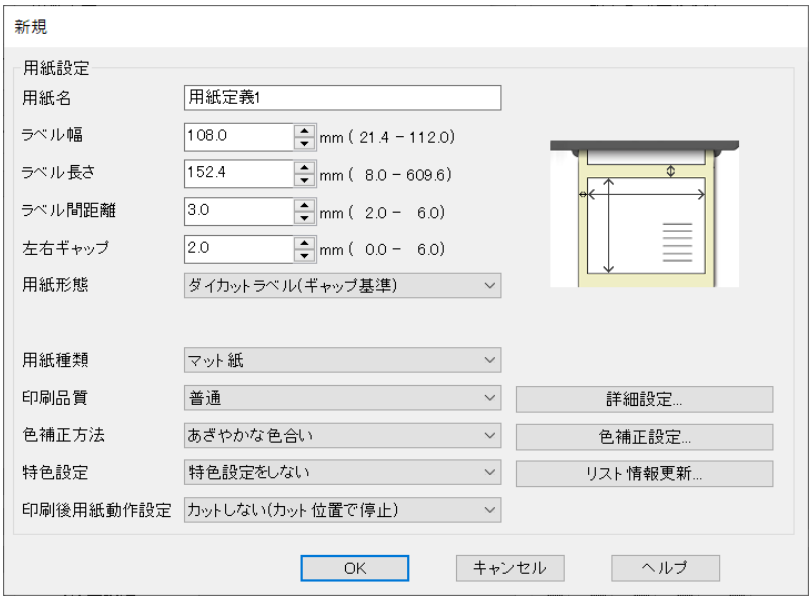
新規画面が表示されます。





4 使用する用紙に合わせて設定します。

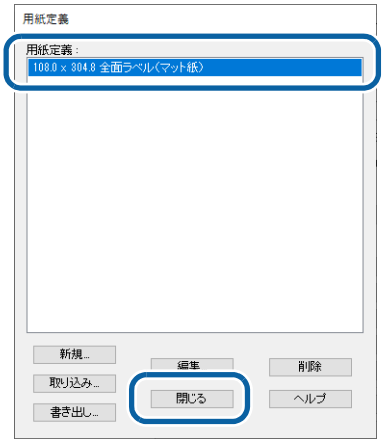
［用紙名］には用紙定義の名称を入力してください。アプリケーションから用紙サイズを選択するときに表示される名称です。その他の項目の説明については 76 ページ「用紙設定」をご覧ください。



5 ［OK］をクリックします。



6 ［用紙定義］画面に登録した用紙名が表示されていることを確認して、［閉じる］をクリックします。



7 ［基本設定］タブの［用紙名］で、登録した用紙名が選択できることを確認します。



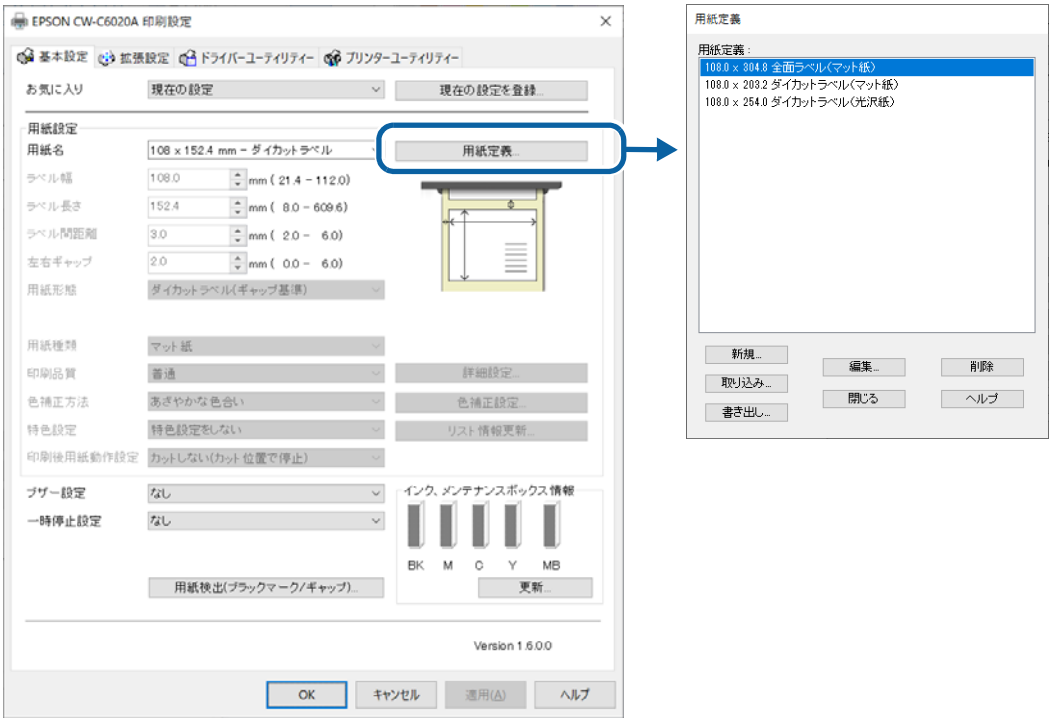
8 ［OK ］ボタンをクリックして、ドライバーを閉じます。

以上で用紙の登録（用紙定義）は終了です。

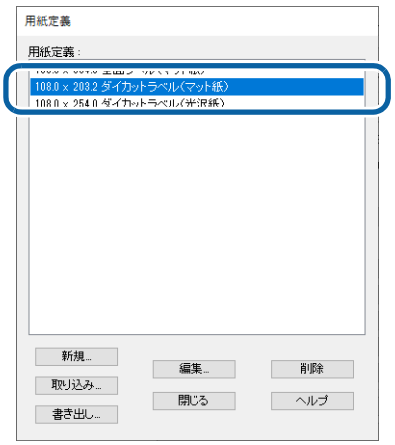
編集と削除

1 プリンタードライバーを表示します。

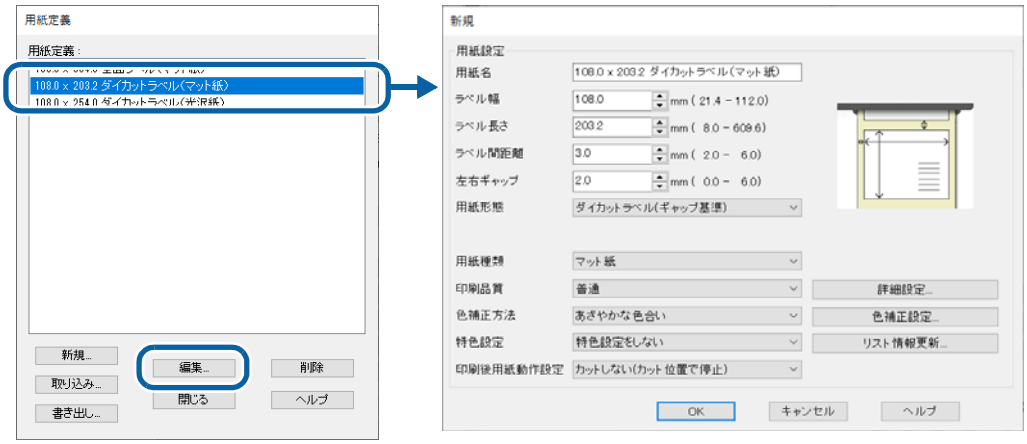
2 ［基本設定］タブの［用紙定義］ボタンをクリックします。
用紙定義画面が表示されます。



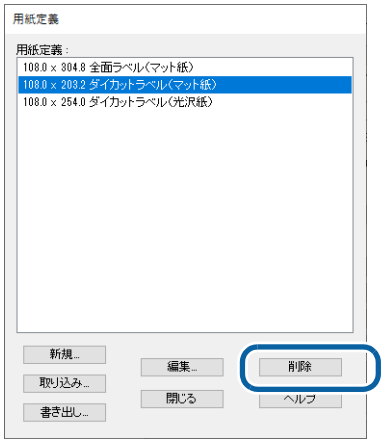
3 編集・削除したい定義をクリックして選択します。



4 定義内容を変更したい場合は、[編集] ボタンをクリックします。[編集] 画面が表示され、定義の変更ができます。



定義を削除したい場合は、[削除] ボタンをクリックします。画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると定義が削除されます。



以上で、用紙定義の編集・削除は終了です。

長尺印刷

本製品は長尺印刷機能を使用できます。長尺印刷は、指定されたラベル長さをプリンターが扱える最大ラベル長さ（609mm）以内に収まるように複数ページに分割し、ページ間ギャップ 0mm で印刷することで、609mm を超える長さのラベルを印刷できます。

- 共有接続モードを有効にして、32bit 版 Windows のクライアント PC から長尺印刷を行う場合、印刷の途中で終了する可能性があります。（131 ページ「プリンタードライバーを共有する」）
- 本機能は、指定されたラベル長さをプリンターが扱える最大ラベル長さ（609 mm）以内に収まるように複数ページに分割してページ間ギャップ 0 mm で印刷しているため、ページのつなぎ目の画質が低下し、つなぎ目が目立つ場合があります。

長尺印刷の設定

1　[基本設定] タブの [用紙形態] で以下の用紙を選択します。

- 全面ラベル
- 連続紙



2 [拡張設定] タブの [長尺印刷] にチェックを入れます。



3 [基本設定]タブの[ラベル長さ]に最大で3000.0mmまで入力できることを確認します。

4 印刷するラベルの長さを [ラベル長さ] に入力します。

バーコード印刷

本製品はバーコードフォントを内蔵しています。アプリケーション側でバーコードを生成しなくても、バーコードを印刷できます。

バーコードフォントの設定

バーコードの印刷設定は、［ドライバーユーティリティー］タブの［バーコード / 2 次元シンボル設定］で設定します。



1　以下の設定を行います。

- 表示：　［バーコード］を選択します。
- フォント名：　任意の文字列を入力します。これがバーコードフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。
- タイプ：　バーコードの種類を選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。以下の種類から選択できます。

UPC-A	UPC-E	JAN13(EAN)
JAN8(EAN)	Code39	ITF
Codabar(NW7)	Code93	Code128
GS1-128	GS1 DataBar Omnidirectional	GS1 DataBar Truncated
GS1 DataBar Limited	GS1 DataBar Expanded	

- 回転指定：　バーコードを回転させて印刷するときに選択します。

- Hex 入力モード：　バーコードにするデータを Hex 入力モードで指定するときは、チェックします。
- モジュール：　バーコードの細いエレメントの幅をドットで設定します。
- バー高さ：　エレメントの高さをドットで設定します。指定したドットは、印刷されたときの実寸法で表示されます。
- HRI 文字の位置：　HRI 文字の印刷位置を指定します。印刷しないときは、［印刷しない］を選択します。

タイプによっては、印刷位置の指定が限定されるものがあります。

- コンポジット種類：　コンポジットの種類を設定します。
- エレメント比：　太いエレメント幅を、細いエレメント幅に対する比率で設定します。
  推奨する最小エレメント比は 2.5 です。
- チェックディジッド：数列の誤りを検出したり捏造を防止したりするために付与させる数値や記号です。
- シンボル全体幅が最小となるように自動変換する：
  CODE128 の場合に選択できます。与えられたデータ文字列を表現するために必要なシンボルキャラクター数を最小限に抑える機能です。
- 開始文字：　開始文字を設定します。
- 終了文字：　終了文字を設定します。

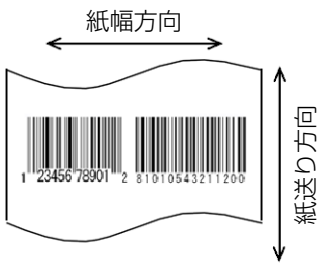
2　［追加］をクリックします。

設定したバーコードフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。

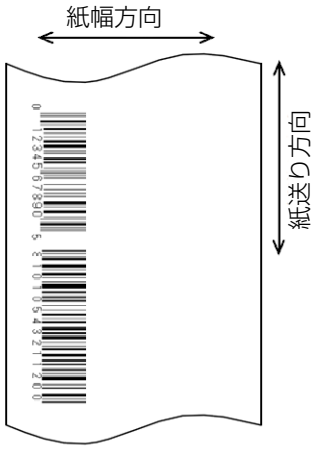
- バーコードフォントは、30 個まで登録できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから［保存］をクリックすると、設定したバーコードフォントの設定を上書き保存できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、［削除］をクリックすると、設定したバーコードフォントを削除できます。

モジュールの推奨値

バーコードの印刷方向は以下のとおりです。また、モジュールの推奨値は、用紙種類、バーコードの種類および印刷方向によって異なります。



フェンスバーコード



ラダーバーコード

注意

回転方向を［標準］と［270° 回転］に設定していると、バーコードは印字されません。

❏ 300 dpi

バーコード	印刷方向	最小モジュールサイズ [300 dpi 単位]					
		ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上				
		普通紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
Code39	フェンス	4	3	3	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	3	3
Codabar	フェンス	4	3	3	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	3	3
Code93	フェンス	4	3	3	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	3	3
Code128	フェンス	4	3	3	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	3	3
GS1-128	フェンス	4	3	3	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	3	3
ITF	フェンス	4	3	3	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	3	3
GS1 DataBar Omnidirectional	フェンス	4	3	3	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	3	3

バーコード	印刷方向	最小モジュールサイズ [300 dpi 単位]					
		ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上				
		普通紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
GS1 DataBar Truncated	フェンス	4	3	3	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	3	3
GS1 DataBar Limited	フェンス	4	3	3	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	3	3
GS1 DataBar Expanded	フェンス	4	3	3	3	3	3
	ラダー	5	3	3	3	3	3
UPC-A	フェンス	4	3	3	3	3	3
UPC-E	ラダー	5	3	3	3	3	3
JAN13	フェンス	4	3	3	3	3	3
JAN8	ラダー	5	3	3	3	3	3
EAN13	フェンス	4	3	3	3	3	3
EAN8	ラダー	5	3	3	3	3	3

❏ 600 dpi

バーコード	印刷方向	最小モジュールサイズ [600 dpi 単位]					
		ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上				
		普通紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
Code39	フェンス	7	5	5	5	5	5
	ラダー	10	6	5	6	6	6
Codabar	フェンス	7	5	5	5	5	5
	ラダー	10	6	5	6	6	6
Code93	フェンス	7	5	5	5	5	5
	ラダー	10	6	5	6	6	6
Code128	フェンス	7	5	5	5	5	5
	ラダー	10	6	5	6	6	6
GS1-128	フェンス	7	5	5	5	5	5
	ラダー	10	6	5	6	6	6

バーコード	印刷方向	最小モジュールサイズ [600 dpi 単位]					
		ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上				
		普通紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
ITF	フェンス	7	6	6	6	6	6
	ラダー	10	6	6	6	6	6
GS1 DataBar Omnidirectional	フェンス	7	6	6	6	6	6
	ラダー	10	6	6	6	6	6
GS1 DataBar Truncated	フェンス	7	6	6	6	6	6
	ラダー	10	6	6	6	6	6
GS1 DataBar Limited	フェンス	7	6	6	6	6	6
	ラダー	10	6	6	6	6	6
GS1 DataBar Expanded	フェンス	7	6	6	6	6	6
	ラダー	10	6	6	6	6	6
UPC-A UPC-E	フェンス	7	7	7	7	7	7
	ラダー	10	7	7	7	7	7
JAN13 JAN8	フェンス	7	7	7	7	7	7
	ラダー	10	7	7	7	7	7
EAN13 EAN8	フェンス	7	7	7	7	7	7
	ラダー	10	7	7	7	7	7

- バーコードの認識率は用紙の種類、バーコードリーダーの性能などにより変動します。またドット抜け、インク滴の曲がりによって、バーコードランクが低下し、バーコードリーダーで読めない場合がります。このため、HRI 文字を印刷するなど工夫することを推奨します。
- インクの特性上、用紙にインクが染み込み印刷したバーコードのバー部分が太くなることがあります。バーコードのバー部分のデータを 2 ピクセル分減らし、空白部分を 2 ピクセル分増やす補正 (バー幅補正) をしてください。
- 輸送時や設置時にプリンターに振動や衝撃が加わると、印刷できるバーコードランクが低下する可能性があります。この場合、「双方向印刷のずれの調整」を実施することでバーコードランクが向上することがあります。(202 ページ「双方向印刷のずれの調整」)

バーコードデータの指定方法

バーコードデータは以下を参照して指定してください。
コンポジットシンボルについて：
CC-A と CC-B の切り替えは自動的に行われますが、CC-C はお客様が明示的に選択する必要があります。
（GS1-128 の場合、コンポジットコンポーネントの種類は「なし」「CC-A / CC-B」「CC-C」から選択できます。）

コンポジットコンポーネントの種類	エンコード許容桁数
CC-A	1 ～ 56 桁
CC-B	1 ～ 338 桁
CC-C	1 ～ 2361 桁

HRI 文字について：
HRI 文字列がバーコードの全体幅よりも大きくなった場合、HRI 文字列の全体幅がバーコードの幅になります。

UPC-A

- データは 11 桁で指定してください。チェックディジットは自動的に付加されます。

UPC-E

- データは 10 桁で指定してください。5 桁がメーカーコードで 5 桁がアイテムコードです。

JAN13(EAN)

- データは 12 桁で指定してください。チェックディジットは自動的に付加されます。

JAN8(EAN)

- データは 7 桁で指定してください。チェックディジットは自動的に付加されます。

Code39

- スタート・ストップコード（'*'）を両方または片方指定しなかった場合、自動的に付加されます。

ITF

- 奇数桁のデータを指定した場合、自動的に先頭に 0 を付加されます。

Codabar(NW7)

- スタートコードとストップコードはデータに含めないでください。プリンタードライバーの画面で指定したスタートコードとストップコードが付加されます。

Code93

- スタートコード、２つのチェックディジット、ストップコードは自動的に付加されます。
- HRI 文字の先頭には、スタートコードを示す文字 (□) を印字されます。
- HRI 文字の末尾には、ストップコードを示す文字 (□) を印字されます。
- 制御キャラクター(00h ～ 1Fh、7Fh) の HRI 文字は、■とアルファベット 1 文字を組み合わせて印字されます。

制御キャラクター		HRI 文字	制御キャラクター		HRI 文字	制御キャラクター		HRI 文字
ASCII	16 進数		ASCII	16 進数		ASCII	16 進数	
NULL	00	■ U	VT	0B	■ K	SYN	16	■ V
SOH	01	■ A	FF	0C	■ L	ETB	17	■ W
STX	02	■ B	CR	0D	■ M	CAN	18	■ X
ETX	03	■ C	SO	0E	■ N	EM	19	■ Y
EOT	04	■ D	SI	0F	■ O	SUB	1A	■ Z
ENQ	05	■ E	DLE	10	■ P	ESC	1B	■ A
ACK	06	■ F	DC1	11	■ Q	FS	1C	■ B
BEL	07	■ G	DC2	12	■ R	GS	1D	■ C
BS	08	■ H	DC3	13	■ S	RS	1E	■ D
HT	09	■ I	DC4	14	■ T	US	1F	■ E
LF	0A	■ J	NAK	15	■ U	DEL	7F	■ F

Code128

- 自動変換をOFFにした場合のみ、先頭の２桁にスタートコードを入れます。自動変換をONにした場合には、自動的にコード選択キャラクターを選択するため、アプリケーションはコード選択キャラクターを指定する必要はありません。
  - コード選択キャラクターCODE A を選択した状態でさらに CODE A を選択する {A を指定するとエラーになります。
  - コード選択キャラクターCODE B を選択した状態でさらに CODE B を選択する {B を指定するとエラーになります。
  - コード選択キャラクター CODE C を選択した状態で、下記のどれかを指定するとエラーになります。
    {S {C {2 {3 {4 {{
- 特殊キャラクターは、'{' と直後の 1 文字を組み合わせて表現されます。

制御キャラクター	ASCII	HRI 文字
SHIFT	{S	印字しない
CODE A	{A	印字しない
CODE B	{B	印字しない
CODE C	{C	印字しない
FNC1	{1	印字しない
FNC2	{2	印字しない
FNC3	{3	印字しない
FNC4	{4	印字しない
‘{ ‘	{{	{ を印字

GS1-128

- アプリケーション識別子の区切りを () で区別します。（HRI 文字として印字されますが、エンコードはされません。）
- スタートコード（CODE A、CODE B、CODE C）、ストップコードは自動的に付加されます。
- スタートコードの次のシンボルキャラクター FNC1 は自動的に付加されます。
- '*' を指定すると、読み飛ばします。
- アプリケーション識別子は、連続した 2 桁の数値を指定する必要があります。正しく指定されていない場合、エラーになります。
- 特殊キャラクターは '{' と直後の 1 文字を組み合わせて表現されます。
- データが '{' で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクター	ASCII	HRI 文字
制御文字（00h ～ 1Fh および 7Fh）		スペースを印字
FNC1	{1	スペースを印字
'{'	{{	{ を印字
'('	{(	(を印字
')'	{)	) を印字
'*'	{*	* を印字
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
読み飛ばし文字	*	印字しない

GS1 DataBar Omnidirectional / GS1 DataBar Truncated / GS1 DataBar Limited

- 先頭のアプリケーション識別子 01 はデータに含めません。
- HRI 文字印刷時に、先頭のアプリケーション識別子 01 は、梱包識別コードの前に "(01)" と印字されます。
- チェックディジットをバーコードデータに付加する必要はありません。
- HRI 文字印刷時に、チェックディジットは商品コードの後に印字されます。
- GS1 DataBar Limited の場合、先頭 1 桁は '0' か '1' を指定してください。

GS1 DataBar Expanded

- アプリケーション識別子の区切りを () で区別します。（HRI 文字として印字されますが、エンコードはされません。）
- データに必ず、すべてのアプリケーション識別子を含めてください。
- 指定されたデータから、アプリケーション識別子、左カッコ、右カッコ、'*' を削除した最初データが 01 の場合、01 の次から数えて 14 桁目をチェックディジットとしてチェックされます。正しくない場合、エラーになります。
- 01 の次からのデータが 14 桁未満の場合、チェックディジットをチェックされません。
（GS1-128 とは異なり、文字 '*' によるチェックディジットの自動計算と付加はされません。'*' を指定した場合、'*' は無視され、以降のデータは 1 桁ずつシフトされます。）
- 特殊キャラクターは以下の形式で指定してください。

制御キャラクター	ASCII	HRI 文字
FNC1	{1	印字しない
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
'*'	{*	エラー
読み飛ばし文字	*	印字しない
'{'	{{	{ を印字

印刷方法

アプリケーション上で、印刷データに設定した [バーコードフォント]、[指定ポイント]、[言語] を指定し、印刷します。



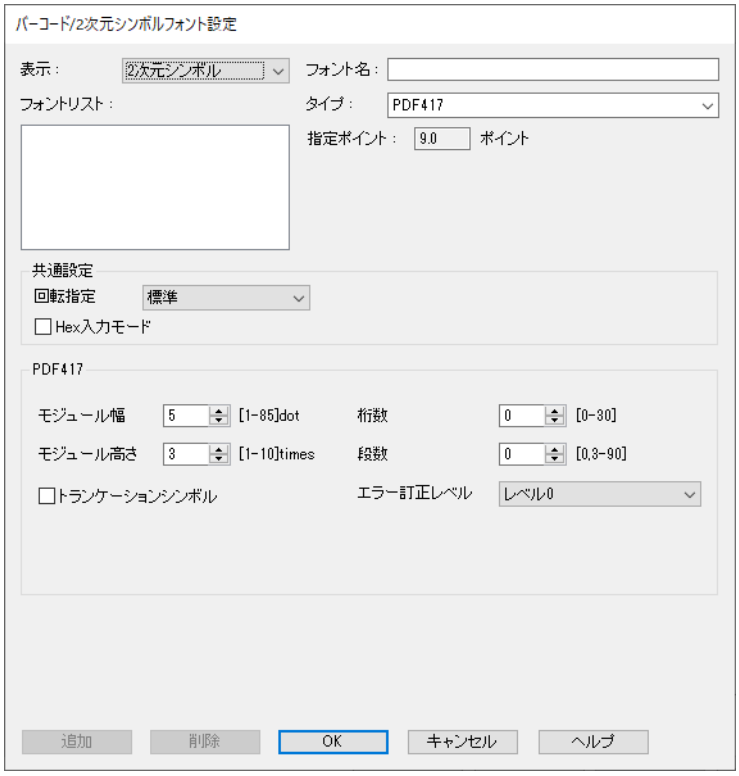
- バーコードのフォントサイズは、［指定ポイント］の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、バーコードは印刷されません。
- .NET アプリケーションなど、一部のアプリケーションではプリンタードライバーが登録したバーコードフォントを表示 / 選択できない場合があります。その場合は、「フォントの置き換え」機能を用いて、True Type フォントをバーコードフォントへ置き換えることでバーコード印刷ができます。111 ページ「.NET 環境でバーコード /2 次元シンボル印刷」を参照してください。

２次元シンボル印刷

プリンタードライバーは、２次元シンボルフォントを内蔵しています。アプリケーション側で２次元シンボルを生成しなくても、２次元シンボルを印刷できます。

２次元シンボルフォントの設定

２次元シンボルの印刷設定は、［ドライバーユーティリティー］タブの［バーコード / ２次元シンボルフォント設定］で行います。



1　以下の設定を行います。

- 表示：［2 次元シンボル］を選択します。
- フォント名：任意の文字列を入力します。これが２次元シンボルフォントのフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。
- タイプ：2 次元シンボルのタイプを選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。
- 回転指定：2 次元シンボルを回転させて印刷するときに選択します。
- Hex 入力モード：2 次元シンボルにするデータを Hex 入力モードで指定するときは、チェックします。

2 選択した［タイプ］により、設定をします。

- PDF417 の設定
  - ＊モジュール幅：　PDF417 のモジュール幅を設定します。
    推奨値は、106 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
  - ＊モジュール高さ：PDF417 のモジュール高さを、モジュール幅に対する比率で設定します。
    推奨値は、106 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
  - ＊桁数：　PDF417 の桁数を入力します。
  - ＊段数：　PDF417 の段数を入力します。
  - ＊トランケーションシンボル：
    PDF417 のストップコードを省いたシンボルを作成するときは、チェックします。
  - ＊エラー訂正レベル：
    PDF417 のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。
- MicroPDF417 の設定
  - ＊モジュール幅：　MicroPDF417 のモジュール幅を設定します。
    推奨値は、106 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
  - ＊モジュール高さ：MicroPDF417 のモジュール高さを、モジュール幅に対する比率で設定します。
    推奨値は、106 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
  - ＊桁数：　MicroPDF417 の桁数を入力します。
  - ＊段数：　MicroPDF417 の段数を入力します。
- QRCode の設定
  - ＊モデル：　QRCode のモデルを選択します。
  - ＊モジュール：　QRCode のセル (モジュール) の設定をします。
    推奨値は、106 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
  - ＊エラー訂正レベル：
    QRCode のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、レベル L、M、Q、H の順に復元率が高くなります。
  - ＊文字モード：　QRCode に符号化する文字列のモードを指定します。
- MicroQRCode の設定
  - ＊バージョン：　MicroQRCode のバージョンを指定します。
  - ＊モジュール：　MicroQRCode のセル (モジュール) の設定をします。
    推奨値は、106 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
  - ＊エラー訂正レベル：
    MicroQRCode のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、レベル L、M の順に復元率が高くなります。
- MaxiCode の設定
  - ＊モード：　MaxiCode のモードを選択します。
- GS1 DataBar の設定
  - ＊モジュール：　GS1 DataBar のモジュール幅を設定します。
    推奨値は、106 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
  - ＊キャラクター数：GS1 DataBar の最大幅を設定します。
    2 次元シンボルが、GS1 DataBar Expanded Stacked 選択時に設定します。

• AztecCode の設定
  * タイプ：　AztecCode のタイプを選択します。
  * セルのサイズ：　AztecCode のセル (モジュール) のサイズを設定します。
    推奨値は、106 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
  * レイヤーの数：　AztecCode のレイヤー数を指定します。
  * エラー訂正領域：AztecCode のエラー訂正領域を以下のどちらかで指定します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。
    [自動]：デフォルト値は 23%+3 コードワードです。
    [パーセンテージで指定する]：エラー訂正領域を入力ボックスに入力したパーセンテージで指定します。

• DataMatrix の設定
  * シンボルの形：　DataMatrix のシンボルの形を選択します。
  * エラー訂正レベル：
    DataMatrix のエラー訂正レベルを選択します。
  * セルのサイズ：　DataMatrix のセル (モジュール) のサイズを設定します。
    推奨値は、106 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
  * 縦方向のセルの数：
    DataMatrix の縦方向のセルの数を指定します。
    DataMatrix のシンボルの形を［長方形］選択時に設定します。
  * 横方向のセルの数：
    DataMatrix の横方向のセルの数を指定します。
    DataMatrix のシンボルの形を［長方形］選択時に設定します。
    [最小化する]：自動的に最小のセルの数に最適化します。
    [サイズを指定する]：選択したサイズに設定します。

3　[追加] をクリックします。

設定した 2 次元シンボルフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。



- 2 次元シンボルフォントは、30 個まで登録できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから［保存］をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントの設定を上書き保存できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、［削除］をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントを削除できます。

モジュールの推奨値

モジュールの推奨値は、用紙種類、2 次元シンボルの種類および印刷方向によって異なります。

> **⚠ 注意**
>
> - ドライバーの［拡張設定］タブの［印刷方向］で［横］を選択しても、QRCode、MicroQRCode、MaxiCode は回転しません。
> - ドライバーの［拡張設定］タブの［180 度回転］を選択しても、QRCode、MicroQRCode、MaxiCode は回転しません。また、回転方向を［標準］と［270° 回転］に設定していると 2 次元シンボルは印刷されません。

スタック型 2 次元シンボル

❏ 300dpi

2 次元シンボル	印刷方向	最小モジュールサイズ [300 dpi 単位]					
		ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上				
		普通紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
PDF417	-	5	3	3	3	3	3
Micro PDF	-	5	3	3	3	3	3
GS1 DataBar Stacked	-	5	3	3	3	3	3
GS1 DataBar Stacked Omnidirectional	-	5	3	3	3	3	3
GS1 DataBar Expanded Stacked	-	5	3	3	3	3	3

❏ 600dpi

2 次元シンボル	印刷方向	最小モジュールサイズ [600 dpi 単位]					
		ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上				
		普通紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
PDF417	-	10	5	5	5	5	5
Micro PDF	-	10	5	5	5	5	5
GS1 DataBar Stacked	-	10	5	5	5	5	5
GS1 DataBar Stacked Omnidirectional	-	10	5	5	5	5	5

2 次元シンボル	印刷方向	最小モジュールサイズ [600 dpi 単位]					
		ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上				
		普通紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
GS1 DataBar Expanded Stacked	-	10	5	5	5	5	5



- 輸送時や設置時にプリンターに振動や衝撃が加わると、印刷できるバーコードランクが低下する可能性があります。この場合、「双方向印刷のずれの調整」を実施することでバーコードランクが向上することがあります。（202 ページ「双方向印刷のずれの調整」）

マトリクス型２次元シンボル

❏ 300dpi

２次元シンボル	印刷方向	最小モジュールサイズ [300 dpi 単位]					
		ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上				
		普通紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
QR Code	-	7	4	5	5	5	5
Micro QR	-	7	5	6	5	5	5
Aztec	-	7	4	4	4	4	4
DataMatrix	-	7	3	4	3	3	3
MaxiCode	-	21	21	21	21	21	21

❏ 600dpi

２次元シンボル	印刷方向	最小モジュールサイズ [600 dpi 単位]					
		ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上				
		普通紙	マット紙	合成紙	光沢紙	光沢フィルム	高光沢紙
QR Code	-	13	9	10	9	9	9
Micro QR	-	13	11	12	11	11	11
Aztec	-	13	8	8	8	8	8
DataMatrix	-	13	7	8	7	7	7
MaxiCode	-	21	21	21	21	21	21



- 輸送時や設置時にプリンターに振動や衝撃が加わると、印刷できるバーコードランクが低下する可能性があります。この場合、「双方向印刷のずれの調整」を実施することでバーコードランクが向上することがあります。（202 ページ「双方向印刷のずれの調整」）

２次元シンボルデータの指定方法

２次元シンボルデータは以下を参照して指定してください。

PDF417/MicroPDF417

- 桁数と段数が 0 の場合、自動計算されます。
- 0 以外を指定する場合、桁数と段数の積が 928 以下になるように指定してください。

QRCode

- データのサイズによって、収まるバージョンに自動的に変更されます。

Micro QRCode

- サイズが自動的に決定されます。

MaxiCode

- 特殊キャラクターは以下の形式で指定してください。

制御キャラクター	16 進数表記
SHIFT	0x7B,0x53
CODE B	0x7B,0x42
CODE C	0x7B,0x43
FNC1	0x7B,0x31
FNC2	0x7B,0x32
FNC3	0x7B,0x33
FNC4	0x7B,0x34

DataMatrix

- データが '{' で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクター	ASCII
FNC1	{1
'{'	{{

GS1 DataBar Stacked / GS1 DataBar Stacked Omnidirectional

- データの先頭にアプリケーション識別子 01 を含めないでください。
- データにチェックディジットを付加する必要はありません。
- コンポジットシンボル付きの２次元シンボル印刷をサポートしています。コンポジットシンボル付きの２次元シンボルを印刷する場合には、コンポジットシンボルに指定するデータとバーコードに指定するデータは、「\¦」または「¦\」で区切ってください。また、データは、コンポジットシンボル、２次元シンボルの順に指定してください。

GS1 DataBar Expanded Stacked

- GS1 DataBar エクスバンデッドを多段シンボルにしたものです。データの指定方法は GS1 DataBar エクスバンデッドと同じです。(詳細は 101 ページ「GS1 DataBar Expanded」を参照)
- コンポジットシンボル付きの２次元シンボル印刷をサポートしています。コンポジットシンボル付きの２次元シンボルを印刷する場合には、コンポジットシンボルに指定するデータとバーコードに指定するデータは、「\¦」または「¦\」で区切ってください。また、データは、コンポジットシンボル、２次元シンボルの順に指定してください。

AztecCode

- フルレンジモードとコンパクトモードをサポートしています。

印刷方法

アプリケーション上で、印刷データに設定した [2 次元シンボルフォント]、[指定ポイント]、[言語] を指定し、印刷します。



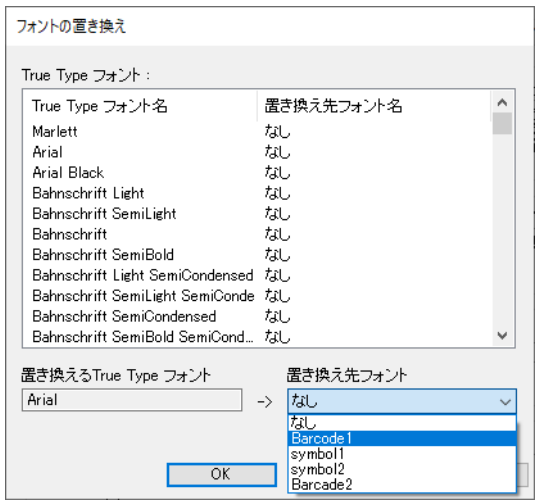
- ２次元シンボルのフォントサイズは、[指定ポイント] の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、２次元シンボルは印刷されません。
- NET アプリケーションなど、一部のアプリケーションではプリンタードライバーが登録した２次元シンボルフォントが表示 / 選択できない場合があります。その場合は、「フォントの置き換え」機能を用いて、True Type フォントを２次元シンボルフォントへ置き換えることでバーコード印刷ができます。111 ページ「.NET 環境でバーコード /2 次元シンボル印刷」を参照してください。

.NET 環境でバーコード /2 次元シンボル印刷

.NET Framework は、True Type フォントと Open Type フォントだけをサポートしているため、アプリケーションから、プリンタードライバーに登録されたバーコード /2 次元シンボルフォントを印刷できません。このため、プリンタードライバーのフォント置き換え機能を使って、True Type フォントをバーコード /2 次元シンボルフォントに置き換えます。これにより .NET Framework 環境のアプリケーションからでも、バーコード /2 次元シンボルフォントを印刷できます。
アプリケーションの印刷データは True Type フォント名ですが、印刷するとバーコード /2 次元シンボルになります。

フォントの置き換え

フォントの置き換えは、［ドライバーユーティリティー］タブの［フォントの置き換え］で設定します。



1　以下の設定を行います。

•置き換える True Type フォント
　＊置き換え元の［True Type フォント］を選択します。
•置き換え先フォント
　＊置き換える先のバーコード /2 次元シンボルを選択します。

2　［OK］をクリックします。
True Type フォントが、バーコード /2 次元シンボルに置き換えられます。

バーコード /2 次元シンボルの印刷

印刷データに、バーコード /2 次元シンボルフォントに置き換えた True Type フォント、指定されたポイント数 、言語を指定します。



- バーコード /2 次元シンボルのポイント数は決められています。
  ［ドライバーユーティリティー］-［バーコード /2 次元シンボル設定］で確認してください。それ以外の値を指定すると、バーコード /2 次元シンボルは印刷しません。
- 置き換え元の True Type フォントは、バーコード /2 次元シンボルの指定以外は使用できません。このフォントで他の文字を指定しても印刷しません。そのため、置き換えフォントには印刷に使用しないフォントを選択してください。

お気に入り

「お気に入り」とは、プリンタードライバーの印刷設定をひとまとめにして管理できる機能です。

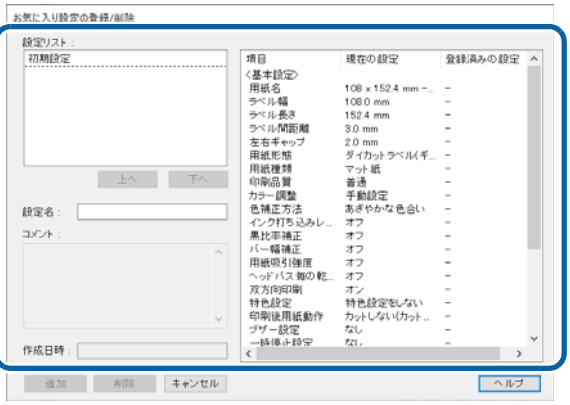
> 本製品の操作パネルから登録できる［お気に入り］とは別の機能で、互換性はありません。

印刷設定は、［基本設定］タブと［拡張設定］タブの内容です。用紙の種類、用紙レイアウト (ユーザー定義用紙を含む) などがあります。

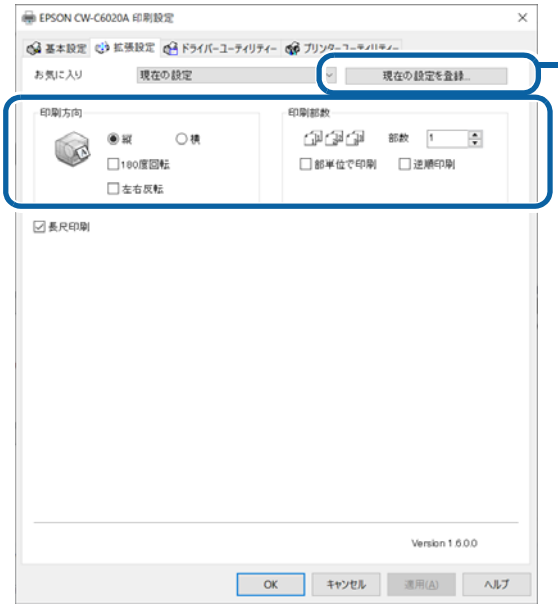
［基本設定］タブ



お気に入り



［拡張設定］タブ



特長

- 「お気に入り」には、いくつもの印刷設定を登録できます。
  たとえば帳票ごとに印刷設定を「お気に入り」登録すると、帳票を変更した場合、「お気に入り」の変更をするだけでプリンタードライバーの印刷設定が完了します。用紙の変更に伴う様々な設定を正しく設定できます。
  （帳票を変更した場合、プリンターの用紙検出設定を変更する必要がある場合があります。）

印刷設定を「お気に入り」に登録

1 **印刷する用紙などに合わせてプリンタードライバーを設定します。**

［基本設定］タブと［拡張設定］タブを設定します。ユーザー定義した用紙を設定する場合、［基本設定］の［用紙名］から選択します。



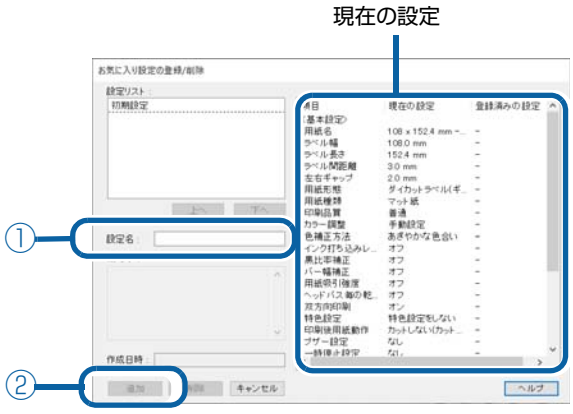


2 **［現在の設定を登録］をクリックします。［お気に入り設定の登録 / 削除］画面が表示されます。**

現在の設定が右側のリストに表示されます。

3 **［設定名］欄に登録名を入力して、［追加］をクリックします。**

［お気に入り設定の登録 / 削除］画面が閉じて、元の画面に戻ります。



4 追加した設定名が［お気に入り］に登録されていることを確認します。



「お気に入り」には、以下の設定があります。

- 初期設定：　プリンタードライバーインストール時の初期値です。
- 現在の設定：　［基本設定］タブと［拡張設定］タブに設定されている内容です。
  この内容は「現在の設定一覧」画面と、「お気に入り設定の登録 / 削除」画面の現在の設定に表示されます。
- ユーザーが定義した設定：　ユーザーが定義した印刷設定です。

ユーザー定義情報

ユーザー定義情報には以下のものが含まれます。

- ユーザー定義用紙
- バーコードフォントの登録
- .NET 環境のフォント置き換え

ユーザー定義情報は、クライアントコンピューターごとに 1 つ設定されます。
1 台のコンピューターに複数のプリンタードライバーがインストールされている場合、これらは共通で使用できます。

プリンタードライバー設定の書き出し / 取り込み

お気に入り設定、ユーザー定義情報 (用紙レイアウト、バーコード)、プリンタードライバーの動作設定を BSF ファイル (拡張子 .BSF) に書き出すことができます。また、BSF ファイルから設定を取り込んでプリンタードライバーを設定することもできます。



- プリンタードライバーの「お気に入り」は、本製品の「お気に入り」とは別の機能です。プリンタードライバーの設定用ファイルに、本製品の「お気に入り」を含めることはできません。
- 機種間で異なる仕様に対して不定値が混入してしまうことを回避するため、BSF ファイル内に機種名を保管しており、取り込み時に機種名をチェックしています。そのため、同一の機種名でのみ設定の書き出し / 取り込みが行えます。モデル（オートカッターモデル / ピーラーモデル）や用紙幅（8 インチ /4 インチ）が異なる場合はファイルをやり取りできません。

設定の書き出し

以下の手順で、設定を書き出します。

1　印刷設定が、「お気に入り」に登録されていることを確認してください。

- 「お気に入り」に複数の登録情報がある場合、全ての登録情報を BSF ファイルに書き出します。BSF ファイルを取り込むと、設定リストの一番上にある登録情報が反映されます。必要に応じて登録情報の順番を編集してください。

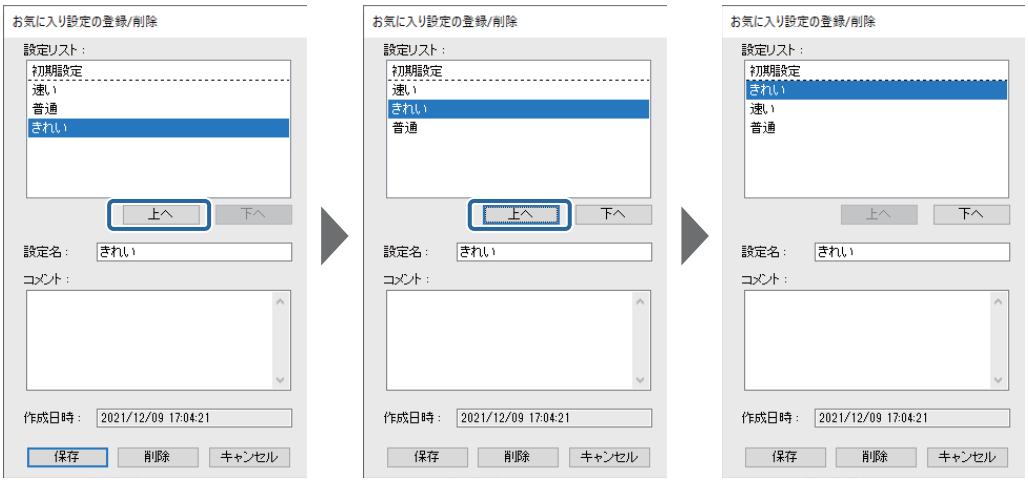


取り込み時、「速い」が反映される。

取り込み時、「普通」が反映される。

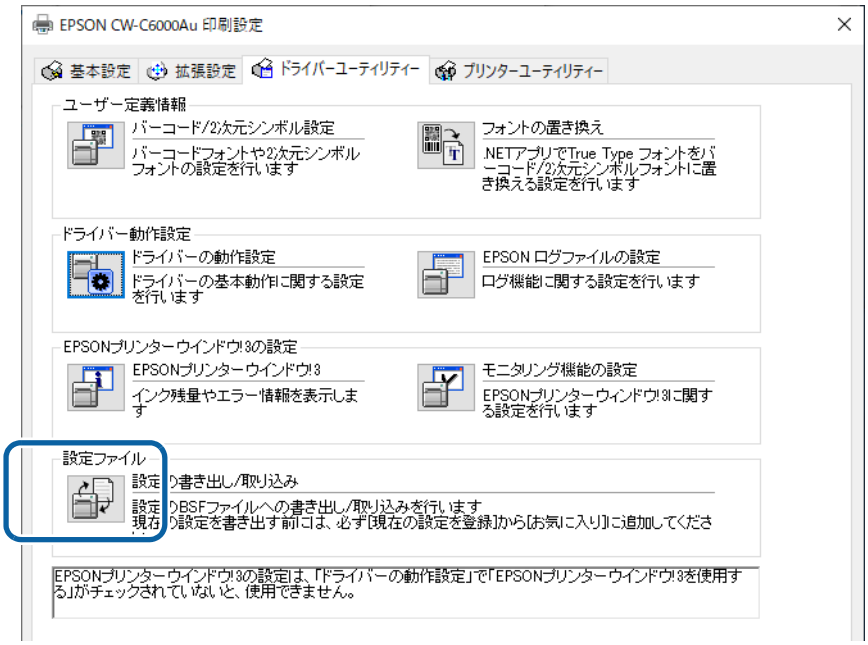
取り込み時、「きれい」が反映される。

- 「お気に入り」の順番は、「お気に入り設定の登録 / 削除」画面を開き、設定リストに登録されている印刷設定を選択して、［上へ］または［下へ］をクリックすることで編集できます。



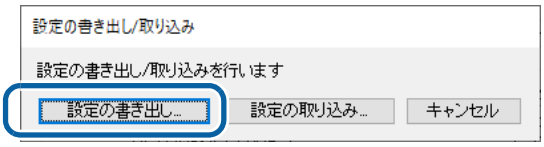
- 「お気に入り」に登録されていない場合、プリンタードライバーの初期設定が反映されます。

2 [ドライバーユーティリティー] タブを選択します。[設定の書き出し / 取り込み] をクリックします。



> BSF ファイルの保存は、現在の設定から行ってください。標準の設定から行うと、プリンタードライバーの画面の内容と異なる内容が書き出されます。
> - 現在の設定：
> プリンタードライバーのプロパティー -［全般］-［基本設定］
> -［ドライバーユーティリティー］-［設定の書き出し / 取り込み］
> - 標準の設定：
> プリンタードライバーのプロパティー -［詳細設定］-［標準の設定］
> -［ドライバーユーティリティー］-［設定の書き出し / 取り込み］

3 [設定の書き出し / 取り込み] 画面が表示されます。[設定の書き出し] をクリックします。



4 ファイルの保存画面が表示されます。名前をつけて BSF ファイルを保存します。

5 処理の完了画面が表示されます。［OK］ をクリックします。

> BSF ファイルには、ユーザーが定義した「お気に入り」の印刷設定が反映されます。「現在の設定」の印刷設定は反映されません。

設定の取り込み



BSF ファイルから設定を取り込むと、プリンタードライバーの設定は上書き保存されます。そのため、以下の既存設定を残したい場合は、既存設定を含めて BSF ファイルを作成してください。
- お気に入りリスト
- ユーザー定義した用紙リスト
- バーコードフォントリスト
- バーコードフォントの置き換えリスト

以下の手順で、設定を取り込みます。

1 **[ドライバーユーティリティー] タブを選択します。[設定の書き出し / 取り込み] をクリックします。**

2 **[設定の書き出し / 取り込み] 画面が表示されます。[設定の取り込み] をクリックします。**

3 **確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。**

4 **開く画面が表示されます。取り込むファイルを選択します。**

5 **処理の完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。**

6 印刷設定が、「お気に入り」に登録されていることを確認してください。

- 「お気に入り」に複数の登録情報がある場合、設定リストの一番上にある登録情報が反映されます。目的の登録情報が反映されない場合は、設定リストの順番を修正し、もう一度 BSF ファイルを書き出してください。

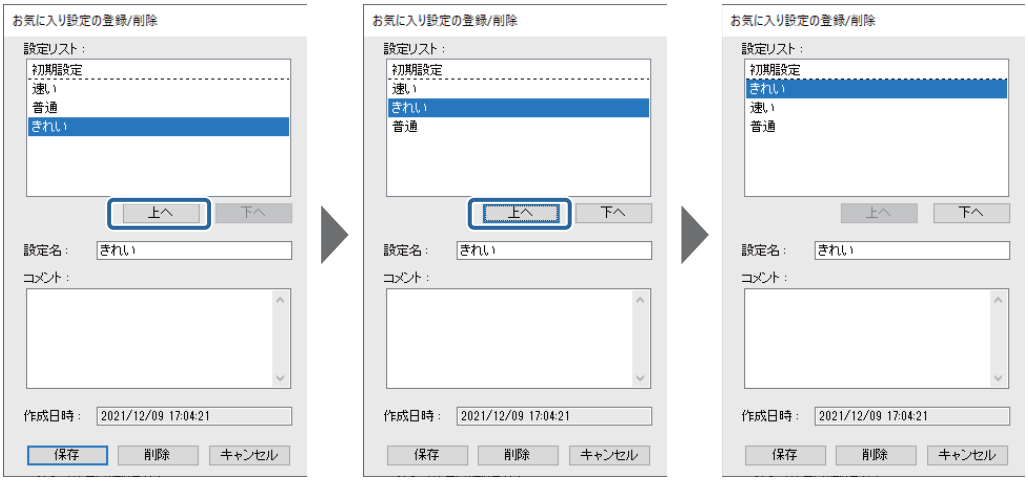


取り込み時、「速い」が反映される。

取り込み時、「普通」が反映される。

取り込み時、「きれい」が反映される。

- 「お気に入り」の順番は、「お気に入り設定の登録 / 削除」画面を開き、設定リストに登録されている印刷設定を選択して、［上へ］または［下へ］をクリックすることで編集できます。



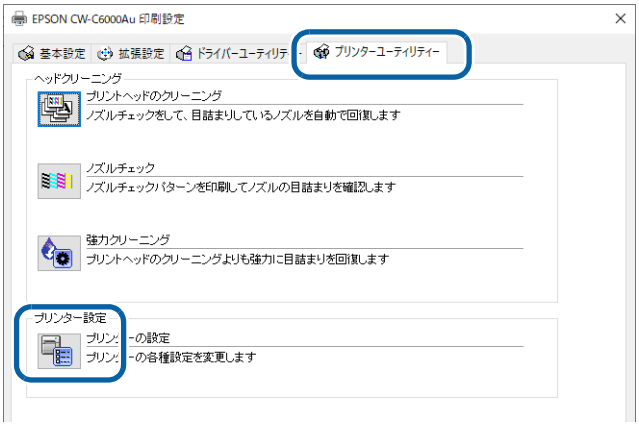
- 「お気に入り」に登録されていない場合、プリンタードライバーの初期設定が反映されます。
- 以下の場合、BSF ファイルには互換性がありません。
  - ＊ 異なるドライバーバージョン間
  - ＊ 異なる Windows ビルド / バージョン間
  - ＊ 異なる Windows アーキテクチャ間（32 ビット /64 ビット）

プリンタードライバーから PrinterSetting を起動する

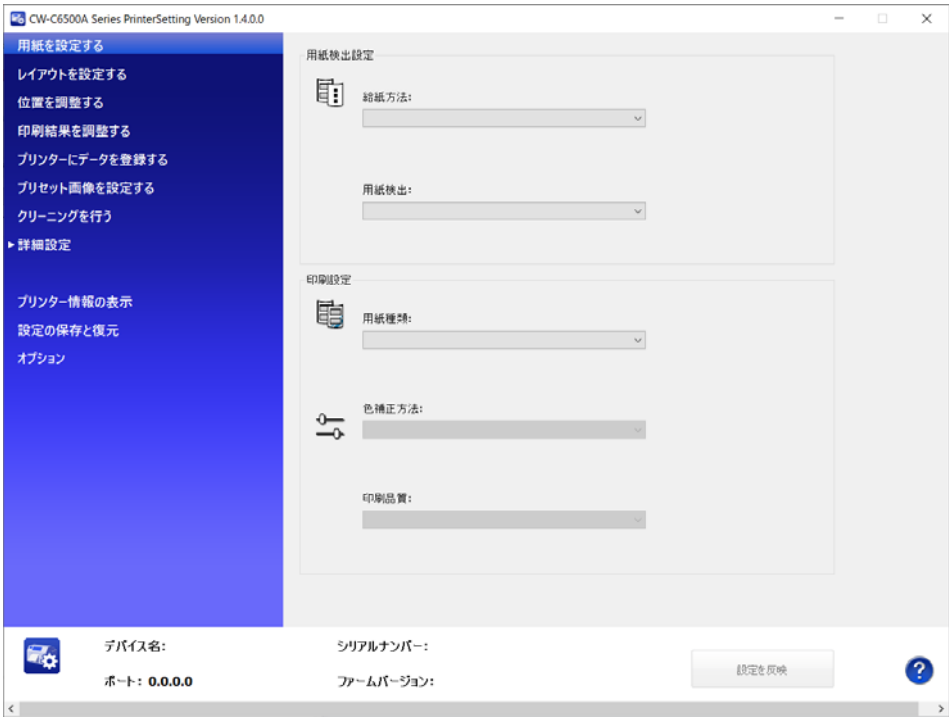
以下の手順でプリンタードライバーから PrinterSetting を起動します。

1 プリンタードライバーを表示します。

2 ［プリンターユーティリティー］タブを選択します。［プリンターの設定］をクリックします。



3 ［CW-C6XXX PrinterSetting］画面が表示されます。



高速バッチラベル印刷機能で印刷速度を上げる

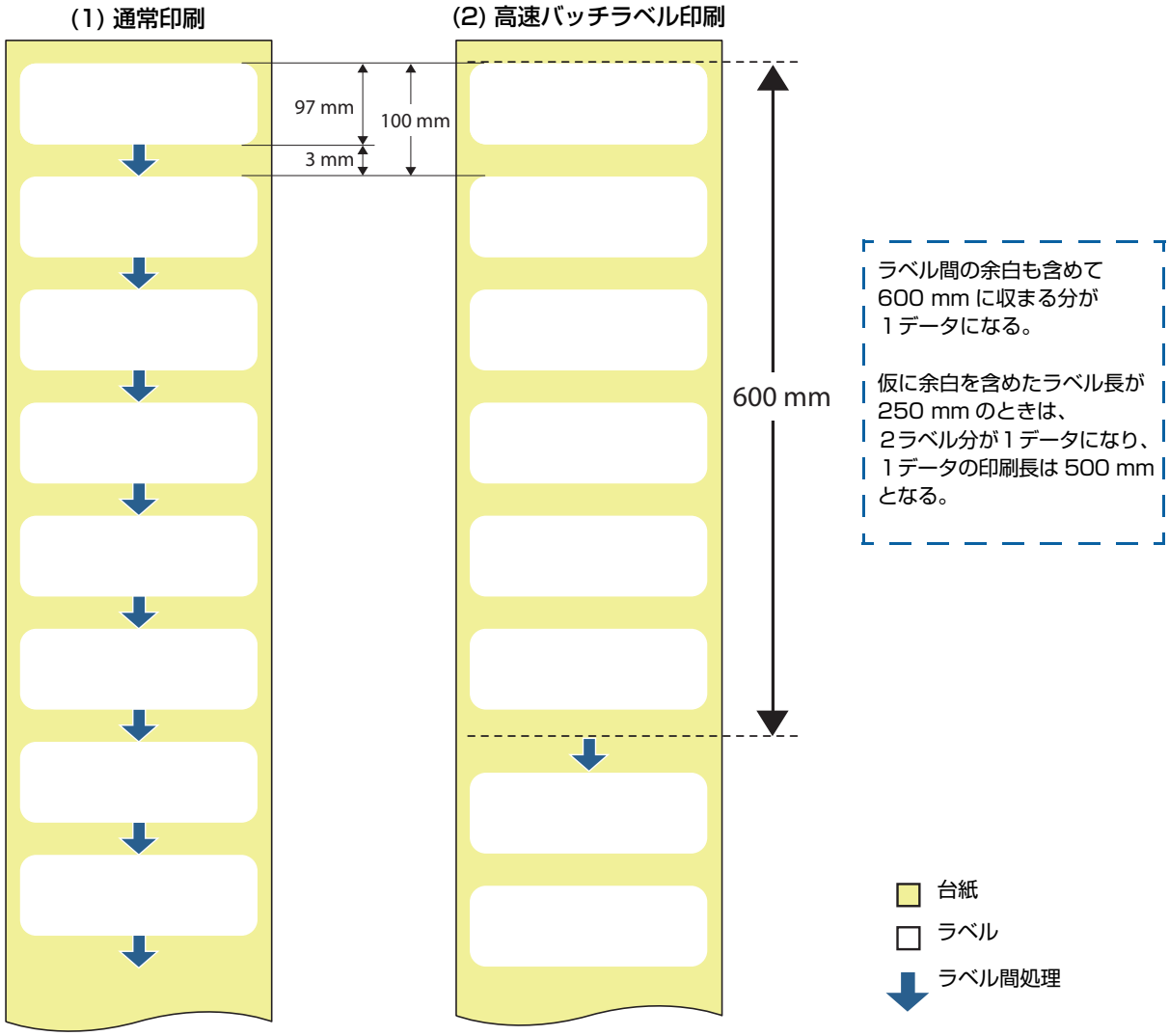
大量のラベルをより早く印刷したいときは、［高速バッチラベル印刷］を有効にすると印刷速度が上がります。
有効にした場合の制限事項（123 ページ「制限事項」）をご確認の上、お使いください。
なお、本機能はバージョン 1.4.0.0 以降のプリンタードライバーに搭載されています。
最新のドライバーの入手については 379 ページ「ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード」を参照してください。

機能の概要

［高速バッチラベル印刷］が無効になっているとき（通常印刷時）は、同じラベルを複数枚印刷するときもラベルデータは一つずつプリンターに送られ、１枚印刷するたびに次のラベルとの余白確保などのための処理時間が発生します。
［高速バッチラベル印刷］を有効にすると、600 mm の長さに収まる数をプリンタードライバーが自動でまとめて 1 データとしてプリンターに送ります。このためラベル間の処理時間が減り、印刷速度が上がります。

例）ラベル長 97 mm、ラベル間余白 3 mm のラベルを 100 枚印刷するとき

(1) 通常印刷時：（1 ラベル印刷＋ラベル間処理）×100 回
(2) 高速バッチラベル印刷：（6 ラベル同時印刷＋ラベル間処理）×17 回



制限事項

［高速バッチラベル印刷］を有効にした場合の制限事項は以下のとおりです。

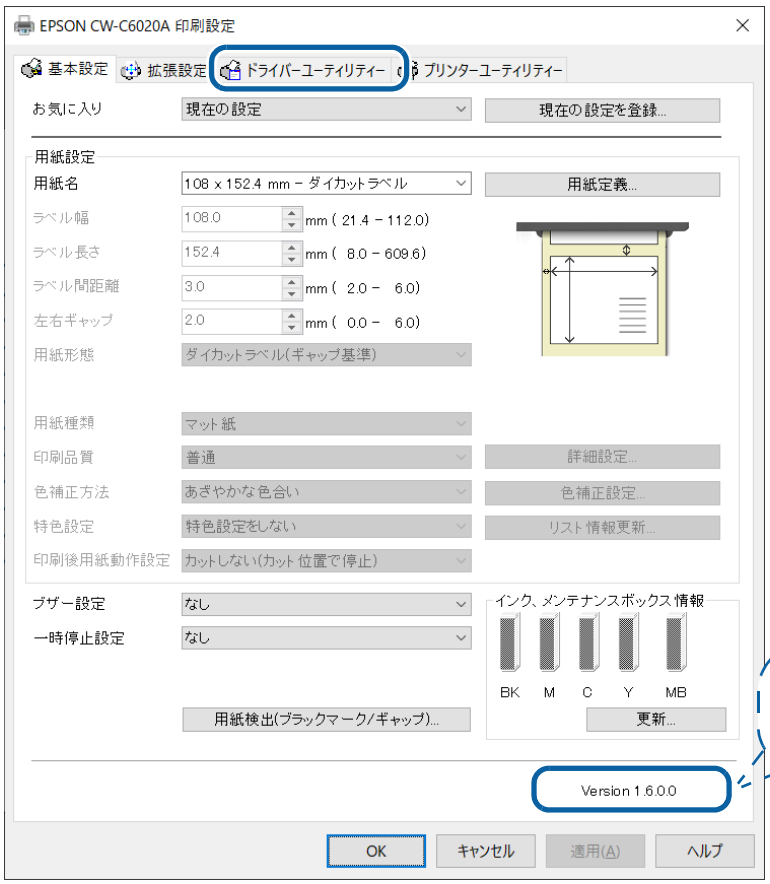
- 紙送り方向のラベル印刷位置の精度が低下する可能性があります。
- アプリケーション上の 1 ラベルを単位として動作する機能は使えません。
- ピーラーモデルの［印刷後用紙動作設定］は、［巻き取り］以外は正しく動作しません。
- オートカッターモデルの［印刷後用紙動作設定］は、カットする設定もカットせずに停止する設定も正しく動作しません。
- ［ブザー設定］と［一時停止設定］は正しく動作しません。
- 複数枚をまとめて 1 データにするという機能の特性上、本機能が無効の時に比べ、最初の印刷を開始するまでに時間がかかります。
- 紙詰まりなどのエラーが発生した場合、損失が複数枚に及ぶ可能性があります。またエラー復帰後の再印刷時にも複数枚印刷されます。
- 印刷枚数表示が、600 mm に収まった複数枚で 1 枚というカウントになります。
- プリンターの Pause ボタンで印刷を一時停止したときに、ラベルとラベルの切れ目で停止することができません。
- パネルに表示されるページ数（例：1/1 ページ印刷）は、まとめられたデータの個数を示し、実際に印刷されたページ数を示すものではありません。

設定方法

以下の手順で［高速バッチラベル印刷］を有効にします。

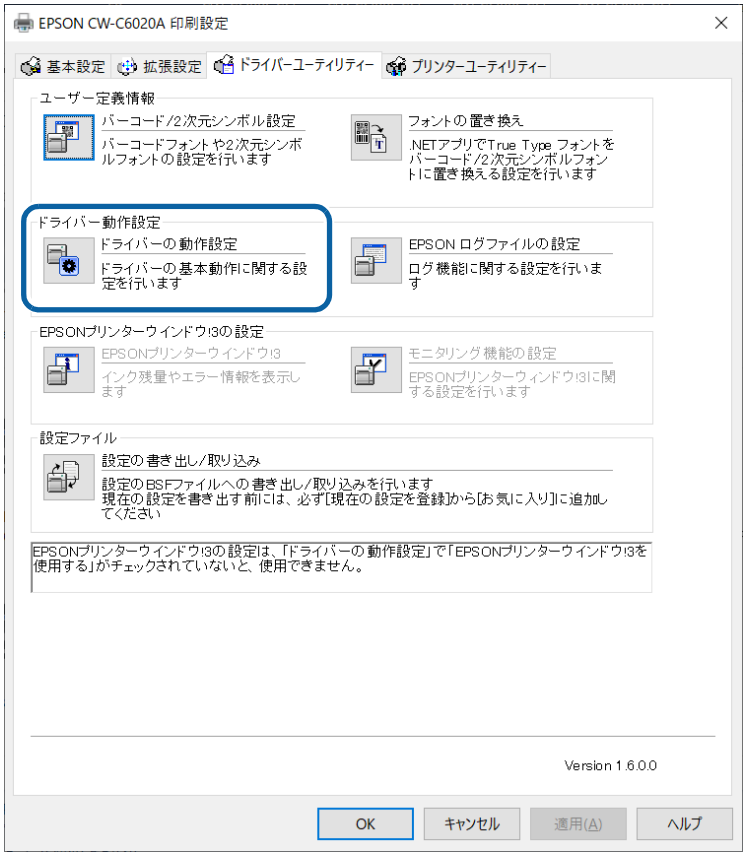
1　プリンタードライバーを表示します。

2 ［ドライバーユーティリティー］タブをクリックします。

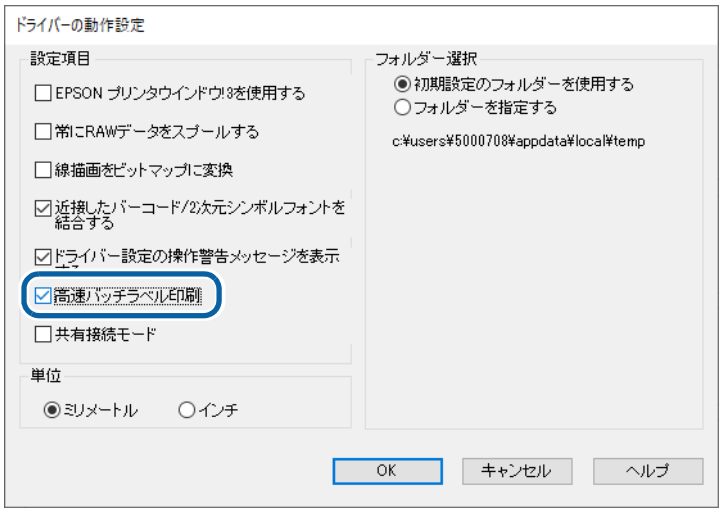


バージョンが 1.4.0.0 以降でないときはアップデートしてください。

3 ［ドライバーの動作設定］をクリックします。



4 ［高速バッチラベル印刷］にチェックを入れて、［OK］をクリックします。



以降、600 mm の長さに収まる分が自動で 1 データにまとめられて印刷されます。

印刷位置がずれる場合

以下の手順を実施して印刷位置ズレを軽減できないかお試しください。

紙送り調整を実行する

PrinterSetting (Windows) で、紙送り調整を実施します。187 ページ「調整を実行する」
操作パネルからは以下の手順で選択できます。
［用紙設定］-［印刷位置調整］

解決しない場合は次の手順を実施してください。

使用する用紙のラベル位置を確認する

まとめられたデータの仮想的なラベル位置と、使用する実際の用紙のラベル位置が一致するか確認し、ドライバーの設定を修正します。127 ページ「用紙サイズの設定を修正する」

解決しない場合は次の手順を実施してください。

印刷開始のズレ方を確認する

印刷開始位置のずれる方向に、規則性があるか確認します。129 ページ「印刷開始位置のずれ方を確認する」

規則性が無い場合は、ラベルの位置が不均一にばらついている可能性があります。この場合、高速バッチラベル印刷機能は使用できません。ご使用の用紙の精度の改善をご検討ください。
規則性がある場合は次の手順を実施してください。

ページ間距離を確認する

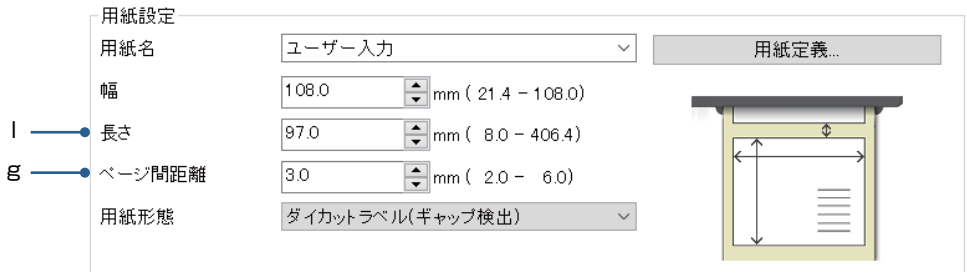
まとめられたデータの中で最後に印刷されるラベルの位置を確認し、ドライバーの設定を修正します。130 ページ「ページ間距離を確認する」

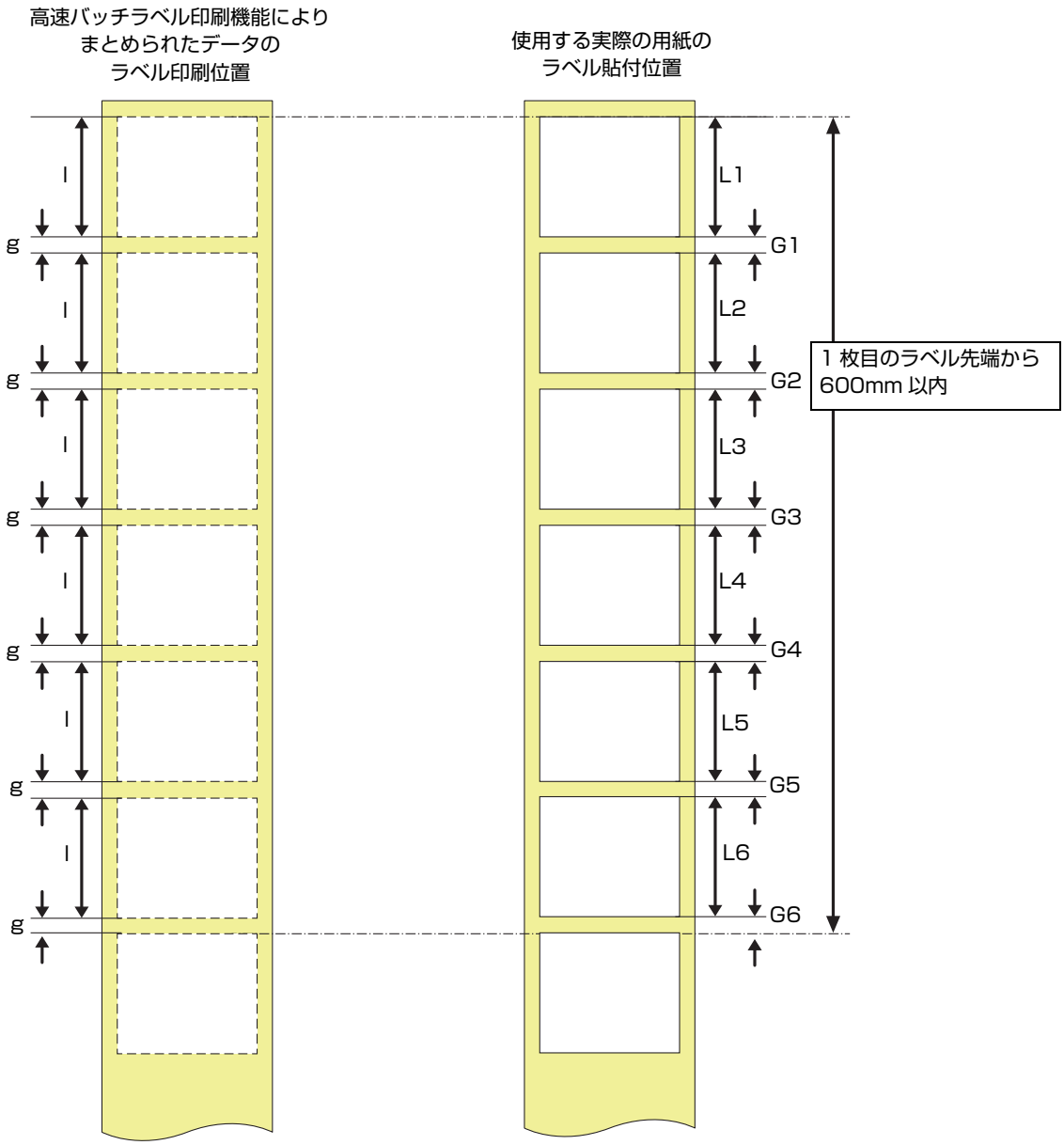
紙送り調整を実行する

紙送りに異常があると、印刷開始位置がずれる可能性があります。
PrinterSetting (Windows) で、紙送り調整を実施します。187 ページ「調整を実行する」
操作パネルからは以下の手順で選択できます。
［用紙設定］-［印刷位置調整］
紙送り調整を実施しても印刷位置のずれが改善しない場合は、次の手順を実施してください。127 ページ「用紙サイズの設定を修正する」

用紙サイズの設定を修正する

ドライバーで設定した長さ（l）、ページ間距離（g）はデータをまとめるときに繰り返し使用されます。そのため、実際に使用する複数のラベル位置を測り、その平均値をドライバーで設定することで、印刷位置が改善する場合があります。





以下の手順で確認してください。

1 **使用する実際の用紙のラベル長さ [例 : L1, L2, L3, L4, L5, L6] とページ間距離 [例 : G1, G2, G3, G4, G5, G6] を測定します。1 枚目のラベル先端から 600mm までが対象です。**

2 **測定したラベル長さの平均値 L [例 : L=(L1+L2+L3+L4+L5+L6)/6] と ページ間距離の平均値 G[例 : G=(G1+G2+G3+G4+G5+G6)/6] を算出します。**

3 **算出した実際の用紙のラベル長さの平均値Lと、プリンタードライバーのラベル長さlが一致するか確認します。**

一致しない場合はドライバーのラベル長さに L を入力します。

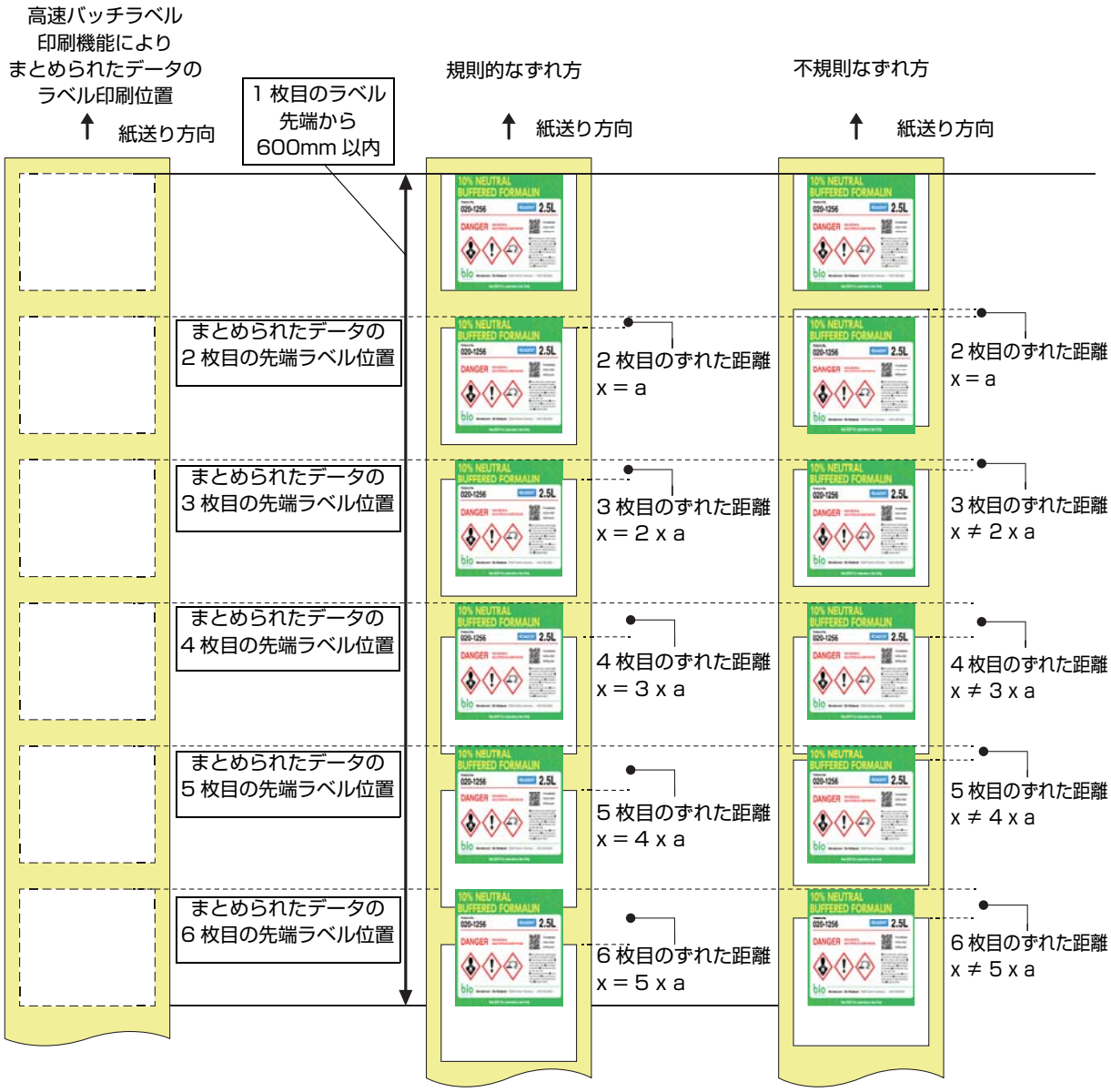
4 **算出した実際の用紙のページ間距離の平均値 G と、プリンタードライバーのページ間距離 g が一致するか確認します。**

一致しない場合はドライバーのページ間距離に G を入力します。

上記手順を実施しても印刷開始位置のずれが改善しない場合は、次の手順を実施してください。129 ページ「印刷開始位置のずれ方を確認する」

印刷開始位置のずれ方を確認する

印刷開始位置のずれが、ラベル 1 枚につき 1mm ずつ大きくなる場合など、規則性がある場合は次の手順を実施してください。130 ページ「ページ間距離を確認する」
規則性が無い場合は、ラベルの位置が不均一にばらついている可能性があります。この場合、高速バッチラベル印刷機能は使用できません。ご使用の用紙の精度の改善をご検討ください。



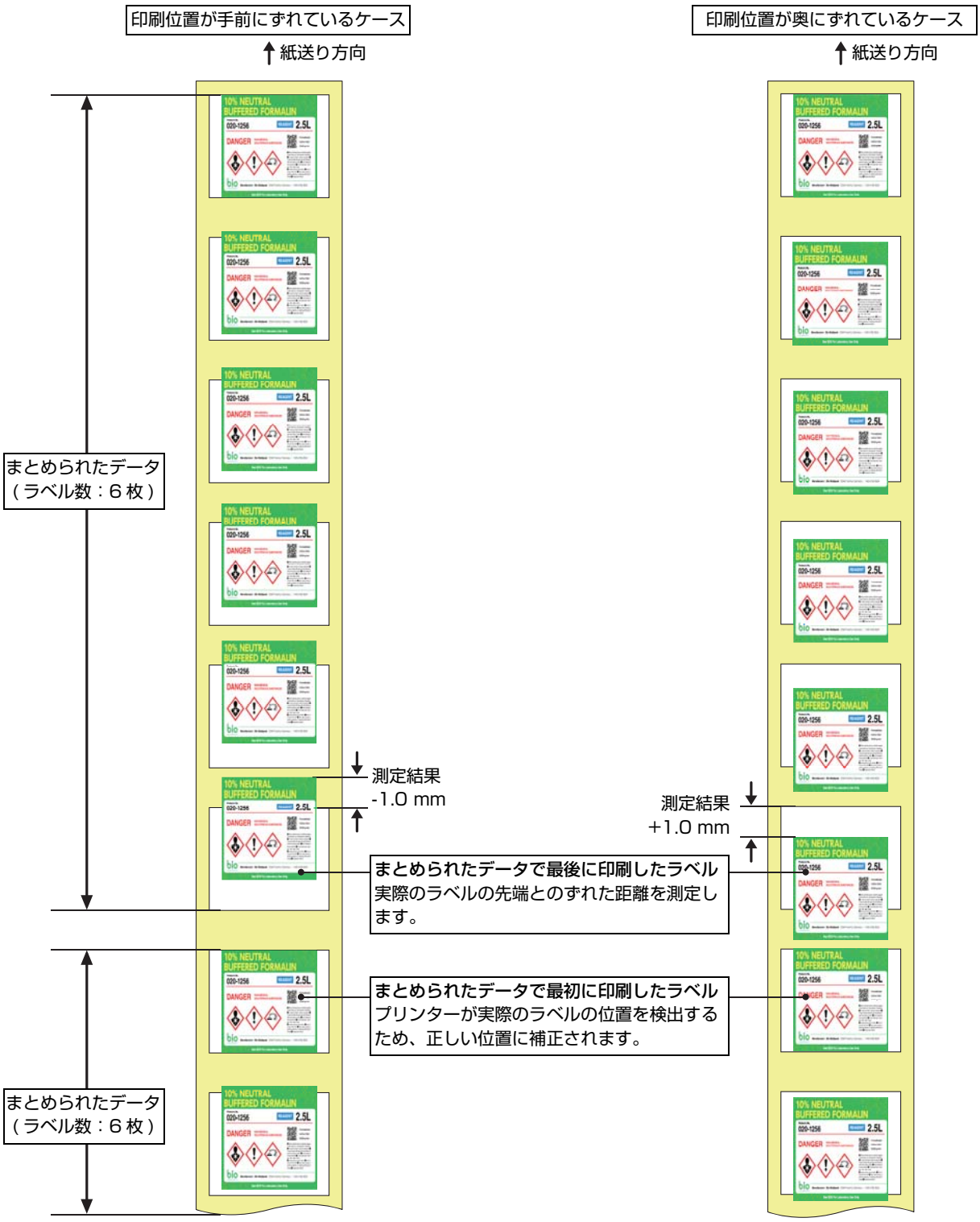
a: まとめられたデータの 2 枚目の先端ラベル位置と、実際に使用する用紙の 2 枚目の先端ラベル位置のずれた距離
x: まとめられたデータの n 枚目の先端ラベル位置と、実際に使用する用紙の n 枚目の先端ラベル位置のずれた距離

ページ間距離を確認する

まとめられたデータの最後に印刷されたラベルの先端と、実際の印刷開始位置のずれた距離 を測定します。ラベル 1 枚につき何 mm ずつずれているかを算出します。ラベルのずれた距離 /(連結したラベルの枚数 -1) で確認できます。

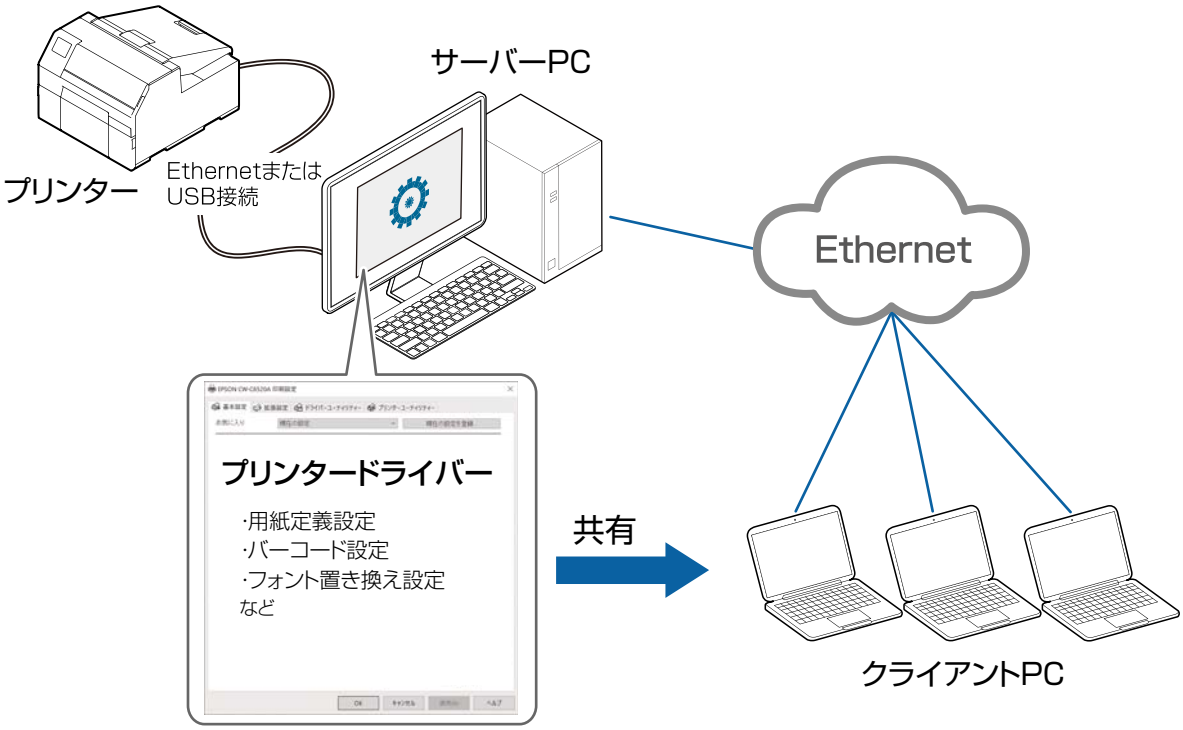
例えば、6 枚のラベルを 1 データで連結している場合で、6 枚目のラベルが 1.0 mm ずれているときは、ページ間距離を 0.2mm 調整することで、6 枚ともずれが無くなります。

1.0 mm/(6 枚 -1)=0.2mm



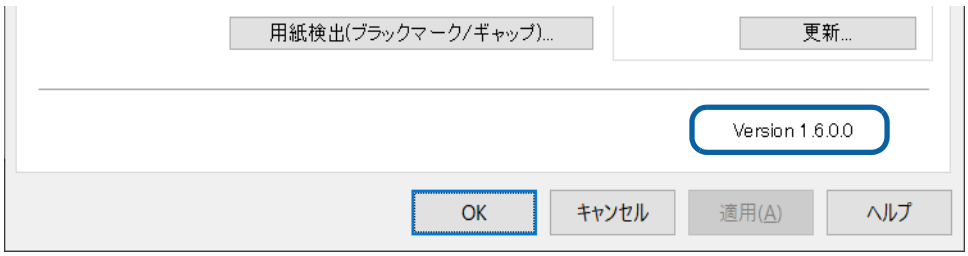
プリンタードライバーを共有する

サーバー PC にインストールしたプリンタードライバーを、複数のクライアント PC から共有して使うようにすることができます。サーバー PC のプリンタードライバーの設定をクライアント PC 側もそのまま使うことができるため、各種印刷設定を簡単に共有することができます。
また、複数台の PC にそれぞれプリンタードライバーをインストールして設定するという手間が省けます。



重要

- 共有するにはバージョン 1.4.0.0 以降のプリンタードライバーが必要です。それ以前のバージョンでは共有できません。最新のドライバーの入手については 379 ページ「ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード」を参照してください。



- システム環境により、プリンタードライバーから PrinterSetting (180 ページ) を起動することができない場合があります。152 ページ「PrinterSetting 機能の制限事項」

Ehternet 接続の場合、サーバー PC と同じネットワークであれば複数台のプリンターを制御できます。

以下の流れで設定します。詳細手順は各参照先をご覧ください。

サーバーPC での設定

1. **プリンタードライバーをインストールする**（45 ページ）
   通常のインストールと同様の手順で行います。
2. **Windows［デバイスとプリンター］で共有設定をする**（133 ページ）
3. **プリンタードライバーで共有接続モードを有効にする**（135 ページ）
4. **プリンタードライバーに用紙定義などの設定を追加する**
   85 ページ「ユーザー定義用紙」、92 ページ「バーコード印刷」など参照
5. **プリンタードライバーで印刷の初期設定を変更する**（138 ページ）
   プリンタードライバーの印刷設定の初期設定をよく使う設定に変更します。

クライアント PC での設定

1. **サーバー PC に接続する**（140 ページ）
2. **共有プリンタードライバーの設定を確認する**（147 ページ）
   「サーバー PC での設定」の 手順 3 ～ 5 が反映されていることを確認します。

重要

- 用紙定義やバーコードフォントなどを追加して共有する場合、必ず［共有接続モード］を有効にする手順を行った後に追加してください。［共有接続モード］が有効か否かでそれらの保存先が切り替わるため、有効にする前に追加されたものは引き継がれません。
- 共有情報の設定は管理者権限でのみ追加や変更ができます。
  ユーザー権限アカウントでは、サーバー PC 、クライアント PC のどちらからも書き込みはできないため、下記の機能での新規追加や、編集、削除は無効になります。
  * 用紙定義設定
  * バーコード / 2 次元シンボル設定
  * フォント置換
  * お気に入り設定
- サーバーPC とクライアント PC が接続されていない場合は、共有情報の設定は変更できません。ただし、サーバー PC と再接続しても共有情報の用紙設定は同期されません。必要に応じて接続を解除し、クライアント PC 側で用紙設定を元に戻してください。

サーバーPC での設定

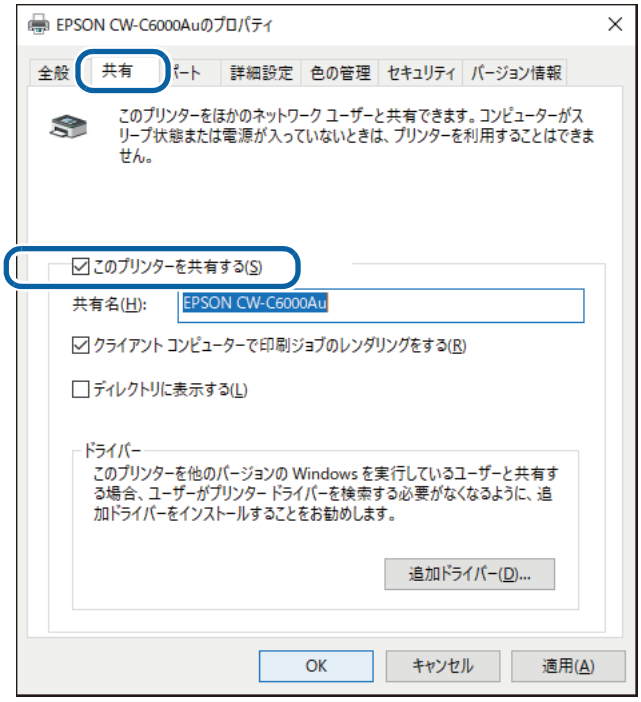
Windows[デバイスとプリンター]で共有設定をする

1 **[デバイスとプリンター]を開きます。**

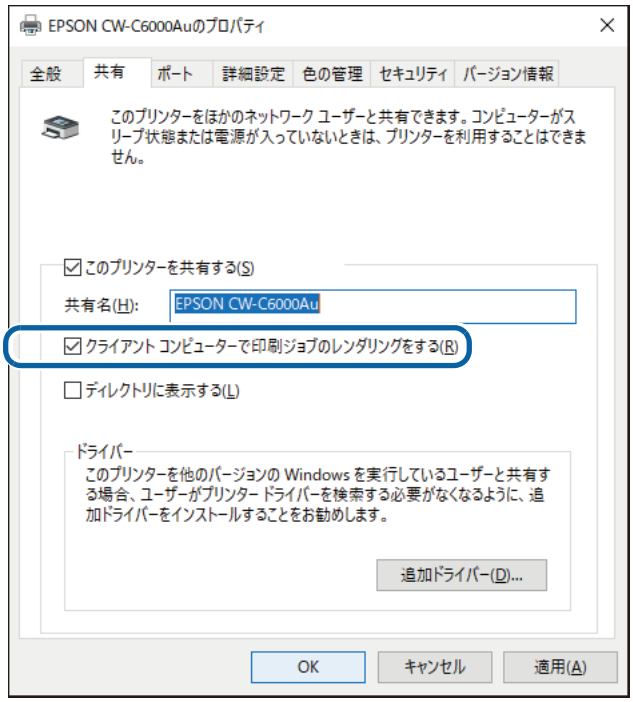
2 **共有したいプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。**
プロパティ画面が表示されます。



3 **[共有]タブをクリックし、[このプリンターを共有する]にチェックを入れます。**



4 ［クライアントコンピューターで印刷ジョブのレンダリングをする］にチェックを入れます。



5 ［OK］をクリックします。

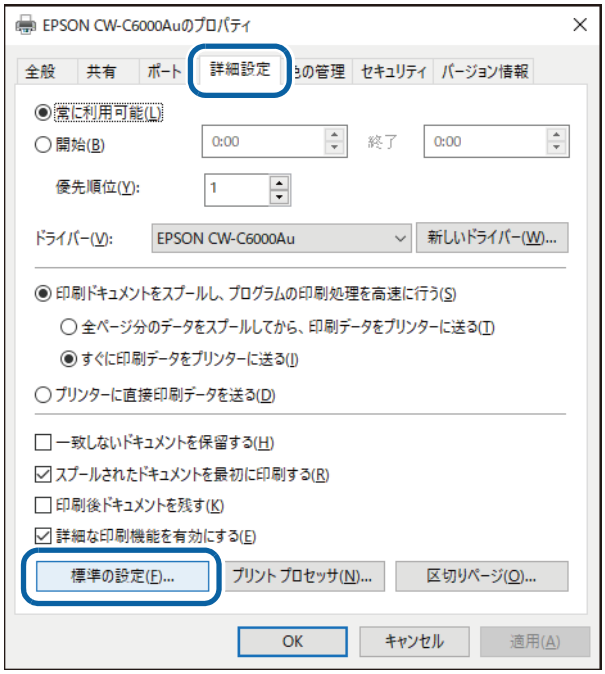
プリンタードライバーで共有接続モードを有効にする

1 ［デバイスとプリンター］を開きます。

2 共有したいプリンターを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。
プロパティ画面が表示されます。



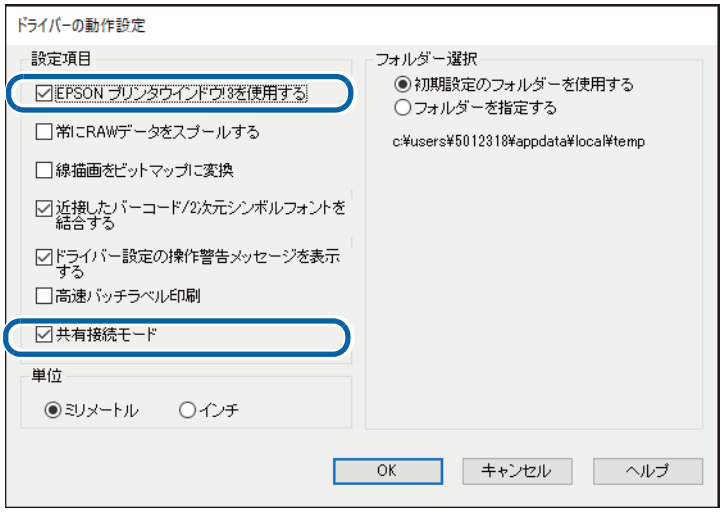
3 ［詳細設定］タブをクリックし、［標準の設定 …］をクリックします。



4 印刷設定の画面が開いたら、「ドライバーユーティリティー」タブの［ドライバーの動作設定］をクリックします。



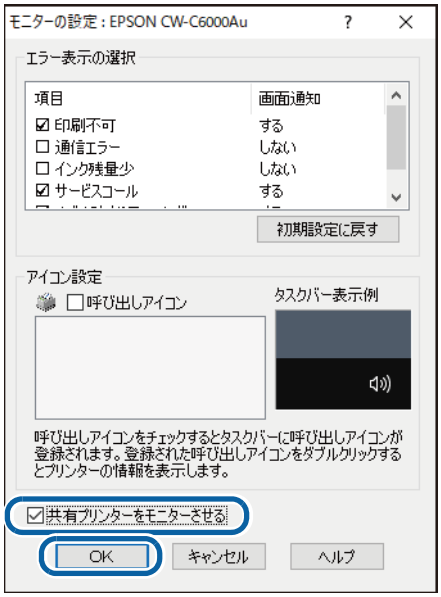
5 「ドライバーの動作設定」画面で［EPSON プリンタウインドウ !3 を使用する］と［共有接続モード］にチェックを入れます。



6 ［OK］をクリックして、印刷設定の画面に戻ります。

7 「ドライバーユーティリティー」タブの［モニタリング機能の設定］をクリックします。
「モニターの設定」画面が表示されます。

8 ［共有プリンターをモニターさせる］にチェックを入れ、［OK］をクリックします。



9 印刷設定画面に戻ったら、［OK］をクリックします。

次回プリンタードライバーの印刷設定画面を開いたときから［共有接続モード］が有効になります。

プリンタードライバーで印刷の初期設定を変更する

［用紙定義］で追加した用紙の選択など、プリンタードライバーの印刷設定をよく使う設定にしておくことで、印刷のたびに設定する手間が省けます。
必要に応じて［用紙定義］（85 ページ「ユーザー定義用紙」参照）やバーコードフォントの追加（92 ページ「バーコード印刷」参照）などを行ってから、以下の手順で印刷の初期設定を変更します。

重要

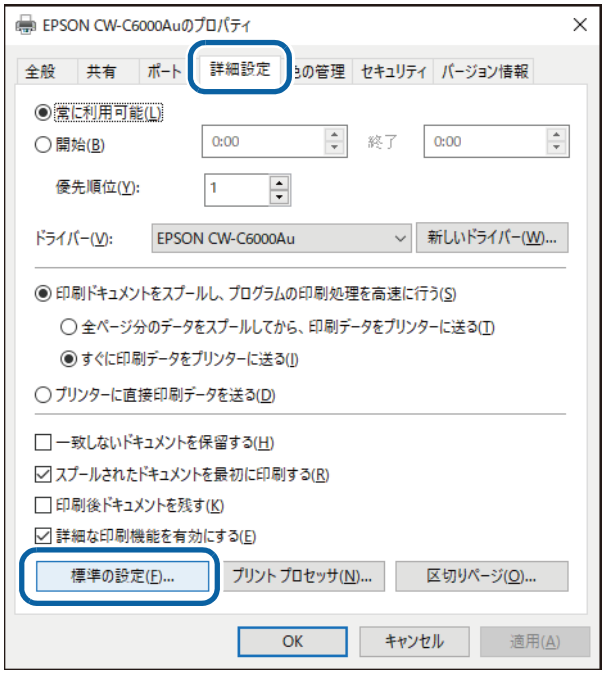
- 用紙定義やバーコードフォントなどを追加して共有する場合、必ず［共有接続モード］を有効にする手順を行った後に追加してください。［共有接続モード］が有効か否かでそれらの保存先が切り替わるため、有効にする前に追加されたものは引き継がれません。
- 共有設定後に Windows のユーザー権限アカウントでログインした場合、サーバーPC でもクライアント PC でも共有情報への書き込みが不可となるため、下記の機能での新規追加や、編集、削除は無効になります。必ず管理者権限でログインして行ってください。
  - 用紙定義設定
  - バーコード / 2 次元シンボル設定
  - フォント置換
  - お気に入り設定

1　**［デバイスとプリンター］を開きます。**

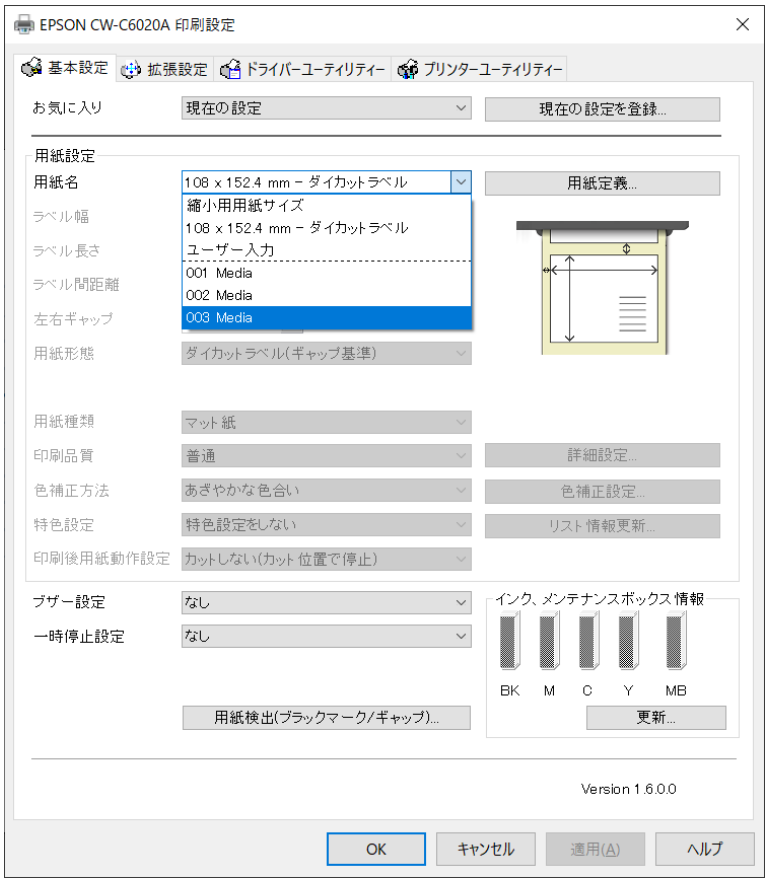
2　**共有したいプリンターを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。**
プロパティ画面が表示されます。



3 ［詳細設定］タブをクリックし、［標準の設定…］をクリックします。



4 印刷設定の画面が開いたら、用紙の選択など、印刷設定をよく使う設定に変更します。



5 設定が終わったら［OK］をクリックして、設定を保存します。

以降、プリンタードライバーの印刷設定画面を開くと、ここで設定したことが反映された状態になっています。

クライアント PC での設定

サーバーPC に接続する

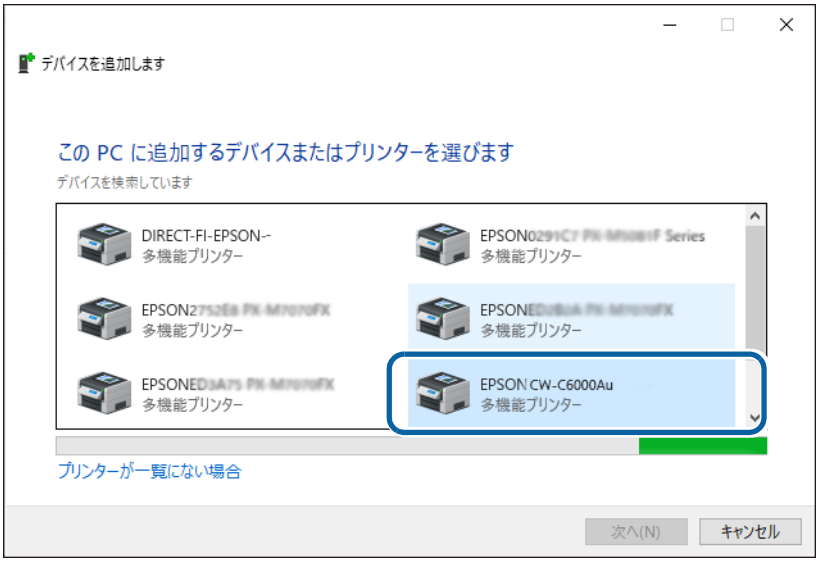
1 **[デバイスとプリンター] を開き、上部メニューの [プリンターの追加] をクリックします。**

プリンターの検索が始まります。

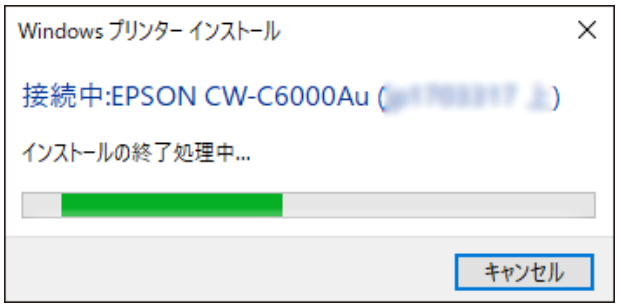


2 **該当のプリンターが表示されたらクリックします。**

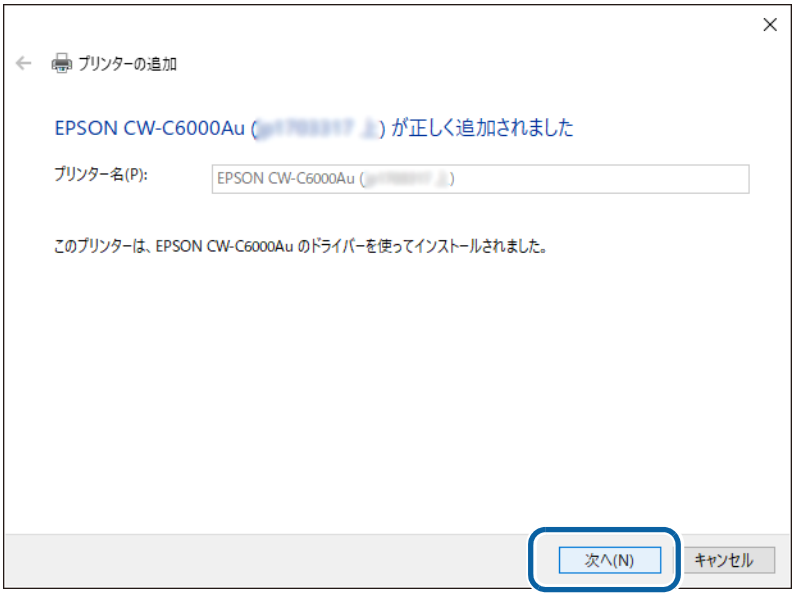
表示されないときは、143 ページ「サーバー PC に接続する（検索でプリンターが見つからないとき）」をご覧ください。



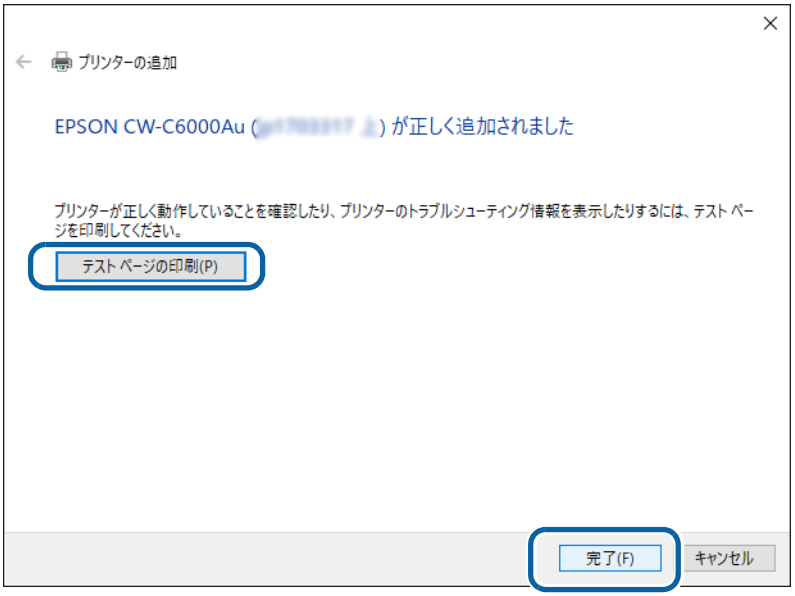
3 **プリンタードライバーのダウンロードとインストールが開始されるので、しばらく待ちます。**



4 正常に終了すると以下の画面が表示されます。［次へ］をクリックします。



5 以下の画面が表示されます。テスト印刷をするときは［テストページの印刷］を、終了するときは［完了］をクリックします。



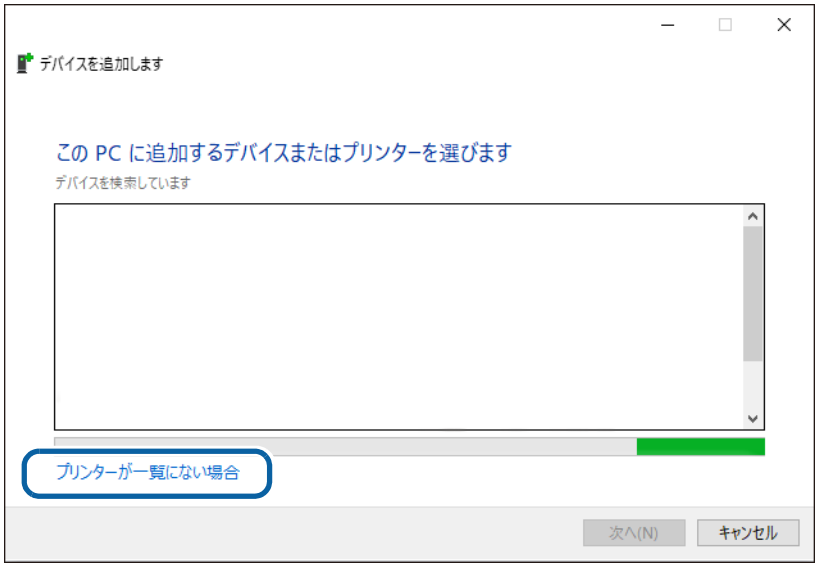
6 再度［デバイスとプリンター］を開き、プリンターが追加されていることを確認します。



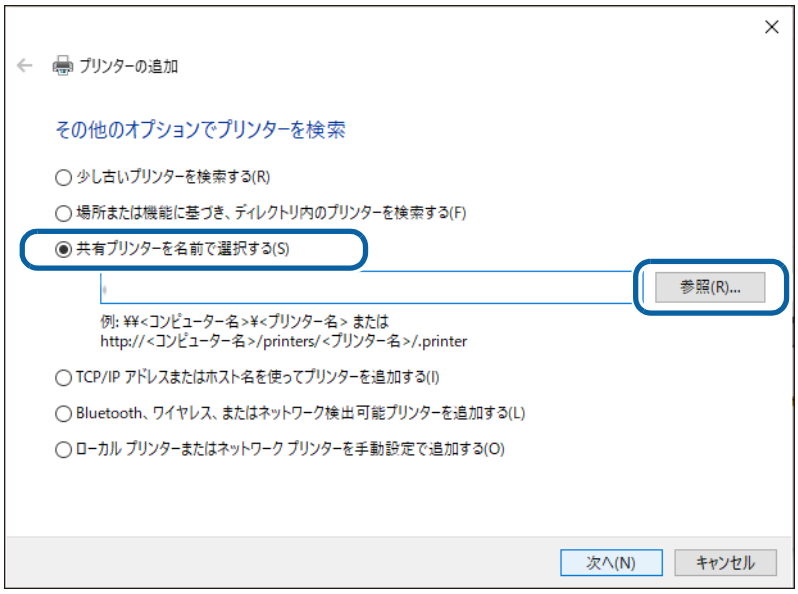
サーバーPC に接続する（検索でプリンターが見つからないとき）

［デバイスとプリンター］の［プリンターの追加］メニューで、該当のプリンターが表示されないときは以下の手順に従ってください。

1　検索画面下の［プリンターが一覧にない場合］をクリックします。

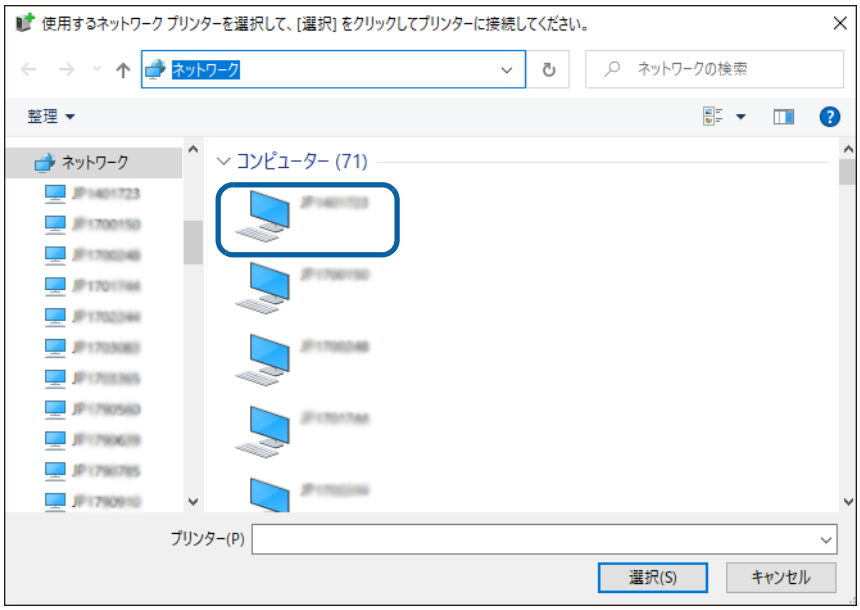


2　以下の画面が表示されたら［共有プリンターを名前で選択する］を選択して、［参照］をクリックします。



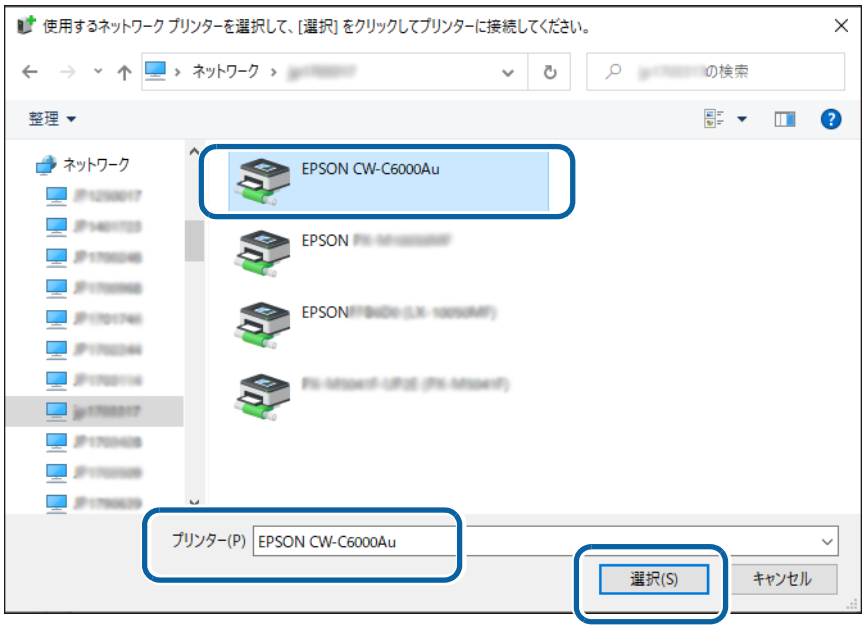
3 **［ネットワーク］にあるサーバー PC が表示されたらクリックします。**

サーバー PC で共有設定されているデバイスの一覧が表示されます。



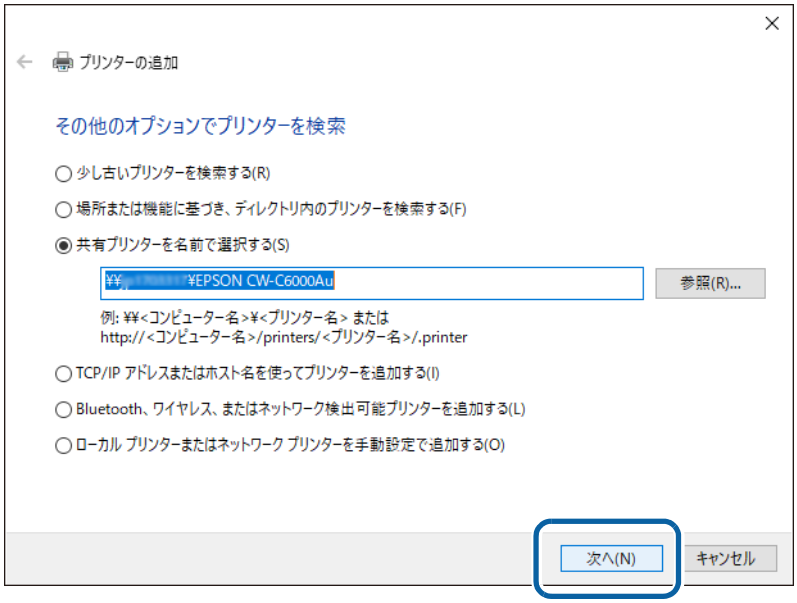
PC の設定でネットワーク探索ができない状態になっているときは、探索ができるように設定を変更してください。

4 **該当のプリンターをクリックします。プリンター名が正しいことを確認して［選択］をクリックします。**

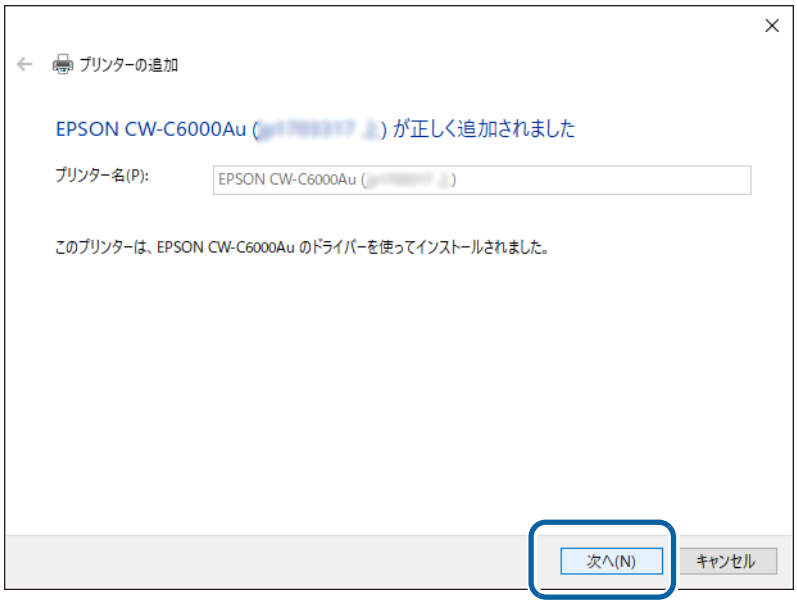


5 以下の画面が表示されたら［次へ］をクリックします。

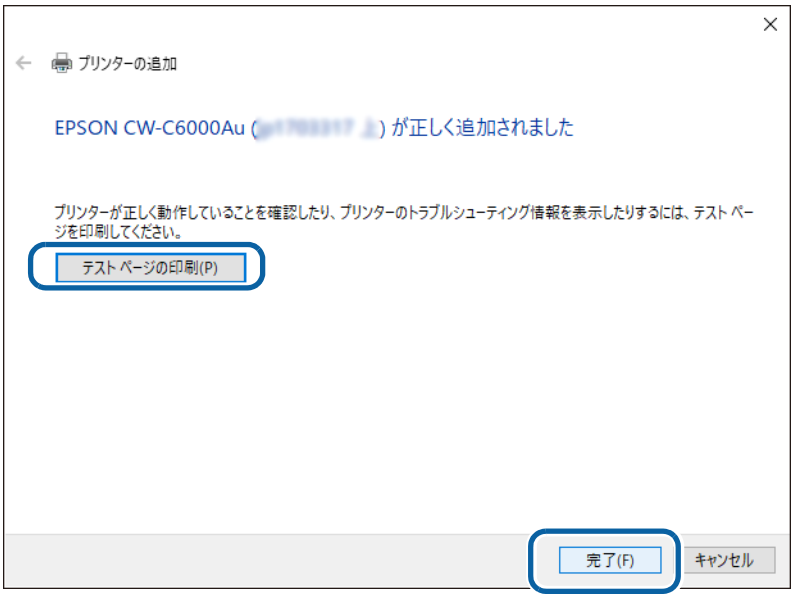
プリンタードライバーのダウンロードとインストールが開始されるので、しばらく待ちます。



6 正常に終了すると以下の画面が表示されます。［次へ］をクリックします。



7 以下の画面が表示されます。テスト印刷をするときは［テストページの印刷］を、終了するときは［完了］をクリックします。



8 再度［デバイスとプリンター］を開き、プリンターが追加されていることを確認します。



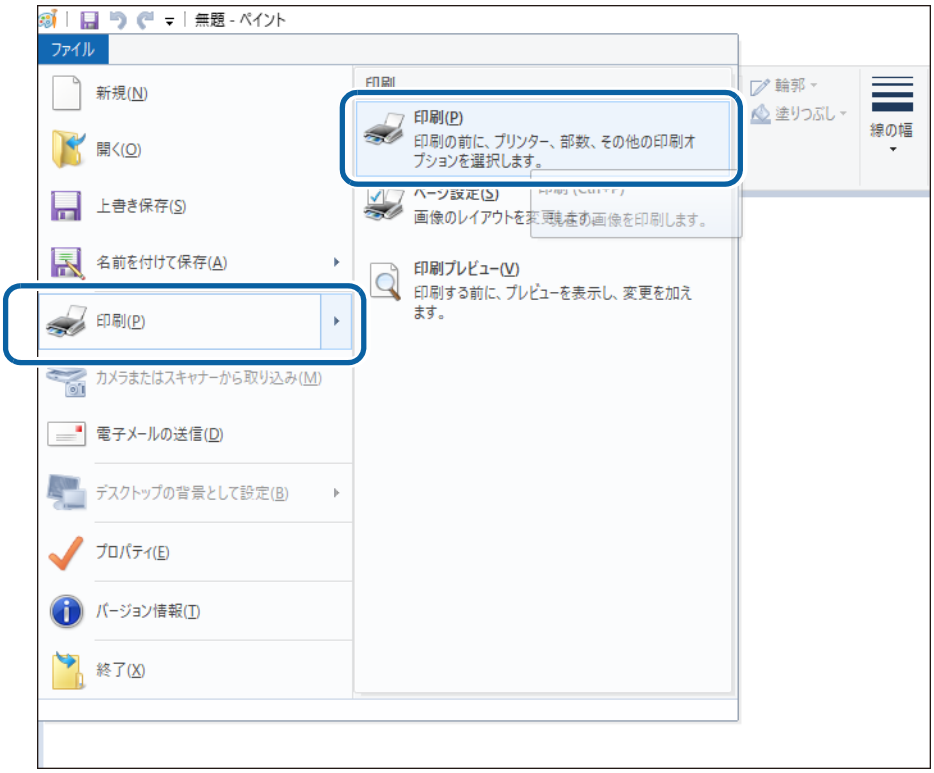
共有プリンタードライバーの設定を確認する

以下の２通りの確認方法があります。

- 普段使うアプリケーションからプリンタードライバーの印刷設定画面を開いて確認する (147 ページ)
- ［デバイスとプリンター］からプリンタードライバーの印刷設定画面を開いて確認する (149 ページ)

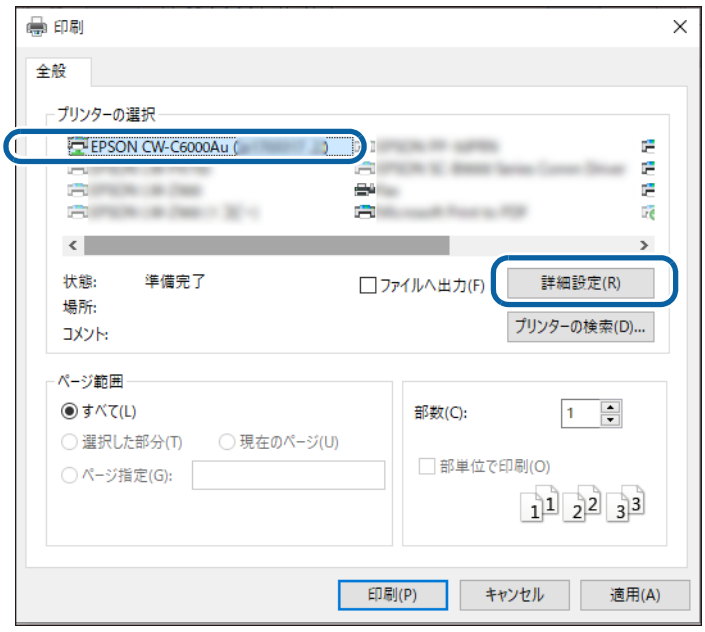
❑ アプリケーションから確認する場合（ペイントを例に説明します）

1 **［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**



2 **「印刷」画面で該当のプリンターを選択し、［詳細設定］をクリックします。**

プリンタードライバーの印刷設定画面が表示されます。

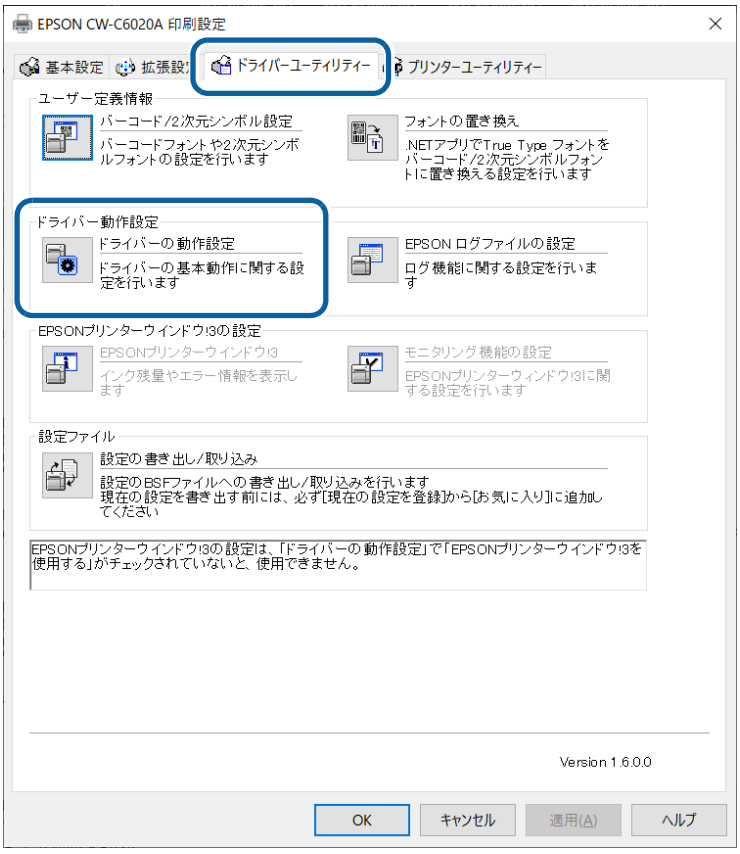


3 印刷設定を確認します。

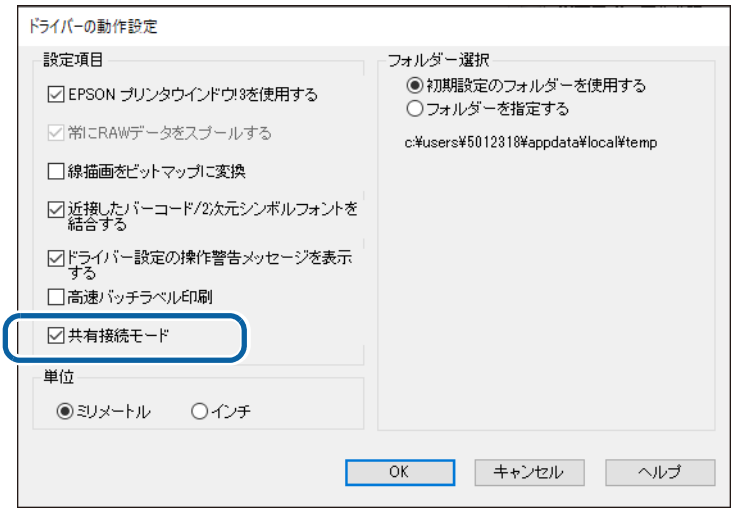
選択されている用紙などが、138 ページ「プリンタードライバーで印刷の初期設定を変更する」で設定した通りになっているか確認してください。確認が終わったら次の手順に進みます。



4 「ドライバーユーティリティー」タブの［ドライバーの動作設定］をクリックします。



5 「ドライバーの動作設定」画面で［共有接続モード］にチェックが入っていることを確認します。



❑［デバイスとプリンター］から確認する場合

1 ［デバイスとプリンター］を開きます。

2 該当のプリンターを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。
プリンタードライバーの印刷設定画面が表示されます。

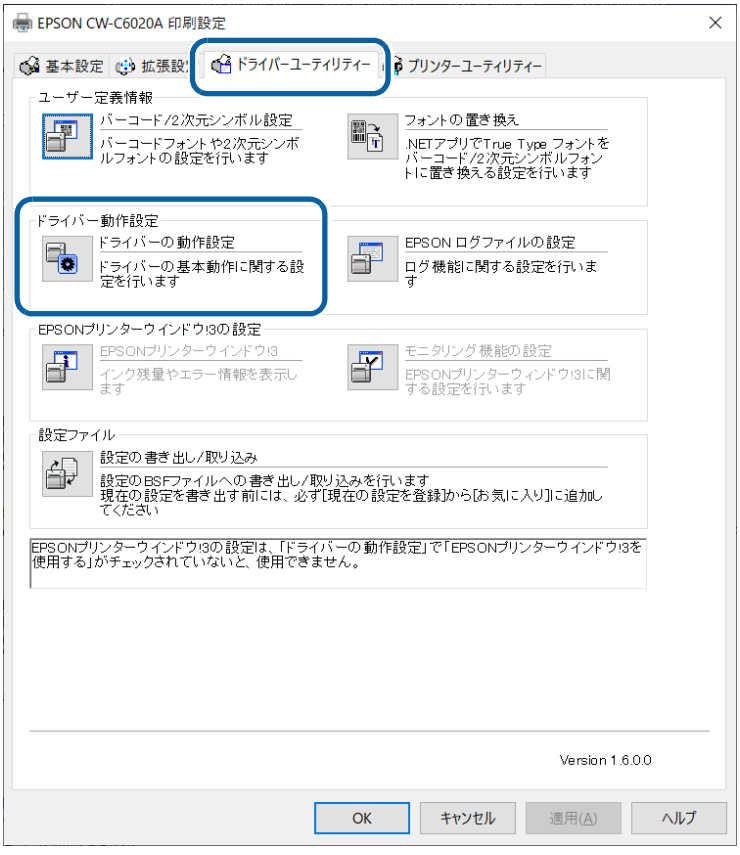


3 印刷設定を確認します。

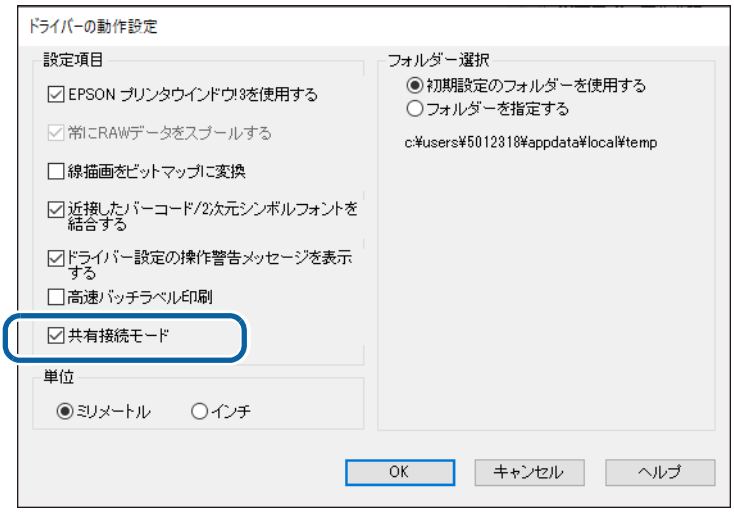
選択されている用紙などが、138 ページ「プリンタードライバーで印刷の初期設定を変更する」で設定した通りになっているか確認してください。確認が終わったら次の手順に進みます。



4 「ドライバーユーティリティー」タブの［ドライバーの動作設定］をクリックします。



5 「ドライバーの動作設定」画面で［共有接続モード］にチェックが入っていることを確認します。



6 ［キャンセル］をクリックして「ドライバーの動作設定」画面を閉じ、印刷設定画面に戻ります。

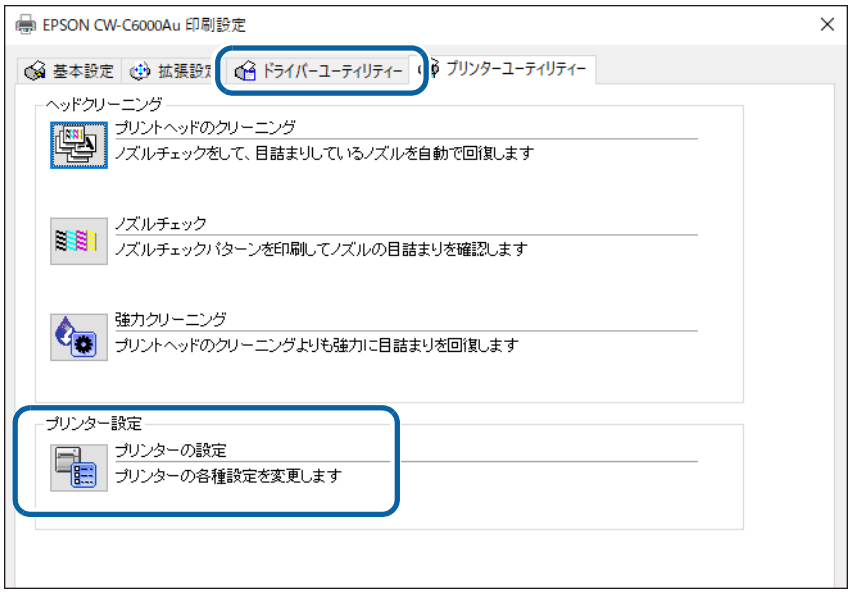
7 ［キャンセル］または画面右上の × をクリックし印刷設定画面を閉じます。

重要

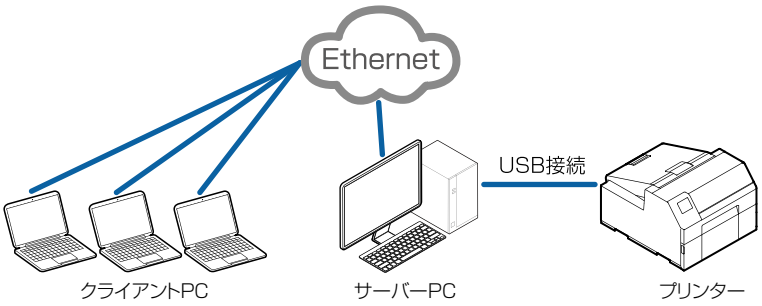
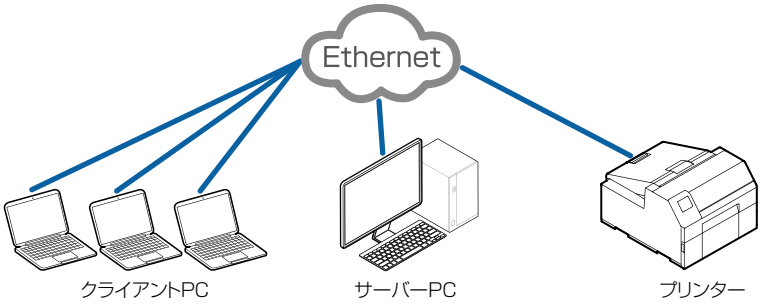
クライアント PC で［デバイスとプリンター］から開いた印刷設定画面を閉じるときに、［OK］をクリックしないでください。［OK］をクリックすると、クライアント PC 側の設定で保存してしまうことになり、サーバーとの関連が切れてしまいます。

PrinterSetting 機能の制限事項

システム環境により、「プリンターユーティリティー」から PrinterSetting（プリンター設定）を起動できなくなる場合があります。



以下にシステム構築例と PrinterSetting の制限事項を説明します。

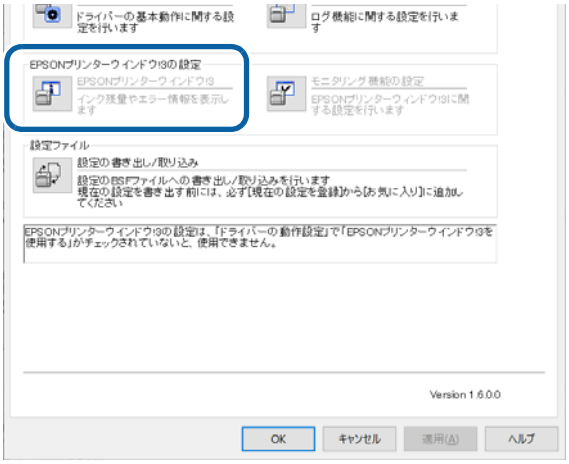
システム構成	PrinterSetting の起動	
	サーバー PC	クライアント PC
サーバー PC とプリンターは USB 接続されている。クライアント PC とサーバー PC はネットワーク 経由で接続されている。 	可能	不可
サーバーPC、プリンター、およびクライアントPCがそれぞれネットワーク 経由で接続されている。 	可能	PrinterSetting のアプリをインストールすれば可能

EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用すると、印刷したときに用紙種類やインク残量をポップアップウィンドウで表示します。また、致命的なエラーが発生したときには、エラー画面を表示します。
初期設定では「使用しない」に設定されています。

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない

初期設定では、「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない」になっています。



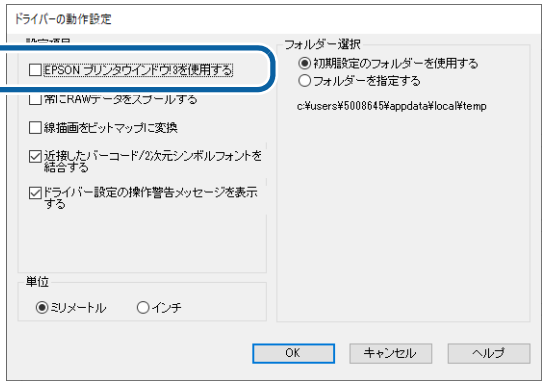
「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する」にする方法は以下のとおりです。

1 **本製品の電源を入れます。**

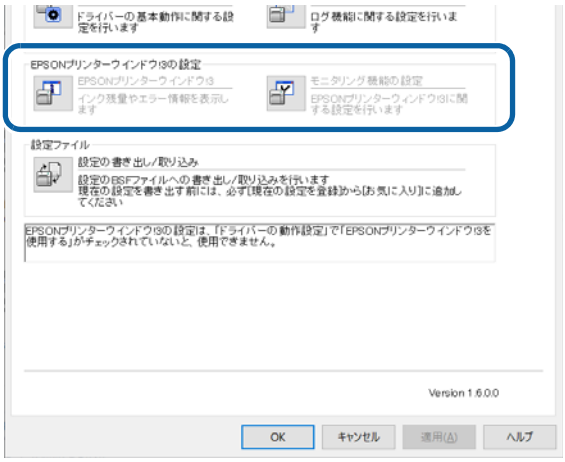
2 **プリンタードライバーを表示します。**

3 **［ドライバーユーティリティー］タブを選択し、［ドライバー動作設定］の［ドライバーの動作設定］をクリックします。**

4 **［ドライバーの動作設定］画面が表示されます。［EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する］にチェックし、［OK］をクリックします。**



5 ［ドライバーユーティリティー］画面の［EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定］には、［EPSON プリンタウィンドウ !3］と［モニタリング機能の設定］が表示されます。



EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する

「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する」に設定すると以下の動作をします。

- 印刷時に自動的に画面が表示され、プリンターの状態やインク残量を確認することができます。
- 印刷中のプリンターにエラーが発生すると、エラー内容が表示されます。
  印刷していないときは、プリンターがエラーになっても、EPSON プリンタウィンドウ !3 は起動しません。
- タスクトレイの「EPSON プリンタウィンドウ !3」のアイコンをクリックすると、いつでも「EPSON プリンタウィンドウ !3」を表示させることができます。
  （アイコンの表示方法は、158 ページ「アイコンの表示」を参照してください。）

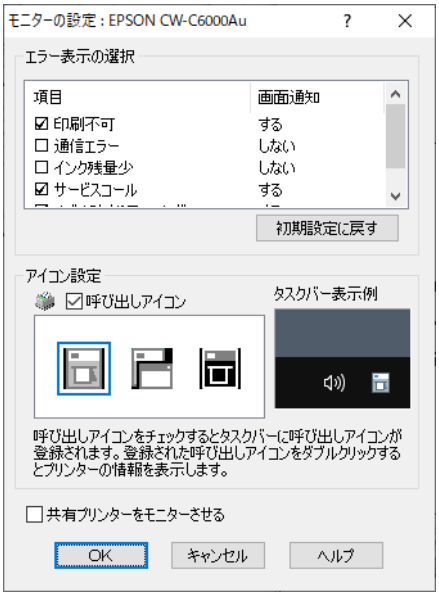


EPSON プリンタウィンドウ !3 表示画面



タスクトレイのアイコン

- 「モニタリング機能の設定」では、以下の設定ができます。
  「EPSON プリンタウィンドウ !3」アイコンを、タスクバーに表示させる。
  （158 ページ「アイコンの表示」を参照してください。）



エラー通知設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合の、エラー通知方法は以下のとおりです。

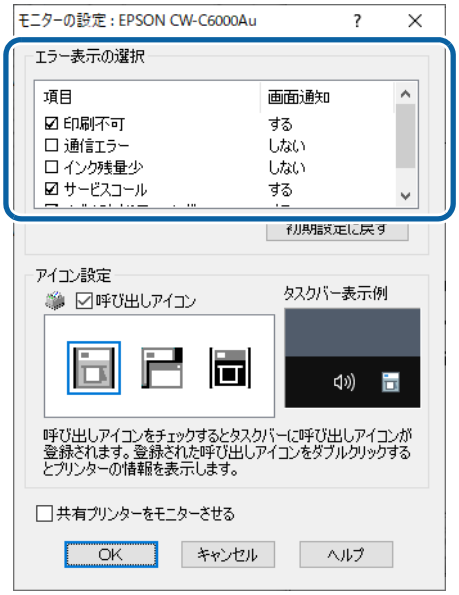
1 **本製品の電源を入れます。**

2 **プリンタードライバーを表示します。**

3 **［ドライバーユーティリティー］タブを選択し、［モニタリング機能の設定］をクリックします。**

EPSON プリンタウィンドウ !3 が無効の場合、［モニタリング機能の設定］は表示されません。（153 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない」を参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 を有効にしてください。）

4 **［モニターの設定］画面が表示されます。エラー発生時に表示させたい項目をチェックし、［OK］をクリックします。**



- •印刷不可：　用紙 / インク交換発生時（初期設定：画面通知［する］）
- •通信エラー：　プリンターの電源が切れている時（初期設定：画面通知［しない］）
- •インク残量少：　インク残量少時（初期設定：画面通知［しない］）
- •サービスコール：　プリンターエラー発生時（初期設定：画面通知［する］）
- •ノズル詰まりワーニング：　ノズル詰まり時（初期設定：画面通知［する］）

アイコンの表示

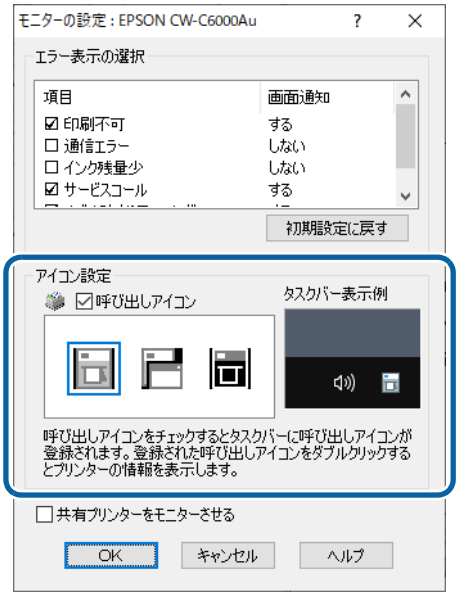
タスクトレイにアイコンを常駐させ、プリンターの状態をすぐに確認することができます。初期設定ではアイコンを表示しません。アイコンの表示方法は以下のとおりです。

1 本製品の電源を入れます。

2 プリンタードライバーを表示します。

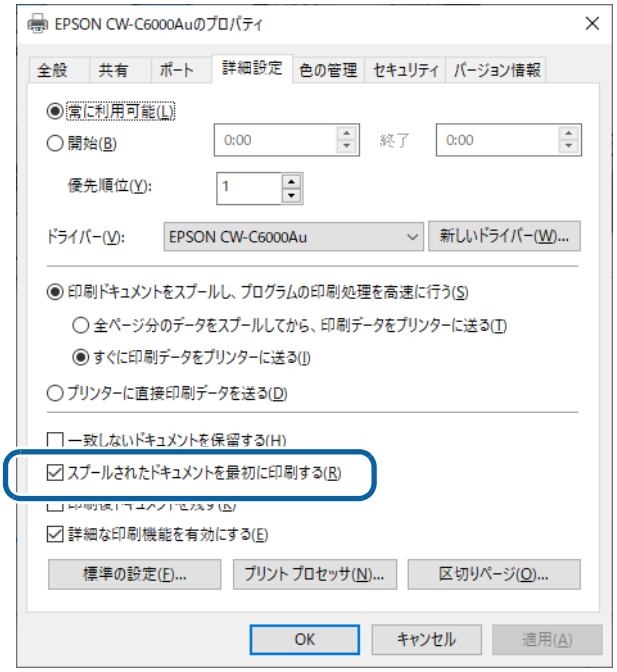
3 ［ドライバーユーティリティー］タブを選択し、［モニタリング機能の設定］をクリックします。

4 ［モニターの設定］画面が表示されます。［呼び出しアイコン］をチェックし、タスクバーに表示するアイコンの種類を選択します。［OK］をクリックします。



プリンタードライバーの制限事項

- 双方向サポートは有効の状態で使用してください。プリンタードライバーで［用紙設定］の［印刷品質］のサブメニュー［詳細設定］から設定できます。
- プリンタードライバーではプリセット画像の印刷はできません。
- 複数のジョブを順番どおりに印刷したい場合、［スプールされたドキュメントを最初に印刷する］を無効に設定してください。［スプールされたドキュメントを最初に印刷する］を有効にして複数のジョブを印刷した場合、印刷実行順と出力順が異なることがあります。

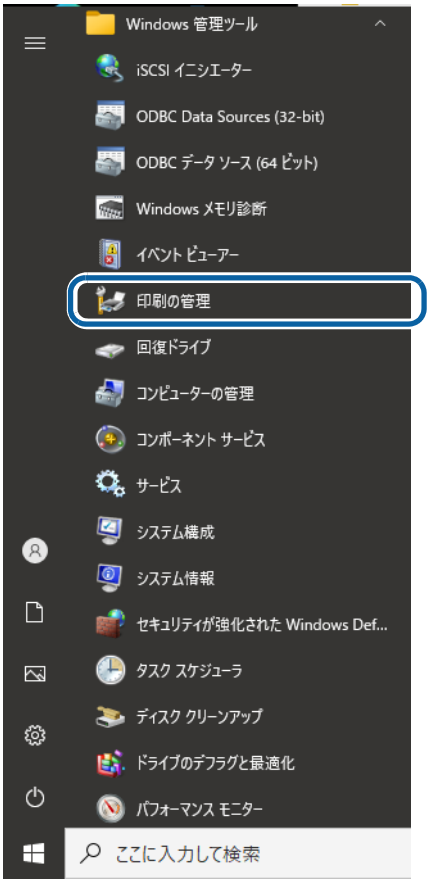


- エプソンのプリンタードライバーを使用する場合は、ESC/Label　コマンドのコントロールプレフィックス、フォーマットプレフィックス、デリミタ文字の設定は初期値のまま使用してください。変更した場合、印刷が行われないか、意図しない印刷がされるようになります。
  初期値は 221 ページ「操作パネルの設定項目」の［プリンター設定］-［印刷設定］-［コマンド制御］の項目を参照

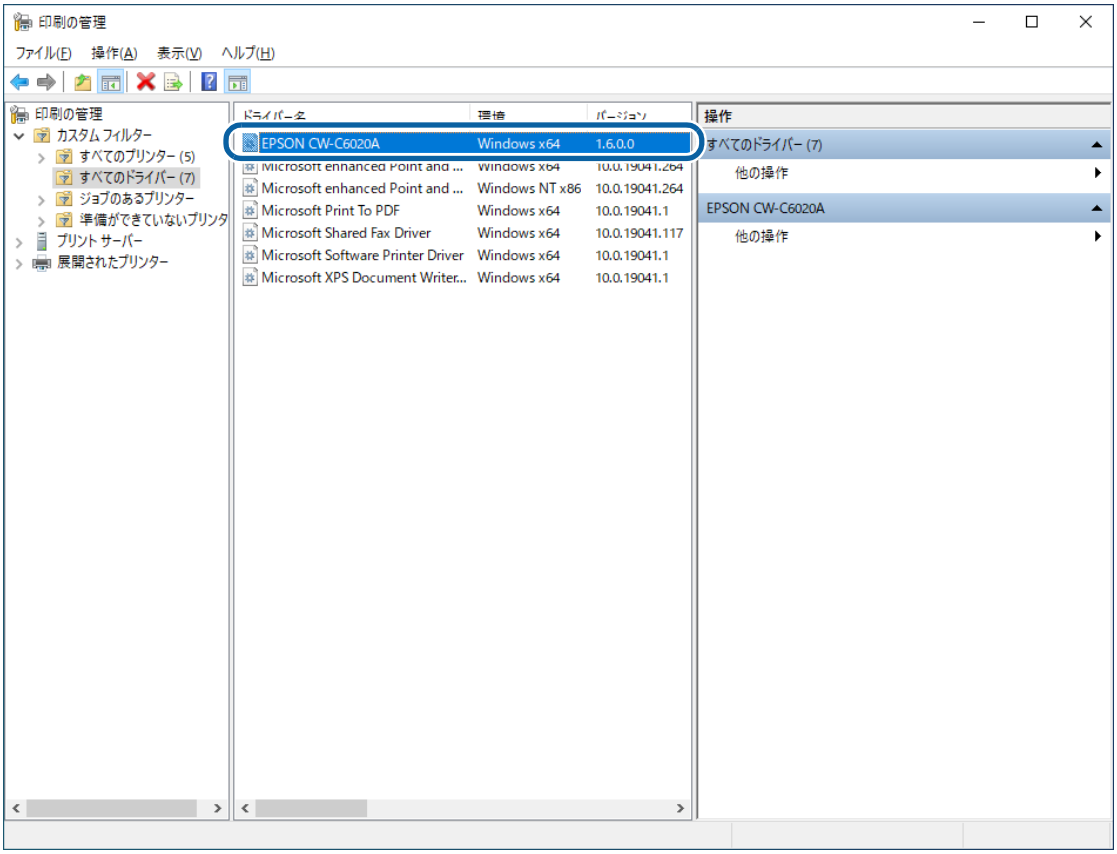
プリンタードライバーの分離

プリンター ドライバーの分離により、印刷スプーラーを実行するプロセスとは別のプロセスでプリンタードライバーを実行することで、Windows 印刷サービスの信頼性が向上します。
分離方法は以下のとおりです。

1　**[スタート] - [Windows 管理ツール] - [印刷の管理] の順で選択します。**

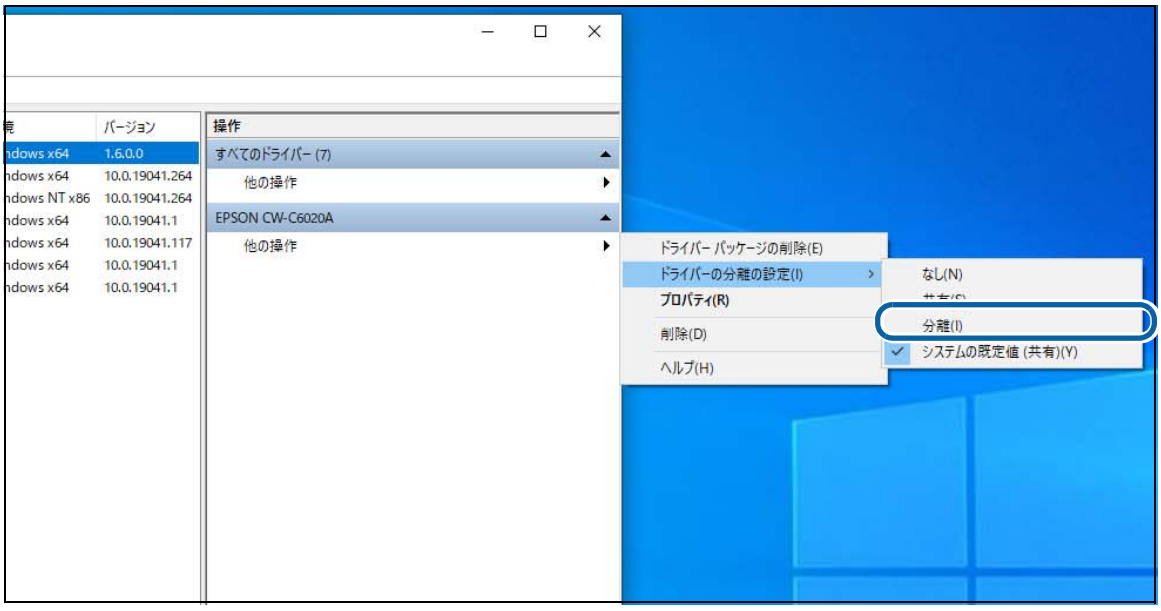


2　[ドライバ名] から [EPSON CW-C6020A] を選択します。



登録名が EPSON CW-C6020A の場合です。

3　[操作] - [他の操作] - [ドライバの分離の設定] - [分離] を選択します。



プリンタードライバー（Mac）

プリンタードライバー（Mac）の操作方法について説明しています。
プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティーを使うとプリンターの状態の確認やメンテナンスもできます。

基本の印刷手順

1 **プリンターの電源を入れて、印刷する用紙をセットします。**（48 ページ「用紙カバーの開け方」）

2 **アプリケーションソフトでデータを作成したら、［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）をクリックします。**
画面は、Mac OS X 標準のアプリケーション「プレビュー」での例です。



3 画面下の［詳細を表示］（または ）をクリックします。

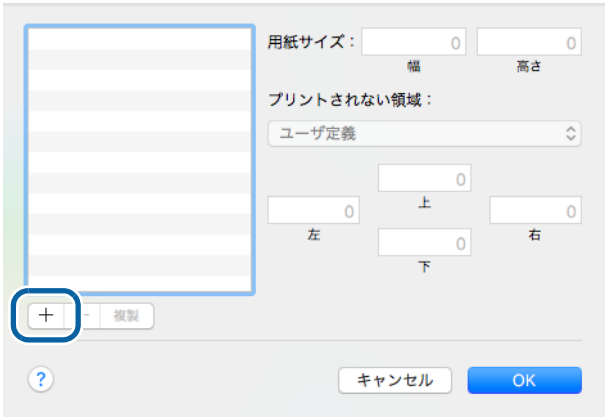


プリント画面にページ設定画面の項目が表示されないときは、アプリケーションソフトで、［ファイル］メニューから［ページ設定］などをクリックします。

4 本製品が選択されていることを確認し、用紙サイズの設定をします。
用紙サイズは［カスタムサイズを管理］を選択することで、任意の用紙サイズに設定できます。



5 [+] をクリックし、新規の用紙サイズを作成します。



6 使用する用紙に合わせ、用紙サイズの設定と、本製品の余白設定を行います。

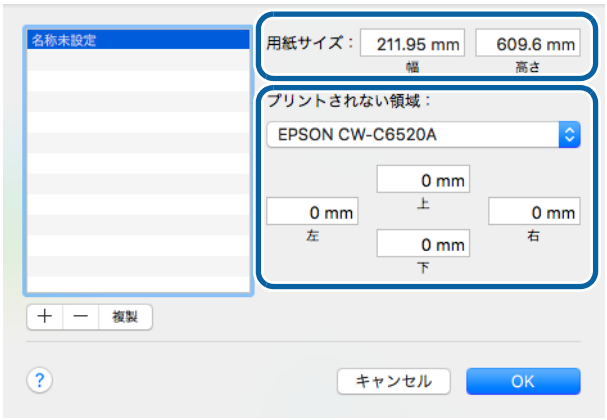
[用紙サイズ] には、ラベルのサイズを入力してください。
[プリントされない領域] は上下左右 0 mm に設定してください。

重要

Mac ドライバーで設定した用紙サイズと、本体パネルに表示される用紙サイズが一致しない場合があります。
例１）幅 15.0 mm のラベルを Mac ドライバーから印刷するとき
- 幅の設定値（Mac ドライバー）：15.0 mm
- 幅の設定値（本体パネル）：14.8 mm

例２）高さ 212.0 mm のラベルを Mac ドライバーから印刷するとき
- 高さの設定値（Mac ドライバー）：212.0 mm
- 高さの設定値（本体パネル）：211.7 mm

用紙サイズを設定する場合は、本体パネルに表示されている値を確認して設定してください。



7 [名称未設定] をクリックして、カスタムサイズに任意の名称を入力し、[OK] をクリックします。

作成した用紙サイズがドライバーに反映されます。

8 使用する用紙に合わせて、以下の項目を入力・設定します。

ここでは本製品独自の設定項目について紹介します。そのほかの項目の詳細はヘルプを参照してください。

- 給紙方法を変更するときは、Epson Label Printer Utility から設定してください。（170 ページ「Epson Label Printer Utility」）
- ［用紙種類］のドライバーの初期値は、以下の手順で変更できます。
  1. アップルメニュー -［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］の順にクリックします。
  2. お使いのプリンターを選択し、［オプションとサプライ ...］-［オプション］の順でクリックします。
  3. 設定値を変更します。
- 設定項目が一覧に表示されないときは、お使いのプリンタードライバーが追加されていません。
  以下をご覧になりプリンタードライバーの追加を行ってください。
  （167 ページ「プリンタードライバーの選択方法」）

1 印刷設定

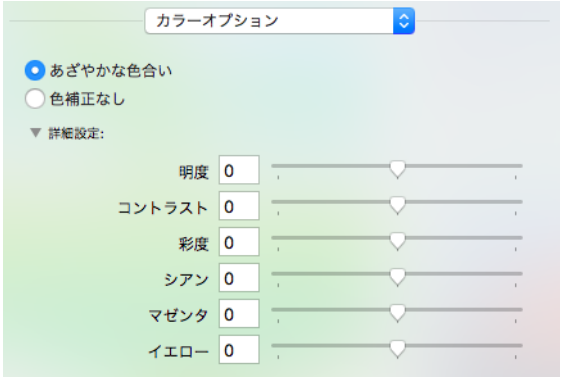
使用する用紙に合わせて、用紙種類などを選択します。そのほかの設定項目については、ヘルプを参照してください。



注意 ダイカットラベルに印刷するときは［用紙節約］をオフにしてください。オンにすると印刷位置がずれることがあります。

2 カラーオプション

カラーマッチングで EPSON Color Controls を選択したとき有効になります。この画面では、明度や彩度などの色合いの調整ができます。設定項目の詳細はヘルプを参照してください。
色補正については以下をご覧ください。（240 ページ「色補正方法」）



3	拡張設定

この画面では、オートカット設定（オートカットモデルのみ）ブザー設定・一時停止設定・インク打ち込み量・黒比率補正・インクの乾燥時間を設定できます。
設定項目の詳細については、ヘルプを参照してください。



注意

［インク打ち込みレベル］と、［ 黒比率補正］、［ヘッドパス毎の乾燥時間］のチェックを外して印刷すると、プリンター側で設定されている設定値に従って印刷されます。ドライバーがグレーアウトで表示している設定値はドライバーの初期値であり、実際の設定を反映したものではありません。

- ［オートカット］（オートカッターモデルのみ）、［ブザー設定］、［一時停止設定］のドライバーの初期値は、以下の手順で変更できます。
  1. アップルメニュー - ［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］の順にクリックします。
  2. お使いのプリンターを選択し、[オプションとサプライ ...] - [オプション] の順でクリックします。
  3. 設定値を変更します。
- 初期設定から黒比率を上げると、印刷直後にはラベル表面のインクが指に付着しやすくなります。取り扱いには十分注意してください。
- [ラベル長さ] に 15.0mm 未満の値を設定した場合の注意事項
  - ＊ 紙詰まりが発生する可能性があるため、オートカットできません。
  - ＊ [印刷後用紙動作設定] の [カットする] 選択肢は以下の 3 つとも選択できます。
    - カットする（最終ラベル印刷後）
    - カットする（指定ラベル毎）
    - カットする（部単位印刷の最終ページ）
  - ＊ [印刷後用紙動作設定] - [カットする（指定ラベル毎）] を選択し、[拡張設定] タブで [部単位で印刷] にチェックを入れている場合は、[カット間隔] に 1 部あたりのページ数を指定してください。
    チェックを入れていない場合は、[カット間隔] に部数を指定することを推奨します。
  - ＊ [印刷後用紙動作設定] - [カットする（指定ラベル毎）] - [カット間隔] が「1」の場合には、カットできる最低ラベル長さ（15.0mm）以上になるように、ドライバーが自動で [カット間隔] を「2」に変更します。
    またカットできる最低ラベル長さ（15.0mm）未満にならないよう、[カット間隔] には「1」を設定できなくなります。

9　各設定を確認し、[プリント] をクリックして印刷を開始します。

プリンタードライバーの選択方法

「基本の印刷手順」で説明しているメニューが表示されないときは、［プリンタ］でお使いのプリンターのドライバーを選択してください。プリンタードライバーは以下のように表示されます。

- USB 接続のとき
  EPSON CW-C6XXXX
- ネットワーク接続のとき
  EPSON CW-C6XXXX-YYYYYY
  XXXX は製品型番です。YYYYYY は MAC アドレス下 6 桁です。



OS のバージョンによっては、ネットワーク接続でも MAC アドレスが表示されない場合があります。

お使いのプリンタードライバーがリストに表示されないときは以下の手順で追加してください。

1 **アップルメニュー - ［システム環境設定］ - ［プリンタとスキャナ］の順にクリックします。**

2 **［+］をクリックし、［プリンタまたはスキャナを追加 ...］を選択します。**

3 **デバイスのリストが表示されたら、お使いのプリンタードライバーを選択して［追加］をクリックします。**

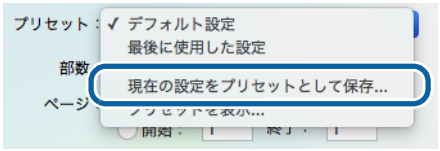
プリンタードライバーのカスタマイズ

よく使う設定情報（用紙サイズや基本設定の各項目）は、［プリセット］に名称を付けて保存できます。
保存した設定を選択することで効率よく、繰り返し同じ設定で印刷できます。

プリセットに保存

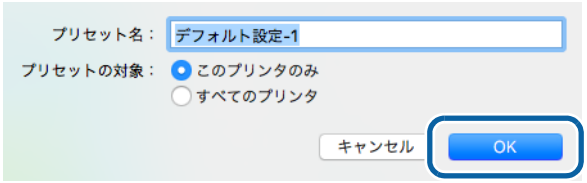
1　用紙サイズや基本設定の各項目を、プリセットに保存したい内容に設定します。

2　［プリセット］で［現在の設定をプリセットとして保存 ...］をクリックします。



最後に使用したプリセットを次回印刷時も選択された状態にする場合は、[プリセットの表示 ...] を開き、[プリント後にプリセットメニューを ” デフォルト設定 “ にリセット] のチェックが外れていることを確認してください。

3　任意の名称を入力し、［OK］をクリックします。

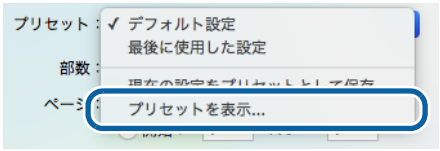


［プリセットの対象］で［すべてのプリンタ］を選択すると、お使いのコンピューターにインストールしているすべてのプリンタードライバーから保存した［プリセット］を選択できます。

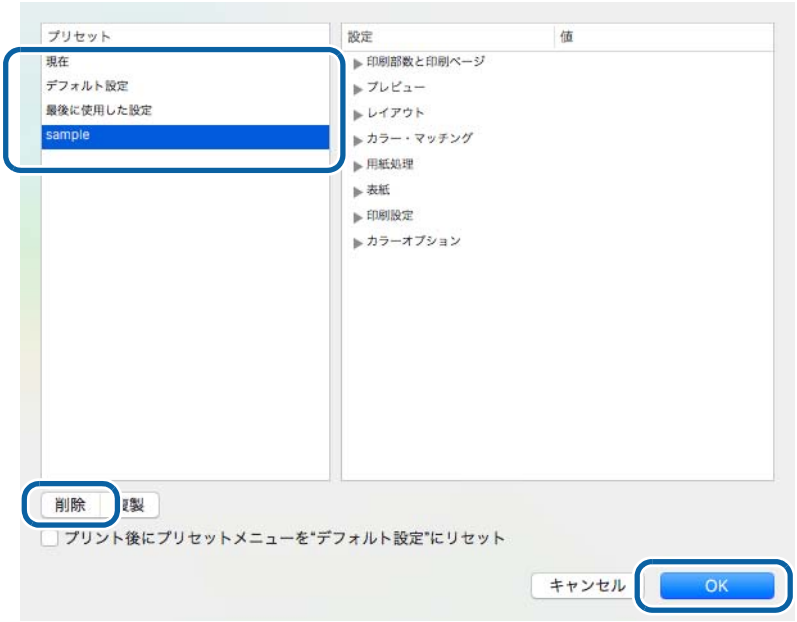
［プリセット］に設定が保存されます。以降は、［プリセット］で保存した設定を選択できます。

プリセットから削除

1 プリント画面の［プリセット］で［プリセットを表示 ...］をクリックします。



2 削除する設定を選択して［削除］をクリックして、［OK］をクリックします。



Epson Label Printer Utility

Epson Label Printer Utility では、EPSON プリンターウィンドウの起動、ノズルチェック印刷、プリントヘッドのクリーニング、双方向印刷のずれの調整などが行えます。また、印刷設定、位置調整、印刷後用紙動作設定（ピーラーモデルのみ）では、コンピューターからプリンターの設定を変更できます。

1　**アップルメニュー - ［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］の順にクリックし、本機専用のドライバーを選択します。**

2　**本製品を選択し、［オプションとサプライ ...］-［ユーティリティ］-［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。**





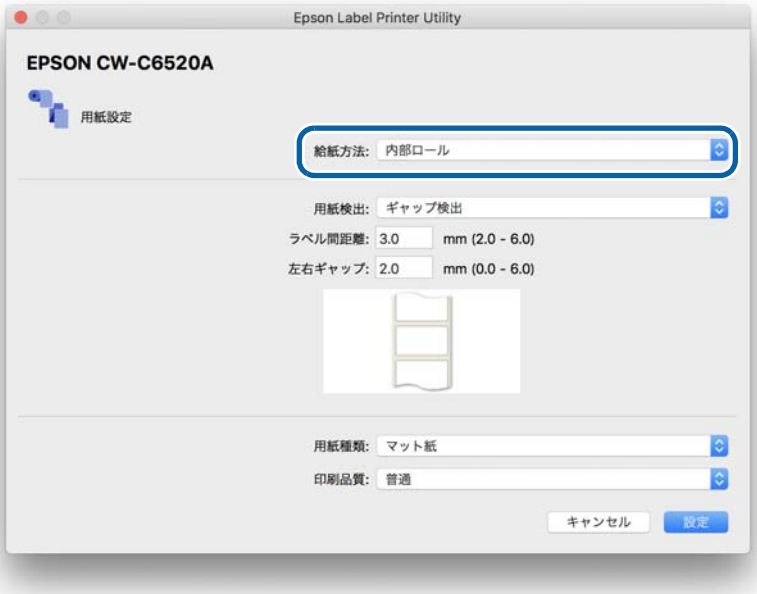
3　**Epson Label Printer Utility が起動します。**

アイコンをクリックすると、各機能の画面へ遷移します。詳しくは、画面に表示される説明を参照してください。



給紙方法を変更する

給紙方法（内部ロール、または外部フィード）を変更するときは、Epson Label Printer Utility の［用紙設定］画面の [給紙方法] から変更できます。



プリンタードライバー(Linux)

プリンタードライバーのインストール方法、Epson Label Printer Utility for Linux の設定方法などを説明します。Epson Label Printer Utility for Linux では、EPSON プリンターウィンドウの起動、ノズルチェック印刷、プリントヘッドのクリーニング、用紙設定、双方向印刷のずれの調整などが行えます。

Linux プリンタードライバーについて

- 自力で Linux システムを構築できるシステム開発者などに向けたもので、一般のエンドユーザー向けではありません。ドライバーの操作は主にコマンドラインで行う必要があり、Windows ドライバーなどのようなリッチな GUI は提供されていません。
- 印刷するための最低限の機能のみが提供されます。
- 基本的に Mac ドライバーと同様の機能が提供されます。但し、Linux OS の制限により実現できない機能を除きます。

以下の手順で設定します。

1. パッケージ (epson-inkjet-printer-cw-c6000c6500) の入手 (173 ページ)
2. プリンタードライバーのインストール (173 ページ)
3. I/O モジュールのインストール (173 ページ)
4. CUPS にプリントキューを登録する (173 ページ)
5. Epson Label Printer Utility for Linux のインストール (175 ページ)
6. Epson Label Printer Utility for Linux を起動する (175 ページ)

このページでは、コマンドの記述が $ で始まるものはログインユーザー、# で始まるものは管理者権限で実行することを示しています。

パッケージ (epson-inkjet-printer-cw-c6000c6500) の入手

プリンタードライバー、Epson Label Printer Utility for Linux の最新版をダウンロードしてください。
詳細は 379 ページ「ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード」を参照してください。

プリンタードライバーのインストール

ターミナルソフトウェアを開き、以下のコマンドを実行します。
< Ubuntu 18.04>
  # dpkg -i epson-inkjet-printer-cw-c6000c6500_[Arch].deb
<CentOS 7>
  # rpm -i epson-inkjet-printer-cw-c6000c6500_[Arch].rpm

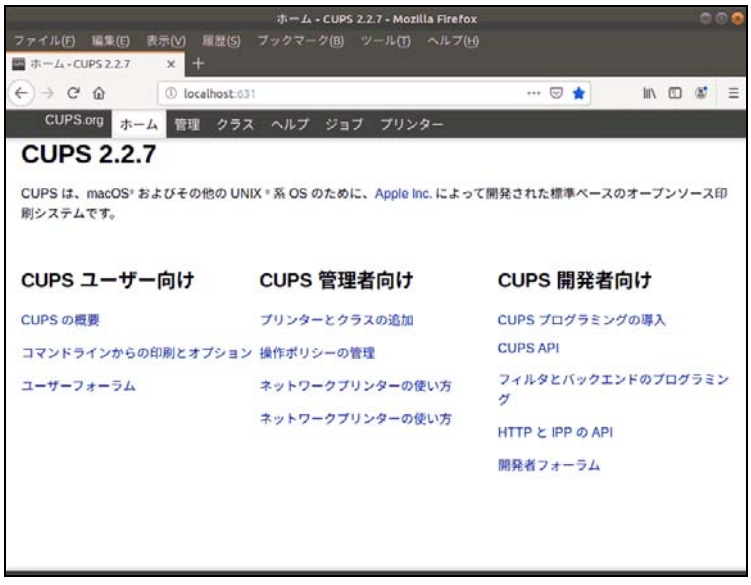
I/O モジュールのインストール

以下のコマンドを実行します。
1.0.0 はソフトウェアのバージョンです。お使いになるファイルに合わせて修正してください。
< Ubuntu 18.04>
  # dpkg -i epson-printer-io-community-**1.0.0**.deb
< CentOS 7>
  # rpm -i epson-printer-io-community-**1.0.0**.rpm

CUPS にプリントキューを登録する

Web ブラウザからの設定方法を説明します。

1 **以下のアドレスにアクセスします。**
http://localhost:631/

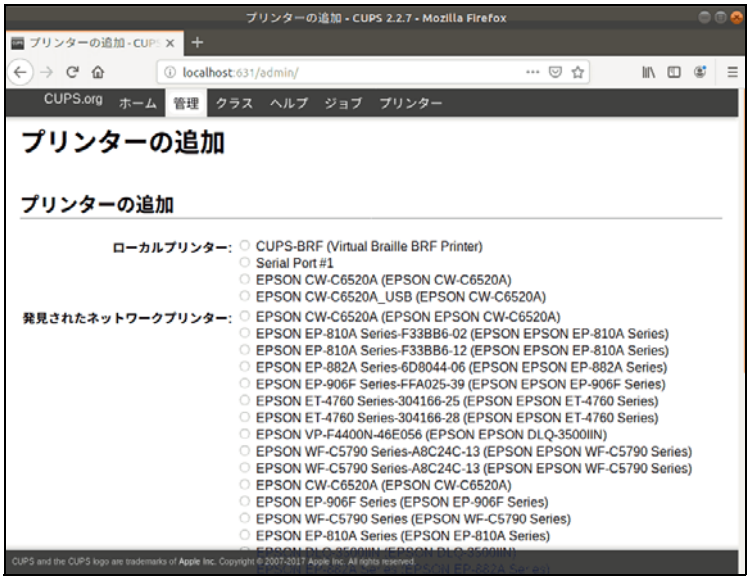


2 ［管理］タブから［プリンターの追加］を選択します。



ウィザードの指示どおりに進めます。ユーザー名とパスワードの入力が求められたら、ユーザー名「root」と管理者権限のパスワードを入力します。

3 プリンターの一覧が表示されるので、使用するプリンターを選択します。

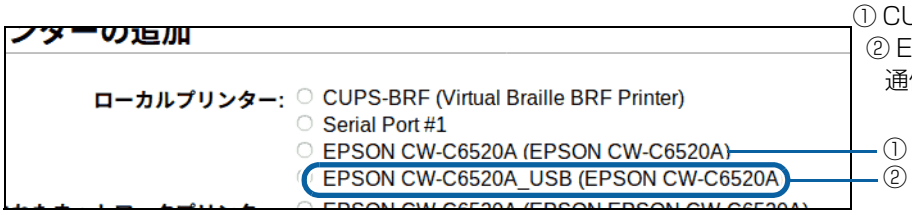


「プリンター」タブに選択したプリントキューの情報が表示されます。

USB 接続の場合

USB ケーブルでプリンターと接続している場合は、以下の手順で設定します。

CUPS でのプリンターキュー追加時に、機種名の後に「_USB」と表示されているプリンター（②）を選択してください。



① CUPS 標準の経路
② EPSON 製
通信用モジュール

Epson Label Printer Utility for Linux のインストール

以下のコマンドを実行します。
1.0.0 はソフトウェアのバージョンです。お使いになるファイルに合わせて修正してください。
＜ Ubuntu 18.04＞
　# dpkg -i epson-label-printer-utility-community-**1.0.0**-QT5.deb
＜ CentOS 7＞
　# rpm -i epson-label-printer-utility-community-**1.0.0**-QT5.rpm0

Epson Label Printer Utility for Linux を起動する

Epson Label Printer Utility for Linux は、コマンドラインからの起動、またはデスクトップエントリからの起動に対応しています。

以下のいずれかの方法で起動します。

❏ コマンドラインからの起動

以下のコマンドを実行します。

＜ Ubuntu/ CentOS 共通＞

$ /opt/epson/epson-label-printer-utility/elpuqt &

❏ デスクトップエントリからの起動

ディストリビューション、エディション、フレーバー、バージョンにより操作方法が異なる場合があります。
ここでは Ubuntu 18.04、CentOS 7 での起動方法を説明します。

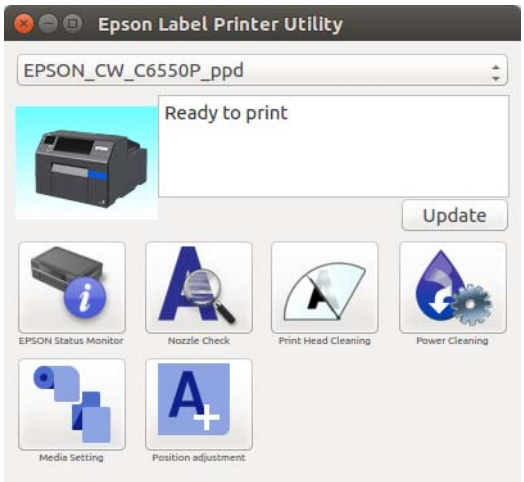
<Ubuntu 18.04>

画面左下のアイコンをクリックし、一覧から Epson Label Printer Utility を選択します。一覧に表示されない場合は "Epson" で検索します。

<CentOS 7>

画面左上のアプリケーションメニューから、アクセサリサブメニューを選択します。一覧から Epson Label Printer Utility を選択します。

Epson Label Printer Utility for Linux が起動します。
アイコンをクリックすると、各機能の画面へ遷移します。詳しくは、画面に表示される説明を参照してください。



依存ライブラリのインストール

サポートディストリビューションのデフォルトのインストール状態であれば、依存ライブラリのインストールは不要です。意図的にインストールパッケージを限定している場合は、依存ライブラリの不足により、Epson Label Printer Utility for Linux が動作しない場合があります。

依存モジュールと必要なパッケージは以下のとおりです。

依存ファイル	依存パッケージ (Ubuntu 18.04)	依存パッケージ (CentOS 7)
libQtCore.so.5	libqt5core5a	qt5-qtbase
qt5-qtbase	libqt5gui5	qt5-qtbase-gui
libQtWidgets.so.5	libqt5widgets5	
libcups.so.2	libcups2	libcups2
libcupsimage.so.2	libcupsimage2	
libpng15.so.15	（使用しない）	libpng15
libpng16.so.16	libpng16-16	（使用しない）
libusb-1.0	libusb-1.0-0	libusb

Epson Label Printer Utility for Linux 起動時に、依存ライブラリの不足によりエラーが出る場合は、必要なファイルをインストールしてください。

例：Ubuntu 18.04 で Qt5 が不足している

以下のコマンドを実行します。

apt install libqt5widgets5

Epson Label Printer Utility for Linux を終了する

以下のいずれかの方法で終了できます。

- 画面上の［X］をクリックする。
- ［Alt］＋［F4］を押す。
- ［Epson Label Printer Utility を終了する］をクリックする。

プリンタードライバー、Epson Label Printer Utility for Linux のアンインストール

❏ プリンタードライバー

ターミナルソフトウェアを開き、以下のコマンドを実行します。

< Ubuntu 18.04>
dpkg -P epson-inkjet-printer-cw-c6000c6500
< CentOS 7>
rpm -e epson-inkjet-printer-cw-c6000c6500

❏ Epson Label Printer Utility for Linux

ターミナルソフトウェアを開き、以下のコマンドを実行します。

< Ubuntu 18.04>
dpkg -P epson-label-printer-utility-community
dpkg -P epson-printer-io-community
< CentOS 7>
rpm -e epson-label-printer-utility-community
rpm -e epson-printer-io-community

SAP システムからの印刷

CW-C6020/6520 シリーズは、基幹業務統合システム（ERP:Enterprise Resource Planning）の 1 つである SAP システムからの印刷が可能です。

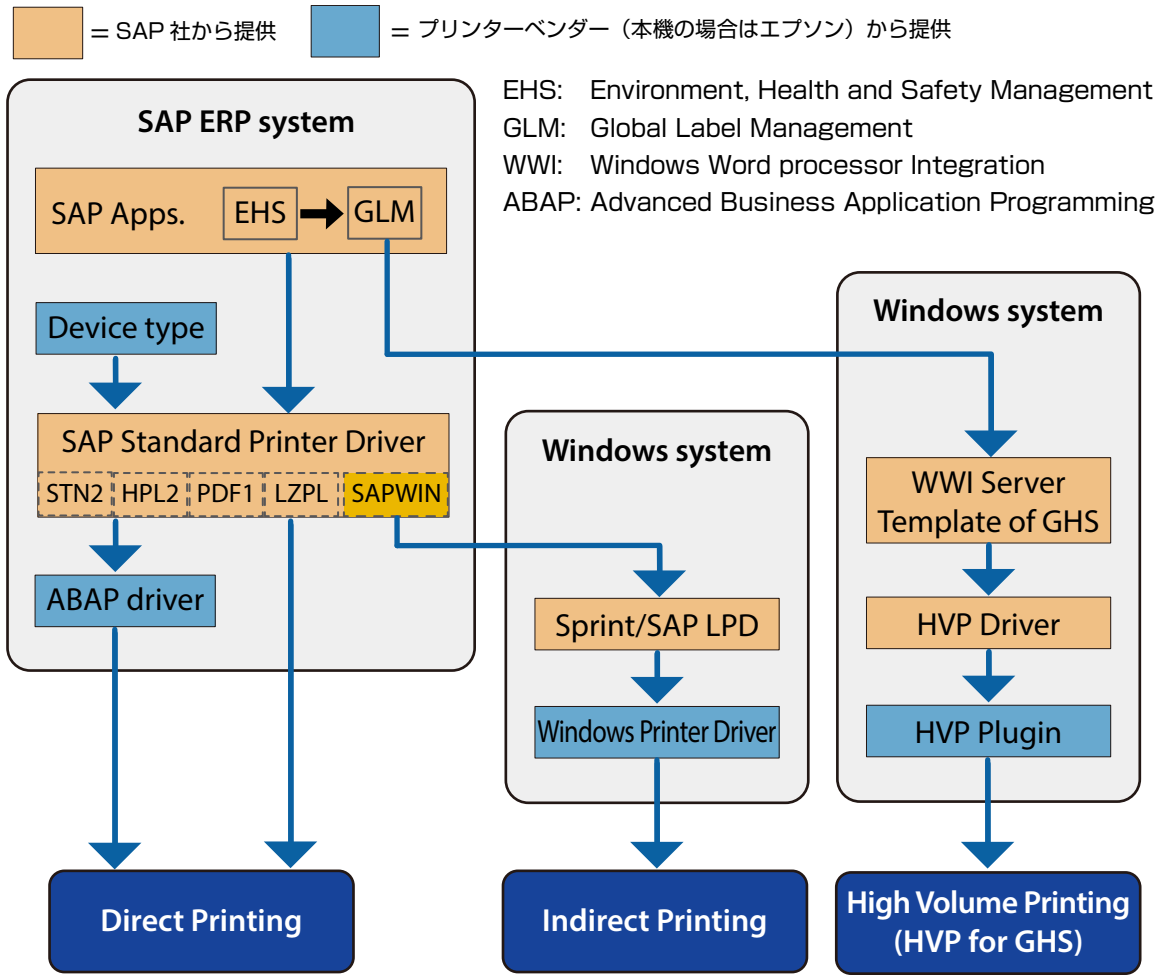
SAP システムからの印刷方式について

SAP システムからの印刷方式には、以下の 3 種類があります。
それぞれの印刷方式のデータの流れと構成要素については 178 ページ「SAP システムを使った印刷データの流れ」をご覧ください。

印刷方式	概要
Direct printing ☞179 ページ「Direct printing で印刷するには」	SAP システムの標準の印刷方式です。閉じた SAP システム環境、つまり原則として SAP 社が提供するプログラム内で動作する印刷の仕組みです 。プリンタードライバーも SAP システムが提供している標準のものを使います。このため、信頼性、安定性の高い印刷が可能で、大量のリモートバッチ印刷にはこの Direct printing を使うことが一般的です。 プリンターベンダーからは、プリンターの能力を記述した Device type というファイルのみを提供します。ただし、SAP システムのプリンタードライバーが対応していないプリンター制御言語を使っているプリンターの場合は、プリンターベンダーから ABAP driver も提供します。ABAP driver とは、標準のドライバーがサポートしているプリンター制御言語を、プリンターがサポートしている制御言語に変換するためのソフトウェアです。
Indirect printing ☞179 ページ「Indirect printing で印刷するには」	SAP システムの外に存在する Windows PC を通して印刷する方式です。 SAP 社が提供する「 Sprint 」または「 SAP LPD 」というソフトウェアが、その Windows PC 上で SAP システムからデータを受け取り、Windows の印刷システムに即した形式に変換し、プリンターベンダーが提供する通常の Windows 用プリンタードライバーにデータを渡すことで印刷を実現します。そのため、様々な Windows 対応プリンターで印刷することができます。ただし、SAP システム以外のソフトウェアを介するため、Direct printing に比べて問題が発生したり、印刷速度が遅くなったりする可能性があります。
High Volume Printing ☞179 ページ「High Volume printing で印刷するには」	SAP システム 内の EHS（Environment, Health and Safety Management）および GLM（Global Label Management）から、Windows PC 上の WWI（Windows Word processor Integration）Server を介して 、カラーのピクトグラムのある GHS ラベルを印刷するための仕組みです。 SAP 社が提供する HVP Driver を使い、プリンターの指定は、プリンターベンダーが提供する Plugin で行います。通常の Windows ドライバーよりも少ないデータ量での印刷が可能です。

SAP システムを使った印刷データの流れ

下図は、それぞれの印刷方式のデータの流れと構成要素を示します。



Direct Printing で使う **SAP Standard Printer Driver**（SAP システムの標準プリンタードライバー）が対応しているプリンター制御言語は以下の通りです。

名称	サポートしているプリンター制御言語
STN2	Line Printer Driver 2
HPL2	HP PCL5
LZPL	Zebra ZPL2
PDF1	Adobe PDF
POST2	Adobe PostScript
ESCPAG	EPSON ESC/Page
PRES	Kyocera PRESCRIBE

Direct printing で印刷するには

SAP システムの標準のプリンタードライバーを使い、SAP システム内で印刷する仕組みのため、使い方に関してはエプソンから提供できる情報はありません。SAP 社から提供されている情報をご覧ください *。

ここでは、CW-C6020/6520 シリーズで Direct printing 方式で印刷するために必要なエプソンが提供しているファイルと、インストール方法を説明します。

＊ どのメーカーのどのプリンターを使っていても、SAP システムを使って印刷する方法は全て共通です。
SAP Note に よってすべての情報が SAP ユーザーに公開されています。
SAP Note の入手には SAP ユーザーアカウントが必要です。

必要ファイル

❏ Device type
どちらか 1 つを使用します。
・YEPCW6X.PRI ：日本語以外の言語用
・YEPCW6XJ.PRI : 日本語用

❏ ABAP driver
以下の 2 つのファイルで構成されています。2 つをペアで使用します。
・K00XXXX.PVD
・R00XXXX.PVD

CW-C6020/6520 シリーズのプリンター制御言語は、ESC/Label コマンドです。SAP システムの標準プリンタードライバーがサポートしていないため、Device type、ABAP driver のどちらも必要です。
SAP システムが対応しているプリンター制御言語については 178 ページ「SAP システムを使った印刷データの流れ」をご覧ください。

インストール方法

インストール方法等の情報は以下の SAP Note を参照してください。
- SAP Note 2867759
- SAP Note 1103422

SAP 社 Web サイト URL：https://launchpad.support.sap.com

Indirect printing で印刷するには

エプソンの最新の Windows ドライバーをインストールしてご使用ください。
Windows ドライバーの使い方は、74 ページ「プリンタードライバー（Windows）」をご覧ください。
SAP 社が提供する「Sprint」または「SAP LPD」のインストールおよびその他の使用法については SAP 社の指示にしたがってください。

High Volume printing で印刷するには

SAP社が提供するHVP Driverを使って印刷します。エプソンは、HVP Driver用のPluginを提供しています。
Plugin のファイル名：HVP Plug in for CW C60x0/C65x0
High Volume Printing の使い方は、Plugin に付属している「CW-C6000 Series/CW-C6500 Series HVP Plug in Module User's Guide」をご覧ください。

PrinterSetting（Windows）

PrinterSetting をユーザー権限で使用する場合、プリンタードライバーなどの他のソフトウェアが本製品と通信していると、設定を変更できないことがあります。

PrinterSetting は本製品を設定するための Windows 上で動作するユーティリティーです。PrinterSetting を使用して以下を設定できます。

項目	説明	ページ
用紙を設定する *	本製品で使用する用紙を設定します。	183 ページ
レイアウトを設定する *	用紙レイアウトを設定します。用紙形態や印刷領域を設定したユーザー定義レイアウトをします。	184 ページ
位置を調整する	印刷開始位置やカット位置を調整します。	186 ページ
印刷結果を調整する *	カラー調整やバーコード調整をします。	188 ページ
プリンターにデータを登録する	画像、テンプレート、フォントをプリンターに登録します。また、文字コード表から使用するコードを選択します。	189 ページ
プリセット画像を設定する *	プリセット画像を設定します。	193 ページ
クリーニングを行う	ヘッドクリーニングやノズルチェックの実行、定期クリーニングの設定をします。	197 ページ
詳細設定	プリンターの詳細設定をします。 • プリンター本体の設定 • パネルの設定 • 動作時間の設定 • ノズルチェックの設定 • 高度な設定 ＊ ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定 ＊ お気に入りの設定 • プリンターの初期化	198 ページ ～ 216 ページ
プリンター情報の表示	プリンター用紙設定やレイアウト設定などのプリンターの設定情報やメンテナンスカウンターを確認します。	217 ページ
設定の保存と復元	プリンターの設定を保存したり、保存していた設定を復元したりします。	219 ページ
オプション	PrinterSetting の設定をします。 PrinterSetting で使用する単位と起動時の設定をします。	220 ページ

* プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。

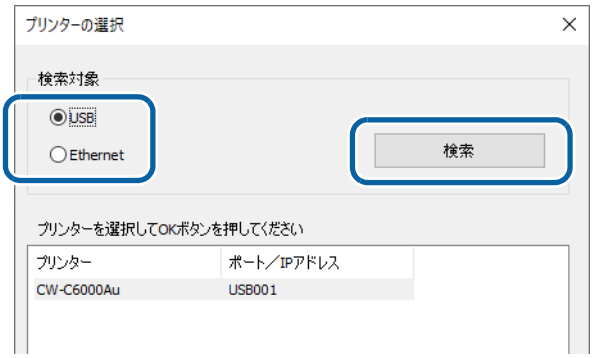
PrinterSetting の起動

以下の方法で、PrinterSetting を起動します。

1 **本製品の電源を入れます。**

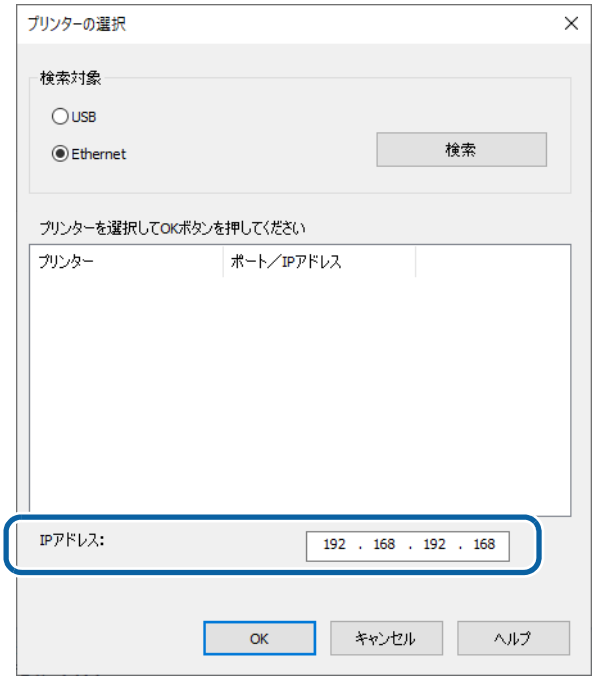
2 **［スタート］-［EPSON］-［CW-C6XXX Printer Setting］を選択します。**

3 **［プリンターの選択］画面が表示されます。検索対象を選択し［検索］をクリックします。**

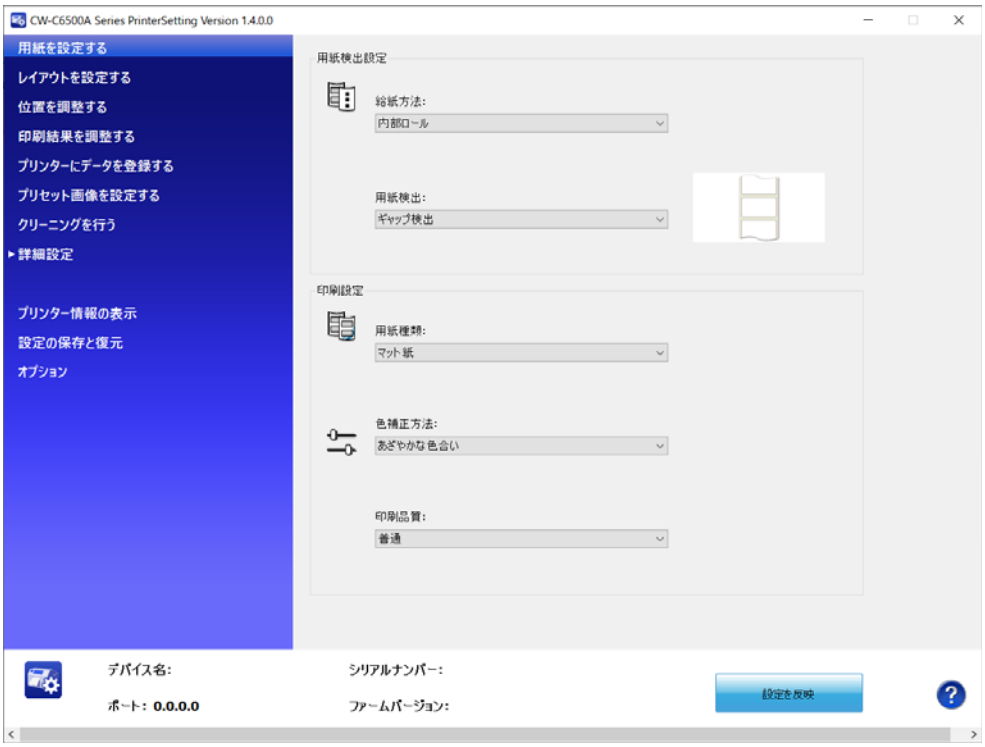


4 **リストに本製品が表示されます。設定するプリンターを選択し、［OK］をクリックします。**

Ethernet 接続の場合、検索してもリストに本製品が表示されない場合があります。
その場合、IP アドレスを入力してください。



5 PrinterSetting が起動します。



設定の反映

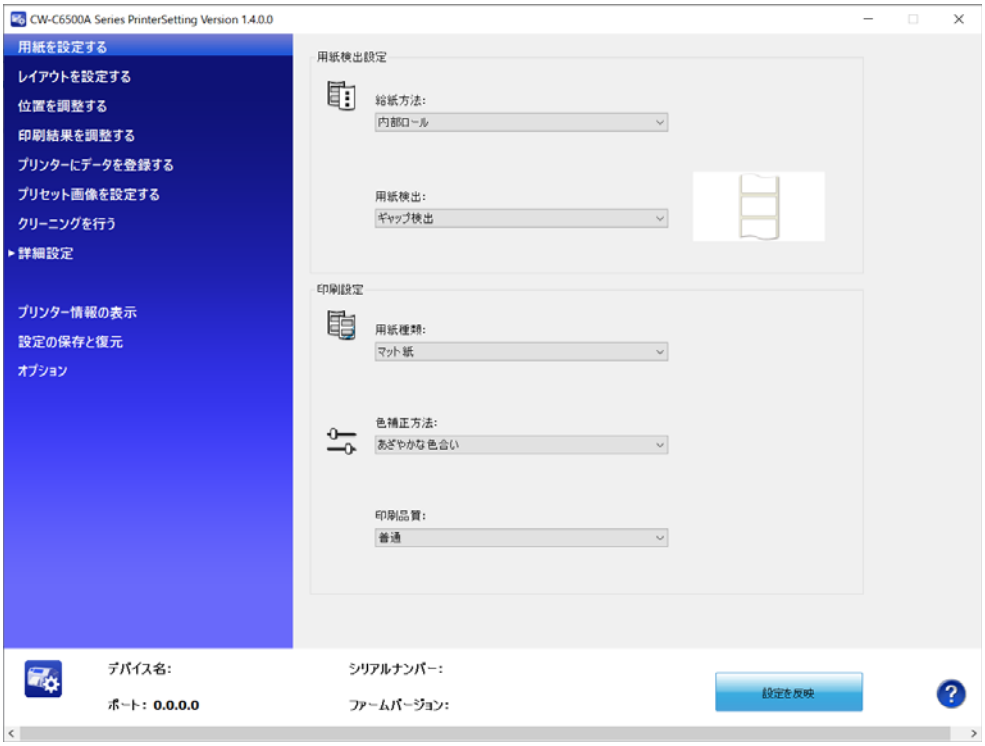
各項目を設定した後、［設定を反映］をクリックすると本製品の設定が変更されます。



用紙を設定する

本製品で使用する用紙を設定します。

> プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。

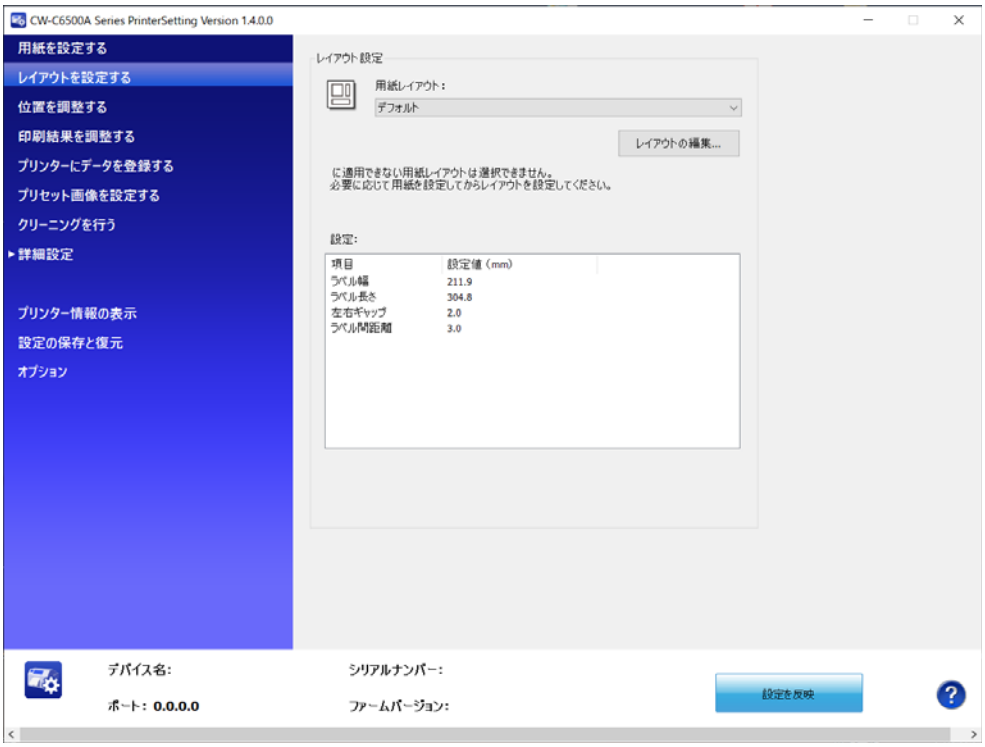


項目		説明
用紙検出設定	給紙方法	給紙方法を設定します。
	用紙検出	用紙の検出方法を設定します。
印刷設定	用紙種類	用紙種類を設定します。
	色補正方法	色補正方法を設定します。
	印刷品質	印刷品質を設定します。

レイアウトを設定する

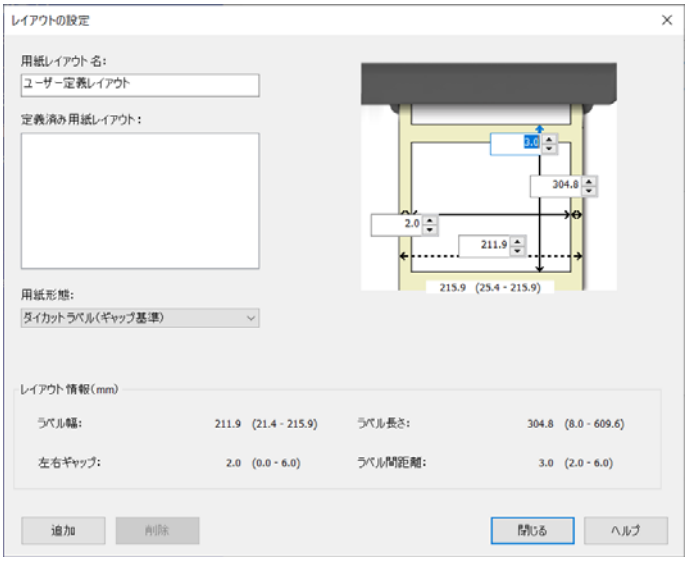
用紙レイアウトを設定したり、新規のユーザー定義レイアウトを作成したりします。

> プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。



項目		説明
レイアウト設定	用紙レイアウト	用紙レイアウトを設定します。
	レイアウトの編集	新規のユーザー定義レイアウトを作成します。クリックすると［レイアウトの設定］画面が表示されます。

レイアウトの設定



項目	説明
用紙レイアウト名	用紙レイアウト名を設定します。 任意の名称を入力します。
定義済み用紙レイアウト	定義済みの用紙レイアウトがリストに表示されます。
用紙形態	用紙形態を設定します。
レイアウト情報	ラベル幅、ラベル長さ、左右ギャップ、ラベル間距離を設定します。 用紙形態によって設定可能なレイアウト情報は変わります。レイアウト情報を設定する前に、用紙形態を設定してください。

長いラベルを印刷する場合、用紙によっては、印刷結果が指定した長さに満たないことがあります。その結果、紙送り方向を上として、ラベル下端部に空白が出ることがあります。この空白が気になる場合、以下の方法をお試しください。
手順 1: 印字結果を確認してください。
手順 2: 空白部分をレイアウトの設定メニューで、ラベル長さに足して指定してください。

位置を調整する

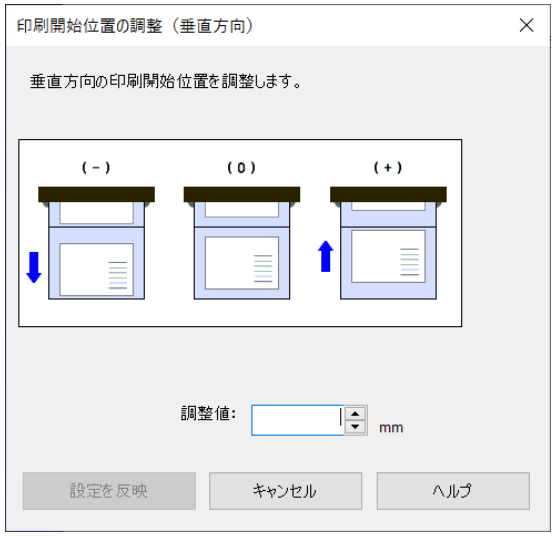
印刷開始位置やカット位置を調整します。



項目		説明
位置調整	印刷開始位置の調整 （垂直方向）	垂直方向の印刷開始位置を調整します。 調整手順 ☞187 ページ「調整を実行する」
	印刷開始位置の調整 （水平方向）	水平方向の印刷開始位置を調整します。 調整手順 ☞187 ページ「調整を実行する」
	用紙先端位置の調整 （ブラックマークなしの連続紙・全面ラベル）	連続ラベルの先頭からの印刷開始位置を調整します。 調整手順 ☞187 ページ「調整を実行する」
	剥離位置の調整（手貼時） （ピーラーモデルのみ）	手貼り時の剥離位置を調整します。 調整手順 ☞187 ページ「調整を実行する」
	剥離位置の調整（自動機貼時） （ピーラーモデルのみ）	自動貼り時の剥離位置を調整します。 調整手順 ☞187 ページ「調整を実行する」
	カット位置の調整 （オートカッターモデルのみ）	カット位置の調整をします。 調整手順 ☞187 ページ「調整を実行する」

調整を実行する

1 ［調整を実行する］をクリックすると以下の画面が表示されます。
（印刷開始位置の調整（垂直方向）を例に説明しています。）



2 調整値を入力し、［設定を反映］をクリックします。

3 確認画面が表示されます。［はい］をクリックすると調整が実行されます。



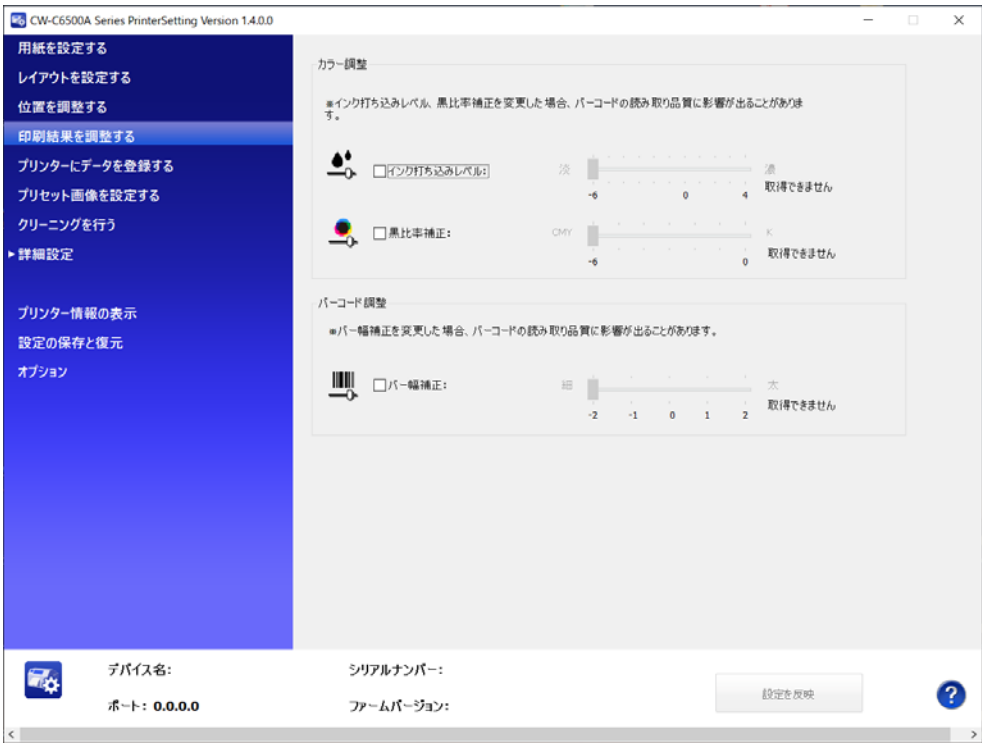
4 結果が表示されます。［OK］をクリックします。

5 調整を実行した後、印刷を行って調整した位置を確認してください。

印刷結果を調整する

カラー調整やバーコード調整をします。

プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。

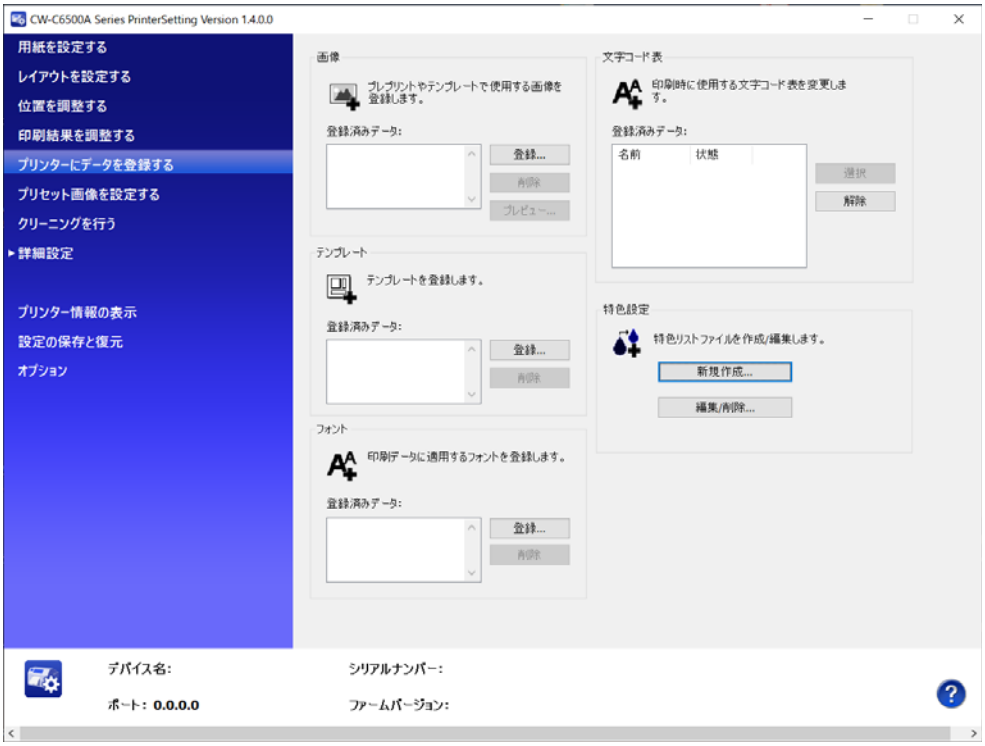


項目		説明
カラー調整	インク打ち込みレベル	インクの濃淡を設定します。使用する用紙によって、印刷品質を確保するため適時調整します。
	黒比率補正	黒比率補正を設定します。
バーコード調整	バー幅補正	内蔵バーコードフォントを使用している場合、バーの幅を調整する場合に設定します。

初期設定から黒比率を上げると、印刷直後にはラベル表面のインクが指に付着しやすくなります。取り扱いには十分注意してください。

プリンターにデータを登録する

画像、テンプレート、フォント、文字コード表、特色設定をプリンターに登録します。



項目	説明
画像	プレプリントやテンプレートで使用する画像を登録します。
テンプレート	テンプレートを登録します
フォント	印刷データに適用するフォントを登録します。
文字コード表	印刷時に使用する文字コード表を変更します。
特色設定	特色リストファイルを作成します。

画像の登録

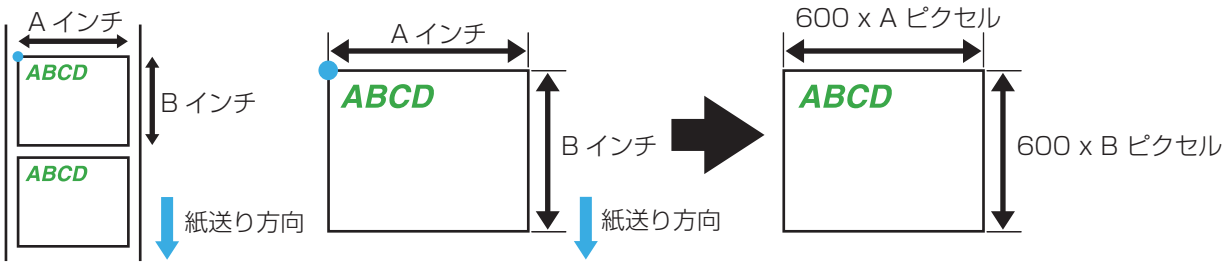
使用頻度の高いカラー画像を、あらかじめプリンターに登録しておく機能です。

プリセット画像の作成

1　本製品の印刷に適した解像度の画像（PNG 形式）を用意します。

321 ページ「製品仕様」を参照

2　画像を用紙サイズに合わせて変換します。

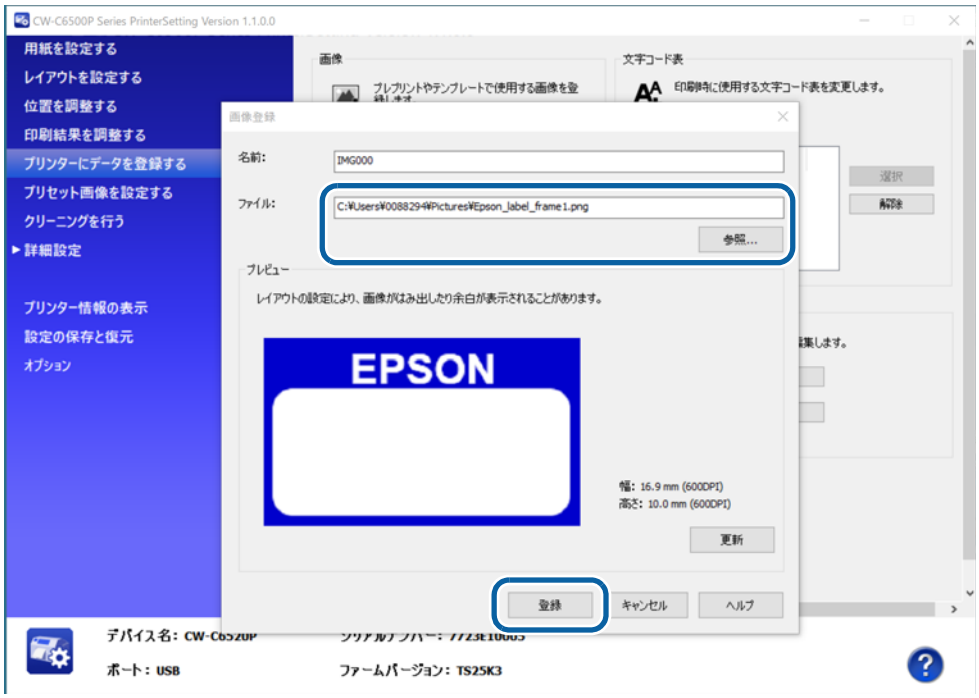


登録する画像の解像度は印刷する時の解像度にそろえてください。

3　画像フォーマットを PNG 形式で出力します。

画像の登録

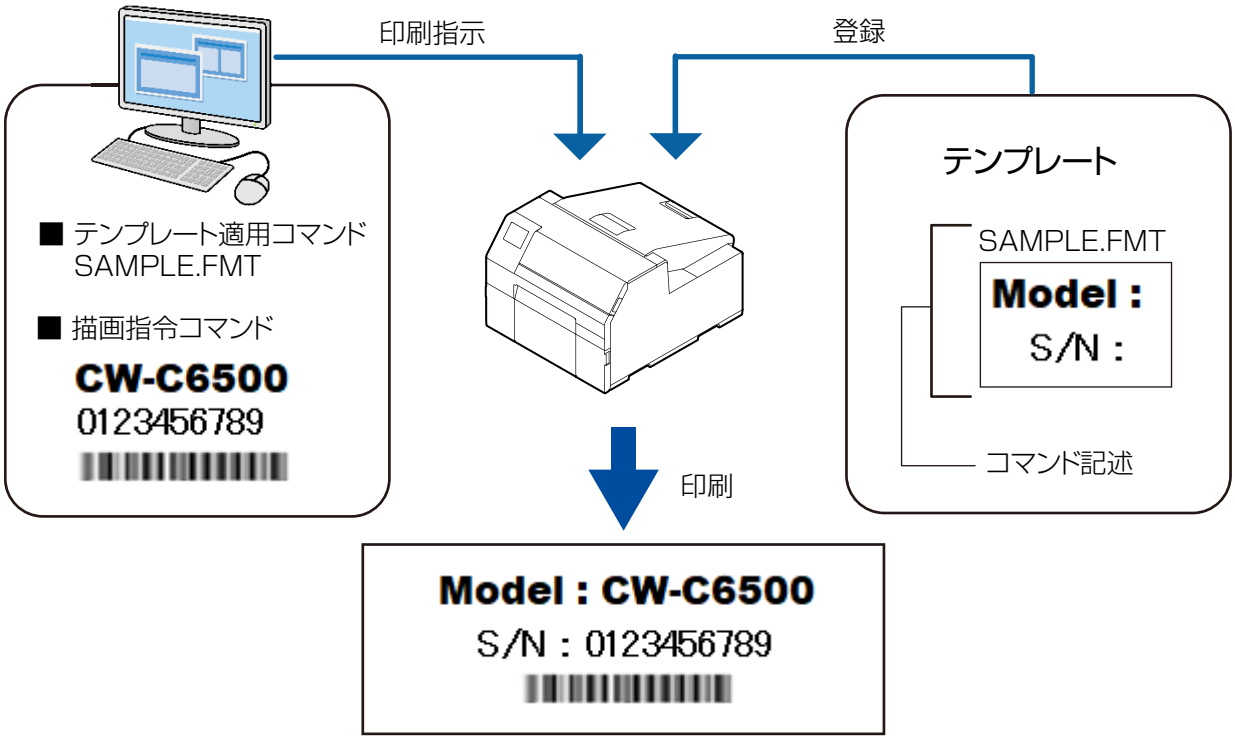
［画像］の［登録］をクリックすると、画像を登録する画面が表示されます。
登録するプリセット画像のファイル名（PNG 形式）を選択して［登録］をクリックします。



プリンターにプレプリント画像ファイルが送信されプレプリント画像として保存されます。

テンプレートの登録

テンプレートとは、ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーションで使用する定型的なラベルのフォーマットです。複数のラベルに共通の印刷内容をテンプレートとして登録しておくことで、アプリケーションは可変情報だけを都度生成してプリンターに送信し、テンプレートと組み合わせて印刷することができます。
テンプレートの作成や印刷時のテンプレートの指定は ESC/Label コマンドで行います。



テンプレートの作成

ESC/Label コマンドで、登録したい内容をテキストファイルまたはバイナリファイルにラベルフォーマットとして記述してください。ラベルフォーマット内にテンプレートファイル名も記述します。コマンドの詳細は『ESC/Label コマンドリファレンスガイド』" ラベルフォーマットのファイル保存 " を参照してください。作成するテキストファイルまたはバイナリファイルの拡張子に規定はありません。

テンプレートの登録

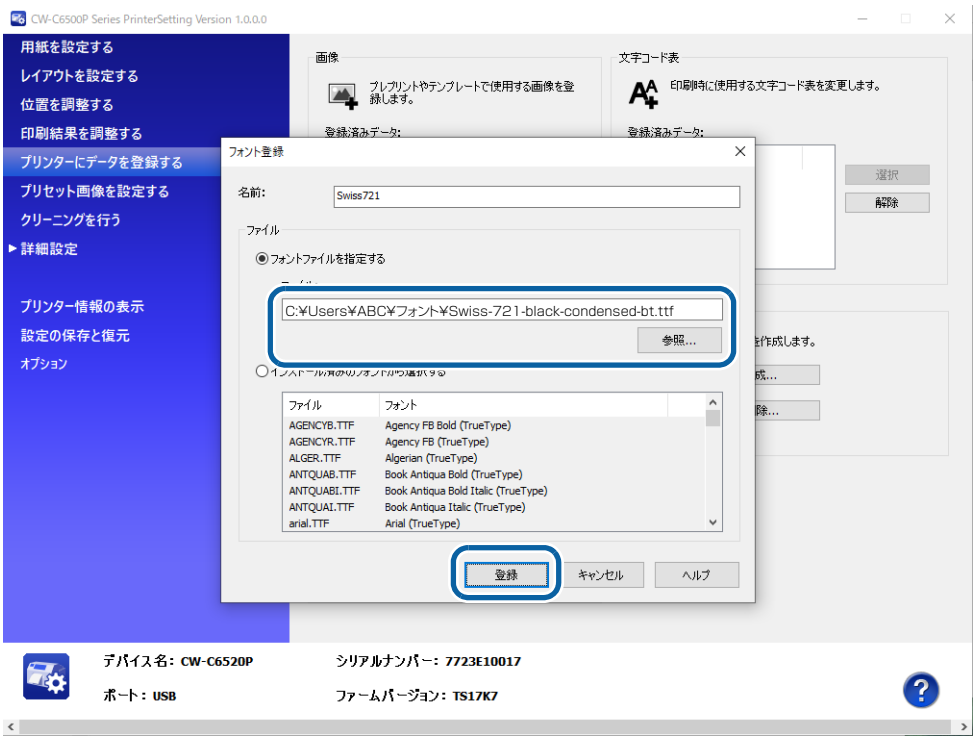
［テンプレート］の［登録］をクリックすると、テンプレートを登録する画面が表示されます。
作成したテキストファイルまたはバイナリファイルを選択して［登録］をクリックします。



プリンターにテンプレートが保存されます。

フォントの登録

［フォント］の［登録］をクリックすると、フォントを登録する画面が表示されます。
登録するフォントのファイル名（TTF 形式）を選択して［登録］をクリックします。



プリンターにフォントファイルが送信され、プリンター内蔵フォントとして保存されます。

文字コード表の設定

ESC/Label コマンドの直接制御で文字を印刷する場合、使用する文字コードに応じた文字コード表をあらかじめ設定してください。

文字コード	主な対象国言語	文字コード表
BIG5	台湾 / 香港 / マカオ	BIG52K7.CNV
EUC-CN	中国（簡体字）	EUCCN199.CNV
EUC-JP	日本	EUCJP2K7.CNV
KS X 1001(KS-C 5601-1987)	韓国	EUCKR2K6.CNV
GB18030	中国（簡体字）	GB18030.CNV
Shift-JIS	日本	SJIS2K3.CNV

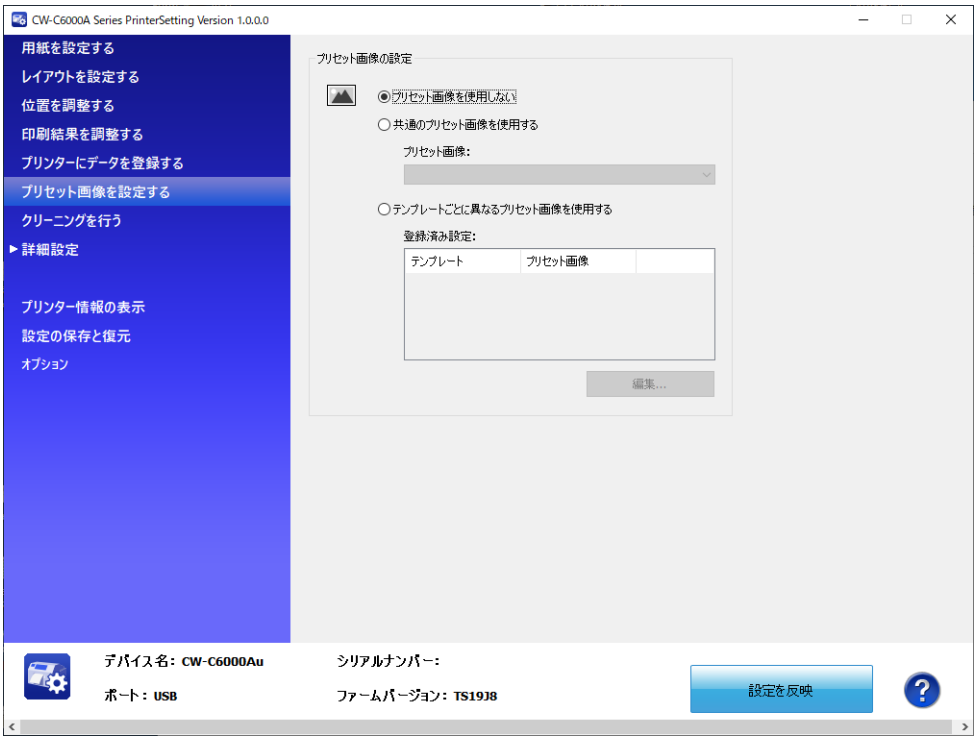
［文字コード表］の［登録済みデータ］から使用する文字コードを選択し、［選択］をクリックします。

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換えでは、ZPL II コマンドにより CW-C6020/6520 シリーズではサポートされない文字コードが指定され、選択した文字コード表が適用されないことがあります。その場合は［詳細設定］-［高度な設定］画面の［ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定］画面で［文字コード表の固定］の設定をしてください。詳細は 209 ページ「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」を参照してください。

プリセット画像を設定する

プリセット画像を設定します。

- 以下のソフトウェアを使用する場合に、本機能を使用します。
  - ＊ Zebra Technologies Corporation 社の Windows ドライバー
  - ＊ 本製品が対応している市販のラベル印刷アプリケーション
  - ＊ ZPL II や ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーション
- プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。



項目		説明
プリセット画像の設定	プリセット画像を使用しない	プリセット画像を印刷しません。
	共通のプリセット画像を使用する	通常の印刷の場合、指定した画像をプリセット画像として印刷します。 テンプレートを使用して印刷した場合、プリセット画像を印刷しません。
	テンプレートごとに異なるプリセット画像を使用する	テンプレートを使用して印刷した場合、指定された組み合わせに沿ってプリセット画像を印刷します。 テンプレートを使用しない場合、プリセット画像を印刷しません。

プリセット画像の印刷方法

以下のソフトウェアを使用する場合に、プリセット画像が印刷されます。

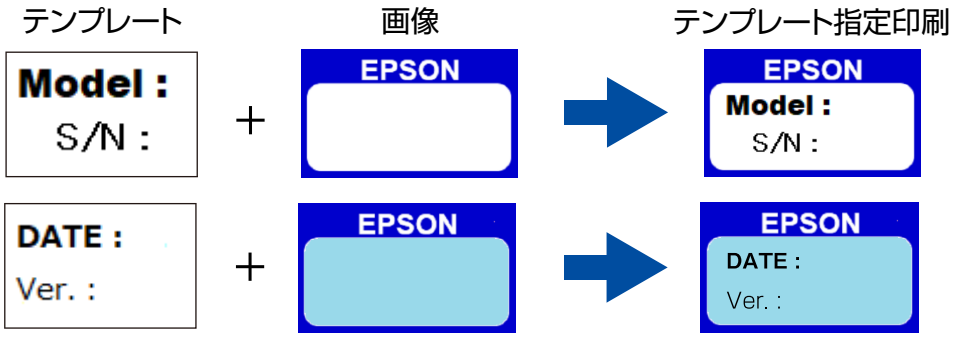
- Zebra Technologies Corporation 社の Windows ドライバー
- 本製品が対応している市販のラベル印刷アプリケーション
- ZPL II や ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーション



エプソンのプリンタードライバーではプリセット画像の印刷はできません。

画像とテンプレートの連携

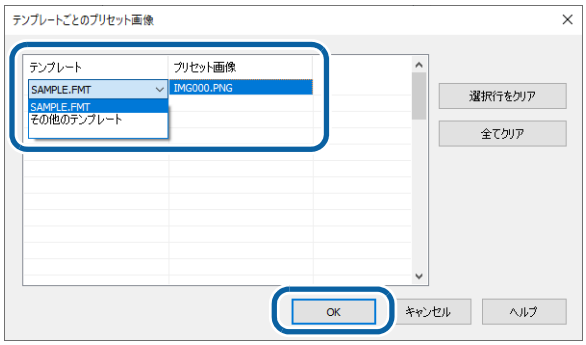
CW-C6020/6520 シリーズでは、アプリケーションでテンプレートを指定した時に、そのテンプレートと連携する画像を自動で重ね合わせて印刷することができます。



あらかじめ使用するデータをプリンターに登録してから、画像とテンプレートの連携設定をします。
画像データの登録：190 ページ「画像の登録」
テンプレートデータの登録：191 ページ「テンプレートの登録」
データを登録した後、連携の設定をします。
［プリセット画像の設定］の［テンプレートごとに異なるプリセット画像を使用する］を選択し、［編集］をクリックします。

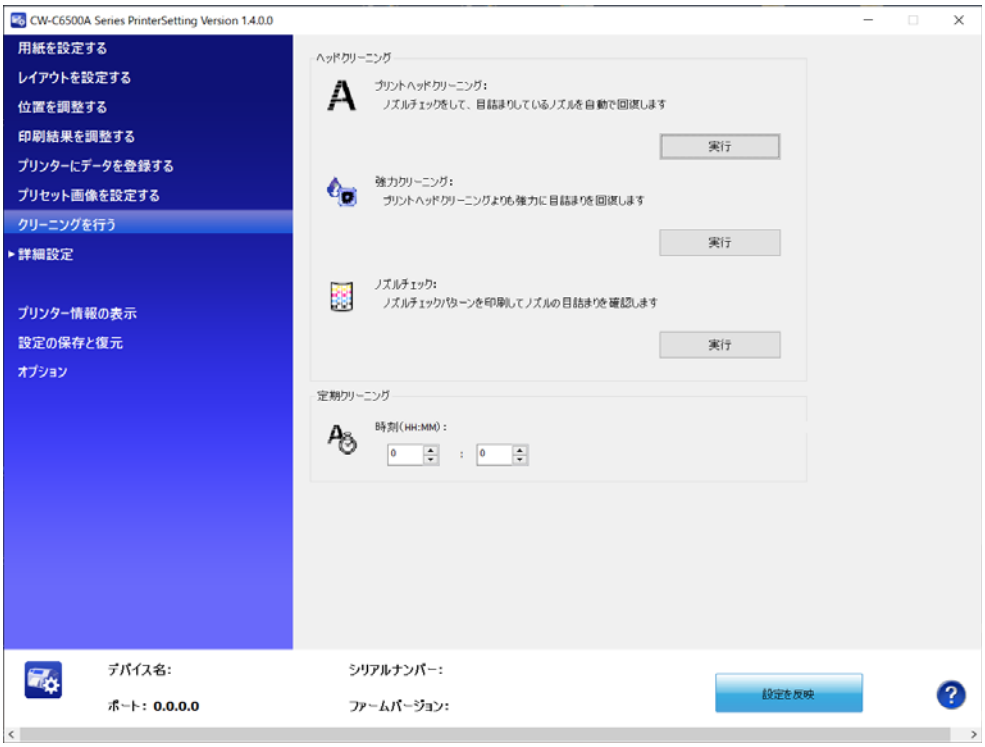


［テンプレートごとのプリセット画像］画面で、テンプレートと、テンプレートと重ねて印刷したい画像を選択し、［OK］をクリックします。連携情報がプリンターに設定されます。



クリーニングを行う

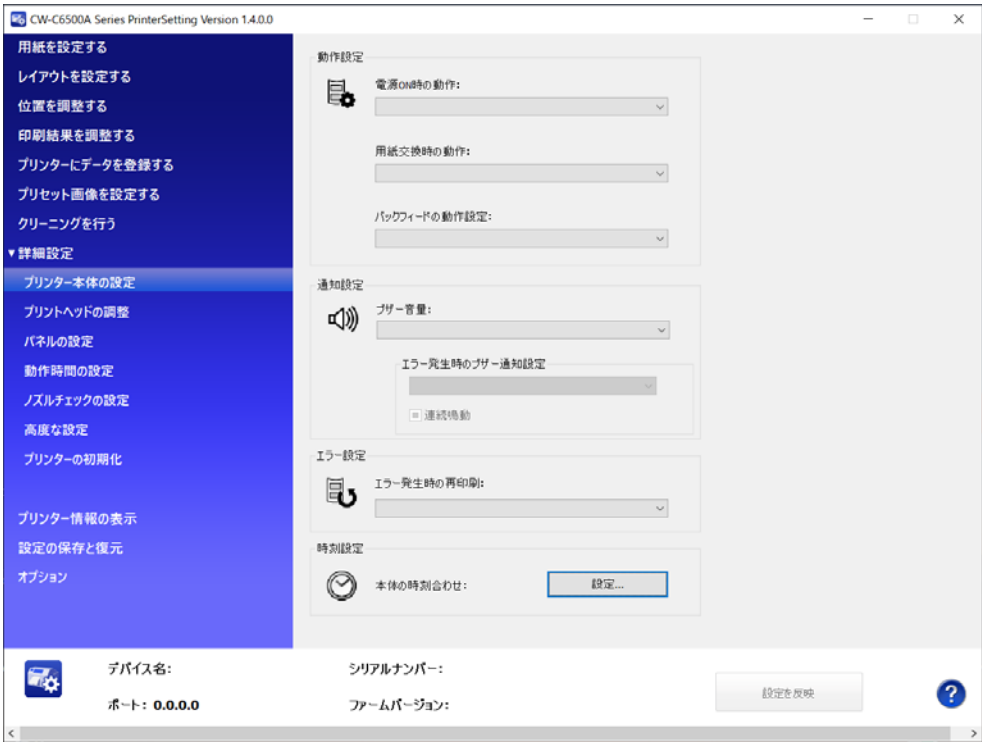
ヘッドクリーニングやノズルチェックの実行、定期クリーニングの設定をします。



項目		説明
ヘッドクリーニング	プリントヘッドクリーニング	ノズルチェックをして、目詰まりしているノズルを自動で回復します。 [実行] をクリックすると、クリーニングが実行されます。
	強力クリーニング	プリントヘッドのクリーニングよりも強力に目詰まりを回復します。 [実行] をクリックすると、クリーニングが実行されます。
	ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。 [実行] をクリックすると、ノズルパターンを印刷します。
定期クリーニング		指定した時刻に定期クリーニングを実施します。 [時刻（HH:MM)] に定期クリーニングする時刻を指定します。 詳細は 29 ページ「定期自動クリーニング」を参照してください。

プリンター本体の設定

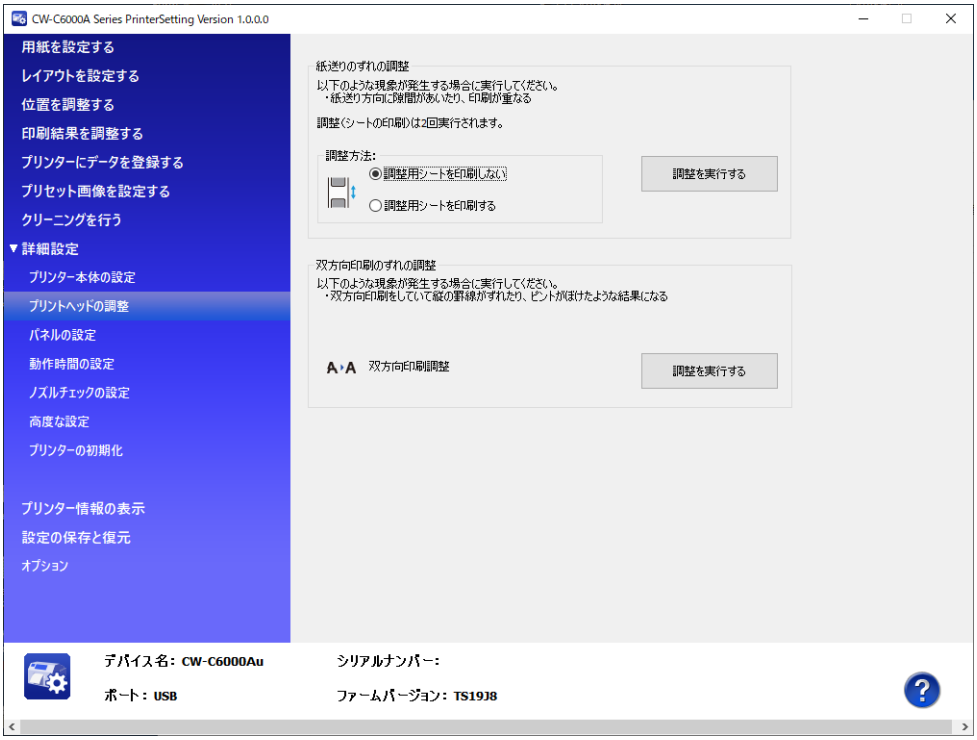
プリンター本体の設定をします。



項目		説明
動作設定	電源 ON 時の動作	電源を入れた時の動作を設定します。
	用紙交換時の動作	用紙交換時の動作を設定します。
	バックフィードの動作設定	バックフィードするタイミングを設定します。
通知設定	ブザー音量	ブザーの音量を設定します。
	エラー発生時のブザー通知設定	エラー発生時にブザーを鳴らすかを設定します。 「ブザー音量」の設定がオフ以外の時に設定できます。
	連続鳴動	チェックを入れると、エラー発生時にはブザーが鳴り続けます。 操作パネルの（ホーム）ボタンまたは（戻る）ボタンを押すとブザーが止まります。
エラー設定		エラー発生時の再印刷を設定します。
時刻設定		本体の日時を設定します。

プリントヘッドの調整

プリントヘッドの調整をします。



項目	説明
紙送りのずれの調整	印刷結果に、白スジや黒スジが発生する場合に調整します。 調整手順 ☞200 ページ「紙送りのずれの調整」
双方向印刷のずれの調整	縦横の罫線がずれる、文字のピントがずれる場合に調整します。 調整手順 ☞202 ページ「双方向印刷のずれの調整」

紙送りのずれの調整

白スジや黒スジが生じる場合、紙送りずれの調整をします。

調整方法	説明
調整用シートを使用しない	ラベル長さが 66.7 mm 以上の「ダイカットラベル」、「連続紙」または「全面ラベル紙」が無い場合に選択します。 すき間が目立つデータを用意し、印刷と調整を繰り返して設定します。
調整用シートを使用する	ラベル長さが 66.7 mm 以上の「ダイカットラベル」、「連続紙」または「全面ラベル紙」に調整パターンを印刷し、その中から最適のものを設定します。

- 紙送りずれの調整は、通常お使いのプリンター設定と同じ状態で実施してください。
- ピーラーモデルの場合、［印刷後用紙動作設定］に応じた用紙セットがされていることを確認してください。
  - ＊［手貼り］、［自動貼り］の場合：ピーラーへ用紙を通してください。
  - ＊［巻き取り］の場合：ピーラーへ用紙を通さないでください。

調整用シートを使用しない

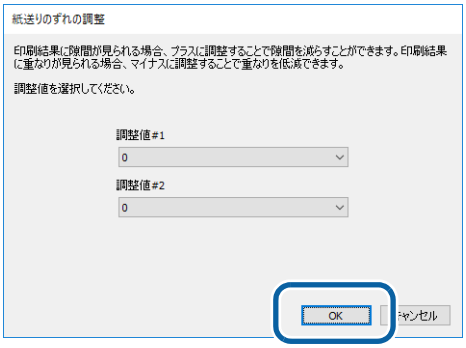
1　事前に、すき間が目立つデータを用意します。

2　本製品で、用意したデータを印刷します。

3　［調整方法］から［調整用シートを印刷しない］を選択し、［調整を実行する］をクリックします。

4　［紙送りのずれの調整］画面（1 回目）が表示されます。印刷結果を見て、設定値を選択します。

設定値を選択後、［OK］をクリックします。
すき間が空いている（白スジ）場合、＋ 方向に調整します。
印刷結果に重なりがある（黒スジ）場合、－方向に調整します。
調整値 1 あたりの単位は 0.0105 mm（1/2400 インチ）です。



5　調整開始の確認画面が表示されます。［はい］をクリックします。

紙送りのずれの調整画面（2 回目）が表示されます。

6 手順４同様に調整パターンを確認し設定します。

7 調整が終了すると、終了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

8 再度、手順１で用意したデータを印刷します。

9 印刷結果を確認します。
すき間が目立たなくなれば設定完了です。
さらに調整する場合、手順３～９を繰り返してください。

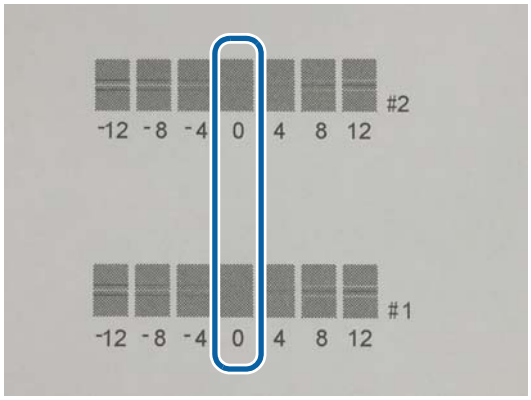
調整用シートを使用する

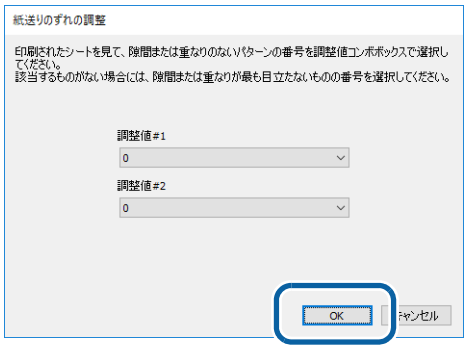
1 ラベル長さが 66.7 mm 以上の「ダイカットラベル」、「連続紙」または「全面ラベル紙」をプリンターにセットします。

2 [調整方法] から [調整用シートを印刷する] を選択し、[調整を実行する] をクリックします。

3 紙送り調整用のシート印刷画面が表示されます。プリンターに用紙がセットされていることを確認し、[OK] をクリックします。
調整用シートが印刷され、[紙送りのずれの調整] 画面（1 回目）が表示されます。

4 シートを確認し、すき間または重なりがないパターンの番号を 2 つの調整値（#1、#2）から選択し、[OK] をクリックします。
調整用シート印刷例（このパターンの場合、#1=0、#2=0 が適正パターンの番号になります。）





5 再度調整シート印刷確認画面が表示されます。[はい] をクリックします。
調整用シートが印刷され、紙送りのずれの調整画面（2 回目）が表示されます。

6 手順４同様に調整パターンを確認し設定します。

7 調整開始の確認画面が表示されます。[はい] をクリックします。

8 調整が終了すると、終了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

双方向印刷のずれの調整

縦横の罫線がずれたり、文字がぼやけたりするような印刷結果のときに、双方向印刷のずれの調整をします。



双方向印刷をするかどうかは、プリンタードライバーの［印刷品質］-［詳細設定］-［双方向印刷］で設定します。

1 **ラベル長さが 66.7 mm 以上の「ダイカットラベル」、「連続紙」または「全面ラベル紙」をプリンターにセットします。**

2 **［調整を実行する］をクリックします。**

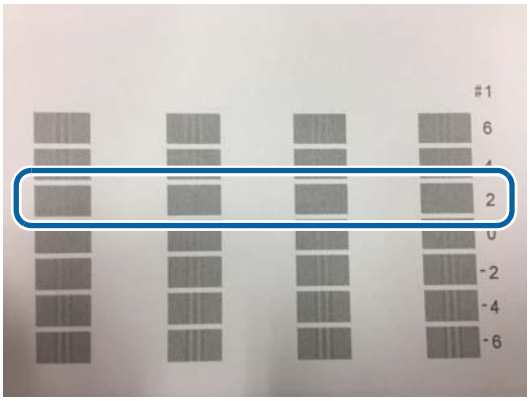
双方向印刷調整用のシート印刷画面が表示されます。

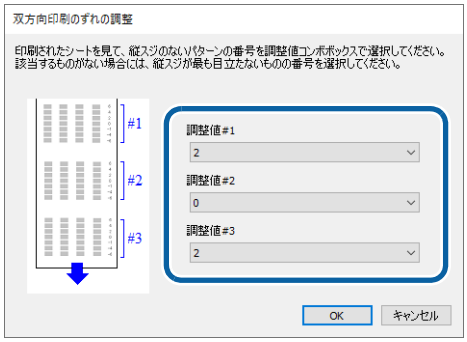
3 **プリンターに用紙がセットされていることを確認し、［OK］をクリックします。**

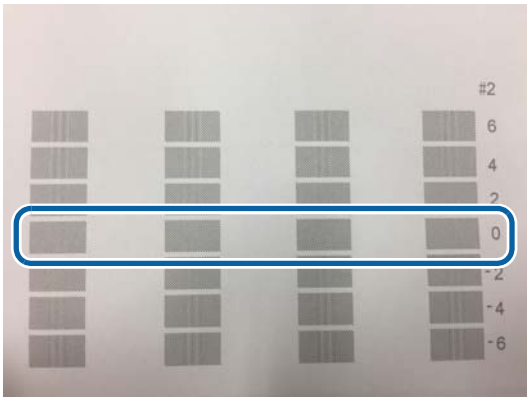
調整用シートが印刷され、双方向印刷のずれの調整画面が表示されます。

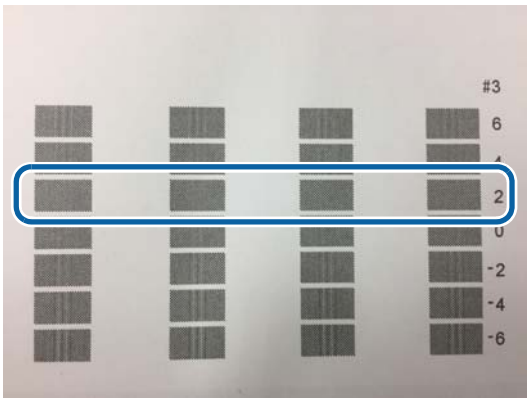
4 シートを確認し、#1、#2、#3 でそれぞれすき間または重なりがないパターンの番号を調整値から選択し、[OK] をクリックします。

調整用シート印刷例（このパターンの場合、#1=2、#2=0、#3=2 が適正パターンの番号になります。）







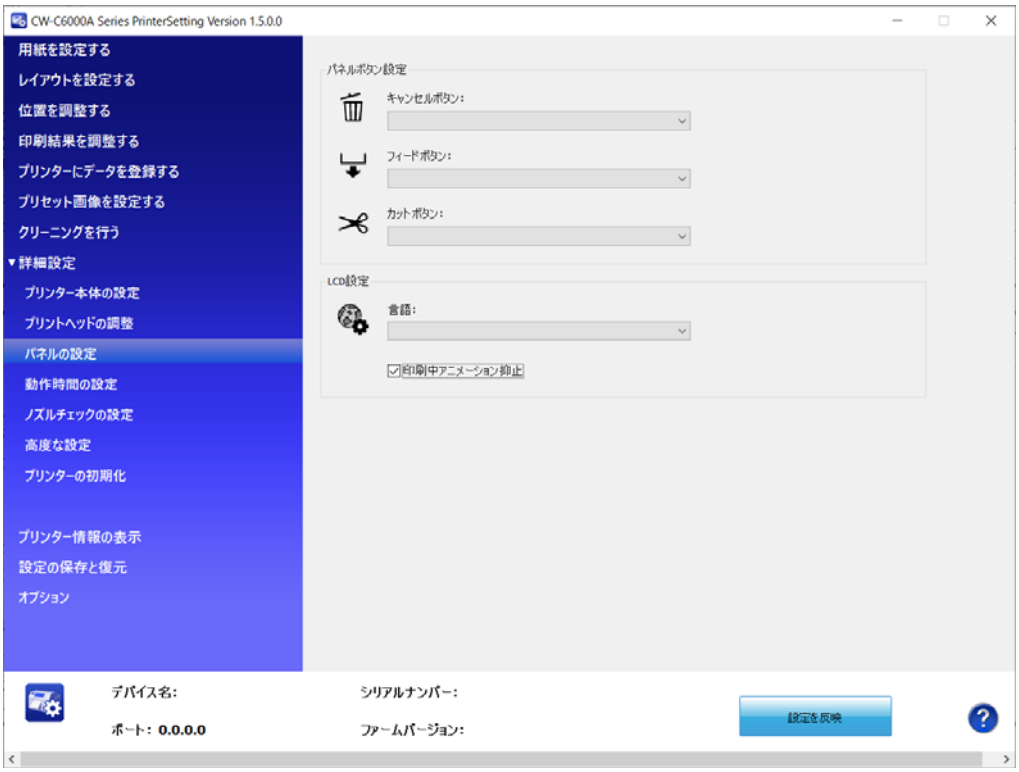


5 調整開始の確認画面が表示されます。[はい] をクリックします。

6 調整が終了すると、終了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

パネルの設定

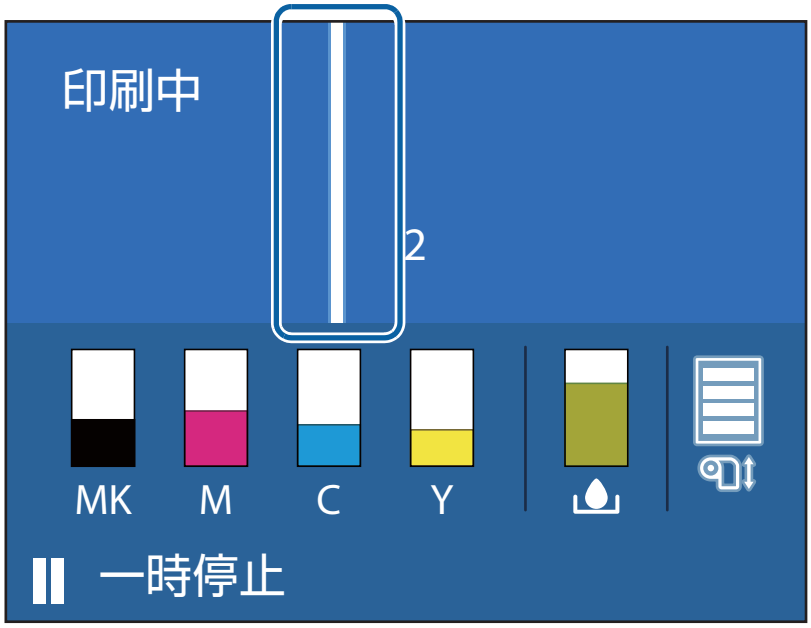
パネルの設定をします。



項目		説明
パネルボタン設定	キャンセルボタン	Cancel ボタンの有効 / 無効を設定します。
	フィードボタン （オートカッターモデルのみ）	Feed ボタンの有効 / 無効を設定します。
	カットボタン （オートカッターモデルのみ）	Cut ボタンの有効 / 無効を設定します。
	ピーラーリセットボタン （ピーラーモデルのみ）	Peeler Reset ボタンの有効 / 無効を設定します。
LCD	言語	画面表示の言語を設定します。
	印刷中アニメーション抑止	印刷中アニメーションの有効 / 無効を設定します。 205 ページ「印刷中アニメーション抑止の設定」を参照してください。

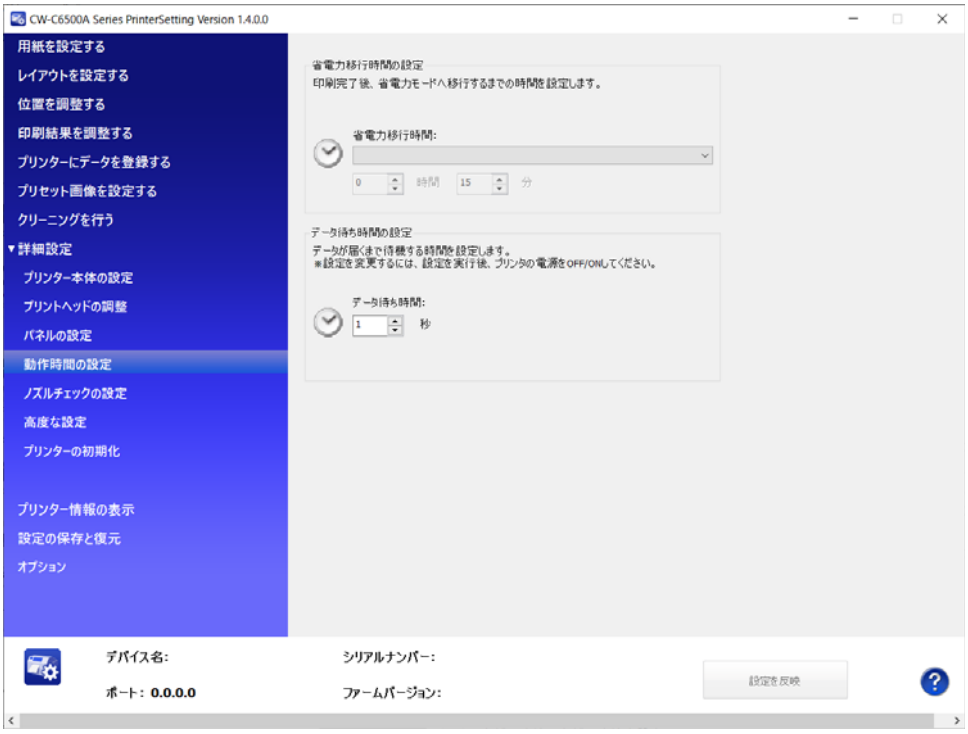
印刷中アニメーション抑止の設定

印刷中アニメーションは、本体パネルに左から右へ移動する白いバーが表示されることで、印刷中であることを確認できる機能です。
初期設定では［印刷中アニメーション抑止］のチェックが外れているため、本体パネルに印刷中アニメーションが表示されます。
［印刷中アニメーション抑止］にチェックを入れると、本体パネルに印刷中アニメーションが表示されなくなり、印刷時間が短縮される場合があります。



動作時間の設定

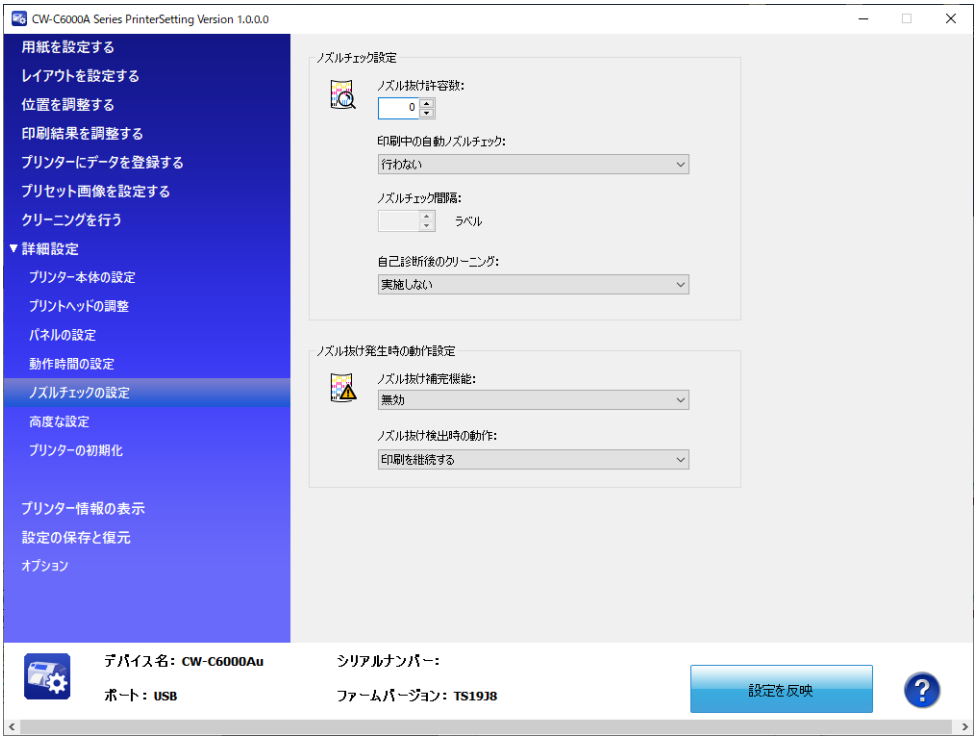
動作時間の設定をします。



項目	説明
省電力移行時間の設定	印刷完了後、省電力モードへ移行するまでの時間を設定します。
ラベル剥離後のバックフィード待ち時間（ピーラーモデルのみ）	ラベルを剥離した後、バックフィードするまでの時間を設定します。
データ待ち時間の設定	印刷完了後、次のデータが来るまでの待機時間を設定します。 この待機時間内に次のデータが来ないとヘッドはホーム位置に退避しヘッドを保護します。 ヘッドがホーム位置に退避してしまうと次の印刷開始までの時間が若干長くなります。 データの待ち時間は 1 ～ 15 秒の範囲で設定します。

ノズルチェックの設定

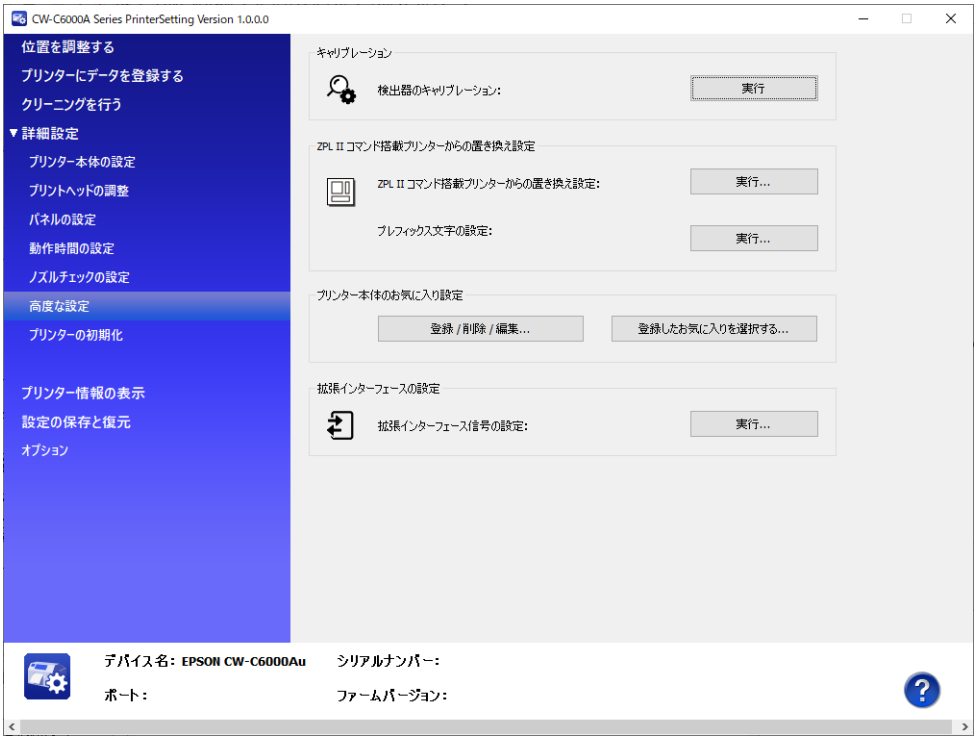
ノズルチェックの設定をします。
ノズルチェックの詳細については 26 ページ「ノズル自己診断システム」を、ノズル抜け補完機能の詳細については 28 ページ「ノズル抜け補完機能」を参照してください。



項目		説明
ノズルチェック設定	ノズル抜け許容数	ノズル抜け許容数を指定します。
	印刷中の自動ノズルチェック	印刷中に自動ノズルチェックを行うかどうかを設定します。
	ノズルチェック間隔	[印刷中の自動ノズルチェック] を行う設定にしたときに、ノズルチェックの間隔を指定します。
	自己診断後のクリーニング	自己診断後に自動でクリーニングを実施するか設定します。
ノズル抜け発生時の動作設定	ノズル抜け補完機能	ノズル抜け補完機能の有効 / 無効を設定します。 28 ページ「ノズル抜け補完機能」を参照してください。
	ノズル抜け検出時の動作	ノズル抜け検出時の動作を設定します。

高度な設定

プリンター本体に高度な設定をします。

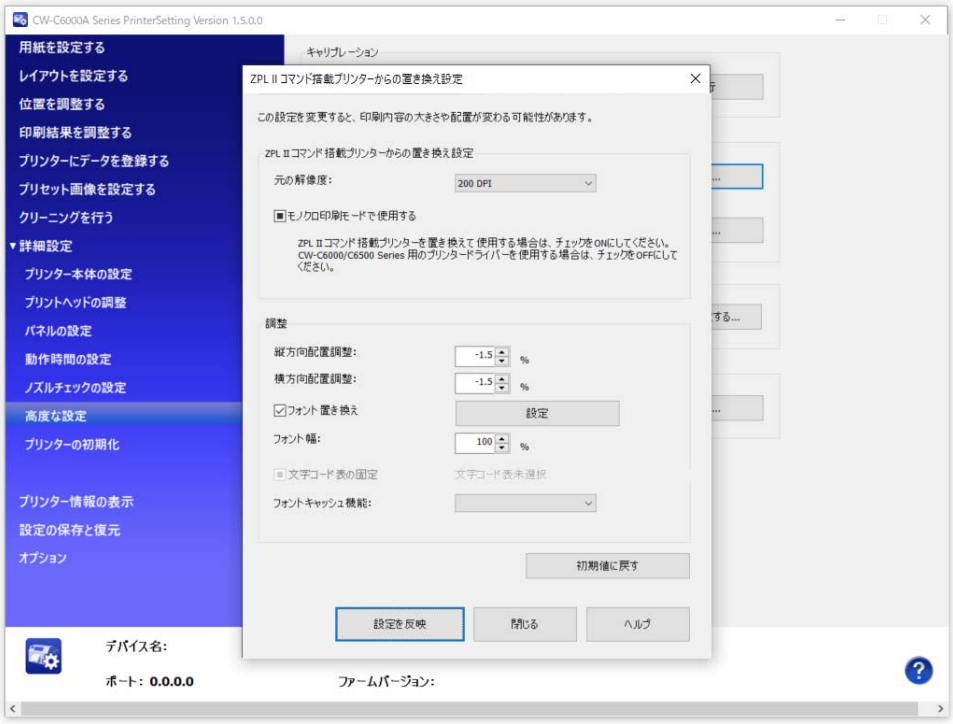


項目		説明
キャリブレーション		検出器のキャリブレーションを実行します。
ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定	ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定	ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え設定を実行します。 [実行] をクリックすると、[ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定] 画面が表示されます。 209 ページ「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」を参照してください。
	プレフィックス文字の設定	プレフィックス文字の設定をします。
プリンター本体のお気に入り設定		「お気に入り」を本製品に登録したり、登録済みの「お気に入り」の設定を本製品に反映したりします。 213 ページ「お気に入りの登録」を参照してください。
拡張インターフェースの設定		拡張インターフェース信号の設定をします。

ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定

［ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定］の［実行］をクリックすると、［ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定］画面が表示されます。

調整項目の値は、実際の印刷結果を確認しながら調整してください。



解像度の設定

［元の解像度］で解像度を設定します。
選択肢に同じ解像度がない場合は、近い解像度を選択します。例えば、今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度が 203dpi の場合には、200dpi を選択します。

モノクロ印刷モードの設定

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからカラー印刷を行わない置き換えをする場合にチェックを付けます。

縦方向と横方向の配置調整

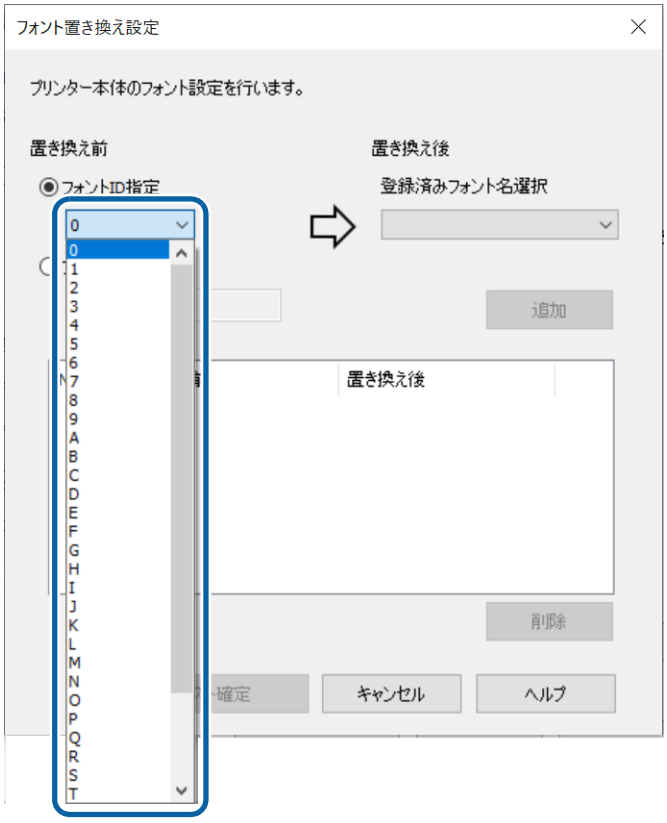
印刷オブジェクト（文字列や画像や図形など）の印字位置を調整します。
［元の解像度］を今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターと同じ解像度に設定した場合は、［縦方向配置調整］［横方向配置調整］どちらとも「0」に設定します。
今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度が 203dpi で、［元の解像度］を 200dpi に設定した場合は、［縦方向配置調整］［横方向配置調整］どちらとも「-1.5」に設定します。

フォントの置き換え

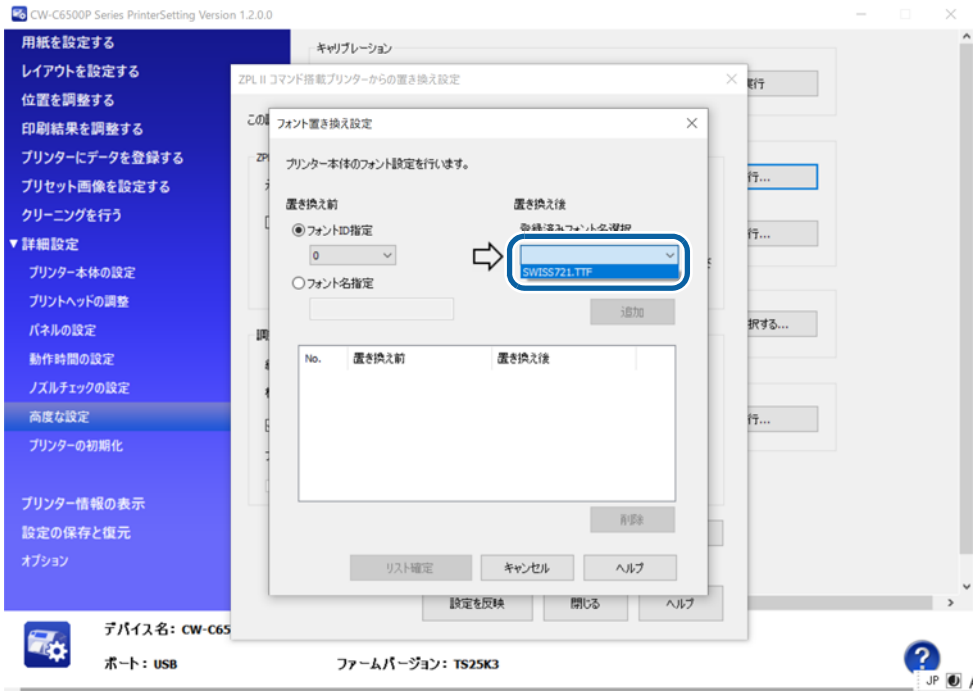
［フォント置き換え］の［設定］をクリックします。



設定画面が表示されるのでリストボックスからフォント ID を選択します。



フォント ID を選択後、そのフォント ID に割り付ける登録済みフォント名を選択します。



［追加］をクリックすると画面内にリストが表示されます。
［リスト確定］をクリックすると、リストが保存され、［ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定］画面にもどります。
［フォント置き換え］にチェックを入れると、設定したフォントファイルに置き換えます。



フォント幅の設定

フォントキャッシュ機能を有効にすることで、プリンターの RAM ドライブの容量が消費されます。

文字幅を調整します。最初は「100」に設定します。

文字の高さや行間を変える場合は、アプリケーション側で設定してください。

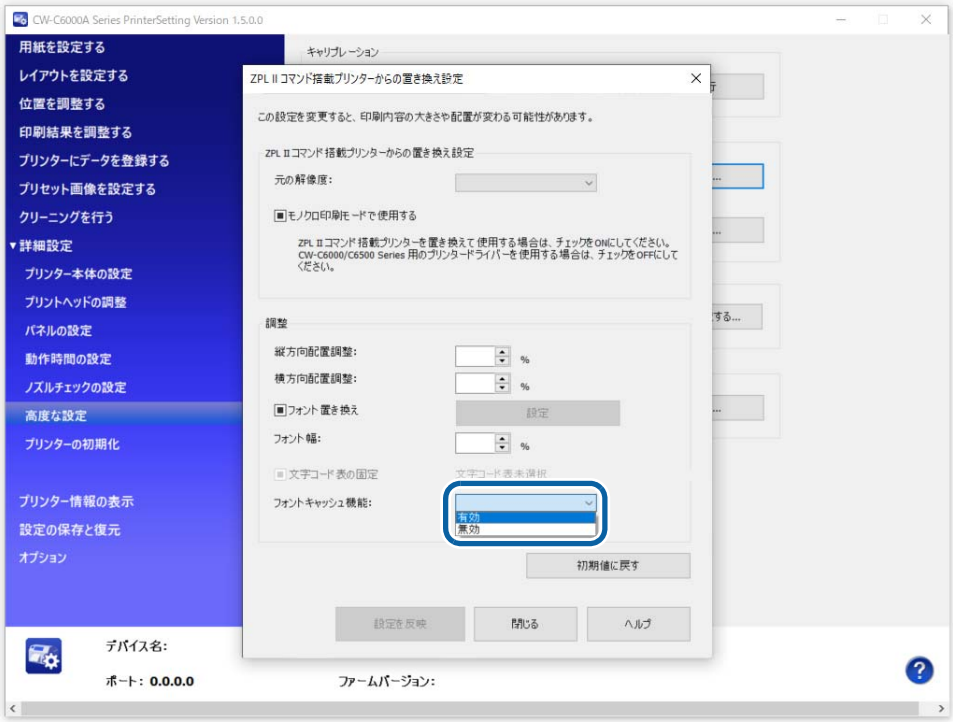
文字コード表の固定

この項目にチェックを付けておくと、CW-C6020/6520 シリーズではサポートされない文字コードが指定された場合に、プリンターに設定されている文字コード表で印刷します。

フォントキャッシュ機能の設定

プリンターはフォントの置き換えをする際に、SD カードのフォントデータにアクセスします。
フォントキャッシュ機能を有効にすることで、SD カードのフォントデータがプリンターの RAM ドライブにキャッシュされ、印刷時間が短縮される場合があります。

フォントキャッシュ機能を有効にすることで、プリンターの RAM ドライブの容量が消費されます。



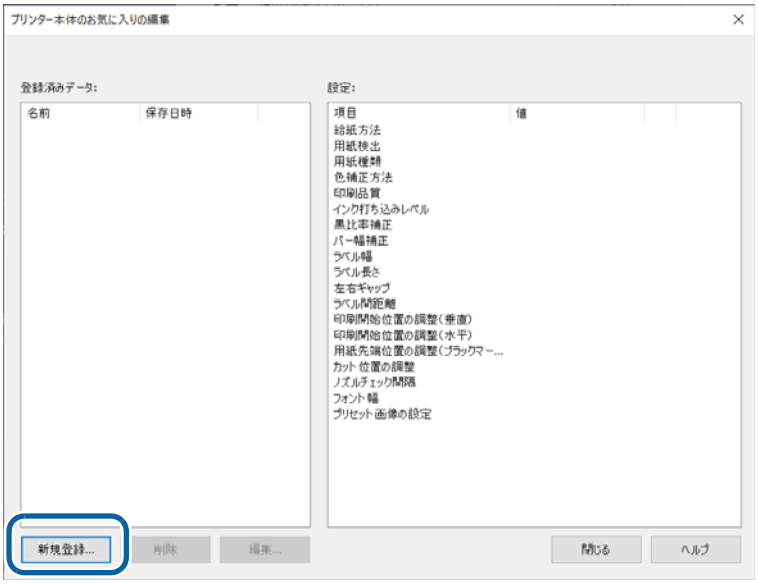
設定値の転送

必要な設定が終わったら［設定を反映］をクリックします。
設定した値がプリンターに転送され設定が保存されます。

お気に入りの登録

1 ［プリンター本体のお気に入り設定］の［登録 / 削除 / 編集］をクリックします。

2 ［プリンター本体のお気に入りの編集］画面が表示されます。［新規登録］をクリックします。



3 **［プリンター本体のお気に入りの登録］画面が表示されます。［お気に入りの名前］を入力し、［プリンター本体のお気に入り］の各項目を設定します。設定後、［登録］をクリックします。**

- 「お気に入り」の［お気に入りの名前］には、'^'、'~'、':'、',' および '.' を除く ASCII（20h ～ 7Eh）文字が有効であり、15 文字が指定できます。
- 「お気に入り」は合計 100 個まで登録できます。

［初期値に戻す］をクリックすると、設定済みの本製品の設定値を初期値に戻します。



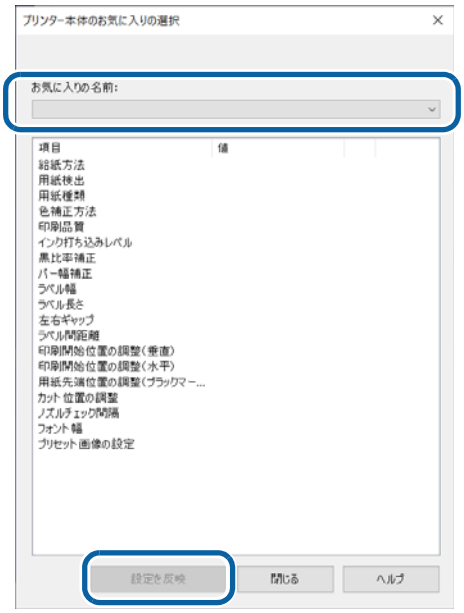
4 **［閉じる］をクリックすると、［プリンター本体のお気に入りの編集］画面に戻ります。［登録済みデータ］に、登録した「お気に入り」が表示されます。**

お気に入りの設定を反映

登録した「お気に入り」の設定を、本製品に反映することができます。

1 **［プリンター本体のお気に入り設定］の［登録したお気に入りを選択する］をクリックします。**

2 **［プリンター本体のお気に入りの選択］画面が表示されます。［お気に入りの名前］から設定を反映させる「お気に入り」を選択し、［設定を反映］をクリックします。**

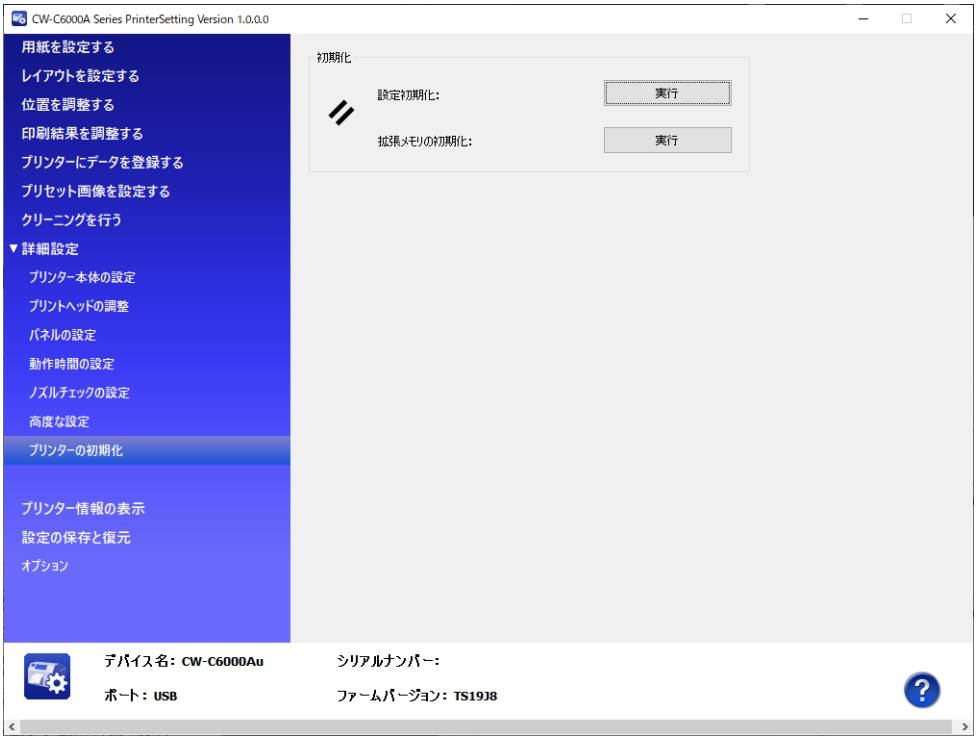


1 台で複数の種類のメディアを印刷する場合は、メディアごとに印刷設定を登録しておくと、メディアを変えるたびに印刷設定を入力する必要がなくなるため便利です。

プリンターの初期化

プリンターを初期化します。

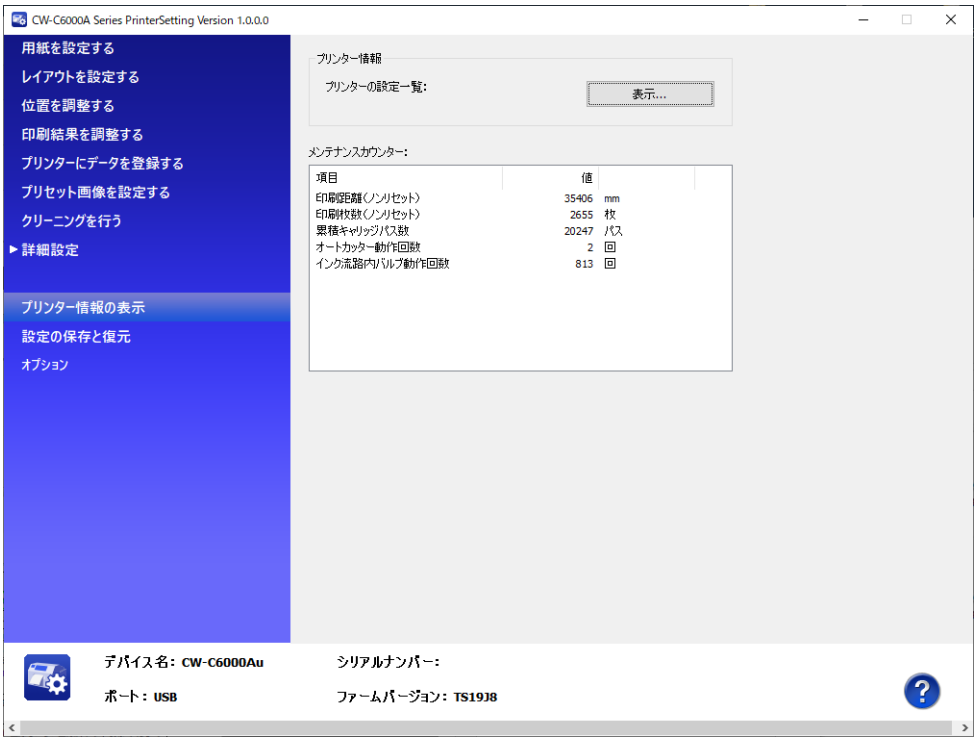
> **注意**　［設定初期化］を選択すると、これまで登録した画像データや設定ファイルがすべて削除されます。



項目		説明
初期化	設定初期化	プリンター本体の設定を初期化します。
	拡張メモリの初期化	拡張メモリーを初期化します。

プリンター情報の表示

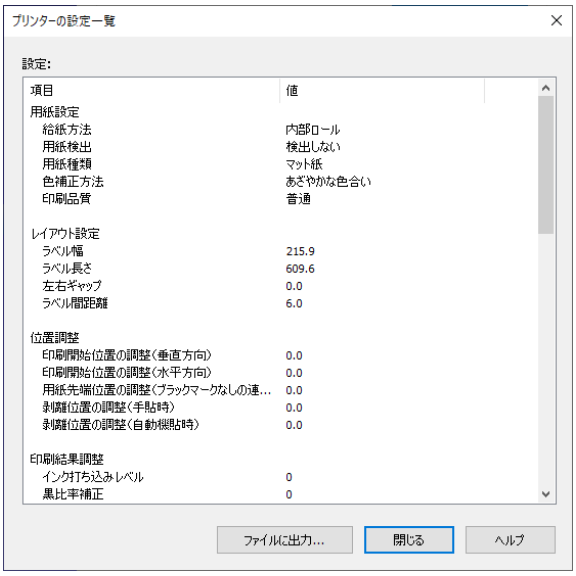
プリンター本体の情報を表示します。



項目		説明
プリンター情報	プリンターの設定一覧	[表示] をクリックすると、現在のプリンターの設定情報を表示します。218 ページ「プリンターの設定一覧」を参照
メンテナンスカウンター		メンテナンスカウンターを確認できます。

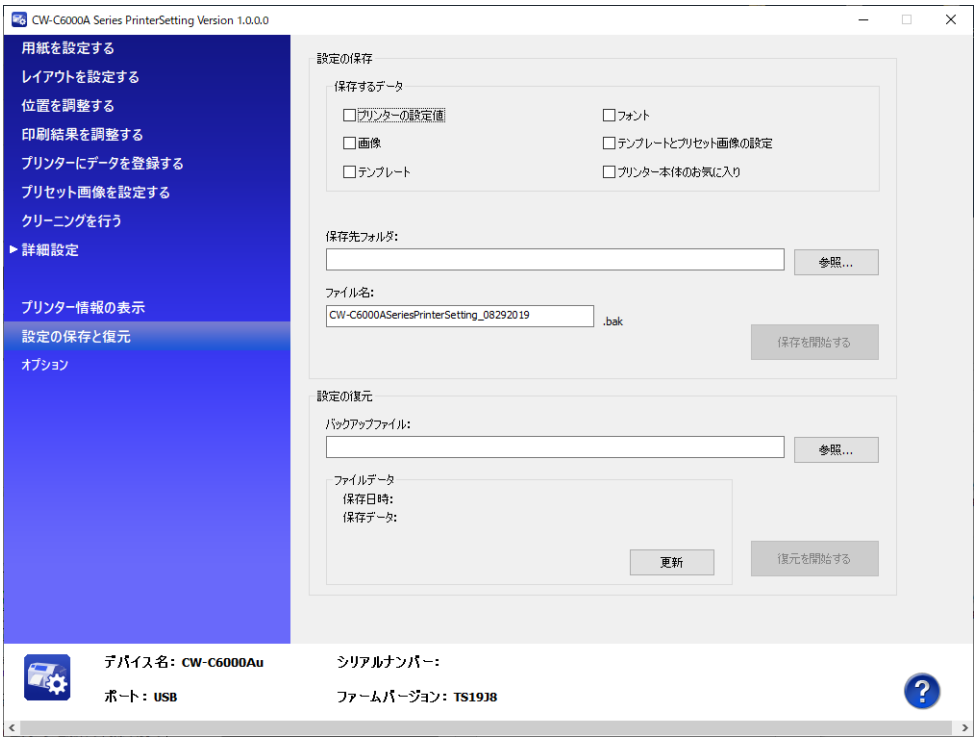
プリンターの設定一覧

プリンターの設定一覧の［表示］をクリックすると、［プリンターの設定一覧］画面が表示されます。［ファイルに出力］をクリックすると、現在の設定をテキストファイルに保存することができます。



設定の保存と復元

本製品の設定の保存と復元をします。

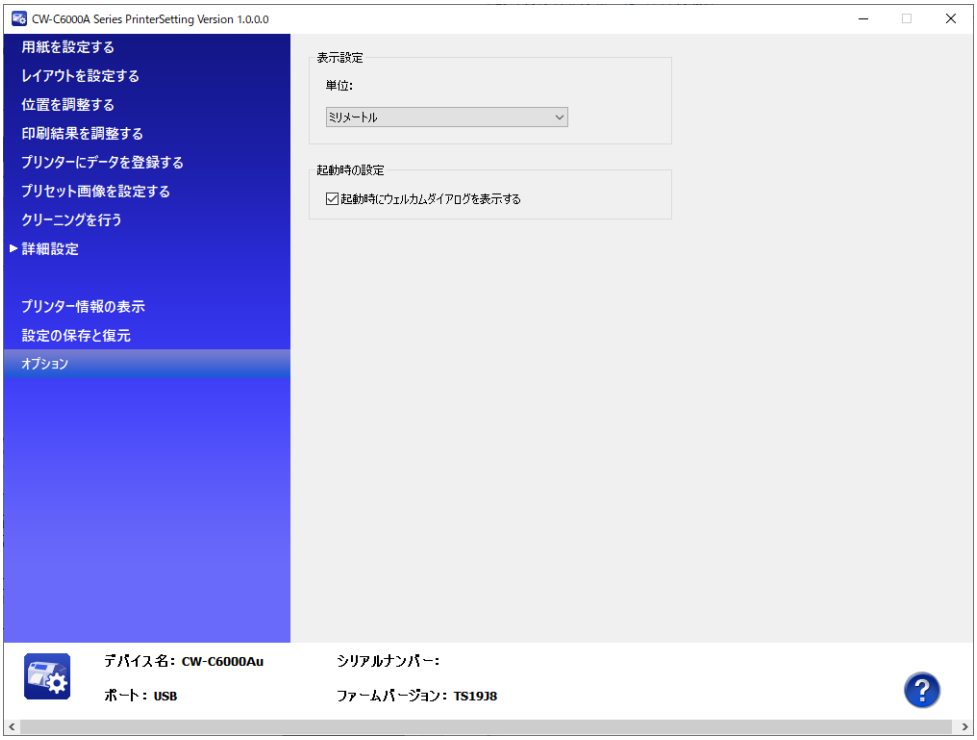


項目		説明
設定の保存	保存するデータ	保存するデータを設定します。保存したいデータにチェックを入れます。
	保存先フォルダ	保存先のフォルダーを指定します。
	ファイル名	任意のファイル名を指定します。
	保存を開始する	保存するデータ、保存先フォルダ、ファイル名を指定し、[保存を開始する] をクリックすると、本製品の設定が保存されます。
設定の復元	バックアップファイル	バックアップファイルを指定します。
	ファイルデータ	バックアップファイルの情報を表示します。
	復元を開始する	バックアップファイルを指定後、[復元を開始する] をクリックすると、本製品の設定を復元します。

データが大きい場合、処理に時間がかかります。

オプション

PrinterSetting で使用する単位と起動時の設定をします。



項目		説明
表示設定	単位	単位を設定します。
起動時の設定	起動時にウェルカムダイアログを表示する	起動時のウェルカムダイアログの設定をします。

単位の設定は PrinterSetting のみ対象となります。操作パネルやプリンタードライバーには反映されません。

操作パネルの設定項目

この表は、操作パネルで設定できるメニュー項目（設定値、初期値）と、管理者ロック機能でロックされる項目を示しています。管理者ロック機能の詳細については 260 ページ「パネル操作を制限する（管理者ロック機能）」を参照してください。

設定メニュー項目			設定値	初期値	管理者ロック		
					本体設定	プリンター設定	用紙設定
用紙設定							
	用紙種類						
			普通紙	マット紙	-	-	○
			マット紙		-	-	○
			合成紙		-	-	○
			上質紙		-	-	○
			光沢紙		-	-	○
			光沢フィルム		-	-	○
			高光沢紙		-	-	○
	用紙検出方法						
			ギャップ	ギャップ	-	-	○
			ブラックマーク		-	-	○
			マーク無		-	-	○
	給紙方法						
			内部供給	内部供給	-	-	○
			外部供給		-	-	○
	用紙形態						
			ロール紙	ロール紙	-	-	○
			ファンフォールド紙		-	-	○
	用紙レイアウト						
		ラベル幅					
			CW-C6020 シリーズ	21.4 ～ 112.0[mm]/ 0.84 ～ 4.41[inch]	108.0[mm]/ 4.25[inch]	-	-	○
			CW-C6520 シリーズ	21.4 ～ 215.9[mm]/ 0.84 ～ 8.50[inch]	211.9[mm]/ 8.34[inch]	-	-	○
		ラベル長さ					
			CW-C6020 シリーズ	8 ～ 609.6[mm]/ 0.31 ～ 24[inch]	152.4[mm]/ 6[inch]	-	-	○
			CW-C6520 シリーズ	8 ～ 609.6[mm]/ 0.31 ～ 24[inch]	304.8[mm]/ 12[inch]	-	-	○
		ラベル間距離					
				ブラックマーク / ギャップ： 2 ～ 6[mm]/ 0.08 ～ 0.24[inch]	3[mm]/ 0.12[inch]	-	-	○
				マーク無： 0 ～ 6[mm]/ 0 ～ 0.24[inch]	3[mm]/ 0.12[inch]	-	-	○

設定メニュー項目			設定値	初期値	管理者ロック		
					本体設定	プリンター設定	用紙設定
左右ギャップ							
	CW-C6020 シリーズ						
		オートカッターモデル	0.0 ～ 6.0[mm]/ 0.0 ～ 0.24[inch]	2.0mm/ 0.08[inch]	-	-	○
		ピーラーモデル	0.0 ～ 2.0[mm]/ 0.0 ～ 0.08[inch]*	2.0mm/ 0.08[inch]	-	-	○
	CW-C6520 シリーズ						
		オートカッターモデル	0.0 ～ 6.0[mm]/ 0.0 ～ 0.24[inch]	2.0mm/ 0.08[inch]	-	-	○
		ピーラーモデル	0.0 ～ 2.0[mm]/ 0.0 ～ 0.08[inch]*	2.0mm/ 0.08[inch]	-	-	○
印刷位置調整							
	印刷位置調整（縦方向）※ メディア上でキャンバスの印刷位置を調整		-10.9 ～ +10.9[mm]/ -0.43 ～ +0.43[inch]	0[mm]/ 0[inch]	-	-	○
	印刷位置調整（横方向）※ メディア上でキャンバスの印刷位置を調整		-2.0 ～ +2.0[mm]/ -0.08 ～ +0.08[inch]	0[mm]/ 0[inch]	-	-	○
	用紙先端位置調整（連続紙）		-1.5 ～ +1.5[mm]/ -0.06 ～ +0.06[inch]	0[mm]/ 0[inch]	-	-	○
	ラベル左位置調整量 ※ キャンバス内でイメージの位置を調整 この機能はコマンドダイレクト用です。 プリンタードライバーを使用する場合は “ 0 ” に設定してください。						
		CW-C6020 シリーズ	-108.0 ～ +108.0[mm]/ -4.25 ～ +4.25[inch]	0[mm]/ 0[inch]	-	-	○
		CW-C6520 シリーズ	-211.9 ～ +211.9[mm]/ -8.34 ～ +8.34[inch]	0[mm]/ 0[inch]	-	-	○
用紙サイズエラー							
			オン	オフ	-	-	○
			オフ		-	-	○
プリンターのお手入れ							
	プリントヘッドのノズルチェック		-	-	-	-	-
	プリントヘッドのクリーニング		-	-	-	-	-
	強力クリーニング		-	-	-	-	-
	インクカートリッジ交換		-	-	-	-	-
	メンテナンスボックス交換		-	-	-	-	-
	プリントヘッドの位置調整						
			印刷のぼやけ改善	-	-	○	-
			横スジの改善		-	○	-
	キャリブレーションの実施						
			用紙検出 (簡易)	-	-	○	-
			用紙検出		-	○	-
			ロール紙たるみ検出		-	○	-
	ノズルチェック設定						
		ノズルチェックの設定	オン	オン	-	○	-
			オフ		-	○	-
		診断間隔	1 ～ 13000 [枚]	500	-	○	-
		ノズル抜け検出時動作設定	通知する	通知する		○	
			印刷継続		-	○	-

設定メニュー項目				設定値	初期値	管理者ロック		
						本体設定	プリンター設定	用紙設定
		ノズル抜け許容数		0 ～ 16 [ノズル]	6[ノズル]		○	
		診断後クリーニング		オン	オン	-	○	-
				オフ		-	○	-
	定期クリーニング			HH:MM（1 分刻み）	0:00	-	○	-
	インク排出			-	-	-	○	-
本体設定								
	基本設定							
		画面の明るさ設定		1 ～ 5	5	○	-	-
		音の設定						
				オフ	中	○	-	-
				小		○	-	-
				中		○	-	-
				大		○	-	-
				最大		○	-	-
		エラー発生時のブザー通知設定						
			エラー発生時のブザー通知設定	オフ	オン	○	-	-
				オン		○	-	-
			エラー音の繰り返し	オフ	オフ	○	-	-
				オン		○	-	-
		長さ単位						
				mm	mm	○	-	-
				inch		○	-	-
		スリープ移行時間設定						
				Off	On（15 分）	○	-	-
				On (1 ～ 240 分)		○	-	-
		ブレーカー連動起動						
				オン	オフ	○	-	-
				オフ		○	-	-
		日付 / 時刻設定						
			日付 / 時刻	-	-	○	-	-
			時差	+13:45 ～ -12:45 (15 分刻み)	-	○	-	-

設定メニュー項目					設定値	初期値	管理者ロック		
							本体設定	プリンター設定	用紙設定
		言語選択 /Language							
					Nederlands	日本語	-	-	-
					English		-	-	-
					Français		-	-	-
					Deutsch		-	-	-
					Ελληνικά		-	-	-
					Italiano		-	-	-
					日本語		-	-	-
					한국어		-	-	-
					Polski		-	-	-
					Português		-	-	-
					Русский		-	-	-
					简体中文		-	-	-
					Español		-	-	-
					繁體中文		-	-	-
					Türkçe		-	-	-
		背景色設定							
					グレー	ブラック	-	-	-
					ブラック		-	-	-
					ホワイト		-	-	-
		パネルボタン設定							
			カット（オートカッターモデルのみ）						
					有効	有効	○	-	-
					無効		○	-	-
			キャンセル						
					有効	有効	○	-	-
					無効		○	-	-
			フィード（オートカッターモデルのみ）						
					有効	有効	○	-	-
					無効		○	-	-
			ピーラーリセット（ピーラーモデルのみ）						
					有効	有効	○	-	-
					無効		○	-	-
	プリンター設定								
		印刷設定							
			印刷品質						
					ドラフト	普通	-	○	-
					速い		-	○	-
					普通		-	○	-
					きれい		-	○	-
					高精細		-	○	-
			解像度						
					200dpi	600dpi	-	○	-
					300dpi		-	○	-
					600dpi		-	○	-

設定メニュー項目					設定値	初期値	管理者ロック		
							本体設定	プリンター設定	用紙設定
			コマンド制御文字						
				コントロールプレフィックス	0X20 ～ 7E	0X7E	-	○	-
				フォーマットプレフィックス	0X20 ～ 7E	0X5E	-	○	-
				デリミタ文字	0X20 ～ 7E	0X2C	-	○	-
		画質設定							
			色補正方法設定						
					あざやかな色合い	あざやかな色合い	-	○	-
					補正しない		-	○	-
			マニュアル色補正設定						
				明るさ	-25 ～ +25	0	-	○	-
				彩度	-25 ～ +25	0	-	○	-
				コントラスト	-25 ～ +25	0	-	○	-
				色調 (シアン)	-25 ～ +25	0	-	○	-
				色調 (マゼンダ)	-25 ～ +25	0	-	○	-
				色調 (イエロー)	-25 ～ +25	0	-	○	-
			インク打ち込みレベル		-6 ～ +4（1 間隔）	0	-	○	-
			黒比率補正		-6 ～ 0（1 間隔）	0 ※ 下記の設定の場合のみ「-2」 ブラックインク仕様：マットインク 用紙種類：普通紙、マット紙、上質紙 印刷品質：速い、普通、きれい	-	○	-
			ヘッドパス毎の乾燥時間		0 ～ 5 秒（0.1 秒間隔）	0 秒	-	○	-
			ノズル抜け補完設定						
					有効	有効	-	○	-
					無効		-	○	-
			バーコード幅補正		-2 ～ +2（1 間隔）	0	-	○	-
		印刷動作設定							
			印刷後の動作設定						
				カットする（オートカッターモデルのみ）		オートカッターモデル：カットしない（カット位置で停止） ピーラーモデル：手貼り	-	○	-
				カットしない（カット位置で停止）（オートカッターモデルのみ）			-	○	-
				カットしない（剥離位置で停止）（オートカッターモデルのみ）			-	○	-
				手貼り（ピーラーモデルのみ）			-	○	-
				自動貼り（ピーラーモデルのみ）			-	○	-
				巻き取り			-	○	-
			カット位置調整 (オートカッターモデルのみ)		-10.8 ～ +10.8[mm]/ -0.425 ～ +0.425[inch]	0[mm]/ 0[inch]	-	○	-

設定メニュー項目						設定値	初期値	管理者ロック		
								本体設定	プリンター設定	用紙設定
			ピール位置調整 (ピーラーモデルのみ)							
				手貼り時		-10.8 ～ +10.8[mm]/ -0.425 ～ +0.425[inch]	0[mm]/ 0[inch]	-	○	-
				自動貼り時		-10.8 ～ +10.8[mm]/ -0.425 ～ +0.425[inch]	0[mm]/ 0[inch]	-	○	-
			バックフィードの動作時期設定							
						印刷前バックフィード	印刷後バックフィード	-	○	-
						印刷後バックフィード		-	○	-
			エラー発生時の再印刷設定							
						有効	有効	-	○	-
						無効		-	○	-
			用紙吸引強度							
						自動	自動	-	○	-
						手動（1 ～ 10）		-	○	-
			データ待ち時間							
						1 ～ 15[秒]	1[秒]	-	○	-
			パネルによるキャンセル動作設定							
						ジョブのキャンセルのみ	ジョブのキャンセルのみ	-	○	-
						ジョブと RAM ドライブのキャンセル		-	○	-
			拡張インターフェース設定							
				印刷完了・紙送り状態信号						
						信号無効	信号無効	-	○	-
						有効時 Low レベル		-	○	-
						有効時 High レベル		-	○	-
						有効時 Low パルス		-	○	-
						有効時 High パルス		-	○	-
				印刷データ準備完了信号						
						信号無効	信号無効	-	○	-
						有効時 Low レベル		-	○	-
						有効時 High レベル		-	○	-
				ノズル抜けあり信号						
						信号無効	信号無効	-	○	-
						有効時 Low レベル		-	○	-
						有効時 High レベル		-	○	-
				ヘッドメンテナンス中信号						
						信号無効	信号無効	-	○	-
						有効時 Low レベル		-	○	-
						有効時 High レベル		-	○	-
				プリンター READY 信号						
						信号無効	信号無効	-	○	-
						有効時 Low レベル		-	○	-
						有効時 High レベル		-	○	-

設定メニュー項目	設定値	初期値	管理者ロック		
			本体設定	プリンター設定	用紙設定
ワーニング信号					
	信号無効	信号無効	-	○	-
	有効時 Low レベル		-	○	-
	有効時 High レベル		-	○	-
エラー&ポーズ信号					
	信号無効	信号無効	-	○	-
	通常時 High、エラー時 Low		-	○	-
	通常時 Low、エラー時 High		-	○	-
	通常時 High、エラーまたはポーズ時 Low		-	○	-
	通常時 Low、エラーまたはポーズ時 High		-	○	-
インクロー信号					
	信号無効	信号無効	-	○	-
	有効時 Low レベル		-	○	-
	有効時 High レベル		-	○	-
インクエンド信号					
	信号無効	信号無効	-	○	-
	有効時 Low レベル		-	○	-
	有効時 High レベル		-	○	-
用紙エンド信号					
	信号無効	信号無効	-	○	-
	有効時 Low レベル		-	○	-
	有効時 High レベル		-	○	-
ポーズ指令信号					
	信号を無視する	信号を無視する	-	○	-
	Low 時、実行		-	○	-
ヘッドクリーニング指令信号					
	信号を無視する	信号を無視する	-	○	-
	Low 時、実行		-	○	-
ノズル抜けチェック指令信号					
	信号を無視する	信号を無視する	-	○	-
	Low 時、実行		-	○	-
用紙送り指令信号					
	信号を無視する	信号を無視する	-	○	-
	Low 時、実行		-	○	-
印刷開始指令信号					
	信号を無視する	信号を無視する	-	○	-
	Low 時、実行		-	○	-
	Low 時、継続		-	○	-
再印刷指令信号					
	信号を無視する	信号を無視する	-	○	-
	Low 時、実行		-	○	-

設定メニュー項目				設定値	初期値	管理者ロック		
						本体設定	プリンター設定	用紙設定
			用紙交換時の動作					
				フィード	フィード	-	○	-
				フィードしない		-	○	-
				キャリブレーション		-	○	-
				短いキャリブレーション		-	○	-
				用紙サイズ計測する		-	○	-
			電源オン時の動作					
				フィード	フィードしない	-	○	-
				フィードしない		-	○	-
				キャリブレーション		-	○	-
				短いキャリブレーション		-	○	-
				用紙サイズ計測する		-	○	-
	ネットワーク設定							
		ネットワーク情報						
			有線接続状態	-	-	○	-	-
			ステータスシート印刷	-	-	○	-	-
		接続診断		-	-	○	-	-
		詳細設定						
			デバイス名	-	-	○	-	-
			TCP/IP	-	-	○	-	-
			プロキシサーバー	-	-	○	-	-
			IPv6 アドレス					
				有効	有効	○	-	-
				無効		○	-	-
			Link Speed & Duplex					
				自動	自動	○	-	-
				100BASE-TX Auto		○	-	-
				10BASE-T Half Duplex		○	-	-
				10BASE-T Full Duplex		○	-	-
				100BASE-TX Half Duplex		○	-	-
				100BASE-TX Full Duplex		○	-	-
			HTTP を HTTPS にリダイレクト					
				有効	有効	○	-	-
				無効		○	-	-
			IPsec/IP フィルタリングの無効化	-	-	○	-	-
			IEEE802.1X の無効化	-	-	○	-	-

設定メニュー項目	設定値	初期値	管理者ロック		
			本体設定	プリンター設定	用紙設定
管理者用設定					
内部メモリーデータ削除	-	-	○	-	-
セキュリティー設定					
管理者設定					
管理者パスワード					
新規設定	-	-	○	-	-
変更			○	-	-
設定クリア			○	-	-
管理者ロック					
オン	オフ		○	-	-
オフ			○	-	-
本体設定					
オン	- ※ 管理者ロックをオンに設定するとオン固定になる。		○	-	-
オフ			○	-	-
プリンター設定					
オン	オフ		○	-	-
オフ			○	-	-
用紙設定					
オン	オフ		○	-	-
オフ			○	-	-
初期設定に戻す					
ネットワーク設定	-	-	○	-	-
用紙検出しきい値	-	-	○	-	-
ロール紙たるみ検出器	-	-	○	-	-
全ての設定	-	-	○	-	-
言語選択 /Language	-	-	-	-	-
お気に入り選択	-	-	-	-	-
消耗品情報	-	-	-	-	-
情報確認 / 印刷					
ファームウェアバージョン	-	-	-	-	-
本体ステータスシートの印刷					
プリンター情報シート	-	-	-	-	-
フォントリスト	-	-	-	-	-
バーコードリスト	-	-	-	-	-
イメージリスト	-	-	-	-	-
テンプレートリスト	-	-	-	-	-
ネットワーク	-	-	-	-	-

設定メニュー項目			設定値	初期値	管理者ロック		
					本体設定	プリンター設定	用紙設定
	メンテナンスカウンター						
		合計印刷距離	-	-	-	-	-
		印刷距離（リセットカウンター 1）	-	-	-	-	-
		印刷距離（リセットカウンター 2）	-	-	-	-	-
		合計印刷枚数	-	-	-	-	-
		印刷枚数（リセッカウンタート 1）	-	-	-	-	-
		印刷枚数（リセットカウンター 2）	-	-	-	-	-
		キャリッジパス数	-	-	-	-	-
		オートカッター動作回数（オートカッターモデルのみ）	-	-	-	-	-
		インク流路内バルブ動作回数	-	-	-	-	-

* 左右ギャップは 6.0mm まで入力できますが、ピーラーモデルは 2.0mm より大きな値を設定した場合には動作の保証をしません。用紙を正常に送れず詰まる可能性があります。

WebConfig

WebConfig はプリンターの設定確認や変更が、コンピューターのブラウザー上でできるアプリケーションソフトです。
WebConfig を使用するには、あらかじめプリンターに IP アドレスを設定しておく必要があります。
コンピューターはプリンターと同一のネットワークに接続してください。



管理者ログオンを不要に設定することはできません。管理者パスワードを忘れた場合は初期化することができます。262 ページ「管理者パスワードを初期化する」

WebConfig の起動方法

ネットワーク上のコンピューターやデバイスからブラウザーを起動して、プリンターの IP アドレスを入力します。プリンターの設定を変更する場合は、画面右上の［管理者ログオン］からログインしてください。

WebConfig へのログインには、ユーザー名とパスワードの入力が必要です。

- プリンターの背面にパスワードラベルが貼られている場合
  ユーザー名：任意（ログインには使用されません）
  パスワード：パスワードラベルの “PASSWORD” の値



この例の場合、初期パスワードは 03212791 です。

- パスワードラベルが無い場合
  本体管理者パスワードの設定によりログイン画面が異なります。

  * 本体管理者パスワードが未設定のとき
    パスワード設定画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを設定します。
    ユーザー名：空白、または任意の文字列
    パスワード：任意の文字列
    　　プリンターの本体管理者パスワードとして自動的に反映されます



- ユーザー名を空白に設定した場合
  以降のログインでは任意の文字列を入力できます。（ログインには使用されません）
- ユーザー名を空白以外に設定した場合
  以降のログインでは設定した文字列を入力します。

  * 本体管理者パスワードを設定しているとき
    WebConfig のログイン画面でユーザー名とパスワードを入力します。
    ユーザー名：空白、または任意の文字列（空白を設定している場合）
    　　設定した文字列（ユーザー名に空白以外を設定した場合）
    パスワード：本体管理者パスワード

ブラウザーの JavaScript を有効にしてください。HTTPS アクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、WebConfig を起動するとブラウザーに警告が表示されます。

HTTPS アクセス

IPv4：https:// プリンターの IP アドレス
IPv6：https://[プリンターの IP アドレス]

HTTP アクセス

IPv4：http:// プリンターの IP アドレス
IPv6：http://[プリンターの IP アドレス]

記入例

IPv4：
https://192.0.2.111/
http://192.0.2.111/
IPv6：
https://[2001:db8::1000:1]/
http://[2001:db8::1000:1]/

Epson Device Admin

Epson Device Admin は、ネットワーク上のプリンターの管理を行う多機能なソフトウェアです。
以下のような機能があります。

- ネットワーク上のプリンターの監視、管理
- 消耗品やステータスの詳細なレポート機能
- ファームアップデート機能
- プリンターのネットワークへの導入
- ネットワーク上のプリンターの動作設定値の設定
- ネットワーク上の複数プリンターへの動作設定値の一括設定

Epson Device Admin はエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

重要

本製品との接続は Ethernet 接続のみをサポートしています。USB 接続はサポートしていません。

特色の設定

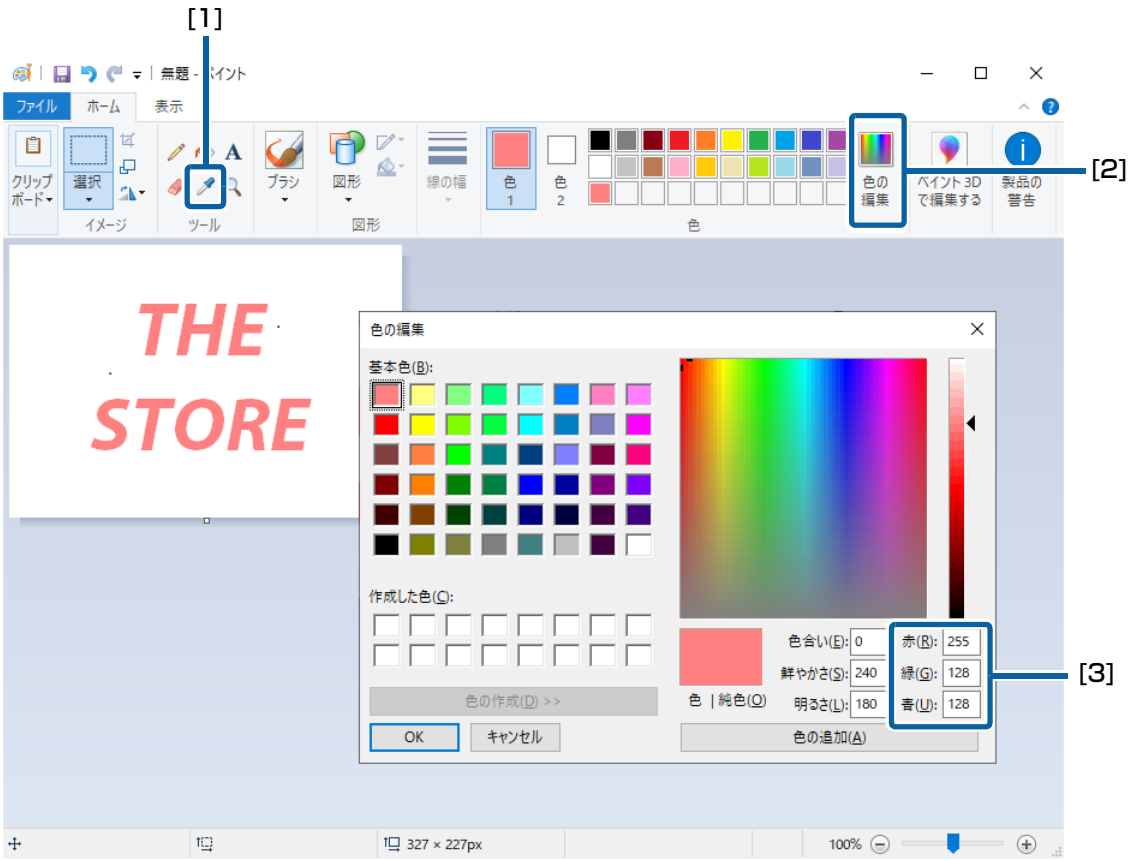
［特色設定］は特定の色を指定の色に変更する機能です。事前に色変換情報が格納された特色リストファイルを作成し、印刷時に特色ファイルリストをプリンターに送信することで特定の色を変換して印刷できます。以下の手順で特色設定ができます。

特色設定をして印刷すると、指定した RGB 値の色になっている箇所が全て指定した目的の色に変換されます。意図しない箇所の色が変換されてしまうときは、変換したくない箇所の RGB 値を少し変更すると変換されなくなります。

特色設定を作成する

1　印刷データの中で、特色設定したい元の色（RGB 値）を調べます。

ここでは Windows に付属の「ペイント」で RGB 値を調べる方法を説明します。



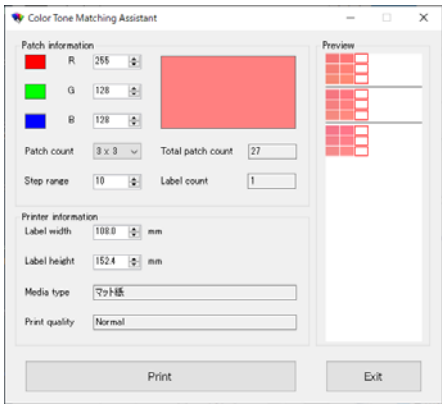
［1］［スポイト］を選択し、調べたい色が使用されている部分をクリックします。
［2］［色の編集］をクリックし、［色の編集］画面を表示します。
［3］　選択した色の RGB 値を確認し、記録します。

グラフィックソフトウェアによって、RGB 値を調べる方法は異なります。各ソフトウェアのマニュアルやヘルプをご確認ください。

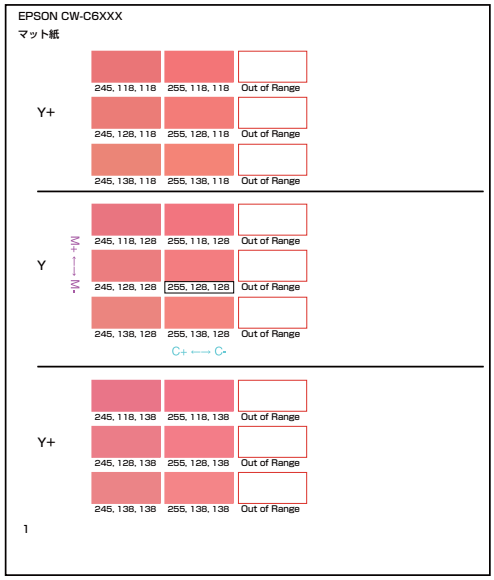
2 目的の色（RGB 値）を決めます。

目的の色を決めるとき、同梱の CD に収録されている「Color Tone Matching Assistant」の使用をおすすめします。
「Color Tone Matching Assistant」は、RGB 値を指定することで、それぞれの RGB 値を少し変化させたサンプルパターンを印刷できます。
印刷されたサンプルパターンから、お好みの色の RGB 値を取得できます。詳しくは「Color Tone Matching Assistant ユーザーズガイド」を参照してください。

Color Tone Matching Assistant



サンプルパターン例



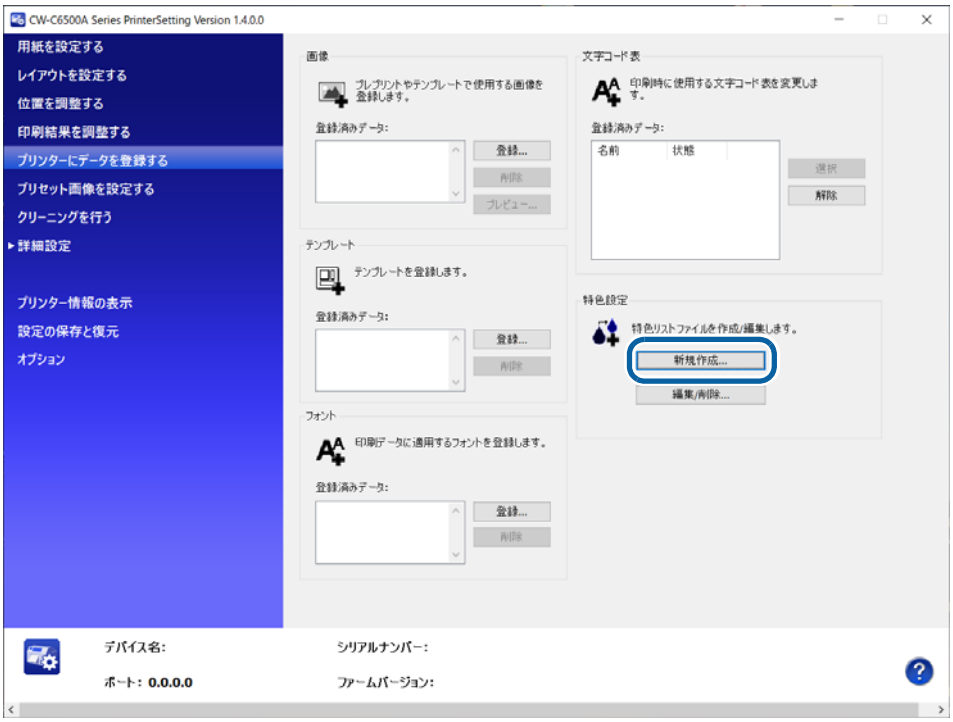
フォント置き換えの設定をしていると、Color Tone Matching Assistant でのサンプルパターンが正常に印刷されない場合があります。フォント置き換えの設定を解除してから印刷してください。

3 PrinterSetting を起動します。

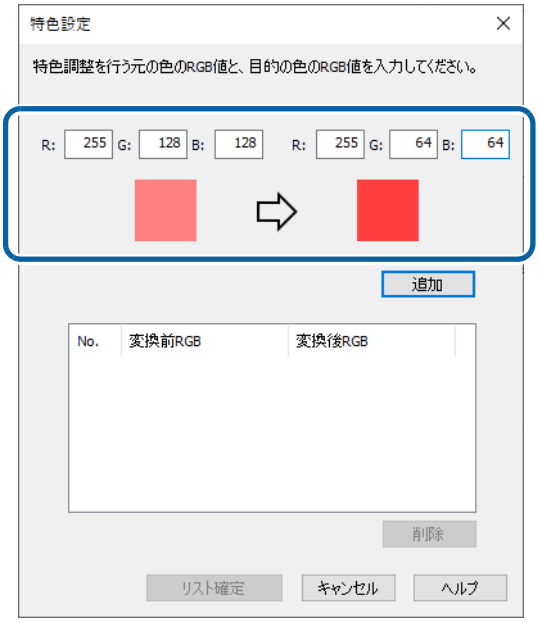
（181 ページ「PrinterSetting の起動」）

4 ［プリンターにデータを登録する］を選択します。

5 ［特色設定］の［新規作成］を選択します。

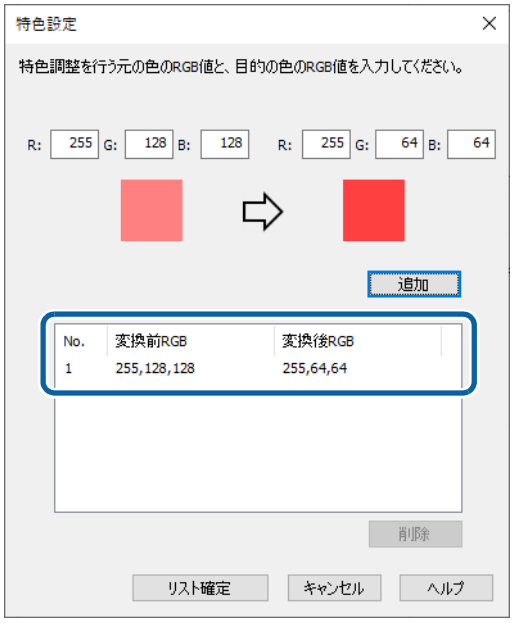


6 特色設定を行う元の色の RGB 値と、目的の色の RGB 値を入力します。



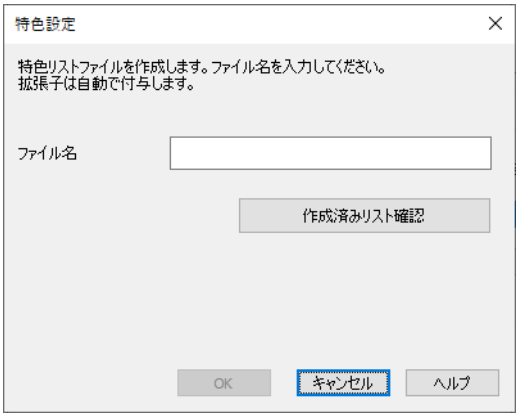
7 ［追加］を選択します。

入力した特色設定が下の画面に表示されます。

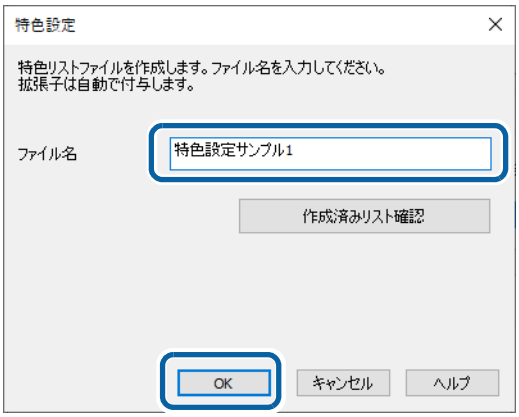


8 ［リスト確定］を選択します。

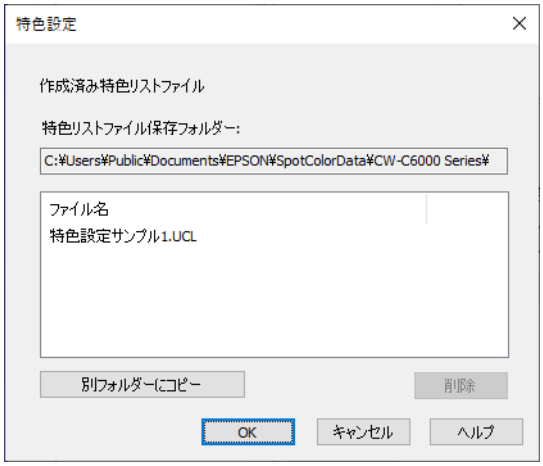
［特色設定］のファイル名入力画面が表示されます。



9 特色リストファイル名を入力し、［OK］を選択します。



10 **作成成功のダイアログで［OK］を選択すると、［作成済み特色リストファイル］画面が表示されます。**



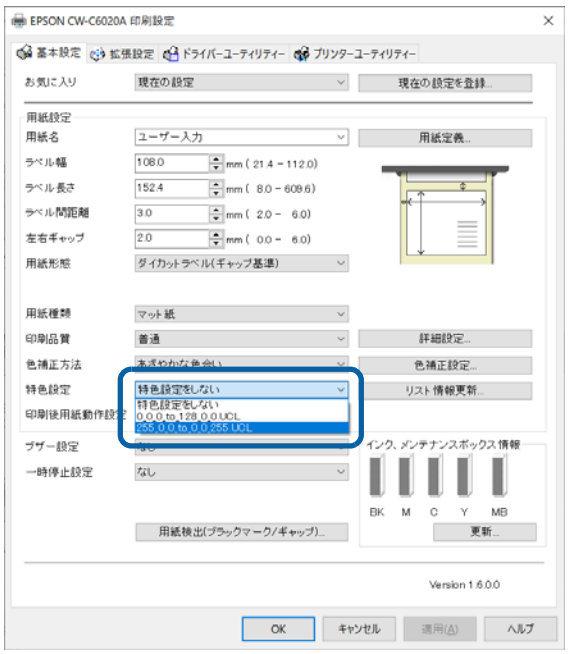
特色リストファイルを別のフォルダーへ作成したい場合は［別フォルダーにコピー］を選択してください。

以上で「特色設定を作成する」は完了です。

特色設定を使用して印刷する

1 プリンタードライバーを表示します。

2 ［基本設定］タブの［特色設定］のプルダウンを選択します。



3 使用する特色設定リストファイルを選択します。

> 参照する特色リストの保存フォルダーを変更したい場合は［リスト情報更新］を選択し、参照先を変更してください。

4 印刷を実行します。

プリンタードライバーで指定した特色設定リストファイルの色変換が反映されます。

以上で「特色設定を使用して印刷する」は完了です。

色補正方法

以下の３つの色補正方法があります。
- プリンターで設定する
- OS で設定する
- アプリケーションで設定する

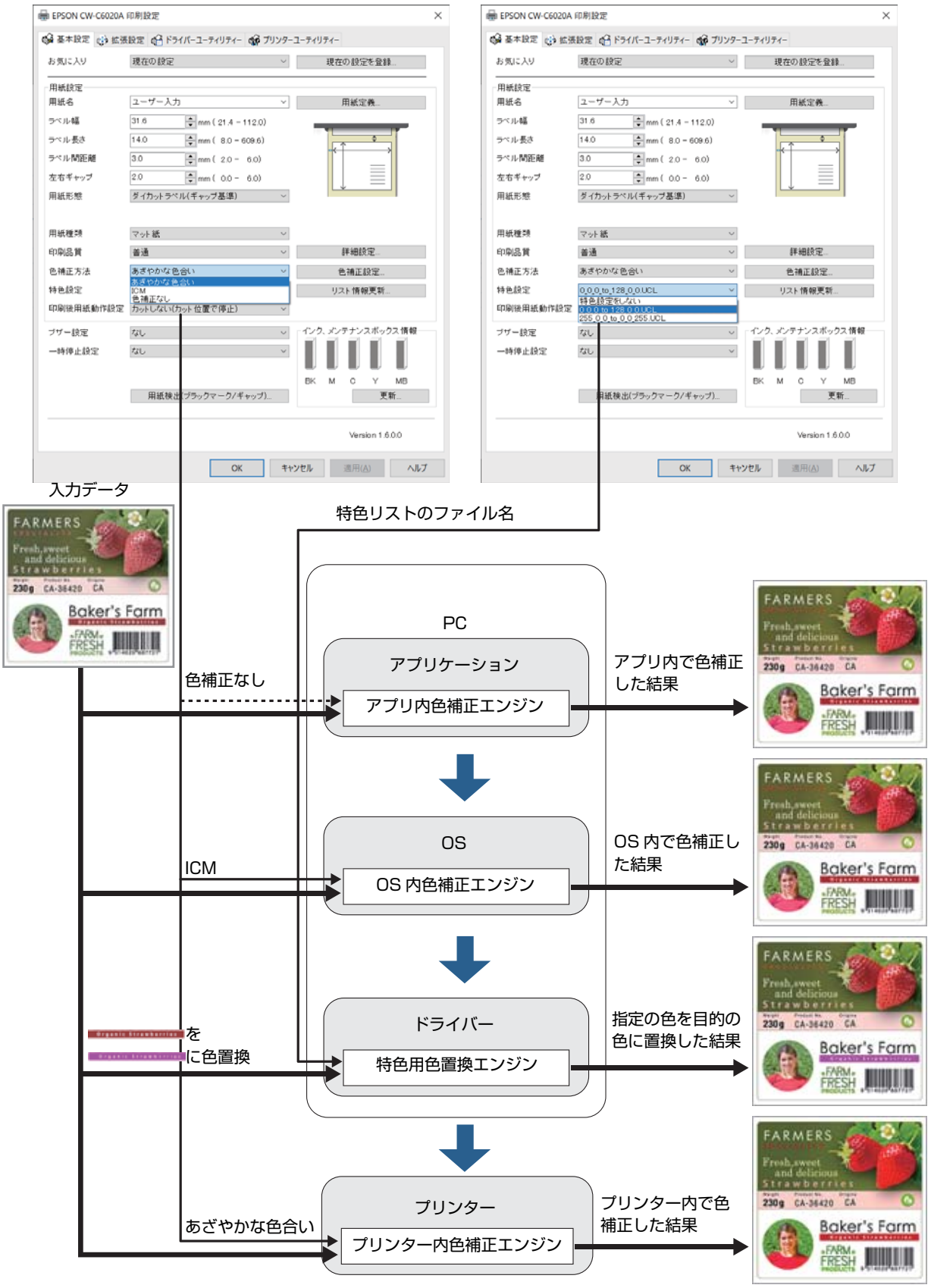
どの方法で色補正するかにより、プリンタードライバーの［色補正方法］で以下のように選択します。
- プリンターで設定するとき：［あざやかな色合い］を選択します。
- OS で設定するとき：Windows は［ICM］を、Mac は［ColorSync］を選択します。
- アプリケーションで設定するとき：［色補正なし］を選択します。

ドライバー上の設定と色補正方法と特色設定の関係

印刷結果の色は、ドライバー上のメニューの設定により変わります。
印刷結果の色を変更するためのドライバー上のメニューには「色補正方法」と「特色設定」の２つがあります。
「色補正」は、全体的な色合いを変えるもので、プリンター内、OS 内、特定のアプリケーション内にそれぞれ色補正エンジンがあります。ドライバー上の「色補正方法」メニューの選択肢によって、どの色補正エンジンを使用するかが特定されると共に、各色補正エンジンへの入力パラメーターが渡されます。
「特色設定」は指定した特定の色（＝元の色）を指定した他の色（＝目的の色）に置換するもので、ドライバー内に色置換エンジンがあります。
「色補正方法」メニューの選択肢は１つしか選択できません。そのため、プリンター内、OS 内、特定のアプリケーション内の色補正エンジンが同時に使われることはなく、どれか１つの色補正エンジンのみが使用されます。

「色補正」と「特色設定」は組み合わせて同時に使用できます。
しかし、実際には「色補正方法」の設定として「あざやかな色合い」を選択してプリンター内色補正エンジンを使用する場合にのみ、「特色設定」も同時に使うことができます。
これは、特色用色置換エンジンがドライバー内にあるためドライバーより上位層にあるアプリケーション内や OS 内で色補正が先に行われてしまうと指定した元の色の RGB 値が変わってしまい、本来変えるべき場所の色を見つけることができなくなってしまうためです。
したがって、「色補正方法」の設定が「ICM」または「色補正なし」の場合は、「特色設定」と組み合わせて同時に色補正することはできません。

ドライバー上の設定		ドライバー上の設定値を反映する場所
メニュー	選択肢	
色補正方法	あざやかな色合い	プリンター内色補正エンジン
	ICM	OS 内色補正エンジン
	色補正なし	なし＝アプリ側で調整することを前提
特色設定	特色設定をしない	なし
	特色リストのファイル名	ドライバー内特色用色置換エンジン



注意

画像データは色補正のイメージを表現したもので、実際の色補正前後のデータではありません。

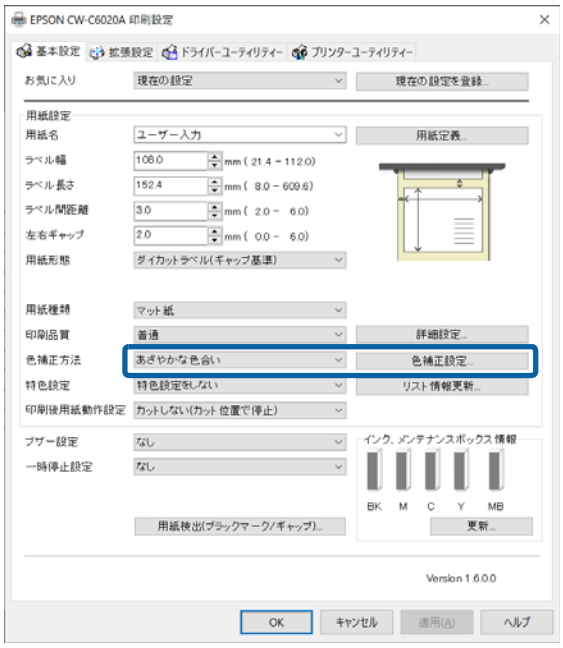
プリンターで設定する

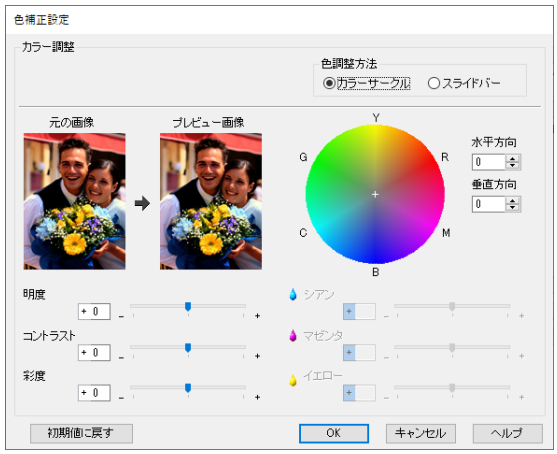
あざやかな色合い

[あざやかな色合い] は、画像の色空間 AdobeRGB に準拠しています。sRGB に比べては色再現範囲が広いですが、モニターと印刷結果の色を近づけるためには、AdobeRGB に対応したモニターを用意する必要があります。

調整方法

［あざやかな色合い］の状態で［色補正設定］を選択すると、［色補正設定］画面が表示されます。
［元の画像］と［プレビュー画像］を比較しながら、任意の色に調整してください。





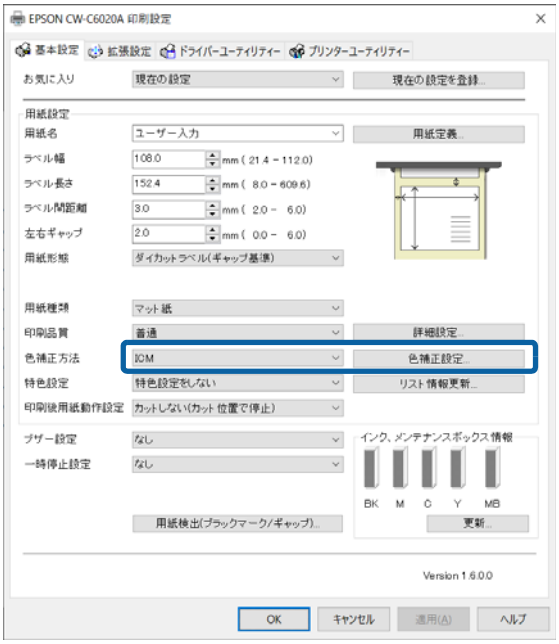
項目		説明
明度		画像全体の明るさを調整します。
コントラスト		画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。 コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。 逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。
彩度		画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。 彩度を上げると色味が強くなります。彩度を落とすと色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。
色調整方法	カラーサークル	カラーサークル上をクリックして調整します。 ［水平方向］、［垂直方向］に数値を入力することでも調整できます。
	スライドバー	［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］のスライドバーを動かして調整します。

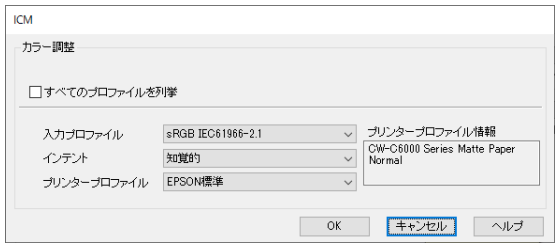
OS で設定する

ICM

ICM（Image Color Management）は、モニターやプリンターなどの異なるデバイス間で色の見た目を一致させる Windows カラー管理機能です。ICC プロファイルに基づいてモニターとプリンターが出力する色を一致させます。
ICC プロファイルとは、ICC（International Color Consoritium）標準に従い、モニターやプリンターなどのデバイスごとに設定された色変換のためのファイルです。
ただし、４色プリンターの色域はモニターよりも狭いため、多くの場合、モニターの色と正確に一致させることはできません。

［ICM］を選択して［色補正設定］ボタンをクリックすると、［ICM］設定画面が表示されます。



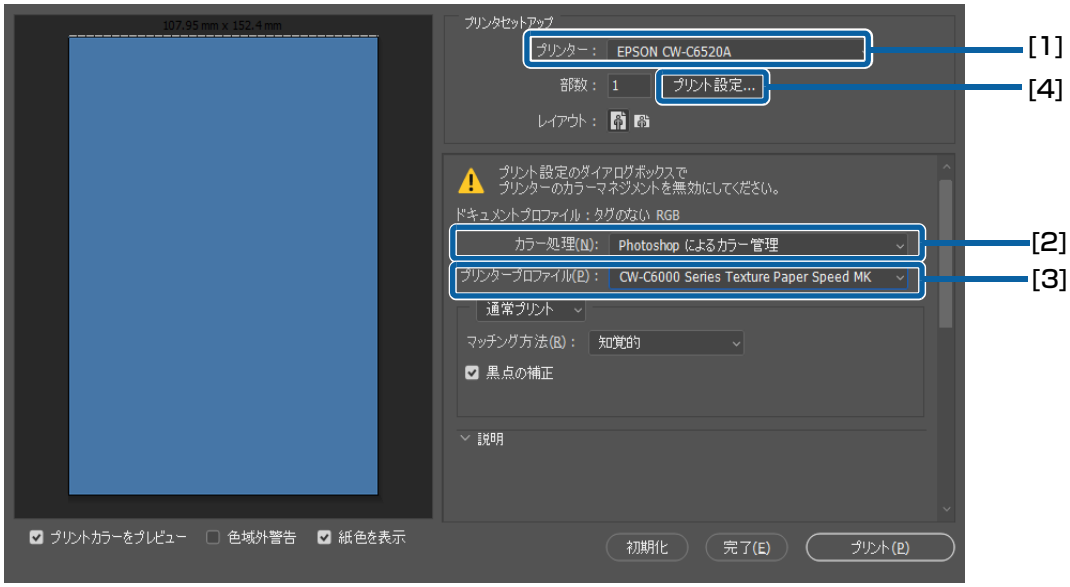


項目		説明
すべてのプロファイルを列挙		ドライバーをインストールする際に、EPSON純正紙用のICCプロファイルが自動的にインストールされます。インストールされるのは、［用紙種類］と［印刷品質］の組合せ分すべての ICC プロファイルです。 初期設定では本項目のチェックが外れているので、［入力プロファイル］は［sRGB IEC61966-2-1］に、［プリンタープロファイル］は［EPSON 標準］に固定され、ドライバーに設定されている［用紙種類］と［印刷品質］に対応する ICC プロファイルが自動的に選択されます。 EPSON純正紙以外のメディアを使用し、該当メディアのICCプロファイルがインストールされている場合にチェックを付けます。 チェックを付けると、［入力プロファイル］、［プリンタープロファイル］のプルダウンメニューから、システムにインストールされている全てのプロファイルが選べるようになります。［プリンタープロファイル］で該当メディアの ICC プロファイルを選択してください。
入力プロファイル		表示デバイスのプロファイルを選択します。 通常、Windows OS のデフォルトである［sRGB IEC61966-2-1］しか表示されません。
インテント	彩度	彩度を保持して変換します。
	知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用しているときに選択してください。
	相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標を一致させ、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
	絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用するときに選択してください。
プリンタープロファイル		使用するメディアに対応するプリンタープロファイルを選択します。通常、［EPSON 標準］しか表示されません。［EPSON 標準］は、EPSON 純正紙用にドライバーに設定されている［用紙種類］と［印刷品質］に対応する ICC プロファイルを自動的に選択します。

ColorSync

ColorSync は、macOS のカラー管理機能で、Windows の ICM に相当する機能です。
以下に ColorSync を使って ICC プロファイルを設定する方法を、Adobe Photoshop（以降、Photoshop と記載します）およびプレビューを例に説明します。

Photoshop から印刷する場合



1　**[プリンター] で本製品を選択します。**

2　**[カラー処理] メニューから [Photoshop によるカラー管理] を選択します。**
[プリンターによるカラー管理]を選択した場合、ICC プロファイルの設定を印刷結果に反映できません。

3　**[プリンタープロファイル] で適切な ICC プロファイルを選択します。**

4　**[プリント設定] をクリックし、プリンタードライバーで印刷設定をします。**
[カラーマッチング] と [カラーオプション] は変更できません。

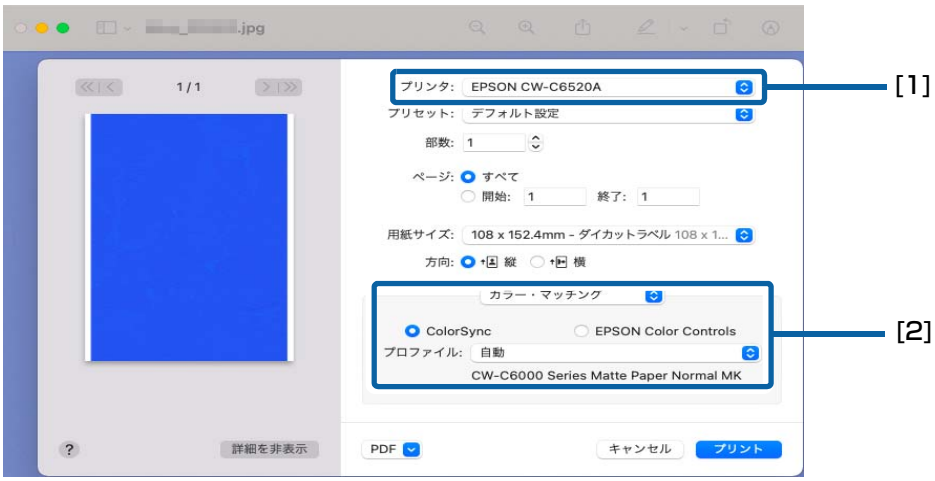




5 Photoshop の印刷ウィンドウでその他の印刷設定をします。

6 [プリント] ボタンをクリックします。

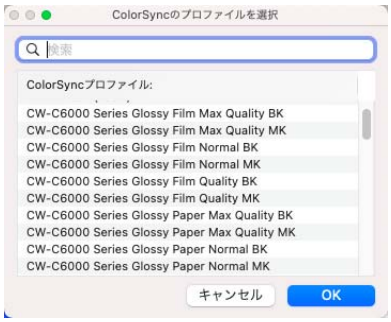
プレビューから印刷する場合



1 [プリンタ] で本製品を選択します。

2 **[カラーマッチング]で[ColorSync]を選択し、[プロファイル]で適切なICCプロファイルを選択します。**

[自動] を選択すると、エプソンが提供する ICC プロファイルを自動的に選択します。
[その他のプロファイル] を選択すると、[ColorSync プロファイルの選択] 画面が表示され、他の ICC プロファイルを選択できます。



3 その他の印刷設定をします。

4 [プリント] ボタンをクリックします。

Acrobat Reader から印刷する場合

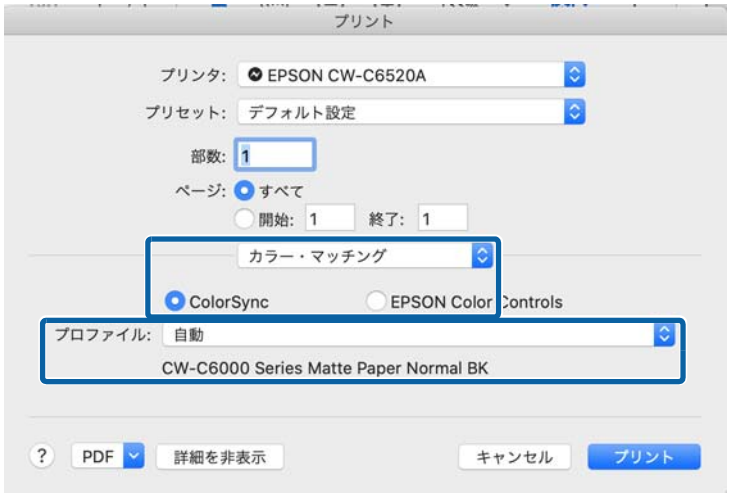
ColorSync 使用時の注意事項

- PDF のデータは RGB データである必要があります。CMYK データの場合、正しく色補正できません。
- 印刷データにソースプロファイル（入力プロファイル）が埋め込まれていない場合、ソースプロファイルは自動的に「sRGB　IEC61966-2.1」が適用されます。
- レンダリングインテント（カラーマッピング方法）は「知覚的」に固定されます。

1　[プリンター] で本製品を選択し、画面下の [プリンター ...] をクリックします。



2 ［カラー・マッチング］で［ColorSync］を選択し、［プロファイル］で適切な ICC プロファイルを選択します。



プロファイルの初期設定は［自動］になっており、エプソンが提供する ICC プロファイルが自動的に選択されます。［その他のプロファイル］を選択すると、［ColorSync プロファイルの選択］画面が表示され、他の ICC プロファイルを選択できます。



3 その他の印刷設定をします。

4 [詳細設定] をクリックします。



5 ［画像として印刷］にチェックを入れて［OK］をクリックします。



6 ［プリント］画面で ［印刷］ボタンをクリックします。

ICC プロファイルを作成する

ICC プロファイルとは

ICC プロファイルは International Color Consortium（略称：ICC）によって定義された、色を管理するための情報が記述されたデータ (拡張子 .icc) です。印刷結果の色は使用するメディアや印刷モード等によって大きく変わります。
CW-C6020/6520 シリーズは EPSON 純正メディア、印刷品質（印刷モード）、インクの組合せごとに ICC プロファイルを提供しています。ICC プロファイルは、Windows ドライバーのインストール時に以下の指定フォルダにインストールされます。

C:\Windows\System32\spool\drivers\color

EPSON 純正メディア以外のメディアを使う場合は、そのメディアに対応する ICC プロファイルを用意していただく必要があります。

CW-C6020/6520 シリーズで標準提供している ICC プロファイル

メディア名称	印刷品質	インク仕様	ICCプロファイル名
普通紙	ドラフト	フォト	CW-C6000Series_PlainPaper_MaxSpeed.icc
		マット	CW-C6000Series_PlainPaper_MaxSpeed_MK.icc
	速い	フォト	CW-C6000Series_PlainPaper_Speed.icc
		マット	CW-C6000Series_PlainPaper_Speed_MK.icc
	普通	フォト	CW-C6000Series_PlainPaper_Normal.icc
		マット	CW-C6000Series_PlainPaper_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C6000Series_PlainPaper_Quality.icc
		マット	CW-C6000Series_PlainPaper_Quality_MK.icc
マット紙	ドラフト	フォト	CW-C6000Series_MattePaper_MaxSpeed.icc
		マット	CW-C6000Series_MattePaper_MaxSpeed_MK.icc
	速い	フォト	CW-C6000Series_MattePaper_Speed.icc
		マット	CW-C6000Series_MattePaper_Speed_MK.icc
	普通	フォト	CW-C6000Series_MattePaper_Normal.icc
		マット	CW-C6000Series_MattePaper_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C6000Series_MattePaper_Quality.icc
		マット	CW-C6000Series_MattePaper_Quality_MK.icc

メディア名称	印刷品質	インク仕様	ICCプロファイル名
合成紙	ドラフト	フォト	CW-C6000Series_Synthetic_MaxSpeed.icc
		マット	CW-C6000Series_Synthetic_MaxSpeed_MK.icc
	速い	フォト	CW-C6000Series_Synthetic_Speed.icc
		マット	CW-C6000Series_Synthetic_Speed_MK.icc
	普通	フォト	CW-C6000Series_Synthetic_Normal.icc
		マット	CW-C6000Series_Synthetic_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C6000Series_Synthetic_Quality.icc
		マット	CW-C6000Series_Synthetic_Quality_MK.icc
上質紙	ドラフト	フォト	CW-C6000Series_TexturePaper_MaxSpeed.icc
		マット	CW-C6000Series_TexturePaper_MaxSpeed_MK.icc
	速い	フォト	CW-C6000Series_TexturePaper_Speed.icc
		マット	CW-C6000Series_TexturePaper_Speed_MK.icc
	普通	フォト	CW-C6000Series_TexturePaper_Normal.icc
		マット	CW-C6000Series_TexturePaper_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C6000Series_TexturePaper_Quality.icc
		マット	CW-C6000Series_TexturePaper_Quality_MK.icc
光沢紙	普通	フォト	CW-C6000Series_GlossyPaper_Normal.icc
		マット	CW-C6000Series_GlossyPaper_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C6000Series_GlossyPaper_Quality.icc
		マット	CW-C6000Series_GlossyPaper_Quality_MK.icc
	高精細	フォト	CW-C6000Series_GlossyPaper_MaxQuality.icc
		マット	CW-C6000Series_GlossyPaper_MaxQuality_MK.icc
光沢フィルム	普通	フォト	CW-C6000Series_GlossyFilm_Normal.icc
		マット	CW-C6000Series_GlossyFilm_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C6000Series_GlossyFilm_Quality.icc
		マット	CW-C6000Series_GlossyFilm_Quality_MK.icc
	高精細	フォト	CW-C6000Series_GlossyFilm_MaxQuality.icc
		マット	CW-C6000Series_GlossyFilm_MaxQuality_MK.icc

メディア名称	印刷品質	インク仕様	ICCプロファイル名
高光沢紙	普通	フォト	CW-C6000Series_HighGlossyPaper_Normal.icc
		マット	CW-C6000Series_HighGlossyPaper_Normal_MK.icc
	きれい	フォト	CW-C6000Series_HighGlossyPaper_Quality.icc
		マット	CW-C6000Series_HighGlossyPaper_Quality_MK.icc
	高精細	フォト	CW-C6000Series_HighGlossyPaper_MaxQuality.icc
		マット	CW-C6000Series_HighGlossyPaper_MaxQuality_MK.icc



一部の ICC プロファイルは、X-Rite Solutions で作成されています。

ICC プロファイルの作成手順

EPSON 純正以外のメディアを使用する場合は、メディアベンダーが提供している ICC プロファイルを入手する、または該当メディア用の ICC プロファイルを作成してください。
ICC プロファイルの作成には、測色機と ICC プロファイル作成ツール（ソフトウェア）が必要です。
例）

- ❏ x-rite 社（https://xritephoto.com/）
  i1iO2（測色機）、i1Profiler （ICC プロファイル作成ツール）
- ❏ Datacolor 社（https://www.datacolor.com/）
  SpyderPrint（プリントキャリブレーションツール）

作成方法は使用する機材やソフトウェアによって異なるため、ここでは手順の概要を説明します。詳細はお使いの機材、ソフトウェアのマニュアルをご確認ください。

1　ICC プロファイル作成ツール（ソフトウェア）を起動して、使用するメディアに測色用パッチチャートを印刷します。

2　印刷したパッチチャートを測色機で測色します。

3　測色結果から、ICC プロファイル作成ツール（ソフトウェア）で ICC プロファイルを出力します。

色補正なし

［色補正設定］を［色補正なし］に選択していると、［色補正設定］ボタンは表示されません。
［色補正なし］はアプリケーションで色補正を行う場合に選択してください。アプリケーションでの色補正は、各種アプリケーションのヘルプやマニュアルを参照してください。

先頭のラベルから印刷する（オートカッターモデルのみ）

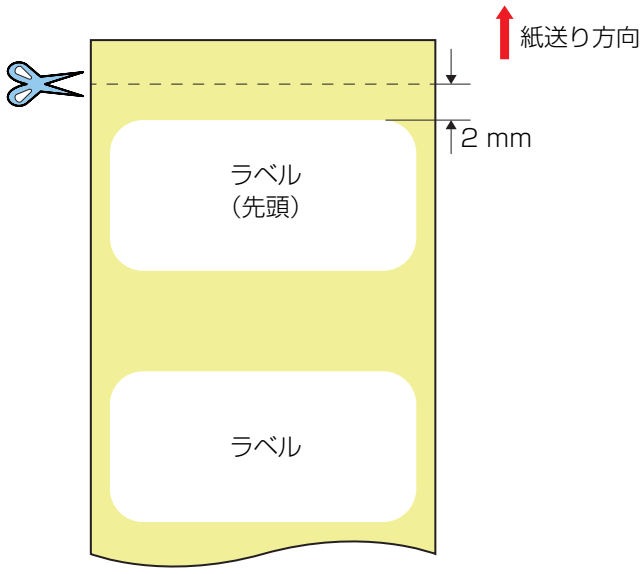
［用紙検出方法］が［ギャップ］の場合、用紙セット後の最初の印刷で、先頭のラベルは印刷できません。
オートカッターモデルの場合は、［用紙検出方法］を［ギャップ］に設定していても、以下の手順で先頭のラベルから印刷できるようになります。

注意

- 本手順を実施して印刷するラベルは、オートカットできません。
- ご使用のラベルとプリンターの設定値が異なっていると、印刷品質が低下する可能性があります。

- ピーラーモデルは先頭のラベルから印刷できません。
- オートカッターモデルでも、［用紙検出方法］が［ブラックマーク検出］または［マークなし］の場合は、本手順の実施は不要です。

1　用紙の台紙部分を先頭ラベルから２ mm の位置で切り取ります。



2　本体パネルから、［用紙交換時の動作］を［フィードしない］へ設定します。

［Menu］-［本体設定］-［プリンター設定］-［印刷動作設定］-［用紙交換時の動作］-［フィードしない］
初期値は［フィード］です。

3　ラベル長、ラベル間隔をお使いのラベルに合わせて設定します。

（47 ページ「用紙の設定」）

4　用紙をセットし、印刷します。

用紙のセット方法は（48 ページ「用紙カバーの開け方」）を参照してください。

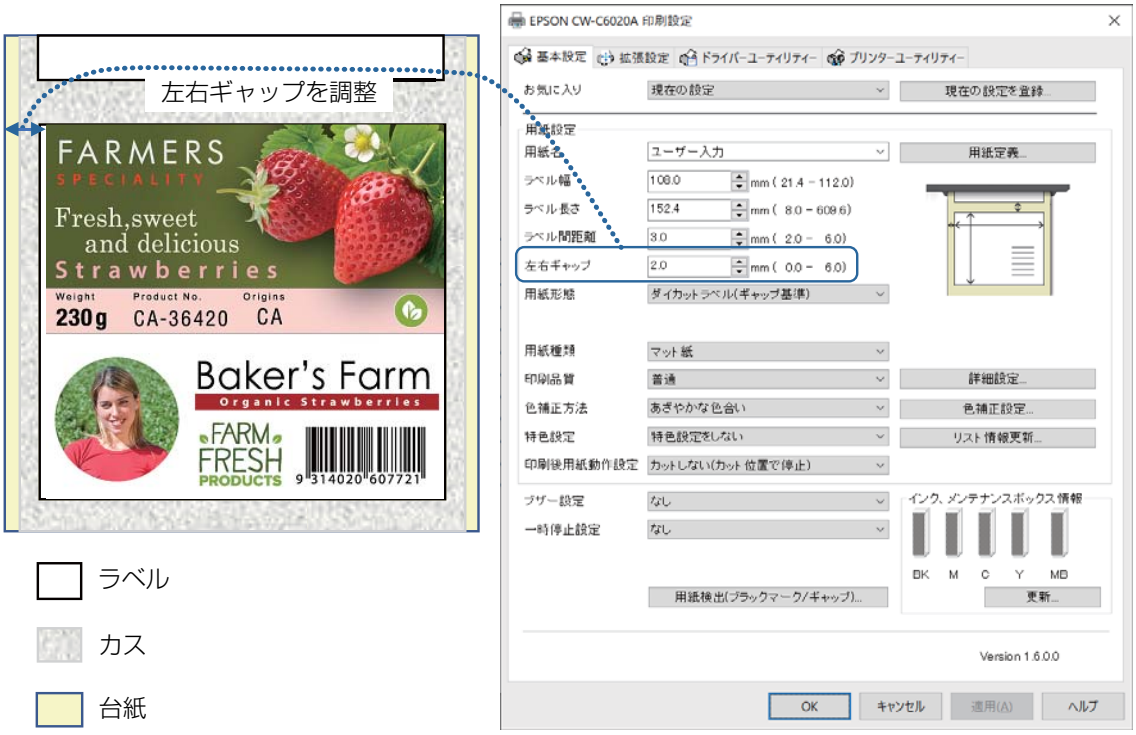
フチなし印刷のためのラベルサイズ / 用紙レイアウトの設定

ここでは、エプソンのプリンタードライバーを使用してフチなし印刷をするための考え方と設定方法を説明します。

- フチなしの場合は、インクがラベルや手に付着して汚れたり、プリンター内部に付着して故障の原因になったりします。
- 印刷領域の上端に 1.5 mm 以上の余白を付けることで、インク汚れや白スジの発生を軽減できる場合があります。

フチなし印刷のための考え方

プリンタードライバーの左右ギャップの設定値を調整することによって印刷開始位置をラベルの左端に合わせてフチなし印刷を実現することができます。
ラベルからはみ出した部分のインクが台紙に付着してしまわないように、カス（＝ラベルの外側にある捨てる部分の粘着紙）が付いている用紙をお使いください。



余白部分がない型抜きされたカス取りダイカットラベルを使用すると、インクがラベルや手やプリンター内部に付着して汚れる場合があります。

ラベル用紙の設定

- ダイカットラベルは、ラベルをハーフカットして、カスを付けてください。ただし、ロール紙の両端部分はカスなしにしてください。
- Windows ドライバと PrinterSetting は以下の入力値チェックや自動補正を行います。
  - ＊ 入力値チェックは（左右ギャップ × 2）＋ラベル幅が最大用紙幅を超えないことをチェックします。なお入力中の値によって最大（最小）用紙幅を超過する場合には、入力値の上限（下限）を制限することで最大（最小）用紙幅を超過させないように調整します。
- Windows ドライバと PrinterSetting 以外では入力値チェックや自動補正が行われないため、これら以外から左右ギャップやラベル幅等の用紙レイアウト設定を行い、印刷範囲を超えた設定となった場合には、印刷可能な範囲内のみが印刷されます。

検出器の感度やラベル検出のしきい値を調整する

本機にはラベルの先端を検出するギャップ検出とブラックマーク検出の２つの検出器があります。
センサーの感度やラベル検出のしきい値を調整すると、現時点でラベルの先端を検出できないラベルも使用可能になる場合があります。

操作パネルから実行します。
［Menu］-［プリンターのお手入れ］-［キャリブレーションの実施］

用紙検出(簡易)

ラベル検出しきい値を調整します。短時間で済むため、短いキャリブレーションの実施をおすすめします。

用紙検出

検出器の感度とラベル検出しきい値を調整します。短いキャリブレーションでラベルが検出できなかった場合に実施します。

ラベルコマンドで用紙サイズ違いを検出する

ラベルコマンドを使用して印刷するユーザー向けの機能です。ラベルコマンドには用紙サイズ違いを検出するコマンドがあり、印刷前に用紙サイズ違いを検出したい場合にこの機能を使用します。

ギャップ検出器の操作

円や楕円などの異形ダイカットラベルを使用する場合、以下の手順でギャップ検出器を調整します。

四角ダイカットラベルや全面ラベルなど、一般的なラベルを使用する場合、ギャップ検出器の初期位置（右端）から変更する必要はありません。

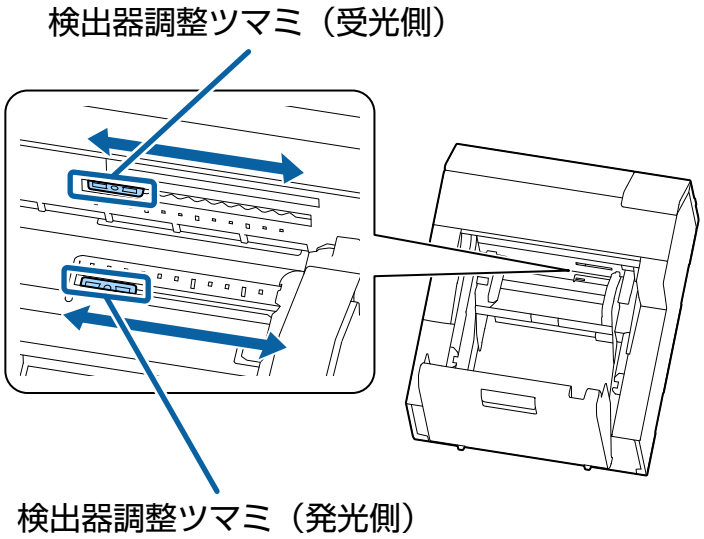
1 **プリンターから用紙を取り除きます。**

（65 ページ「用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合）」、67 ページ「用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合）」）

2 **プリンターの電源を切ります。**

3 **２つの調整ツマミを操作し、検出器を調整します。**

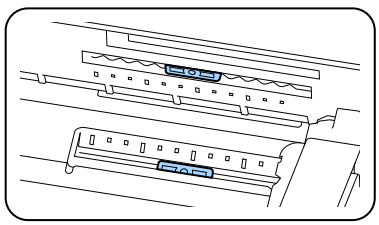
ペン先など、先の細いものを使用して調整ツマミを押し込みながら横へ移動してください。
紙端から 10 ～ 60mm の範囲で、5mm 間隔で調整できます。
調整ツマミの円の中心と、目盛を合わせてください。



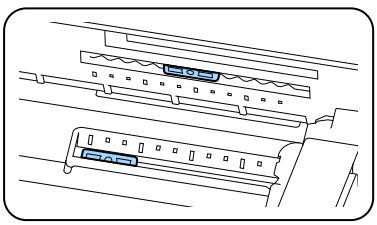
注意

- 異形ダイカットラベルを使用する前に調整してください。
- 電源 OFF 状態で行ってください。電源を入れたまま調整すると、検出器が誤動作し、自動給紙を開始する恐れがあります。
- ２ つの調整ツマミを同じ位置にしてください。調整ツマミの位置がずれていると、用紙検出エラーが発生し、印刷できません。

OK

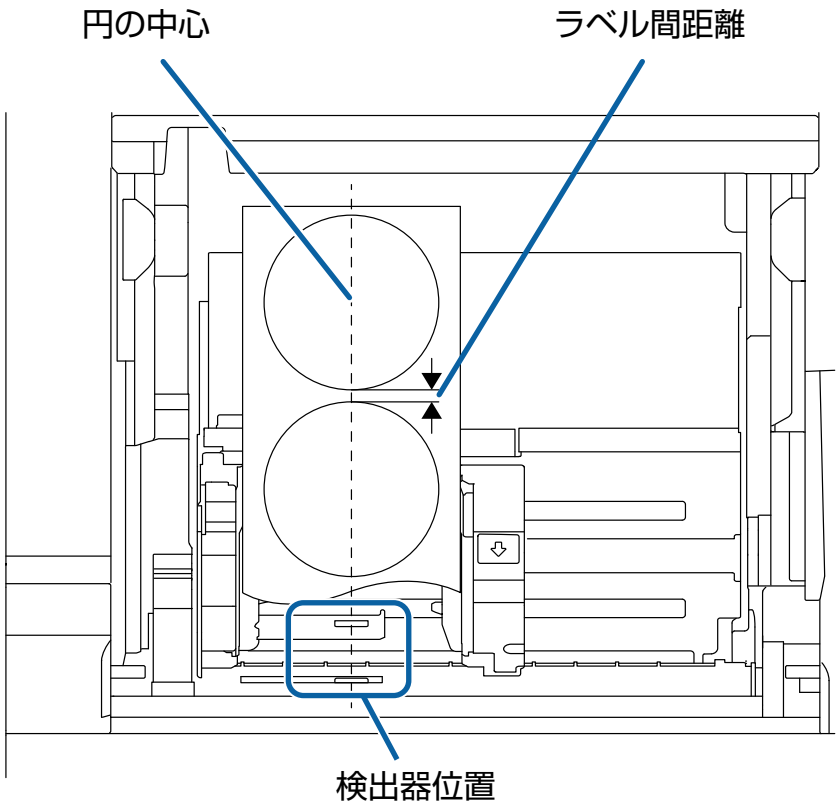


NG



円形ダイカットラベルでの検出器調整例

円の中心（破線）に調整ツマミを合わせてください。



パネル操作を制限する（管理者ロック機能）

管理者ロック機能を使用すると、パネル操作でプリンターの用紙設定や印刷設定、システム管理に関する設定が不用意に変更されるのを防ぎます。

以下の手順で設定します。

1. 管理者パスワードを設定する（260 ページ）
↓
2. 管理者ロック機能を有効にする（261 ページ）
↓
3. 操作を制限する項目を設定する（261 ページ）

以下の設定項目がロックできます。

管理者一般設定：ネットワーク設定や日付設定など、一度設定したらほとんど変更しない設定項目
メディア設定　：用紙に関する設定項目
プリンター設定：プリンターの調整や保守、印刷に関する設定項目

ロックできる項目の詳細は 221 ページ「操作パネルの設定項目」を参照してください。

管理者パスワードを設定する

プリンターの背面にパスワードラベルが貼られている場合は ”PASSWORD” の値が管理者パスワードとして設定されています。



この例の場合、初期パスワードは 03212791 です。

1 **［Menu］-［本体設定］-［管理者用設定］-［セキュリティー設定］-［管理者設定］の順に選択します。**

2 **［管理者パスワード］-［新規設定］の順に選択します。**

3 **管理者パスワードを入力して、画面内の［OK］を選択します。**

新しいパスワードは、8 文字以上 20 文字以下の半角英数字および記号で設定してください。

4 **パスワードを再入力して、画面内の［OK］を選択します。**

5 **メッセージが表示されるので OK ボタンを押します。**

管理者ロック機能を有効にする

あらかじめ管理者パスワードを設定してください。

1 **［Menu］-［本体設定］-［管理者用設定］-［セキュリティー設定］-［管理者設定］の順に選択します。**

2 **［管理者ロック］を［オン］に設定します。**
パネル操作をロックできる項目が表示されます。

3 **必要に応じて各項目で［オン］を選択して OK ボタンを押します。**



［管理者ロック］を［オン］に設定すると、[本体設定] は [オン] に設定されます。[オフ] にすることはできません。

4 **確認画面が表示されるので［はい］を選択します。**

これ以降、ロックした項目の設定を変更する場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。

管理者パスワードを変更する

1 **［Menu］-［本体設定］-［管理者用設定］の順に選択します。**

2 **管理者パスワードを入力して画面内の［OK］を選択します。**

3 **[セキュリティー設定］-［管理者設定］-［管理者パスワード］-［変更］の順に選択します。**

4 **古いパスワードを入力して、画面内の［OK］を選択します。**

5 **新しいパスワードを入力して、画面内の［OK］を選択します。**



新しいパスワードは、8 文字以上 20 文字以下の半角英数字および記号で設定してください。

6 **新しいパスワードを再入力して、画面内の［OK］を選択します。**

7 **メッセージが表示されるので OK ボタンを押します。**

管理者パスワードを初期化する

パスワードを忘れてしまった時には、下記の手順でパスワードを初期化してください。

管理者パスワードを初期化した場合の設定値は、プリンターの背面にあるパスワードラベルの有無で異なります。

- パスワードラベルがある場合
  パスワードラベルの ”PASSWORD” が設定されます。



  この例の場合、設定されるパスワードは 03212791 です。

- パスワードラベルがない場合
  未設定になります。

1 **（ホーム）ボタンを押しホーム画面に戻ります。**

2 **（戻る）ボタンと Cancel ボタンを同時に長押しします。**

3 **確認画面が表示されるので「はい」を選択します。**

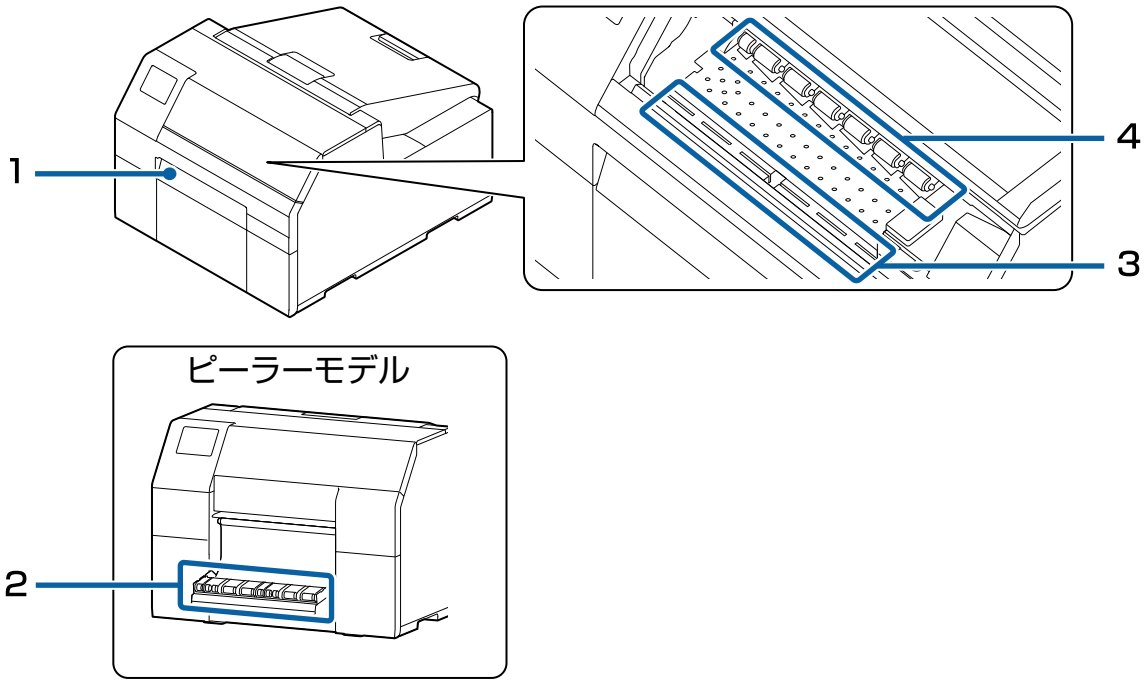
4 **設定解除用パスワード「1234」を入力して、画面内の [OK] を選択します。**

5 **メッセージが表示されるので OK ボタンを押します。**

プリンターのクリーニング

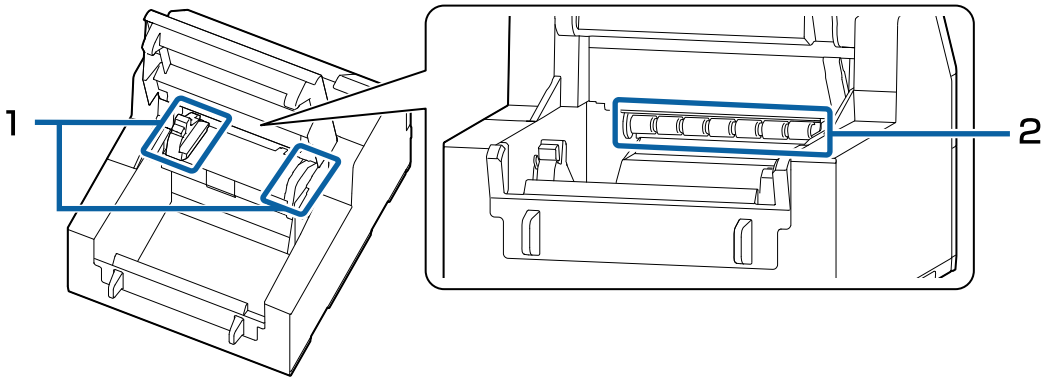
本章では、本製品のメンテナンス方法について説明しています。

＜前面＞



1	オートカッターのクリーニング（オートカッターモデルのみ）(265 ページ)
2	ピーラーのクリーニング（ピーラーモデルのみ）(266 ページ)
3	プラテンのクリーニング (268 ページ)
4	紙押さえローラーのクリーニング（271 ページ）

＜背面＞



1	用紙ガイド（固定と可動）のクリーニング (267 ページ)
2	紙送りローラーのクリーニング（269 ページ）

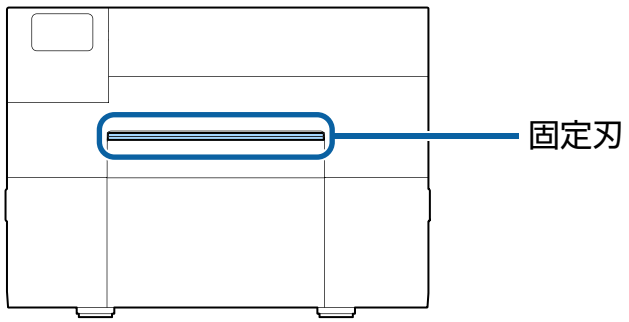
外装のクリーニング

プリンターの電源を切ってから、乾いた布か湿らせた不織布で汚れを拭き取ってください。このとき、電源コードは必ずコンセントから抜いてください。

> **⚠ 注意**
> 汚れを除去する際には、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。
> プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。

オートカッターのクリーニング（オートカッターモデルのみ）

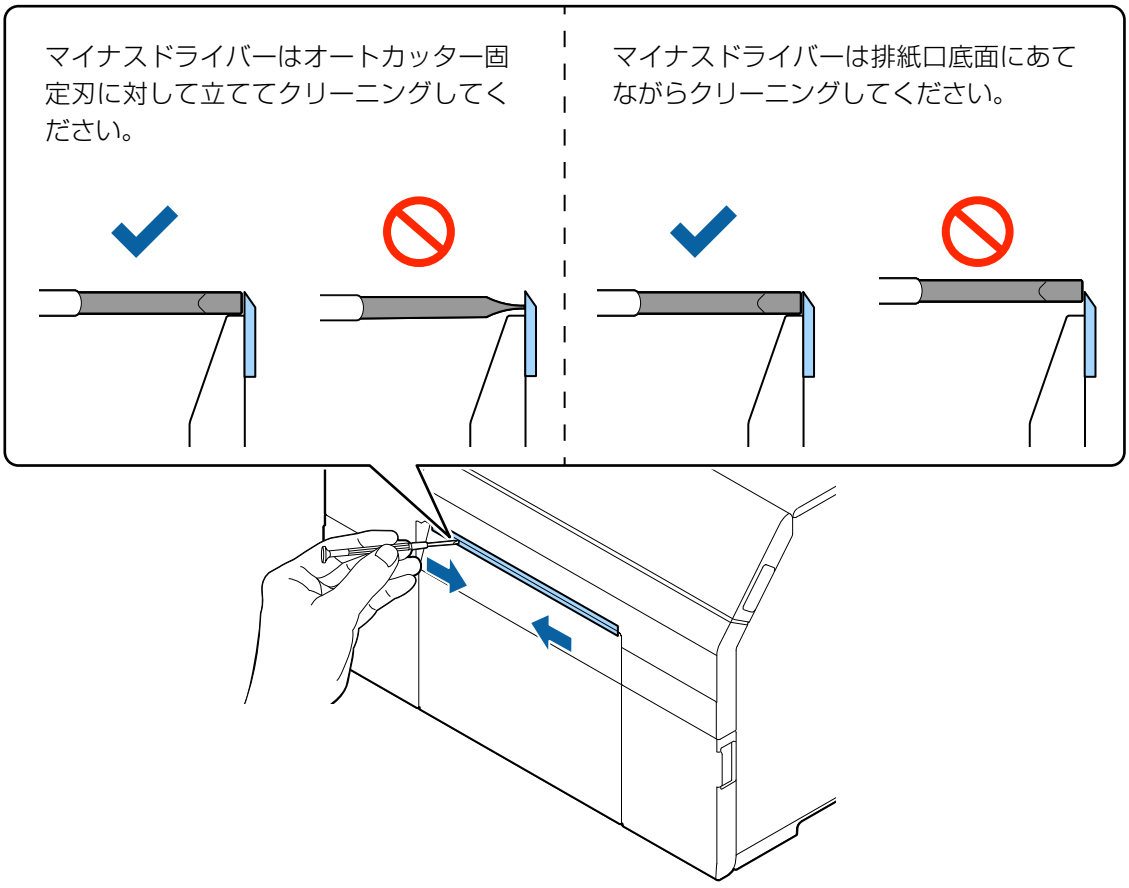
オートカッターの固定刃にラベルや紙粉・粘着物が付着していると、切れ味が鈍くなる場合があります。
以下の手順でオートカッターの固定刃をクリーニングします。



1 **用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。**
(65 ページ「用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合）」)

2 **プリンターの電源をオフにして、コンセントから電源コードを抜きます。**

3 **以下の図のように、マイナスドライバー（刃幅：1.8 mm ～ 3 mm）を使用し、オートカッター固定刃に付着した粘着物を、両端から中央に向かって除去します。**



ピーラーのクリーニング（ピーラーモデルのみ）

ピーラーにラベルや紙粉・粘着物が付着していると、印刷品質が低下する可能性があります。
良好な印刷品質を保つために、ピーラーを毎日清掃することをおすすめします。
以下の手順でピーラーをクリーニングします。

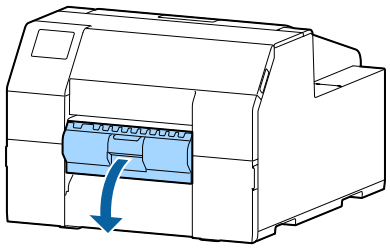
⚠ 注意

- ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。
  プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。
- アルコールをスプレーで直接かけたり、アルコールが滴るような状態で清掃したりしないでください。
  アルコールがプリンター内に入り込み、電子部品をショートさせたり、部品を劣化・破損させたりする原因となります。
- 清掃後はアルコールが残らないように乾いた布で拭き取ってください。
- 電源プラグの接続、電源操作は、アルコールが完全に乾燥してから行ってください。

1　本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから取り外します。

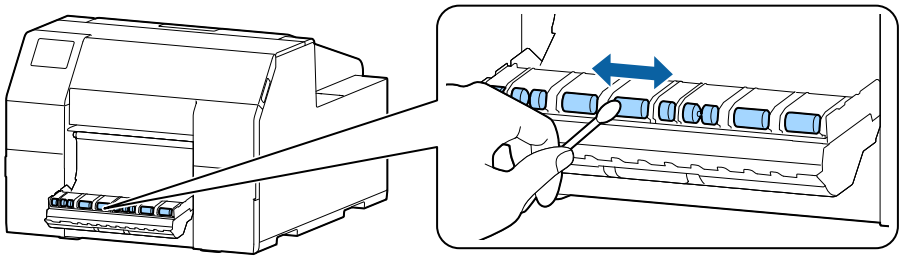
2　ピーラーカバーを開けます。

用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。
(67 ページ「用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合）」)



3　アルコールを染み込ませた綿棒を使用し、ローラーをクリーニングします。

ローラーについた汚れはすべて取り除いてください。



用紙ガイド(固定と可動)のクリーニング

用紙ガイドにラベルや紙粉・粘着物が付着していると、紙詰まりが発生したり、印刷結果がずれたりする可能性があります。
以下の手順で用紙ガイドをクリーニングします。

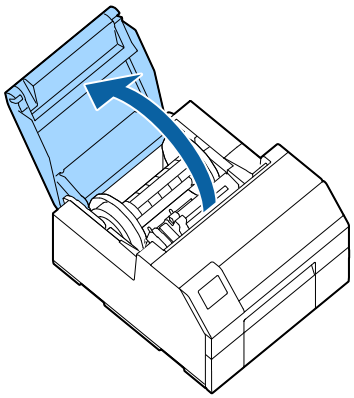
⚠ 注意

- ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。
  プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。
- アルコールをスプレーで直接かけたり、アルコールが滴るような状態で清掃したりしないでください。
  アルコールがプリンター内に入り込み、電子部品をショートさせたり、部品を劣化・破損させたりする原因となります。
- 清掃後はアルコールが残らないように乾いた布で拭き取ってください。
- 電源プラグの接続、電源操作は、アルコールが完全に乾燥してから行ってください。

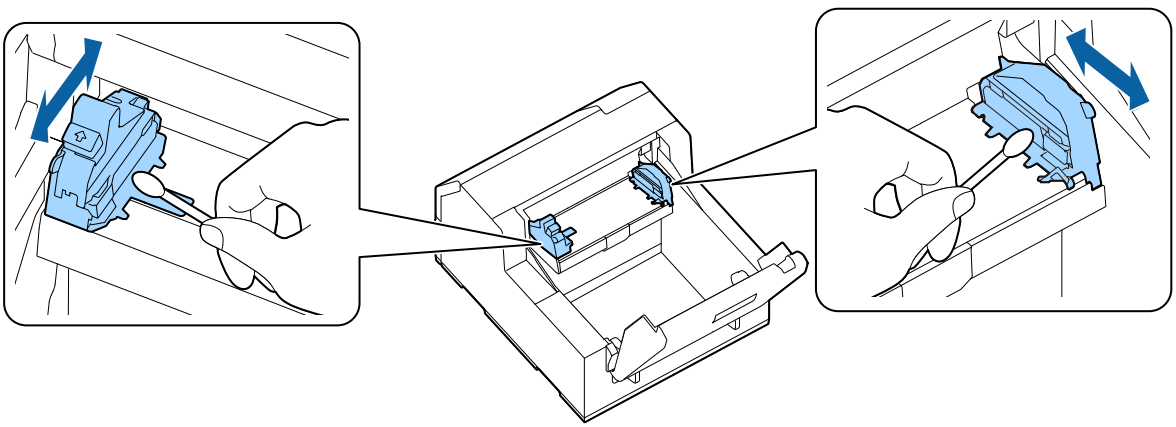
1　本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから取り外します。

2　用紙カバーを開けます。

用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。
(65 ページ「用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合)」、67 ページ「用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合)」)



3　アルコールを染み込ませた綿棒を使用し、用紙ガイドに付着した紙粉・粘着物を取り除きます。



プラテンのクリーニング

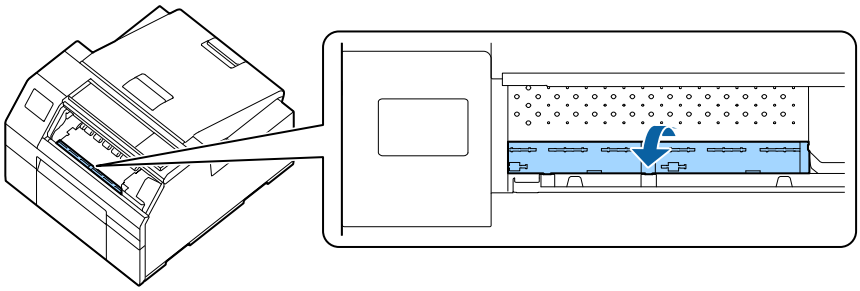
プラテンにラベルや紙粉・粘着物が付着していると、紙詰まりが発生したり、印刷結果がずれたりする可能性があります。
以下の手順でプラテンをクリーニングします。

1 **本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから取り外します。**

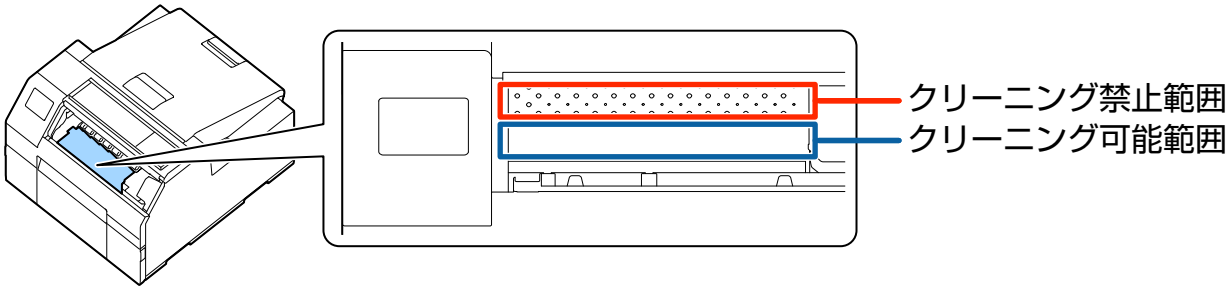
2 **用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。**
(65 ページ「用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合）」、67 ページ「用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合）」)

3 **前面カバーを開けます。**

4 **用紙押さえユニットを開けます。**



5 **布や綿棒でプラテンに付着した粘着剤を取り除きます。**



6 **用紙押さえユニットを閉めます。**

紙送りローラーのクリーニング

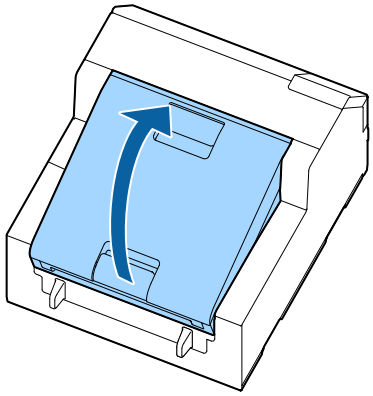
紙送りローラーに紙粉・粘着物が付着していると、紙詰まりが発生したり、印刷結果がかすれたりします。
以下の手順でクリーニングします。

> **注意**
> 紙送りローラーをクリーニングするときに、ラベル以外の物を使用しないでください。紙送りローラーが傷つき、用紙が詰まったり、印刷結果がかすれたりする可能性があります。

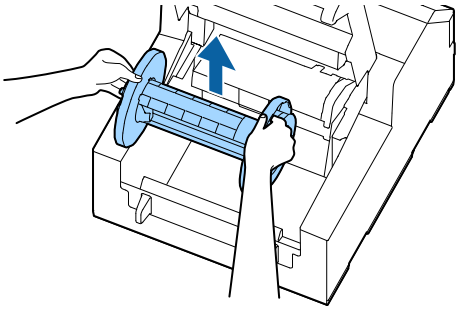
1 **本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから取り外します。**

2 **用紙カバーを開けます。**

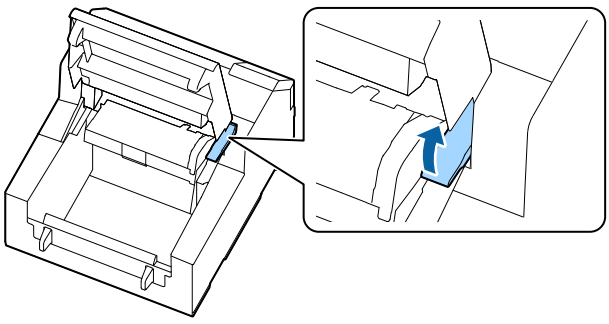
用紙をセットしている場合は用紙を取り除いてください。
(65 ページ「用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合）」、67 ページ「用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合）」)



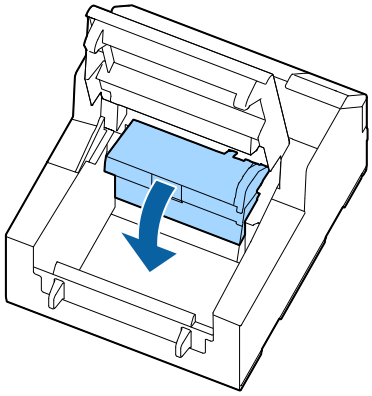
3 **スピンドルを取り外します。**



4 **レリーズレバーを上げます。**

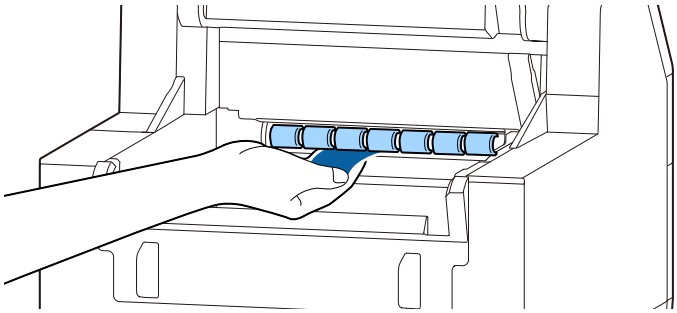


5 用紙ガイドユニットを開けます。

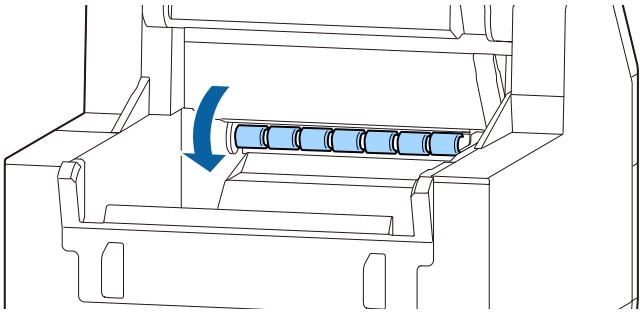


6 ラベルの粘着面をローラー表面に貼り付けてゆっくり剥がします。ローラーに付着した粘着物が取り除かれるまで何度も繰り返し、端から端までクリーニングします。

ローラーに貼りついているラベルがあれば取り除いてください。用紙詰まりの原因になります。



7 ローラーを手で回転させながら、付着した紙粉や粘着物を取り除き、ローラー全体をクリーニングします。



紙押さえローラーのクリーニング

紙詰まりの発生や印刷結果のずれなどの障害を予防するため、紙送りローラーに紙粉・粘着物が付着していた場合は、以下手順でクリーニングをしてください。

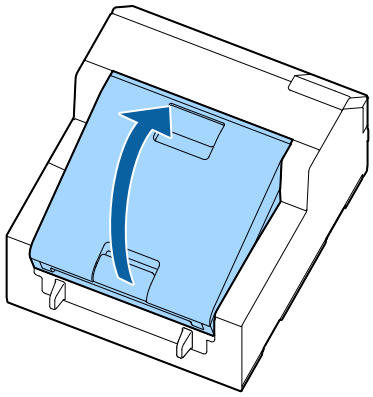
⚠ 注意

- ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。
  プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。
- アルコールをスプレーで直接かけたり、アルコールが滴るような状態で清掃したりしないでください。
  アルコールがプリンター内に入り込み、電子部品をショートさせたり、部品を劣化・破損させたりする原因となります。
- 紙押さえローラー以外に、アルコールを付着させないでください。
- アルコールを使用して清掃する場合は、紙送りローラーにアルコールが付着しないよう必ず印刷する用紙などで保護してください。
  紙送りローラーにアルコールが付着した場合、印刷品質が低下する可能性があります。
- 清掃後はアルコールが残らないように乾いた布で拭き取ってください。
- 電源プラグの接続、電源操作は、アルコールが完全に乾燥してから行ってください。

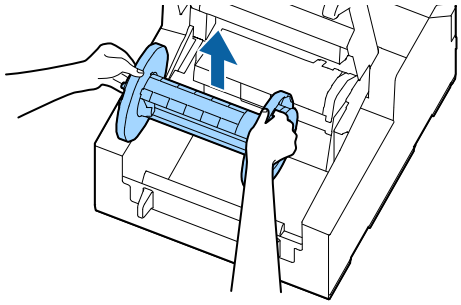
1 **本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから取り外します。**

2 **用紙カバーを開けます。**

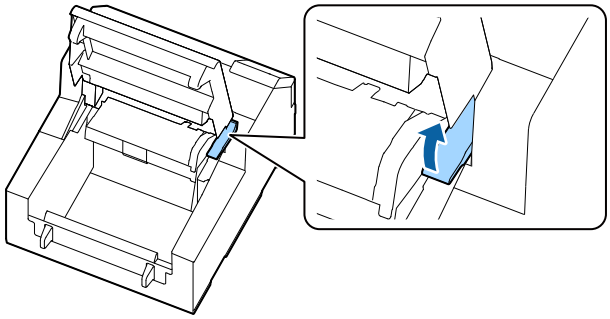
用紙をセットしている場合は用紙を取り除いてください。
(65 ページ「用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合）」、67 ページ「用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合）」)



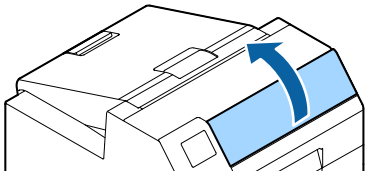
3 **スピンドルを取り外します。**



4 レリーズレバーを上げます。

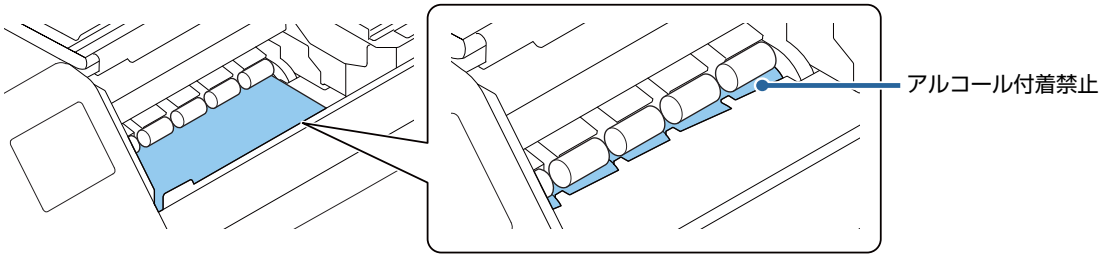


5 前面カバーを開きます。



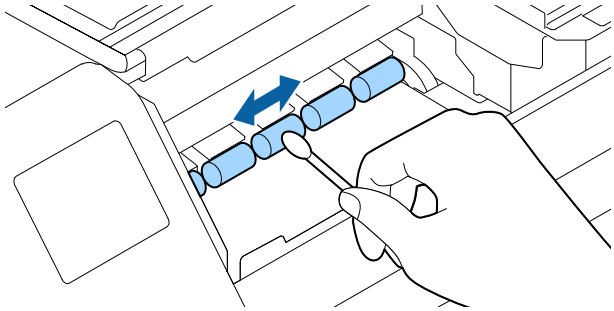
6 紙送りローラーにアルコールが付着しないよう印刷する用紙などで保護します。

クリーニング前にすべてのローラーが印刷する用紙で覆われていることを確認してください。複数枚の用紙を使用する場合は、隙間がないよう重ねてください。

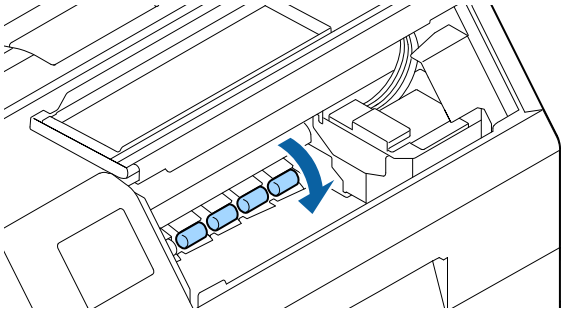


7 アルコールを軽く湿らせた綿棒もしくは不織布でローラーをクリーニングします。

ローラーに貼りついているラベルがあれば取り除いてください。用紙詰まりの原因になります。



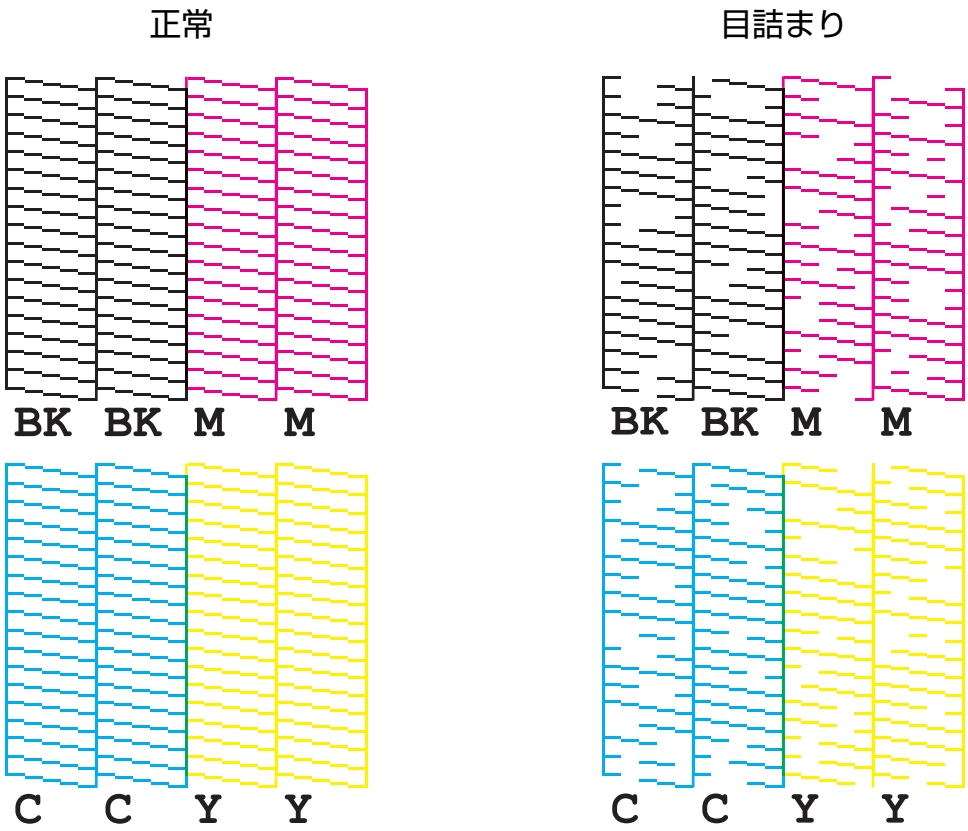
8 ローラーを綿棒・不織布を使って回転させながら、付着した紙粉や粘着物を取り除き、ローラー全体をクリーニングします。



プリントヘッドのクリーニング

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認してください。
(72 ページ「印字確認」)

例：フォトインク仕様のノズルチェックパターン



ノズルが目詰まりしているときはプリントヘッドのクリーニングをしてください。プリントヘッドのクリーニングを実行してもノズル抜けが改善しないときは、強力クリーニングを行ってください。
以下の手順でプリントヘッドのクリーニングができます。

> 強力クリーニングはプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクを消費します。

操作パネルから実行する

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのクリーニング]
[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [強力クリーニング]

プリンタードライバーから実行する

[プリンターユーティリティー] タブの、[プリントヘッドのクリーニング] または [強力クリーニング] をクリックします。

WebConfig から実行する

[メンテナンス] タブの [ヘッドクリーニング] を選択します。クリーニングの種類を [自動] または [強力クリーニング] から選択した後で [開始] をクリックします。
WebConfig については、231 ページ「WebConfig」を参照してください。

インク充填後の本製品の保存

本製品の長期保存

本製品を、インク充填後 (使用開始後) に長期間使用しない場合、以下の手順に従って保存してください。

1 **ノズルチェック印刷を行い、ドット抜けなどの印字不良が発生していないことを確認します。ドット抜けなどの印字不良が発生している場合には、ヘッドクリーニングを行ってください。**

72 ページ「印字確認」を参照

⚠ 注意	ドット抜けが発生している状態のまま本製品を保存すると、ノズル内のインクが固まってノズルが詰まり、再稼動時に印字不良の回復が困難になるおそれがあります。
✎	インク充填後に本製品を輸送した場合、振動などにより、ドット抜けが発生している場合があります。

2 **印刷終了後、⏻（電源）ボタンを押して本製品の電源を切ります。**

⚠ 注意	本製品の長期保存の前に電源を切るときは、必ず⏻（電源）ボタンを押してください。

3 **本製品を冷暗所にて保管します。**

製品の保管場所の環境については、363 ページ「環境仕様」を参照してください。

⚠ 注意	本製品の保存期間は、6ヵ月です。
✎	インクカートリッジは挿入したまま保管してください。

-10 ℃以下の環境での輸送や保存（マットインク仕様の場合）

環境温度が -10 ℃以下になるとプリントヘッドが故障するおそれがあります。-10 ℃以下になると想定されるときは、事前に以下の手順でインク排出をしてください。

重要

- 実施すると、排出されたインクがメンテナンスボックスに溜まるため、メンテナンスボックスに十分な空き容量が必要です。空き容量が少ないときは、交換用のメンテナンスボックスを用意してから作業を開始してください。
- インク排出は５～ 35 ℃の環境下で実施してください。
- インク排出中にカバー類を開けたり、電源を切ったりしないでください。

1　用紙がセットされているときは、すべて取り外します。

2　操作パネルから以下の手順でインク排出します。
[Menu]-[プリンターのお手入れ]-[インク排出]

3　「インク排出」を選択すると確認画面が表示されるので「開始」を選択します。
インク排出が開始され、排出が終わると自動でプリンターの電源が切れます。

次回プリンターを使用するときには、インクの再充填が必要です。
電源を入れると再充填の確認画面が表示されます。［OK］を選択すると充填を開始します（所要時間約５～ 14 分）。充填が終わるとホーム画面が表示されます。

本製品の再稼動

長期保存後の本製品を再稼動する場合、以下の手順に従ってください。

1　インクカートリッジの使用期限が切れていないか確認します。

以下の場合はインクカートリッジを交換してください。
インクカートリッジの交換方法は 40 ページ「インクカートリッジの取り付け」を参照
- インクカートリッジが製造後３年を超えている
- インクカートリッジをプリンターに装着後 6ヵ月を超えている

2　本製品の電源を入れます。
ノズル自己診断システムによりノズル詰まり検出とヘッドクリーニングが行われます。

注意

ヘッドクリーニング動作中は、本製品の電源を切ったり、インクカートリッジカバー、前面カバー、用紙カバー、メンテナンスボックスカバーを開けたりしないでください。

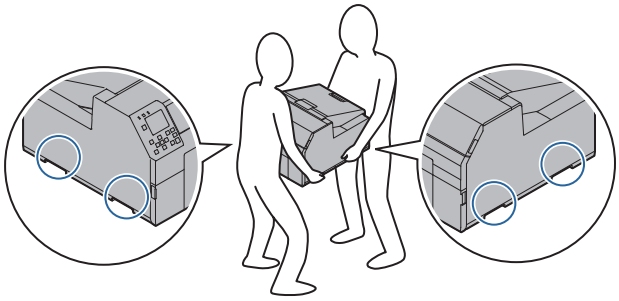
3　ノズルチェック印刷を行い、ドット抜けなどの印字不良が発生していないか確認します。

輸送時の処置

以下の点に注意して、本製品を輸送します。

⚠ 注意

- 本製品の質量は約 26 kg です。本製品を持ち上げる際は、本製品を 2 人で挟み、本製品底面のくぼみを持って持ち上げてください。下図以外の部分に手をかけて運ぶと本製品が破損する原因となります。



- 本製品を輸送する際は、用紙を取り外してください。
- 本製品を輸送する際は、インクカートリッジおよびメンテナンスボックスを取り外さないでください。
- 本製品を輸送する際は、⏻（電源）ボタンで電源を切ってから、輸送してください。
- 本製品を輸送する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- 本製品を輸送する際は、上下逆さま、もしくは横倒しにしないでください。

トラブルシューティング

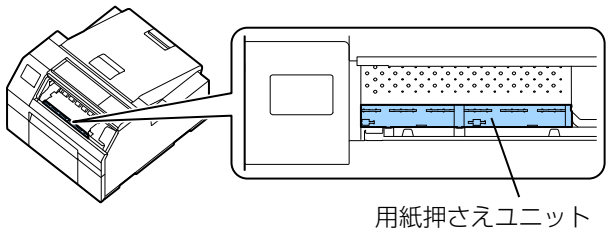
画面にメッセージが表示された

画面表示	エラーの内容	対応方法
案内 用紙カバーを閉めてください。	用紙カバーが開いています。	用紙カバーを閉めてください。 （19 ページ「各部の名称と働き」）
案内 前面カバーを閉めてください。	前面カバーが開いています。	前面カバーを閉めてください。 （19 ページ「各部の名称と働き」）
案内 レリーズレバーを閉めてください。	レリーズレバーが開いています。	レリーズレバーを閉めてください。 （19 ページ「各部の名称と働き」）
案内 用紙ガイドユニットを閉めてください。	用紙ガイドユニットが開いています。	用紙ガイドユニットを閉めてください。 （19 ページ「各部の名称と働き」）
案内 メンテナンスボックスカバーを閉めてください。	メンテナンスボックスカバーが開いています。	メンテナンスボックスカバーを閉めてください。 （19 ページ「各部の名称と働き」）
案内 インクカートリッジカバーを閉めてください。	インクカートリッジカバーが開いています。	インクカートリッジカバーを閉めてください。 （19 ページ「各部の名称と働き」）
案内 給紙に失敗しました。 ファンフォールド紙をセットするか、給紙方法を変更してください。	[給紙方法]、[用紙形態] の設定に対してセットされた用紙が異なります。	[給紙方法]、[用紙形態] の設定に合った用紙を使用してください。または、用紙に合わせて [給紙方法]、[用紙形態] を設定し直してください。 （47 ページ「用紙の設定」）
案内 ロール紙を検出できません。 セットし直すか、用紙検出方法を変更してください。	[用紙検出方法] の設定に対してセットされた用紙が異なります。	[用紙検出方法] の設定に合った用紙を使用してください。または、用紙に合わせて [用紙検出方法] を設定し直してください。 （47 ページ「用紙の設定」）
案内 ファンフォールド紙を検出できません。 セットし直すか、用紙検出方法を変更してください。	[用紙検出方法] の設定に対してセットされた用紙の形態が異なります。	[用紙検出方法] の設定に合った用紙を使用してください。または、用紙に合わせて [用紙検出方法] を設定し直してください。 （47 ページ「用紙の設定」）
（ホーム画面上） 用紙をセットしてください。	用紙がありません。	用紙をセットしてください。 （48 ページ「用紙カバーの開け方」）

画面表示	エラーの内容	対応方法
案内 セットされている用紙のサイズが設定と異なる可能性があります。	印刷データの大きさに対して用紙サイズが異なります。	印刷領域のサイズにあった用紙をセットしてください。または、用紙サイズに合わせて印刷領域を設定してください。 (47 ページ「用紙の設定」)
案内 ロール紙がセットされていません。	ロール紙がセットされていません。	ロール紙をセットしてください。 (48 ページ「用紙カバーの開け方」)
案内 ファンフォールド紙がセットされていません。	ファンフォールド紙がセットされていません。	ファンフォールド紙をセットしてください。 (48 ページ「用紙カバーの開け方」)
案内 用紙が詰まりました。	紙詰まりが発生しました。	紙詰まりを取り除いた後、用紙をセットしてください。 (292 ページ「用紙が詰まった」)
案内 用紙セット手順が正しくありません。 用紙ガイド上から用紙を取り除き、用紙カバーを閉めて、Pause ボタンを押してください。	用紙のセット手順が正しくありません。	セットしている用紙を取り除いた後、再度用紙をセットしてください。 (65 ページ「用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合）」または 67 ページ「用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合）」) (48 ページ「用紙カバーの開け方」) • 用紙のセット時にこのエラーが発生した場合 次の手順で用紙をセットし直してください。 用紙カバーを開ける→用紙ガイド上から用紙を取り除く→用紙カバーを閉める→ Pause ボタンを押す 操作パネルにホーム画面が表示されたらカバーを開けて用紙をセットしてください。(49 ページ「用紙のセット」) 上記を実施してもエラーが改善しない場合、ギャップ検出器の位置が正しいか確認してください。 (258 ページ「ギャップ検出器の操作」)
案内 キャリブレーションに失敗しました。 [了解] を押してから、用紙をセットしなおすか用紙を変更してください。	キャリブレーションに失敗しました。	設定している検出器に用紙が対応しているか確認し、用紙をセットし直してください。(48 ページ「用紙カバーの開け方」) 再度エラーが発生する場合は、検出器の特性上お使いの用紙に対応できません。用紙を変更してください。
案内 カット済みのため、カットできません。	カットに失敗しました。	一度カットした位置でもう一度カットボタンを押すと表示されます。 印刷するか、フィードボタンを押して用紙を送り出すことでカットできるようになります。
メンテナンスエラー カートリッジが正しくセットされていません。	インクカートリッジがセットされていません。	十分な残量のあるインクカートリッジを取り付けてください。 (41 ページ「インクカートリッジの交換」)

画面表示	エラーの内容	対応方法
（ホーム画面上でインク残量に [！] が付く）	インク残量が少なくなりました。	インクカートリッジ交換時期が近いため、交換用のインクカートリッジを準備します。 インクの残量が少なくなったインクカートリッジを使い続けると、印刷途中でインクカートリッジの交換が必要になることがあります。 印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。 許容できないときは、事前に新品のインクカートリッジと交換して印刷することをお勧めします。 （41 ページ「インクカートリッジの交換」） 取り外したインクカートリッジは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。
案内 インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	インク残量が限界値以下のため印刷できません。	十分な残量のあるインクカートリッジを取り付けてください。 （41 ページ「インクカートリッジの交換」）
メンテナンスエラー カートリッジが認識できません。 対応方法をご確認ください。	インクカートリッジの情報が読み取れません。	インクカートリッジを取り付け直してください。 再度エラーが発生する場合は、新しいインクカートリッジに交換してください。 （41 ページ「インクカートリッジの交換」）
案内 純正品ではありません。	非純正インクがセットされました。	プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
案内 本製品用のカートリッジではありません。	本製品用でないインクカートリッジがセットされました。	本製品用ではありません。カートリッジが認識されないなどのエラーが発生する可能性があります。
メンテナンスエラー メンテナンスボックスが装着されていません。 型番：SJMB6000/6500	メンテナンスボックスが装着されていません。	新しいメンテナンスボックス（SJMB6065）を取り付けてください。 （43 ページ「メンテナンスボックスの交換」）
メンテナンスエラー メンテナンスボックスが認識できません。 型番：SJMB6000/6500	メンテナンスボックスの情報が読み取れません。	メンテナンスボックスを取り付け直してください。 再度エラーが発生する場合は、新しいメンテナンスボックス（SJMB6065）に交換してください。 （43 ページ「メンテナンスボックスの交換」）

画面表示	エラーの内容	対応方法
（ホーム画面上） メンテナンスボックスの交換時期が近づいています。	メンテナンスボックス空き容量が少なくなりました。	メンテナンスボックス交換時期が近いため、交換用メンテナンスボックスを準備します。 「メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。ボックスの交換が必要です。」と画面に表示されたら、メンテナンスボックスを交換してください。
メンテナンスエラー メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。 ボックスの交換が必要です。 型番：SJMB6000/6500	メンテナンスボックスの空き容量がないため印刷できません。	交換用メンテナンスボックス（SJMB6065）を取り付けてください。 （43 ページ「メンテナンスボックスの交換」）
案内 メモリー不足のため印刷できませんでした。	メモリー不足のため印刷できません。	不要なファイルを削除してください。
（ホーム画面上） メンテナンスコール：部品寿命間近 XXXXXXXX	プリンター内部品が寿命間近です。	部品寿命間近です。 お買い求めの販売店またはサービスセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」（6 桁または 8 桁の英数字コード番号）を必ず伝えてください。 部品を交換しないと解除されません。部品寿命に到達すると印刷できません。
部品寿命到達 電源を入れ直してください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXXXX	プリンター内部品が寿命を超過しました。	部品寿命に到達したため、印刷できません。 お買い求めの販売店またはサービスセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」（6 桁または 8 桁の英数字コード番号）を必ず伝えてください。
プリンターエラー 電源を入れ直してください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXX	プリンターエラーが発生しました。	1. 製品の電源を切ります。 2. 排紙口付近に紙詰まりや異物がないことを確認します。 3. 製品の電源を入れます。 再度プリンターエラーが発生する場合は、お買い求めの販売店またはサービスセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」（6 桁または 8 桁の英数字コード番号）を必ず伝えてください。
案内 システムエラーが発生したため、再起動しました。	システムエラーが発生しました。	再起動が終わっても正常に動作しない場合は、お買い求めの販売店またはサービスセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」（6 桁または 8 桁の英数字コード番号）を必ず伝えてください。

画面表示	エラーの内容	対応方法
案内 インク残量が不足しているためクリーニングできませんでした。 クリーニングに必要なインク残量が不足していてもプリンターは使用できます。	ヘッドクリーニングに必要なインク残量が不足しています。	クリーニングを実施するときは、十分な残量のあるインクカートリッジを取り付けてください。 (41 ページ「インクカートリッジの交換」)
案内 ラベルを剥がしてください。	ラベルが剥がされていません。	ピーラーについているラベルを剥がしてください。 解消されない場合には、ピーラーリセットボタンを押してください。
案内 ノズルが目詰まりしているため、印刷品質が低下する可能性があります。	プリントヘッドのノズルが目詰まりしています。	ノズルが目詰まりしているため、印刷品質が低下する可能性があります。許容できないときはプリントヘッドのクリーニングを行ってください。 (274 ページ「プリントヘッドのクリーニング」)
案内 前面カバーを開け、用紙押さえユニットを閉じてください。  用紙押さえユニット	用紙押さえユニットが完全に閉じていません。	前面カバーを開け、用紙押さえユニットを閉じてください。 用紙押さえユニットを開けると、用紙詰まりエラーが発生することがあります。用紙詰まりエラーが解除されない場合は、以下の手順を実施してください。 オートカッターモデル： 292 ページ「オートカッターモデルの場合」 ピーラーモデル： 295 ページ「ピーラーモデルの場合」
案内 ノズルの状態を検出できないため印刷品質が低下する可能性があります。	環境温度が、使用環境を超えています。	環境温度を確認し、5 ～ 35 ℃の範囲になるように室温を調整してください。

印刷品質の低下

状態	原因	対応方法
横方向に白スジが印刷される	「ドット抜け」が発生しています。	ノズルチェックを使用して、ノズルの目詰まりを確認してください。 (72 ページ「印字確認」) ノズルの目詰まりが発生している場合、ヘッドクリーニングを実行してください。 (274 ページ「プリントヘッドのクリーニング」)

状態	原因	対応方法
縦方向に白スジが印刷される	印刷したラベルをバックフィードしています。	印刷したラベルをそのままバックフィードすると、用紙押さえユニット下のローラーがラベルを踏みつけ、印刷品質が劣化します。 印刷モードが「カットしない（カット位置で停止）」または「カットしない（剥離位置で停止）」の場合で、１ジョブごとにラベルを取り除かないときに発生します。 印刷モードを「カットしない（カット位置で停止）」および「カットしない（剥離位置で停止）」以外に設定するか、１ジョブごとにラベルを取り除いてください。 印刷モードはプリンタードライバーの用紙定義で設定できます。（85 ページ「ユーザー定義用紙」）
白スジや黒スジが印刷される	用紙が正しくセットされていません。	用紙をセットし直してください。（48 ページ「用紙カバーの開け方」）
	お使いの用紙と用紙種類設定が異なります。	お使いの用紙とプリンタードライバーの用紙種類設定をご確認ください。（74 ページ「プリンタードライバー（Windows）」）
	用紙によっては紙送り量が変わるため、白スジや黒スジが見られる場合があります。	紙送りのズレを調整してください。PrinterSetting のプリントヘッドの調整から設定できます。（199 ページ「プリントヘッドの調整」）
紙送り方向に対して前後に余白ができる	仕様を満たさない紙厚のダイカットラベル（ブラックマークなし）を使用すると、プリンターがラベルを適切に検出できず、紙送り方向に対し前後に余白ができる場合があります。	PrinterSetting で、印刷開始位置の調整（垂直方向）で調整してください。前の余白を埋める場合は（－）、後ろの余白を埋める場合は（＋）方向へ調整値を入力します。（186 ページ「位置を調整する」）
印刷がぼやける・文字が二重になる	用紙によっては、紙厚が変わるため印刷がぼやける場合があります。	PrinterSetting で、双方向印刷のズレを調整してください。（199 ページ「プリントヘッドの調整」）
印刷された色がおかしい	初期充填後にプリンターを移動させた場合、振動や衝撃により、指定した色が出ない場合（混色）があります。	プリントヘッドのクリーニングを実行して混色がなくなることを確認してください。（274 ページ「プリントヘッドのクリーニング」）
印刷位置がずれる	用紙ガイド幅と用紙幅が合っていません	用紙ガイド幅を用紙幅に合っているか確認してください。（48 ページ「用紙カバーの開け方」）
	お使いの用紙が斜めにセットされています。（ピーラーモデル）	ピーラーカバーの下にある突起に用紙の端があっていることを確認してください。（47 ページ「用紙の設定」）

状態	原因	対応方法
用紙が汚れる・インクが付着する	お使いの用紙と用紙種類設定が異なります。	お使いの用紙とプリンタードライバーの用紙種類設定をご確認ください。(74 ページ「プリンタードライバー (Windows)」)
	ヘッドに異物が付着している場合、用紙が汚れることがあります。	プリントヘッドのクリーニングを実行してしてください。(274 ページ「プリントヘッドのクリーニング」)
	用紙によっては、プラテンの吸引力が足りずに用紙とプリントヘッドが擦れ、用紙が汚れる場合があります。	用紙吸引強度が必要な場合があります。プリンタードライバーから以下の手順で手動設定を有効にできます。 1. プリンタードライバーの［基本設定］タブを表示します。 2. 用紙設定項目内の［詳細設定］をクリックします。 色補正設定ウィンドウが開きます。 3. 用紙調整項目内の［用紙吸引強度］へチェックを入れます。 手動設定が有効になります。 4. スライドバーを移動してプラテン吸引力を調整します。
印刷データが切れる・オートカット位置がずれる・剥離位置がずれる	お使いの用紙と用紙定義（寸法設定）が合っていません。	用紙とプリンタードライバーの用紙定義が合っていないと、正しい位置に印刷されない場合があります。 用紙定義を正しく設定してください。(85 ページ「ユーザー定義用紙」)
	用紙の違いなどにより、印刷位置・用紙の停止位置がずれる場合があります。	PrinterSetting で、印刷開始位置を調整してください。(186 ページ「位置を調整する」)

印刷できない

状態	原因	対応方法
データを送信しても印刷できない（ピーラーモデル）	ラベル剥離検出器が誤動作しています。	直射日光など強い光が当たる場所で印刷していると、ラベル剥離検出器が誤動作して印刷を実行しない状態になる場合があります。 Peeler Reset ボタンを押すことで、印刷を実行しない状態を解除できます。
用紙の自動給紙が開始されない	ギャップ検出器の位置が正しくありません。	ギャップ検出器の位置を確認してください。(258 ページ「ギャップ検出器の操作」)
	センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。
	正しく用紙検出がされません。	特殊な用紙を使用していると、自動給紙が開始されない場合があります。手動で給紙設定してください。(71 ページ「手動での給紙方法」)

状態	原因	対応方法
用紙検出が不安定 不安定な状態： ・印刷開始位置がばらつく ・印刷されないラベルがある ・用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる ・正しい用紙サイズを設定しているにも関わらず、用紙サイズエラーが発生する	ギャップ検出器の位置が正しくない可能性があります。	検出器調整ツマミ（受光側）と検出器調整ツマミ（発光側）が同じ位置にあることを確認し、検出器のキャリブレーションを実施してください ギャップ検出器位置の合わせ方： (258 ページ「ギャップ検出器の操作」) 検出器のキャリブレーション方法： (257 ページ「検出器の感度やラベル検出のしきい値を調整する」)
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる 用紙形態： 全面ラベル（ブラックマーク無し）	お使いの用紙と用紙検出設定が異なります。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認してください。(83 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」)
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる 用紙形態： ダイカットラベル（ギャップ基準）	お使いの用紙と用紙検出設定が異なります。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認してください。(83 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」)
	用紙の透過率が仕様外です。	用紙の透過率が異なり、ギャップを認識できない場合があります。ギャップ検出には赤外光を使用しており、台紙の赤外光透過率が規定値以上、ラベル部の赤外光透過率が規定値以下である必要があります。 用紙の仕様を確認し、プリンター仕様に合った用紙を使用してください。(323 ページ「用紙仕様」) また、ラベル間距離検出センサーの調整により認識できる場合があります。 操作パネルから［Menu］-［プリンターのお手入れ］-［キャリブレーションの実施］-［用紙検出（簡易）］を実施してください。解決しない場合は、［用紙検出］を実施してください。
	センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。

状態	原因	対応方法
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる 用紙形態: 全面ラベル（ブラックマーク基準)、ダイカットラベル（ブラックマーク基準）	お使いの用紙と用紙検出設定が異なります。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認してください。(83 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」)
	ブラックマークが仕様外です。	ブラックマークの反射率が規定値よりも高い場合、ブラックマークを認識できない場合があります。ブラックマーク検出には赤外光を使用しており、赤外光反射率が規定値以下である必要があります。 ブラックマーク印刷の仕様を確認し、プリンター仕様に合ったブラックマークを使用してください。 また、ブラックマーク検出センサーの調整により認識できる場合があります。 操作パネルから［Menu］-［プリンターのお手入れ］-［キャリブレーションの実施］-［用紙検出（簡易）］を実施してください。解決しない場合は、［用紙検出］を実施してください。
	センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。

ネットワーク接続診断のエラー

印刷した診断レポートに表示されているエラー番号を確認し、番号に応じた対処を行ってください。
印刷方法は（32 ページ「ネットワーク接続診断レポートの印刷」）を参照してください。

エラー番号	対応方法
E-1	• LAN ケーブルが、プリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかり差し込まれているか確認してください。 • ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
E-8	• プリンターの TCP/IP 設定を自動にしているときは、DHCP サーバーの DHCP を有効にしてください。 • プリンターのTCP/IP設定を手動設定にしているときは、手動で設定したIPアドレスが有効範囲外（0.0.0.0 など）のため、無効になっています。有効な IP アドレスをプリンターの操作パネル、または Web Config から設定してください。
E-9	以下を確認してください。 • プリンターを利用する機器の電源が入っているか • プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の、他のコンピューターやネットワーク機器にアクセスできるか 上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、付属の CD-ROM を使ってネットワーク設定を最初からやり直してください。
E-10	以下を確認してください。 • ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか • プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、ネットワークアドレス（IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。 DHCP を有効にしているときは、プリンターの TCP/IP 設定で IP アドレスを自動にしてください。IP アドレスを手動で設定したい場合は、ネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］でプリンターの IP アドレスを確認し、プリンターのネットワーク設定画面で手動を選択して、設定してください。サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定してください。
E-11	以下を確認してください。 • プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか • デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。

コンピューターの画面にメッセージが表示された

以下の画面が表示された場合は、画面の指示に従って対処してください。



コンピューターから印刷できない / 急に印刷できなくなった

プリンタードライバーのインストール確認

コンピューターに必要なソフトウェア、アプリケーションがインストールされているか確認します。
本製品で印刷するには、プリンタードライバーが必要です。プリンタードライバーがインストールされているかは、以下のように確認します。

1 **コンピューターのデバイスとプリンターを表示します。**

2 **本製品のプリンター名が表示されているか確認します。**
表示されていない場合、プリンタードライバーがインストールされていません。

3 **プリンタードライバーをインストールします。**
（379 ページ「ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード」）

プリンターとコンピューターを再接続

1 **ケーブルの接続を確認します。**
電源 /USB/ 有線 LAN の各ケーブルが、正しく接続されているか確認します。

2 **すべての機器を再接続します。**
USB 接続の場合
- USB ケーブルをいったん抜き、再度接続します。
- コンピューターに複数の USB コネクターがある場合、別のコネクターに差し替えます。

有線 LAN の場合
- 有線 LAN で接続されている機器が不安定になっている可能性があるため、ネットワークを再起動します。
- すべての機器の電源をオフにします。
- 約 10 秒待ち、ネットワーク機器、コンピューター、プリンターの順番に電源をオンにします。

3 **コンピューターからプリンターにデータが送信されているか確認します。**
確認方法は 291 ページ「印刷データの確認」を参照してください。

デバイスとプリンターの確認

［デバイスとプリンター］に使用するプリンターのアイコンが表示されていない場合は、デバイスを削除してしまった可能性があります。以下の方法で回復させます。

1 **プリンターの電源を切ります。**

2 **USB ケーブルをコンピューターから抜きます。**

3 **10 秒間待って USB ケーブルをコンピューターに接続します。**

4 **プリンターの電源を入れます。**
［デバイスとプリンター］の一覧に使用するプリンターのアイコンが表示されます。

印刷データの確認

コンピューターからプリンターに印刷データが送られていない場合、「印刷ジョブ」としてコンピューター内に残っていることや、「印刷の一時停止」、「オフライン」設定になっていることが原因として考えられます。以下の手順で確認してください。

1 **コンピューターのデバイスとプリンターを表示します。**

2 **本製品を、通常使うプリンターに設定します。**

使用するプリンターのアイコンを右クリックし、通常使うプリンターに設定をクリックします。
何度もプリンタードライバーをインストールすると、プリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。
アイコンが複数あり、「CW-C6520A（コピー 1）」などのコピーができている場合、コピーされたドライバーのアイコン上で右クリックして、デバイスの削除をクリックして削除してください。

3 **テスト印刷して、印刷データがプリンターに送られているか確認します。**

使用しているプリンターのアイコンを右クリックし、プリンターのプロパティをクリックします。

4 **プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。［全般］タブのテストページの印刷をクリックします。**

テスト印刷できた場合、コンピューターからプリンターにデータが送信されていることが確認できました。

5 **印刷ジョブを表示します。使用しているプリンターのアイコンを右クリックし、印刷ジョブの表示をクリックします。**

6 **画面が表示されます。印刷ジョブを確認します。**

印刷データが表示されている場合、プリンター - すべてのドキュメントの取り消しを選択します。
印刷データが削除できない場合は、コンピューターを再起動してください。

7 **プリンターが一時停止または、プリンターをオフラインで使用する設定になっていないか確認します。**

プリンターを選択し、一時停止およびプリンターをオフラインで使用するにチェックが入っていないか確認します。チェックが入っていた場合、チェックを外します。

電源がオンにならない

電源ケーブルが本体とコンセントに正しく接続されているか確認します。 (37 ページ「電源ケーブルの接続」)

PC 上で印刷キャンセルしても本体パネル表示が「印刷中」のまま動かない

コンピューター上で「印刷ジョブの表示」画面から印刷ジョブのキャンセルを行った場合、データが途中で途切れ、プリンター本体のパネル表示が「印刷中」のままとなる可能性があります。
この状態を解除するには、操作パネルの Cancel ボタンを押し、［全フォーマットキャンセル］を行ってください。

エラーを知らせるブザー音が止まらない

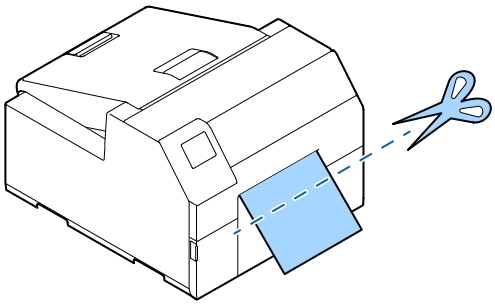
プリンターのエラー発生時にブザー音が連続して鳴るように設定している場合は、操作パネルの（ホーム）ボタンまたは（戻る）ボタンのいずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。

用紙が詰まった

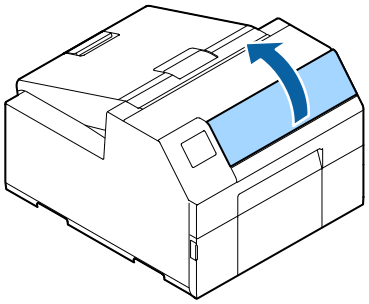
紙詰まりが発生した場合の対処法を説明します。本項目は動画でも案内されています。以下のリンクから動画を参照してください。
(https://support.epson.net/p_doc/790/)

オートカッターモデルの場合

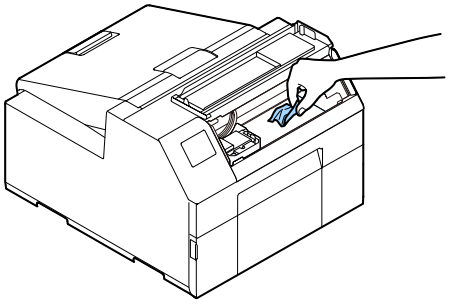
1　排紙口付近で用紙をカットします。



2　前面カバーを開けます。

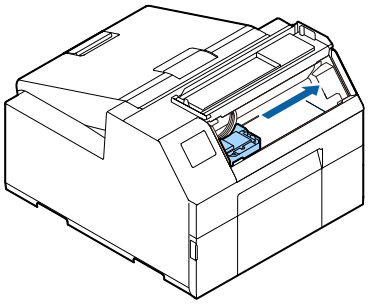


3　プラテンにちぎれた用紙があれば取り除きます。



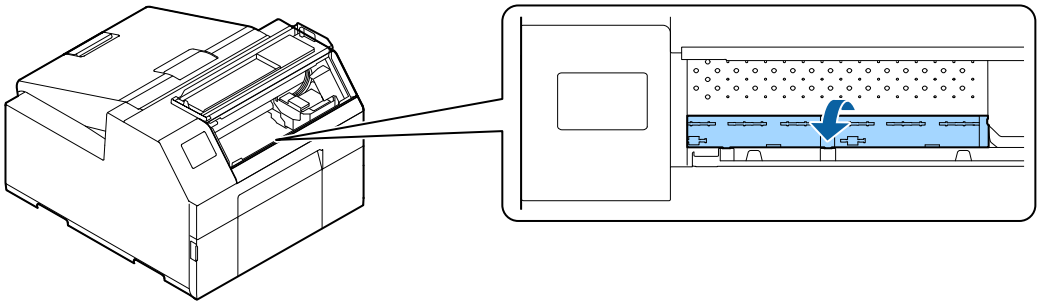
4 **プリントヘッドが右端に戻っていないときは、手で押しながら右端に移動させます。**

プリントヘッドが停止した位置に詰まった用紙があれば取り除いてください。



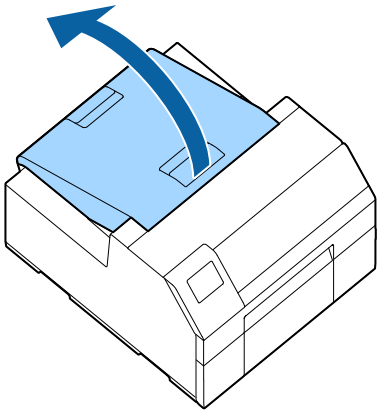
5 **用紙押さえユニットを上げ、詰まった用紙があれば取り除きます。**

用紙押さえユニットの底面にあるローラーに手を触れないでください。けがをするおそれがあります。
（10 ページ「注意ラベル」）

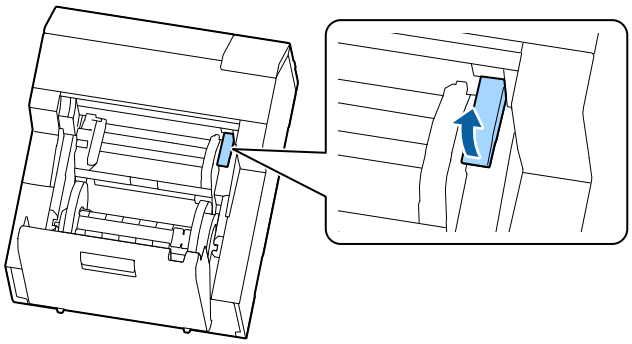


6 **用紙押さえユニットを下げます。**

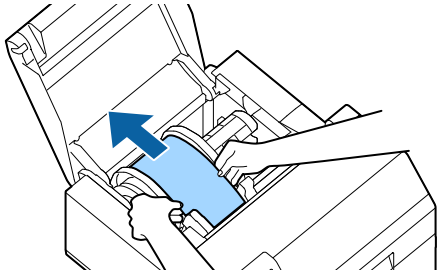
7 **用紙カバーを開けます。**



8 レリーズレバーを上げます。

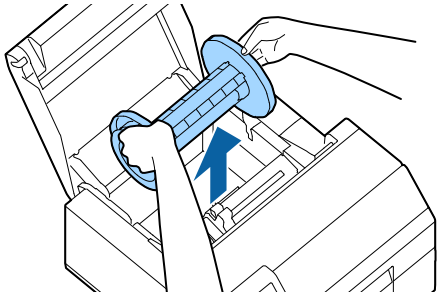


9 給紙口から用紙を引き抜きます。

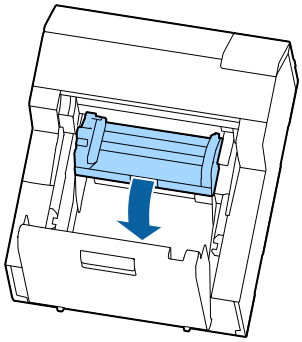


10 スピンドルがある場合は取り外します。

図のように両手でスピンドルとフランジを持ち、取り外してください。



11 用紙ガイドユニットを開けて、内部に詰まった用紙があれば取り除きます。



12 用紙ガイドユニットを閉めます。

13 レリーズレバーを下げます。

14 用紙カバーを閉めます。

15 前面カバーを閉めます。

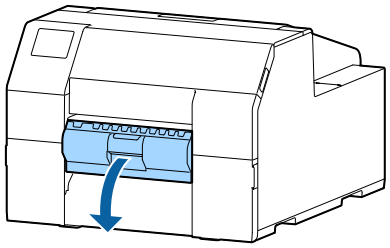
16 Pause ボタンを押します。
紙詰まりエラーが解除されます。

印刷を再開する場合は、再度用紙をセットしてください。
(50 ページ「用紙のセット（オートカッターモデル・内部供給の場合）」、54 ページ「用紙のセット（オートカッターモデル・外部供給の場合）」)

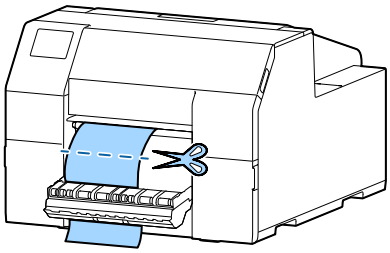
詰まった用紙を取り除いたら、プリンター内部にラベルや粘着物が残っていないか確認してください。
内部にラベルや粘着物が残ったまま使用すると、用紙が詰まりやすくなったり 、印刷品質が低下したりする原因になります。
頻繁に用紙が詰まるときは、プリンター内部のクリーニングを実施してください。
(263 ページ「プリンターのクリーニング」)

ピーラーモデルの場合

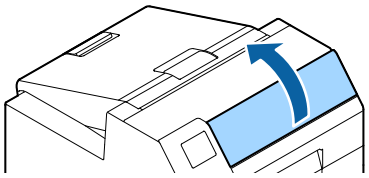
1 ピーラーカバーを開けます。



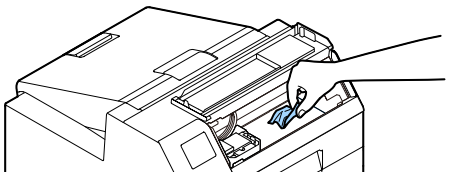
2 排紙口付近で用紙をカットします。



3 前面カバーを開けます。

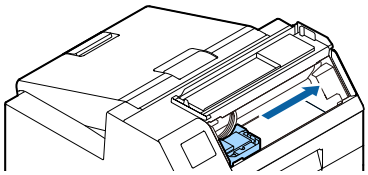


4 プラテンにちぎれた用紙があれば取り除きます。



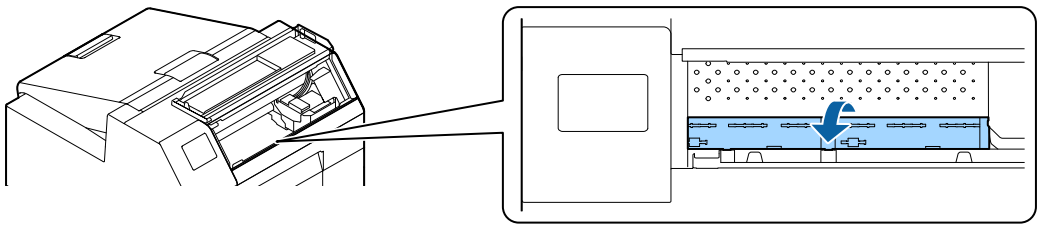
5 プリントヘッドが右端に戻っていないときは、手で押しながら右端に移動させます。

プリントヘッドが停止した位置に詰まった用紙があれば取り除いてください。



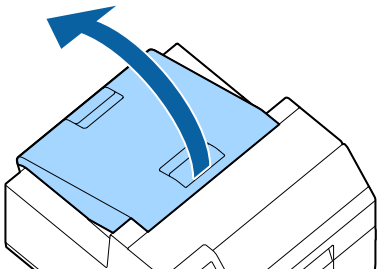
6 用紙押さえユニットを上げ、詰まった用紙があれば取り除きます。

用紙押さえユニットの底面にあるローラーに手を触れないでください。けがをするおそれがあります。
（10 ページ「注意ラベル」）

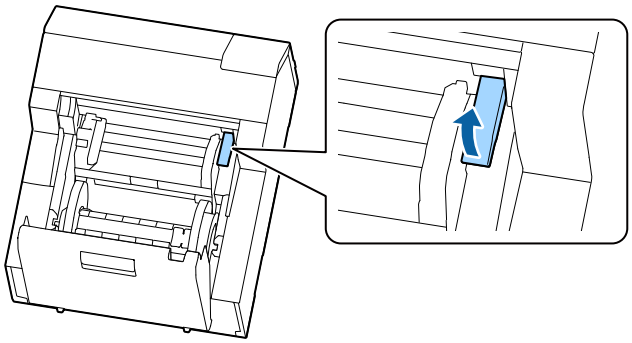


7 用紙押さえユニットを下げます。

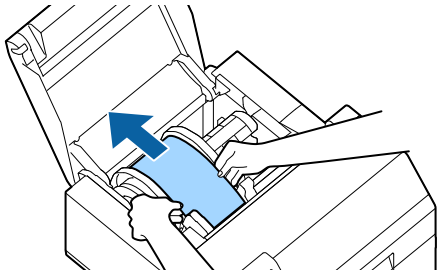
8 用紙カバーを開けます。



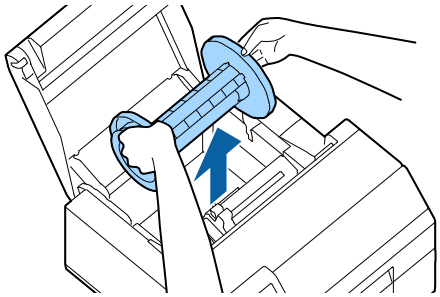
9 レリーズレバーを上げます。



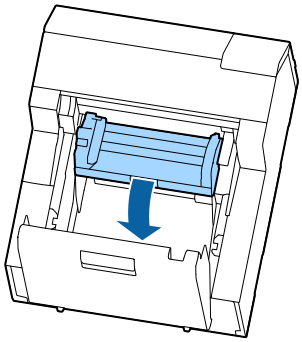
10 給紙口から用紙を引き抜きます。



11 **スピンドルがある場合は取り外します。**
図のように両手でスピンドルとフランジを持ち、取り外してください。



12 用紙ガイドユニットを開けて、内部に詰まった用紙があれば取り除きます。



13 用紙ガイドユニットを閉めます。

14 レリーズレバーを下げます。

15 用紙カバーを閉めます。

16 前面カバーを閉めます。

17 ピーラーカバーを閉めます。

18 Pause ボタンを押します。
紙詰まりエラーが解除されます。

印刷を再開する場合は、再度用紙をセットしてください。
(58 ページ「用紙のセット（ピーラーモデル・内部供給）」)

詰まった用紙を取り除いたら、プリンター内部にラベルや粘着物が残っていないか確認してください。
内部にラベルや粘着物が残ったまま使用すると、用紙が詰まりやすくなったり 、印刷品質が低下したりする原因になります。
頻繁に用紙が詰まるときは、プリンター内部のクリーニングを実施してください。
(263 ページ「プリンターのクリーニング」)

アプリケーション開発情報

本章では、本製品の制御方法、および本製品を使用したアプリケーションを開発する場合に必要な情報について説明しています。

プリンターの制御方法

プリンターの制御方法は、お客様の使用環境によって異なります。

アプリケーションの仕様	制御方法	ページ
2 章のセットアップ作業フローでインストールしたプリンタードライバーを使用して印刷する。	プリンタードライバーを使用	74 ページ
Epson Inkjet Label Printer SDK を参考に開発したお客様のアプリケーションから印刷する。	Epson Inkjet Label Printer SDK を使用	300 ページ
お客様が、ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーションを開発して印刷する	ESC/Label コマンドを使用	300 ページ
既存のアプリケーションやドライバーなどを変更しないで、ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターから置き換える プレプリントシステムからオンデマンドプリントシステムに変更する	プリンターの設定を変更して、プリンターを置き換える	301 ページ

Epson Inkjet Label Printer SDK を使用

お客様のアプリケーションが、エプソンのプリンタードライバーを使用して印刷するために必要な環境を、SDK として提供しています。以下のものが含まれています。

構成	説明
Epson Inkjet Label Printer SDK ユーザーズガイド	Epson Inkjet Label Printer SDK の構成の概要、エプソン製インクジェットラベルプリンターをアプリケーションから制御するために必要な機能、サンプルプログラムの使い方およびプリンタードライバーであらかじめ設定しておくことの説明をしています。
EPDI (EPSON Printer Driver Interface)	EPDI (EPSON Printer Driver Interface) は、エプソンのプリンタードライバーのアプリケーションプログラミングインターフェイスを提供しています。EPDI を利用すると、お客様が開発するアプリケーションソフトからエプソンのプリンタードライバーの設定ができます。 EPDI の説明と、これをアプリケーションプログラムで利用するために必要な技術情報については、本 SDK に同梱されている「EPDI for Inkjet Label Printer リファレンスマニュアル」を参照してください。
EpsonNet SDK	EpsonNet SDK は、エプソン製インクジェットラベルプリンターのステータスを取得するための API を提供しています。API についての説明と、これをアプリケーションプログラムで利用するために必要な技術情報については、本 SDK に同梱されている「EpsonNet SDK for Windows リファレンス」を参照してください。
Label Print Sample Program	Epson Inkjet Label Printer SDK を利用して、エプソン製インクジェットラベルプリンターから印刷をするアプリケーションの実行ファイルと、プログラムのソースファイルを提供しています。サンプルプログラムの使い方は「Epson Inkjet Label Printer SDK ユーザーズガイド」を参照してください。

動作環境

OS	付録を参照してください
ソフトウェア	プリンタードライバー（Install Navi を使用してインストールします）

入手方法

販売店へお問い合わせください。

ESC/Label コマンドを使用

お客様のアプリケーションが、プリンタードライバーを使用しないで直接印刷するためのコマンド (ESC/Label) を提供しています。ESC/Label コマンドの詳細は、販売店にお問い合わせください。

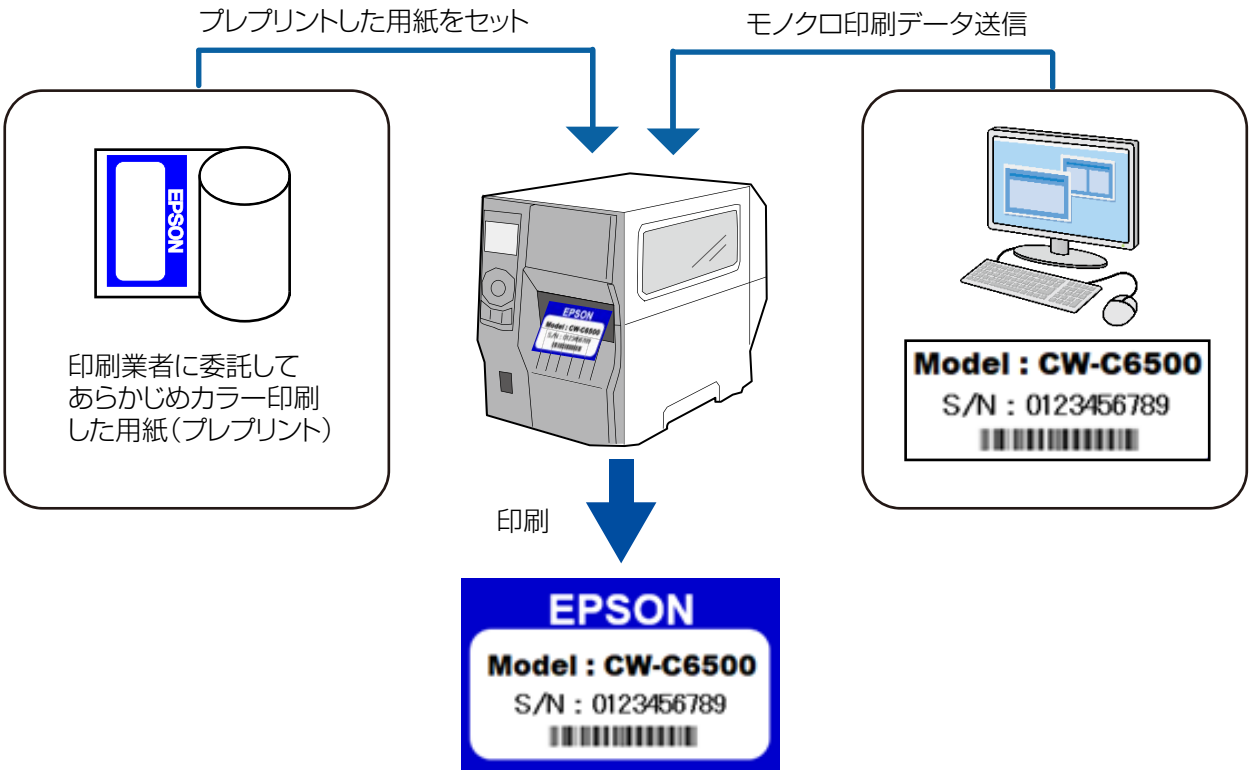
ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え

既存のアプリケーションやドライバーなどを変更しないで、ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターから置き換える場合は、プリンター本体の設定を ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの設定に合わせる必要があります。

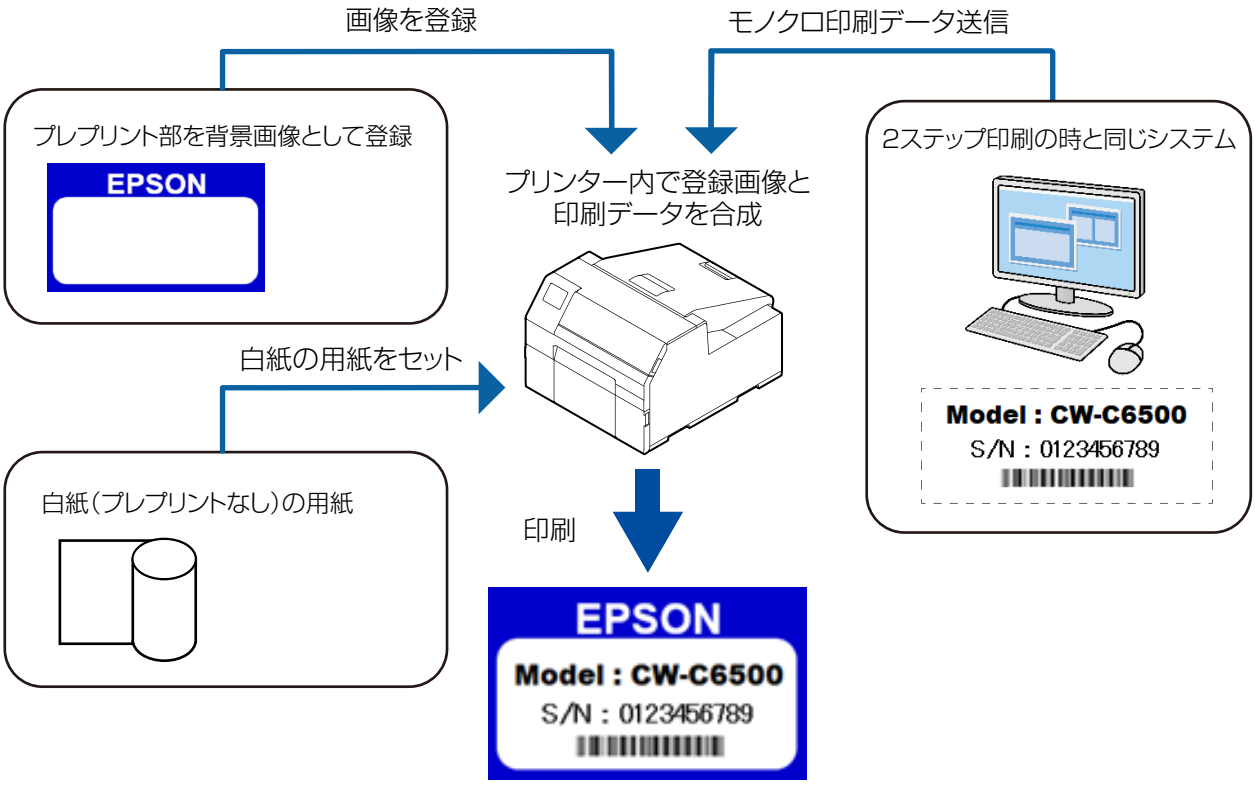
2 ステップ印刷から 1 ステップ印刷への切り替え

CW-C6020/6520 シリーズは画像ファイル（PNG 形式）を登録でき、登録した画像ファイルとホスト（コンピューター）から送られてくる印刷データを重ね合わせて印刷することができます。
例えば、印刷業者があらかじめカラー印刷した用紙（プレプリント）に、ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターで情報を追い刷りするという 2 ステップでの印刷を、ホスト側のシステムやデータを変更することなく、1 ステップでカラーラベルの印刷ができます。

従来の印刷方法（プレプリント＋モノクロプリンター）



CW-C6020/C6520 シリーズの 1 ステップ方式



プリンターの設定変更とプリンターの置き換え

以下の手順で設定します。

本製品と設定用コンピューターの接続（20 ページ、46 ページ）

- USB インターフェイス
  USB ケーブルで設定用コンピューターと本製品を接続
- Ethernet インターフェイス
  本製品をネットワークに接続

IP アドレスの設定（46 ページ）

EpsonNet Config または操作パネルを使用して、置き換え元プリンターのアドレスと同じ IP アドレスに本製品を設定

PrinterSetting で設定

プリンターの解像度とモノクロ印刷モードの設定（304 ページ）

ZPL II コマンド搭載プリンターの解像度に合わせ、モノクロ印刷モードに設定します。

プレプリント画像の登録（306 ページ）

- 画像の作成
- 画像の登録

フォントの登録（308 ページ）

- 類似フォントの入手
- フォントの登録と置き換え

フォント幅、配置の調整（314 ページ）

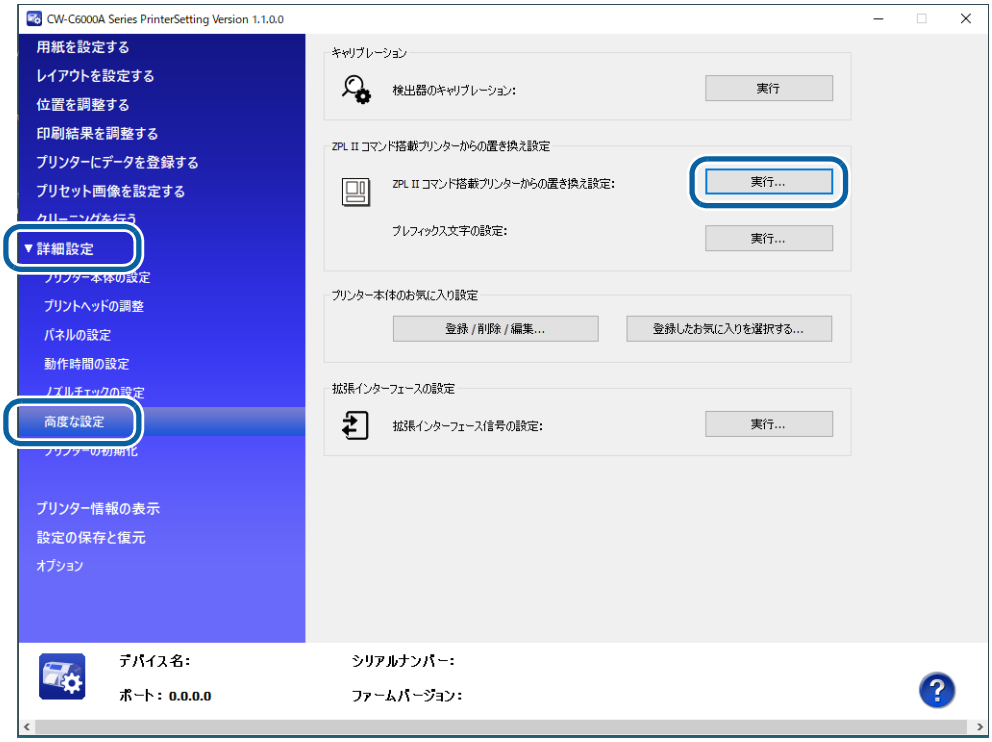
印刷（317 ページ）

- モノクロ印刷モードに設定しても、プリセット画像はカラーになります。
- 調整項目の値は、実際の印刷結果を確認しながら調整してください。

プリンターの解像度とモノクロ印刷モードの設定

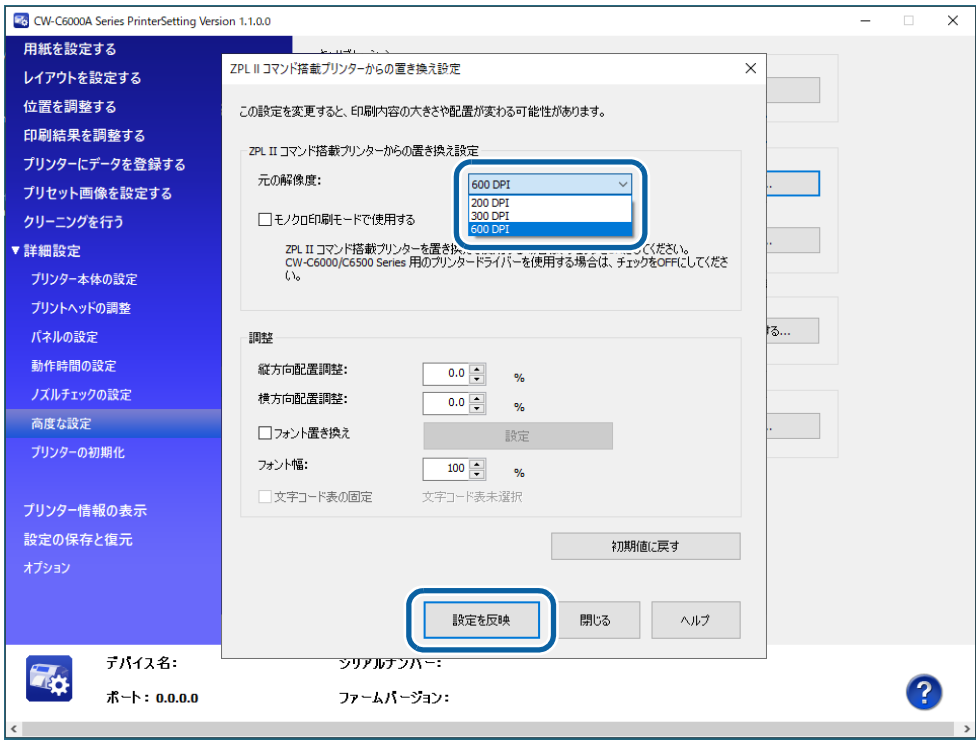
1 PrinterSetting を起動します。

2 「詳細設定」の「高度な設定」画面の［ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定］の「実行」をクリックします。

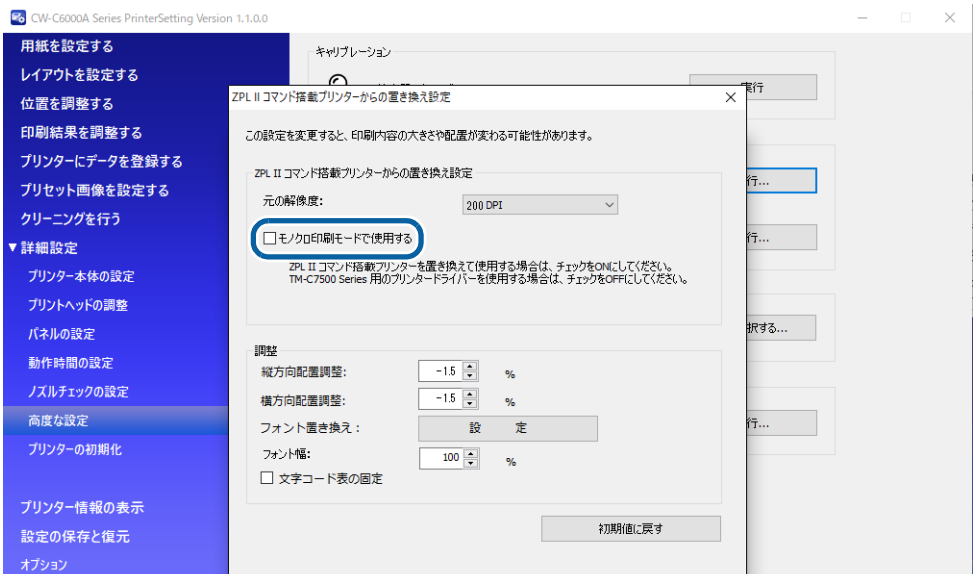


「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」画面が表示されます。

3 ［元の解像度］で解像度を設定します。
選択肢に同じ解像度がない場合は、近い解像度を選択します。例えば、今まで使っていたZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度が 203dpi の場合には、200dpi を選択します。



4 ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからカラー印刷を行わない置き換えをする場合に、「モノクロ印刷モードで使用する」にチェックを付けます。



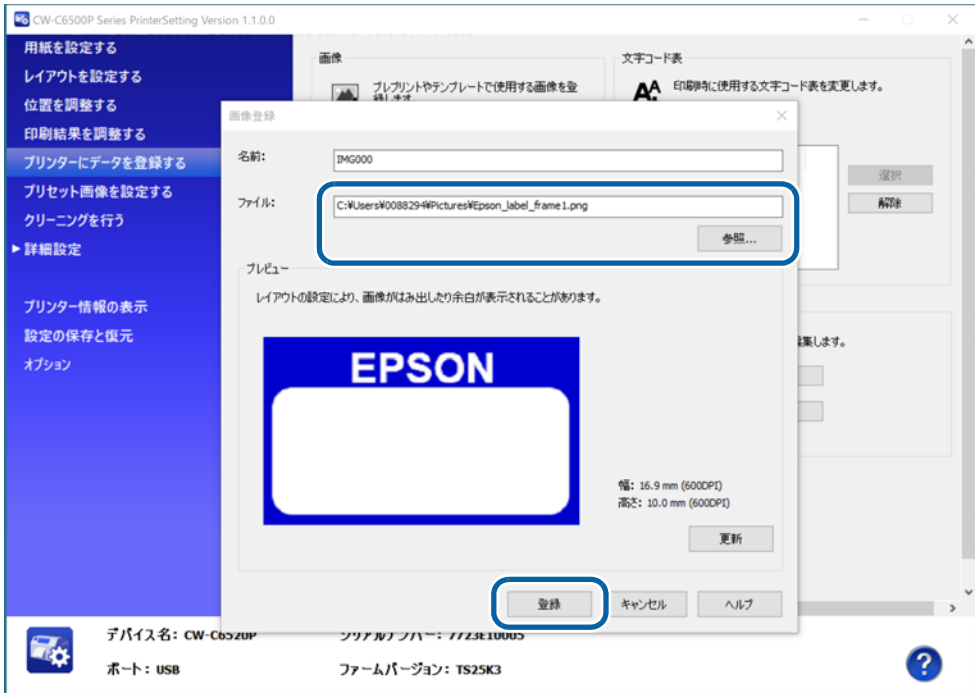
プレプリント画像の登録

1 プレプリント画像を作成します。
画像処理ソフトを使い、プレプリント画像を PNG 形式で保存します。
画像解像度は必ず 600dpi で作成してください。

2 PrinterSetting を起動します。

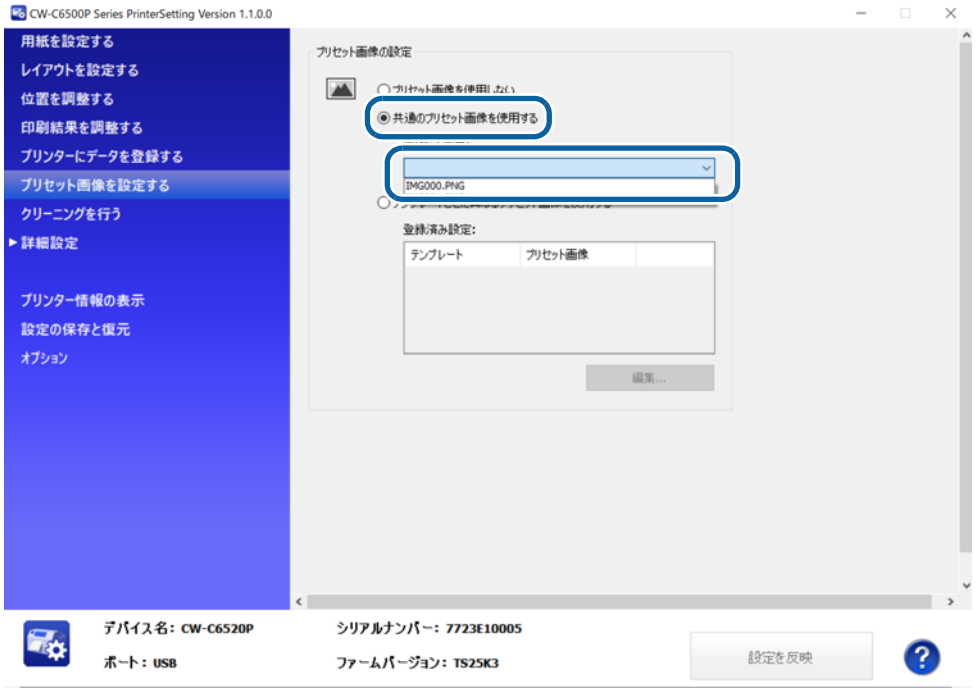
3 「プリンターにデータを登録する」画面の［画像］の［登録］をクリックします。
画像を登録する画面が表示されます。

4 登録するプレプリント画像のファイル名（PNG 形式）を選択して［登録］をクリックします。



プリンターにプレプリント画像ファイルが送信されプリセット画像として保存されます。

5 「プリセット画像を設定する」画面の［プリセット画像の設定］で、使用する画像を選択します。



フォントの登録

フォント登録機能

CW-C6020/6520 シリーズや ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターは、プリンター内蔵フォントを搭載しています。CW-C6020/6520 シリーズは EPSON オリジナルフォントを搭載しており、ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターとは別のフォントです。
プリンター内蔵フォントを使用した印刷を行った場合は、印刷される文字の形態（形や太さ）やフォントの余白量（余白量の違いが文字間ピッチの違いとなって表れる）は、プリンター内蔵フォントの種類に依存するため、従来使用していた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターと CW-C6020/6520 シリーズの印刷結果が異なる場合があります。

【例】

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの印刷結果



CW-C6020/6520 シリーズの印刷結果



従来使用していた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの印刷結果に近づけるために、CW-C6020/6520 シリーズにはフォント登録機能と ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え調整の機能があります。

類似フォントの入手

ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの内蔵フォント（ファイル形式 TTF）に類似したフォントをご用意ください。
ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの内蔵フォントに類似した以下のフォントがあります。文字の太さや文字間ギャップが異なる多数のフォントが存在するので、最適なフォントを選択してください。
なお、フォントの入手およびその使用ライセンスの取得はお客様の責任において実施してください。

類似フォント（代表例）

フォント名	種類例
Swiss 721	Black, Black Condensed
Helvetica	Bold, Bold Condensed

フォントの登録 / 置き換え

1 PrinterSetting を起動します。

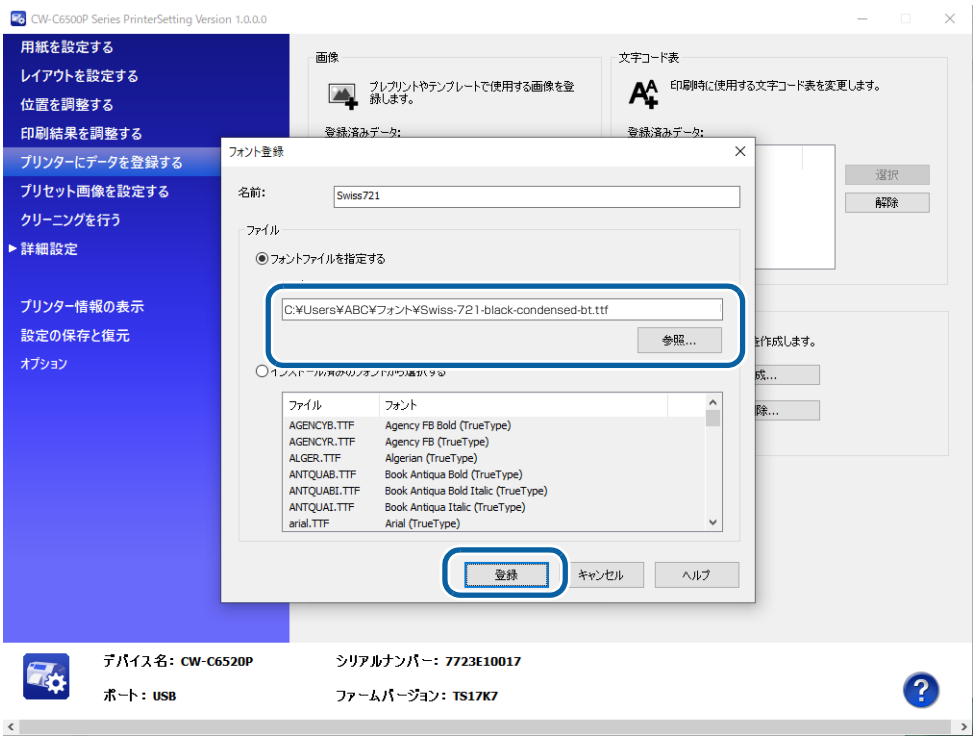
2 「プリンターにデータを登録する」画面の「フォント」の「登録」をクリックします。



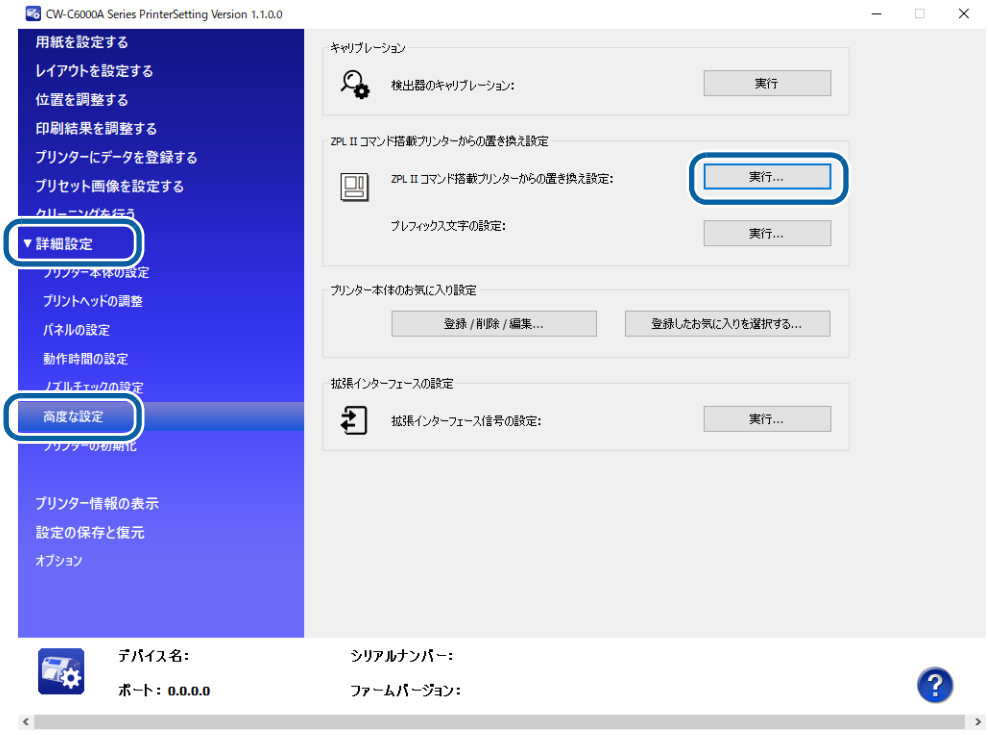
「フォント登録」画面が表示されます。

3 登録するフォントのファイル名（TTF 形式）を選択して「登録」をクリックします。

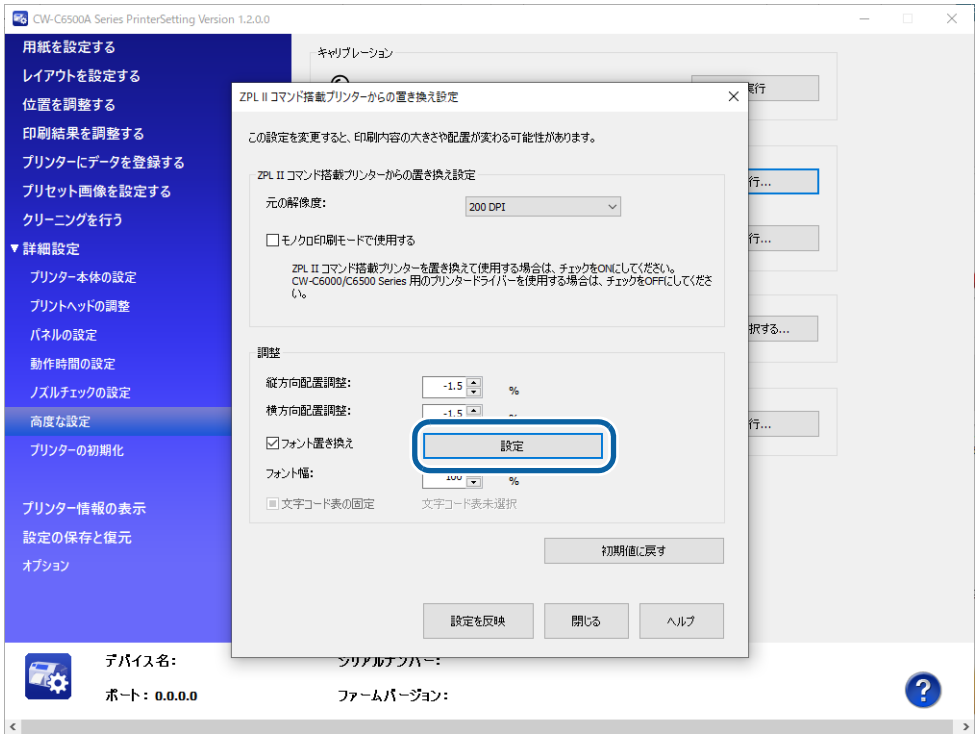
プリンターにフォントファイルが送信され、プリンター内蔵フォントとして保存されます。



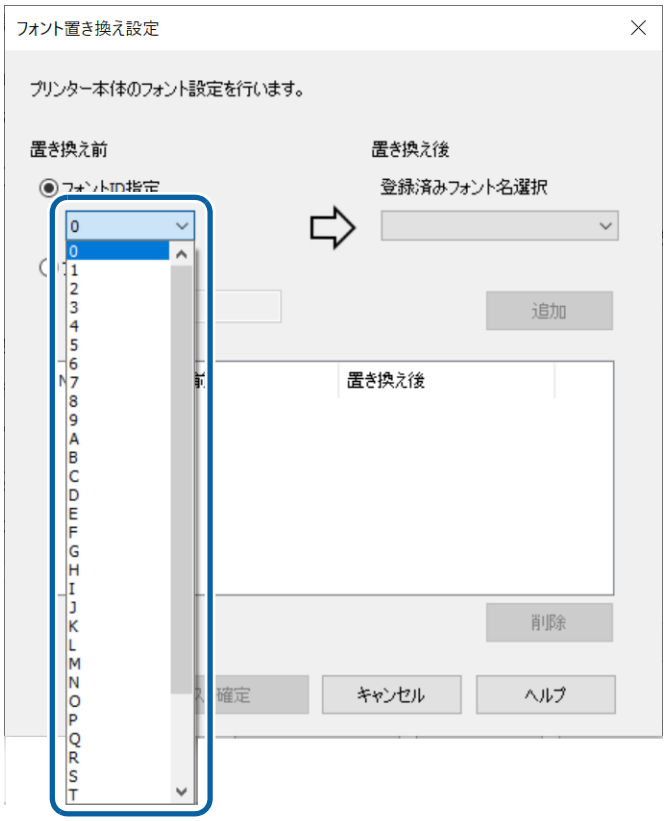
4 「詳細設定」の「高度な設定」画面の「ZPL Ⅱコマンド搭載プリンターからの置き換え設定」の「実行」をクリックします。



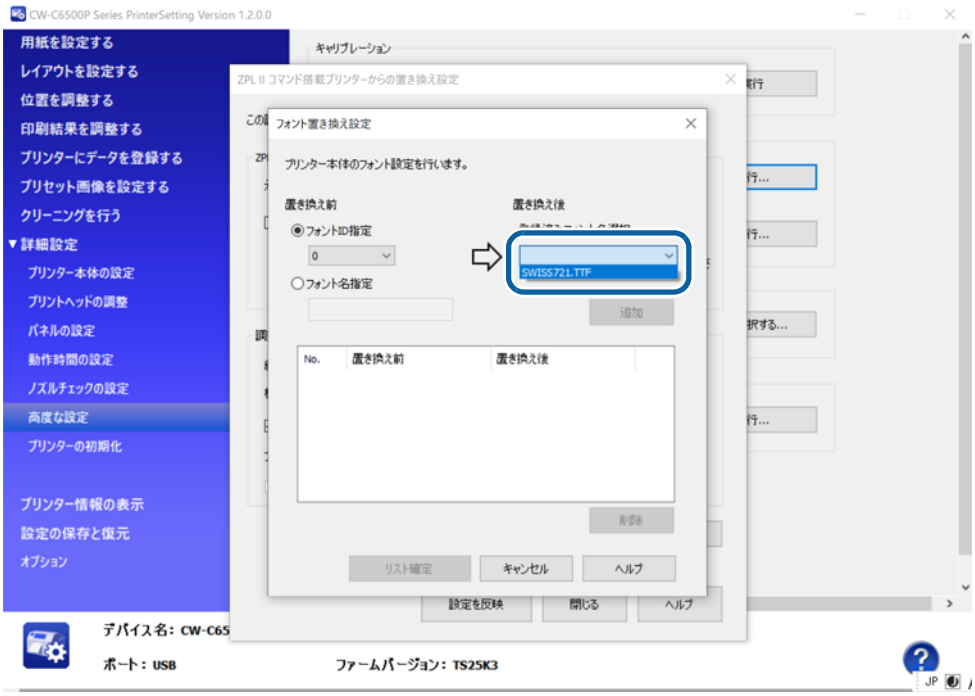
5 「ZPL Ⅱコマンド搭載プリンターからの置き換え設定」画面の「フォント置き換え」の「設定」をクリックします。



6 置き換えるフォントに ZPL Ⅱコマンド搭載モノクロプリンターで使用していたフォント ID と同じ ID を割り当てます。
リストボックスからフォント ＩＤ を選択します。



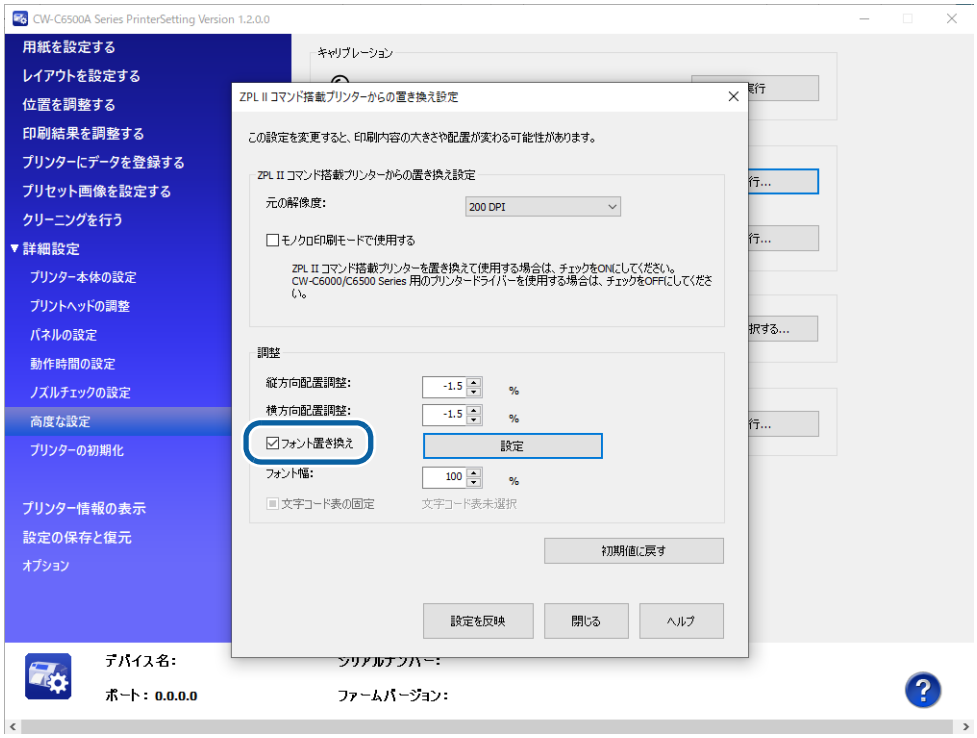
7 割り当てるフォント名を選択します。



8 追加をクリックすると画面内にリストが表示されます。
「リスト確定」をクリックするとリストが保存され、［ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定］画面に戻ります。



9 ［フォント置き換え］にチェックを入れると、設定したフォントに置き換えます。



10「設定を反映」をクリックします。
プリンターに設定値が保存されます。

フォント幅､配置の調整

「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」には以下の調整機能があります。

フォント幅

フォントの横幅を縮小する機能です。100% 指定が原寸で、設定可能値は 1 ～ 100% で 1% 刻みで設定可能です。縮小率が大きくなると、形状がつぶれて文字として判読できなくなります。印刷結果を確認しながら設定してください。実効性のある設定値はおおよそ 80 ～ 100% と想定されます。

縦方向配置調整

1 枚のラベル内に印刷する文字列やバーコード、図形、イメージデータといった構成要素（＝オブジェクト）の縦方向の配置位置を調整する機能です。設定可能値は -5.0 ～ +5.0% で 0.1% 刻みで設定可能です。

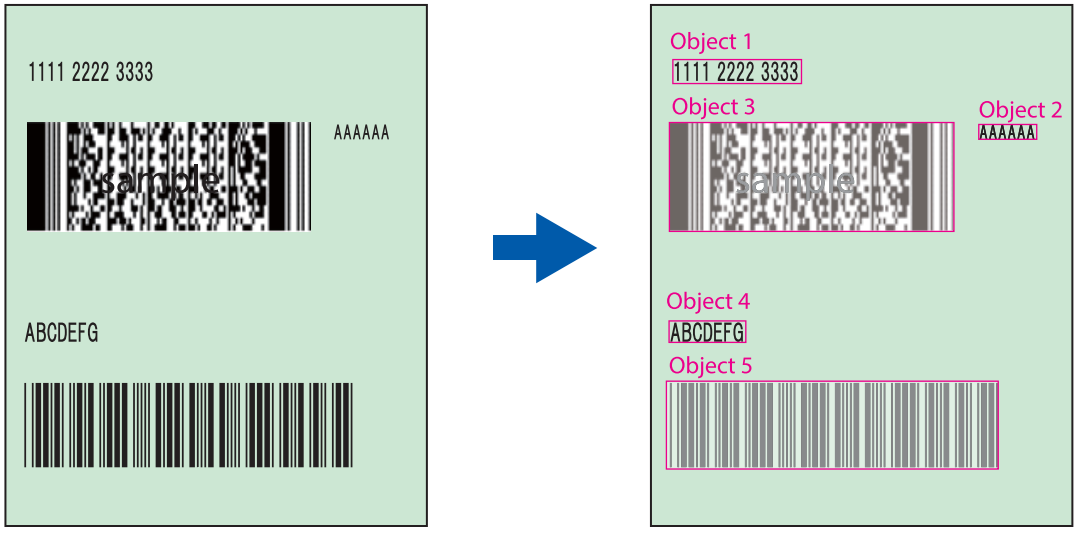
横方向配置調整

1 枚のラベル内に印刷する構成要素（＝オブジェクト）の横方向の配置位置を調整する機能です。設定可能値は -5.0 ～ +5.0% で 0.1% 刻みで設定可能です。

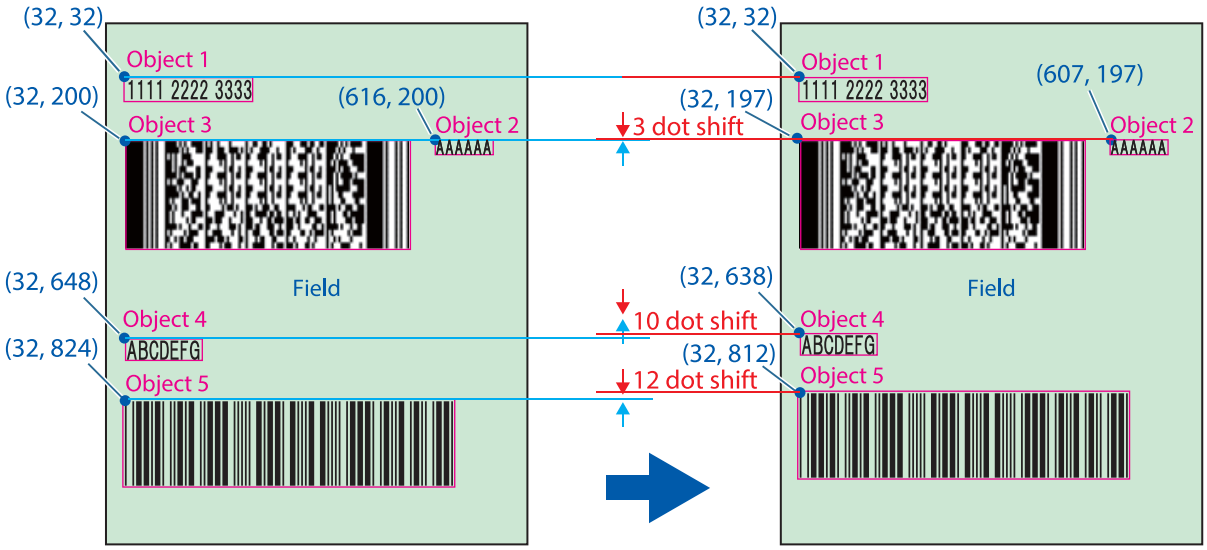
縦方向配置調整機能と横方向配置調整機能は、従来使用していた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターが 203dpi の場合に CW-C6020/6520 シリーズで 200dpi で印刷すると、203/200=1.5% 印刷結果が大きくなることを補正するために使用します。但し、本機能は、ラベル内に印刷する構成要素（＝オブジェクト）の配置位置を補正するだけで、構成要素（＝オブジェクト）自身のサイズは調整しません。これは、オブジェクトの外観が崩れることを防ぐためです。特に、細い線が消滅したり、バーコードの読み取り精度が劣化することを防止します。

この補正方法は、ほとんどの場合実用上問題のない適切な補正をできますが、ラベルの 1 ページのサイズに対して大きなサイズのオブジェクトが配置されている場合や、オブジェクトとオブジェクトの配置間隔が狭い場合には、オブジェクト同士が重なったりして、元のラベルデザインを維持できない場合があります。

ラベルの構成要素（オブジェクト）



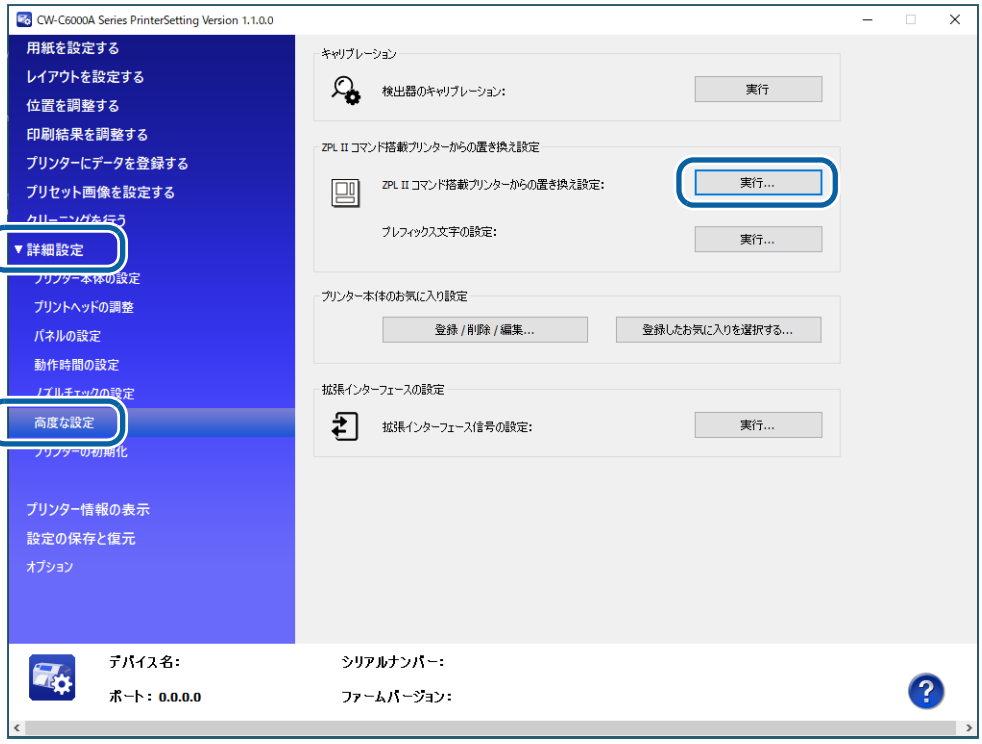
配置調整機能で縦方向・横方向に 1.5% 縮小した例



Ex: Object 2: 616 x 0.985 = 606.8
200 x 0.985 = 197.0
Object 4: 32 x 0.985 = 31.5
648 x 0.985 = 638.3

1 PrinterSetting を起動します。

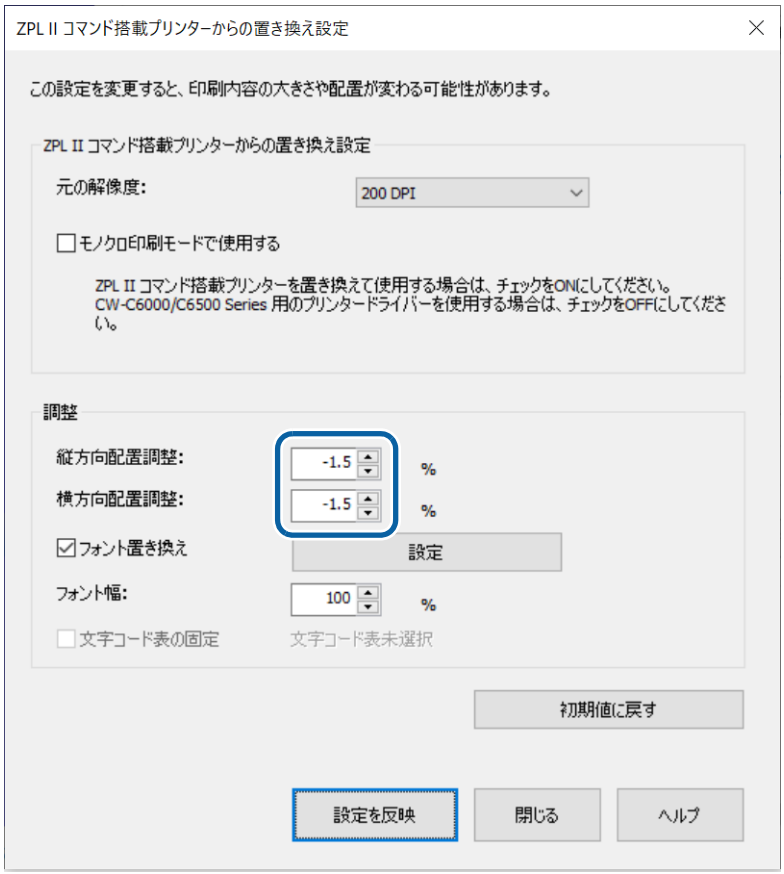
2 「詳細設定」の「高度な設定」画面の［ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定］で、「実行」をクリックします。



「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」画面が表示されます。

3 縦方向と横方向の調整をします。

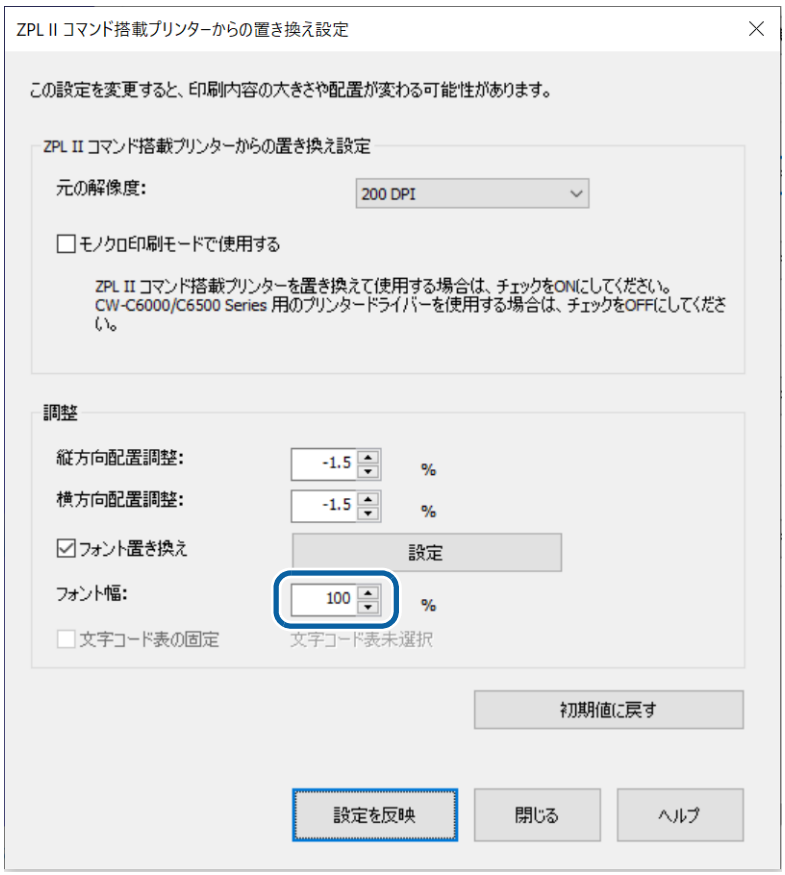
今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度と同じ解像度を選択した場合には、縦方向配置調整と横方向配置調どちらとも「0」を指定します。
今まで使っていた ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターの解像度が 203dpi で、上記の印刷解像度を 200dpi に指定した場合には、縦方向配置調整と横方向配置調どちらとも「-1.5%」を指定します。



フォント幅の調整をしない場合は、手順 5 に進みます。

4 **フォント幅の調整をします。**

まず「100%」を指定して、印刷結果を確認しながら調整します。



5 **「設定を反映」をクリックします。**

プリンターに設定値が保存されます。

印刷

実際に使用する環境で印刷し、印刷結果を確認してください。

テンプレートの活用

モノクロサーマルプリンターで使用していたテンプレートを CW-C6020/6520 シリーズに登録して、ZPL II コマンドを直接制御するアプリケーションから使用することができます。
詳細は 301 ページ「ZPL II コマンド搭載モノクロプリンターからの置き換え」を参照してください。

ESC/Label コマンドは、ZPL II コマンドとコマンドサポート範囲やテンプレートファイルの拡張子が異なりますので、ESC/Label コマンド仕様に合わせた記述の変更が必要です。ESC/Label コマンド仕様の詳細は ESC/Label コマンドリファレンスガイドを参照してください。
以下の手順で設定します。

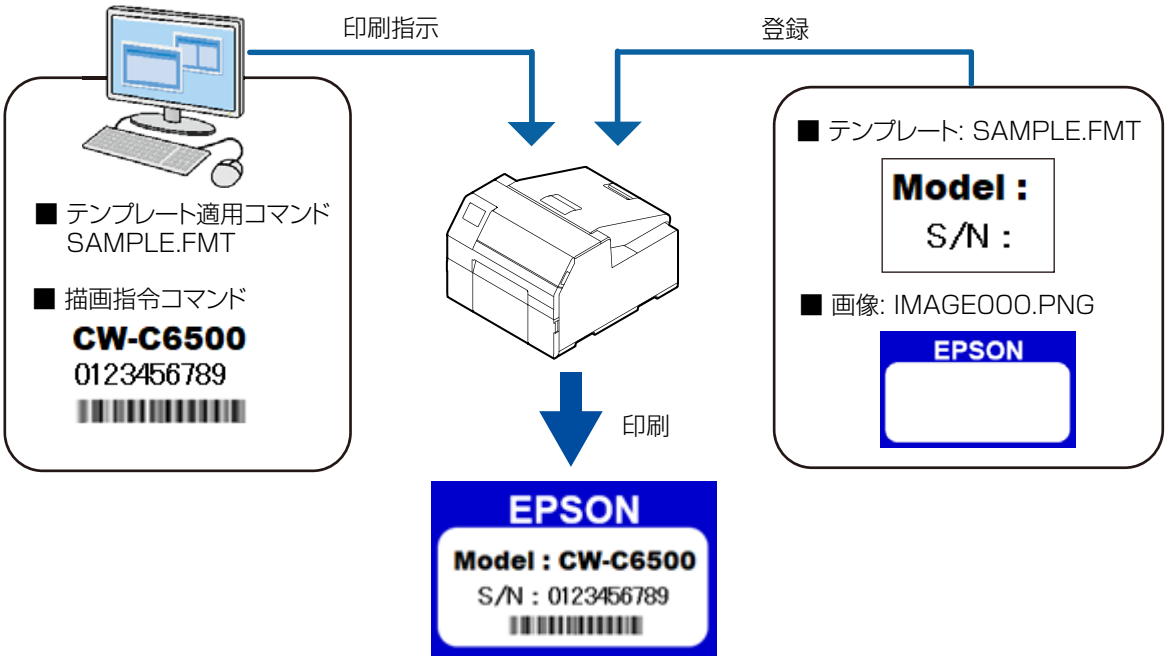
1 **画像の登録**（190 ページ）
プリンターに画像を登録してください。

2 **テンプレートの登録**（191 ページ）
プリンターにテンプレートを登録してください。
ZPL Ⅱコマンドで作成したテンプレートを転用する場合、テンプレートファイルの拡張子を ESC/Label コマンドの仕様に合わせて変更してください。また、ESC/Label でサポートしていないコマンドは削除してください。

3 **テンプレートと画像の連携**（195 ページ）
テンプレートと画像の連携を設定してください。

4 **解像度の設定**（209 ページ）
「詳細設定」の「高度な設定」画面の「ZPL Ⅱコマンド搭載プリンターからの置き換え設定」で、今まで使用していたモノクロサーマルプリンターの解像度を設定してください。

5 **テンプレートの印刷**
テンプレートを使用して印刷する場合は、アプリケーションから ZPL II コマンドで指定するテンプレートファイルの拡張子を ESC/Label コマンドの仕様に合わせて変更してください。アプリケーションから ZPL II コマンドで指定されるテンプレート、可変情報、画像が合成されて印刷されます。



ソフトウェアとマニュアル

下記のソフトウェアとマニュアルが用意されています。

ソフトウェア

名称	説明	提供方法
Install Navi	プリンタードライバー等のインストールや、本製品とコンピューターの接続を行います。	• CD-ROM
プリンタードライバー（Windows）	Windows アプリケーションから印刷するためのドライバーです。ドライバーから、プリンターの設定をするためのユーティリティー（CW-C6XXX PrinterSetting）を起動できます。ドライバーの使用方法はヘルプや動画を参照してください。	• CD-ROM • Web
プリンタードライバー（Mac）	Mac アプリケーションから印刷するためのドライバーです。ドライバーの使用方法はヘルプを参照してください。	• Web
プリンタードライバー（Linux）	Linux アプリケーションから印刷するためのドライバーです。	
EpsonNet Config SE	本製品の TCP/IP をはじめとした各種情報の取得と設定を行うツールです。	• CD-ROM • Web
Color Tone Matching Assistant	印刷するイラストや文字の色調整を支援するためのユーティリティーです。イラストや文字などの特定の色が、どのような色味で出力されるかを確認できます。	
SAP HVP Plugin	SAP EH & S WWI HVP システムを使用してネットワーク経由で大量の印刷を実行する場合、CW-C6020/6520 シリーズ用の HVP プラグインを使用すると、サーバーの負荷やネットワーク内のトラフィックを減らすことができます。	• Web
Epson Device Admin	Epson Device Admin は、ネットワーク上のプリンターの管理を行う多機能なソフトウェアです。（233 ページ「Epson Device Admin」）	
USB Printer Class Device Replacement Service	同機種の USB 機器を交換した場合、アプリケーションや OS の設定を変更することなく、自動的に出力先を別のプリンタードライバーに変更するツールです。	

マニュアル

名称	説明	提供方法
はじめにお読みください	本製品の同梱品の確認・設置・セットアップの方法について説明しています。また、本製品を取り扱う上での注意事項も記載しています。安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、ご使用の前には必ずお読みください。	• 製品に付属 • Web
ユーザーズガイド	本製品の機能や操作方法、メンテナンスに関する情報や各種トラブルの解決方法について説明しています。付属の CD から閲覧できます。	• CD-ROM • Web
CW-C6020 シリーズ / CW-C6520 シリーズ 詳細取扱説明書（本書）	本製品のセットアップや日常的に行う作業、システム開発に必要な情報を説明しています。	• Web
メンテナンスボックス 同梱マニュアル	メンテナンスボックスに関する注意事項が記載されています。	• メンテナンスボックスに付属 • Web

付録

製品仕様

項目				CW-C6020 シリーズ	CW-C6520 シリーズ
印刷方式				シリアルインクジェットドットマトリックス方式 4 色カラー印字	
紙送り方式				フリクションフィードによる正逆方向送り	
オートカッターのカット形態 （オートカッターモデルのみ）				フルカット（完全切り離し）	
印刷解像度				300×600 dpi, 600×600 dpi 600×1200 dpi, 1200×1200 dpi	
印刷速度	印刷品質設定：ドラフト 300×600 dpi （横 × 縦）	印刷幅	25.4 mm	156 mm/s	156 mm/s
			101.6 mm	119 mm/s	119 mm/s
			203.2 mm	-	85 mm/s
	印刷品質設定：速い 600×600 dpi （横 × 縦）	印刷幅	25.4 mm	125 mm/s	125 mm/s
			101.6 mm	75 mm/s	75 mm/s
			203.2 mm	-	49 mm/s
	印刷品質設定：普通 600×600 dpi （横 × 縦）	印刷幅	25.4 mm	63 mm/s	63 mm/s
			101.6 mm	48 mm/s	48 mm/s
			203.2 mm	-	34 mm/s
	印刷品質設定：きれい 600×1200 dpi （横 × 縦）	印刷幅	25.4 mm	27 mm/s	27 mm/s
			101.6 mm	18 mm/s	18 mm/s
			203.2 mm		13 mm/s
	印刷品質設定：高精細 1200×1200 dpi （横 × 縦）	印刷幅	25.4 mm	11 mm/s	11 mm/s
			101.6 mm	8 mm/s	8 mm/s
			203.2 mm		6 mm/s
インターフェース				有線 LAN（1000BASE-T/100BASE-TX / 10BASE-T） USB2.0 High-Speed	
質量	オートカッターモデル			約 22.5 kg	約 25.5 kg
	ピーラーモデル			約 22.8 kg	約 26.3 kg

動作環境

サポート OS	Windows 11 Windows 10 (32 bit/ 64 bit) Windows 8.1 (32 bit/ 64 bit) Windows 8 (32 bit/ 64 bit) Windows 7 SP1 (32 bit/ 64 bit) Windows Vista SP2 (32 bit/ 64 bit) Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 SP1 Windows Server 2008 SP2(32/64bit) Mac OS X 10.6.8 以降、macOS 10.12 以降
動作確認済み OS	Linux CentOS 7 (x86_64) Linux Ubuntu18.04 (x86_64)
コンピューター	上記 OS が動作する以下のコンピューターをサポートしていること。 PC/AT 互換機
CPU	Pentium 4 2 GHz 以上のプロセッサーを搭載したコンピューターを推奨。
Memory	1 GB 以上を推奨。
HDD	空き容量 250MB 以上。

- 上記の要件は、サポートする OS の最小システム要件を満たしていない場合があります。その場合、OS の最小要件を満たしてください。
- Epson は上記の OS ディストリビューションとバージョンの動作を確認しました。
  Linux には多くのディストリビューションやバージョンが存在するため、Epson は特定のディストリビューションやバージョンでの動作保証は行いません。
  上記以外の OS のバージョンやディストリビューションについては、お客様ご自身で動作確認する必要があります。

用紙仕様

本製品で使用可能な用紙は以下のとおりです。
それぞれの仕様に合った用紙をお使いください。仕様外の用紙を使用すると、印刷汚れやにじみ、かすれなどが発生する場合があります。

ブラックインク仕様	用紙種類
フォトインク仕様	マット紙 合成紙 光沢紙 光沢フィルム 高光沢紙
マットインク仕様	普通紙 マット紙 合成紙 上質紙



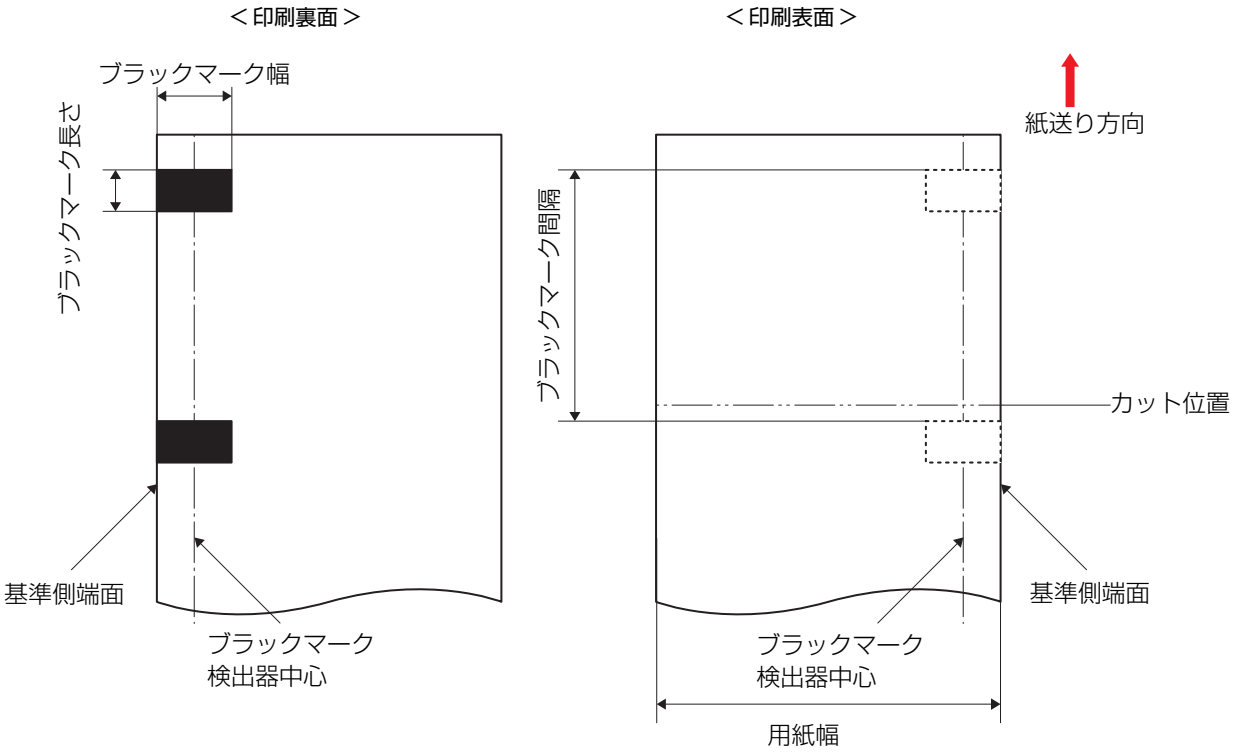
- 仕様外の用紙を使用すると、紙送り精度 / バーコード認識率 / 印刷品質の低下、紙詰まりが発生することがあります。
- 用紙巻き始め部と巻き芯を、糊付けやテープ止めして固定しないでください。用紙エンドが検出できなくなるため、用紙エンド時に印刷できないラベルが複数枚発生します。
- 台紙部分が紙の合成紙ラベルや台紙部分がポリラミネートされているラベルは、保管環境や使用環境により、用紙にカールが発生することがあります。温度や湿度による伸縮率が合成紙やポリラミネートのような樹脂部分と紙部分とで異なることが原因です。カールした用紙を使用すると、プリントヘッドとのこすれによる汚れ、紙詰まりが発生する場合があります。
- テープなどでつないで延長した用紙を使用しないでください。用紙の継ぎ目による誤検出、プリントヘッドとのこすれによる汚れ、紙詰まりが発生することがあります。
- マットインク仕様の場合、印刷直後のラベルに触れるとインクが指に付着する可能性があります。

CW-C6020 シリーズ			ミシン目なし		ミシン目付き	
	用紙形状	用紙（ラベル）形態	ブラックマーク基準	ブラックマークなし	ブラックマーク基準	ブラックマークなし
オートカッターモデル	ロール紙	連続紙	325 ページ	326 ページ	-	-
		ダイカット	327 ページ	329 ページ	330 ページ	332 ページ
		全面	333 ページ	335 ページ	-	-
	ファンフォールド紙	連続紙			336 ページ	
		ダイカット	-	-	337 ページ	-
		全面	-	-	-	-
ピーラーモデル	ロール紙	ダイカット	339 ページ	341 ページ	-	-
		全面	-	-	-	-
	ファンフォールド紙	ダイカット	-	-	-	-
		全面	-	-	-	-

CW-C6520 シリーズ			ミシン目なし		ミシン目付き	
	用紙形状	用紙（ラベル）形態	ブラック マーク基準	ブラック マークなし	ブラック マーク基準	ブラック マークなし
オート カッター モデル	ロール紙	連続紙	342 ページ	343 ページ	-	-
		ダイカット	344 ページ	346 ページ	347 ページ	349 ページ
		全面	350 ページ	352 ページ	-	-
	ファン フォールド紙	連続紙			353 ページ	
		ダイカット	-	-	354 ページ	-
		全面	-	-	-	-
ピーラー モデル	ロール紙	ダイカット	356 ページ	358 ページ	-	-
		全面	-	-	-	-
	ファン フォールド紙	ダイカット	-	-	-	-
		全面	-	-	-	-

CW-C6020A(4 インチ・オートカッターモデル)の場合

ロール紙 / 連続紙(ブラックマーク基準)

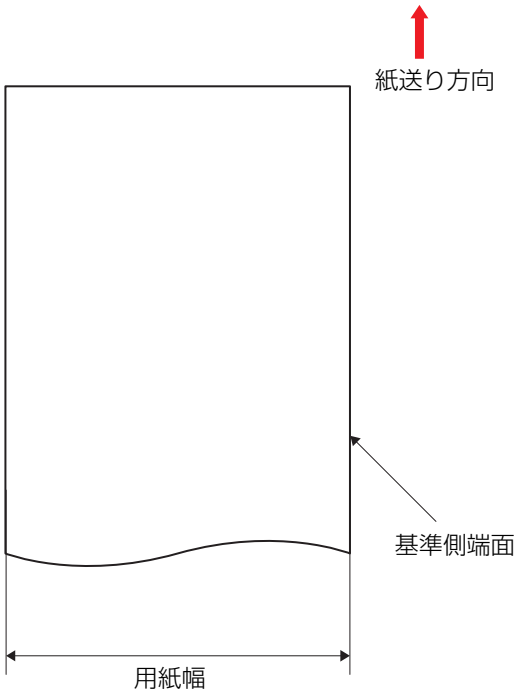


□ ラベル領域

形状	普通紙
用紙幅	25.4 ～ 112 mm
用紙厚	0.119 ～ 0.135 mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ203.2 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上
ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：8 ～ 615.6 mm オートカット使用時：15 ～ 615.6 mm

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- カット位置は次の印刷領域のブラックマーク位置より 1.7 mm 以上離してください。
- 先頭となる印刷開始位置は、用紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。
- 高温高湿環境下で用紙をセットしたまま放置すると、紙にしわが発生し印刷品質の低下や用紙づまりする可能性があります。

ロール紙 連続紙

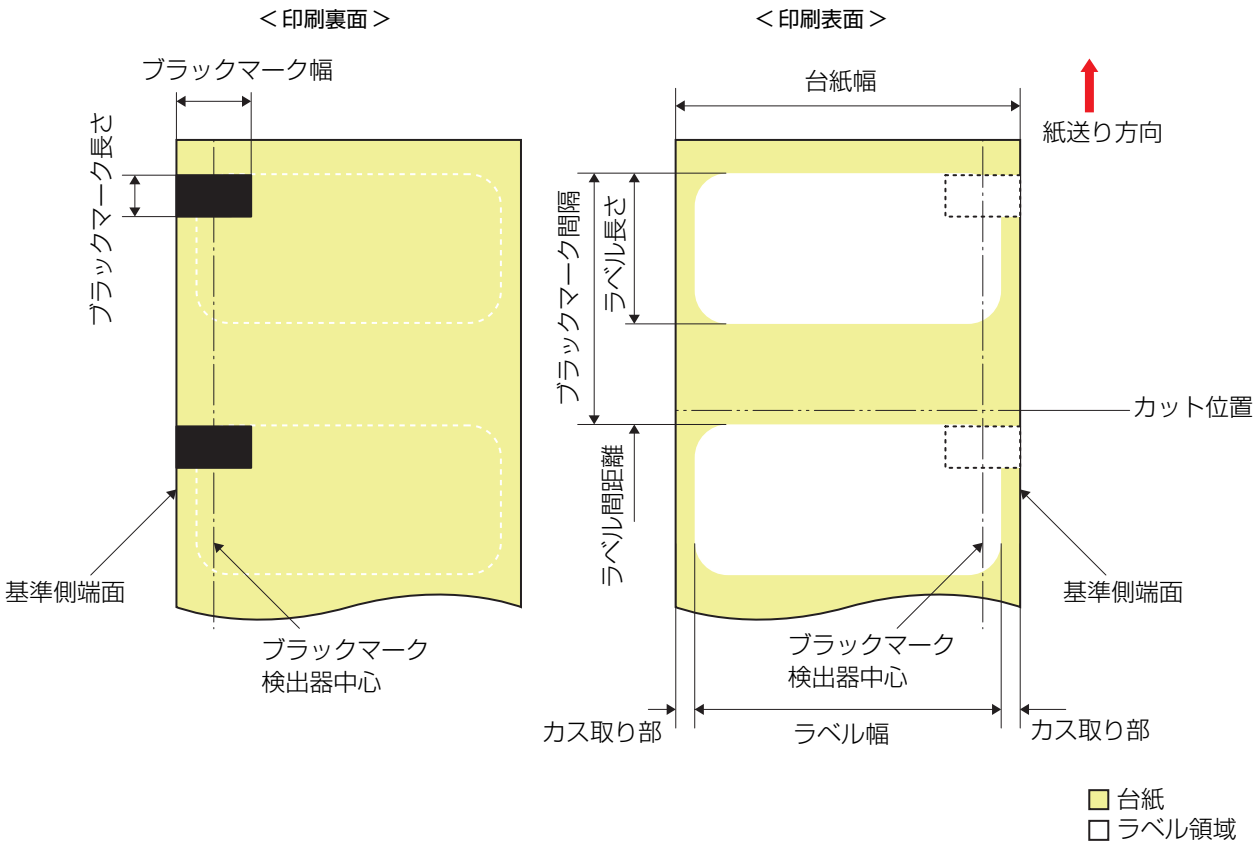


□ ラベル領域

形状	普通紙
用紙幅	25.4 ～ 112 mm
用紙厚	0.119 ～ 0.135 mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ203.2 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上
ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：8 ～ 615.6 mm オートカット使用時：15 ～ 615.6 mm

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- 先頭となる印刷開始位置は、用紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。
- 高温高湿環境下で用紙をセットしたまま放置すると、紙にしわが発生し印刷品質の低下や用紙づまりする可能性があります。

ロール紙 ダイカットラベル(ブラックマーク基準)



形状	ロール紙
台紙幅	25.4 ～ 112 mm
ラベル幅	21.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	オートカット未使用時：8 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ） オートカット使用時：15 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ）
ラベル間距離	オートカット未使用時：2 ～ 6 mm オートカット使用時：2.5 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ203.2 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上

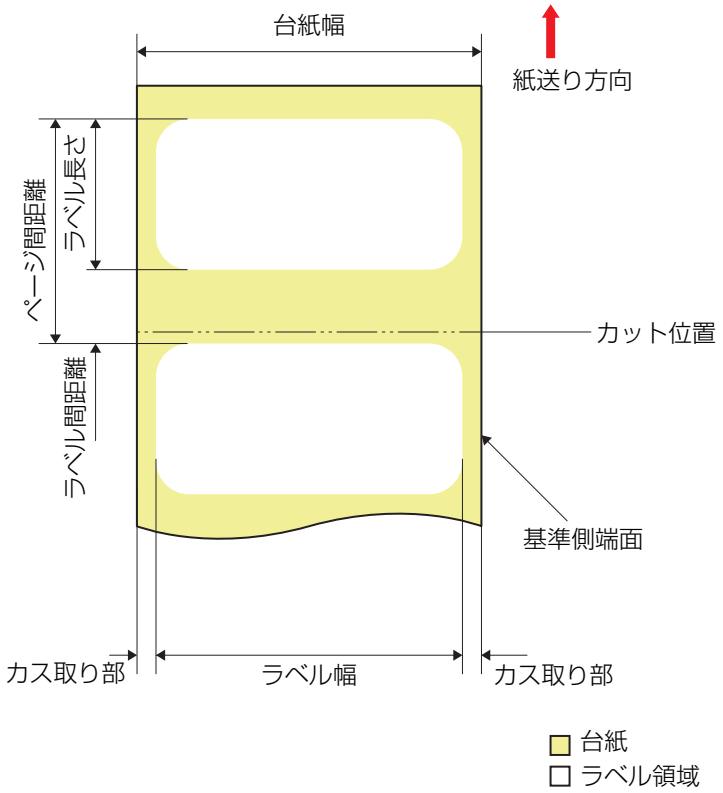
ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：10 ～ 615.6 mm オートカット使用時：17.5 ～ 615.6 mm

*1: ブラックマーク間隔の余白領域へブラックマークは配置できません。



- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- カット位置は、次に印刷するラベルのブラックマーク位置より 1.7 mm 以上離してください。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。

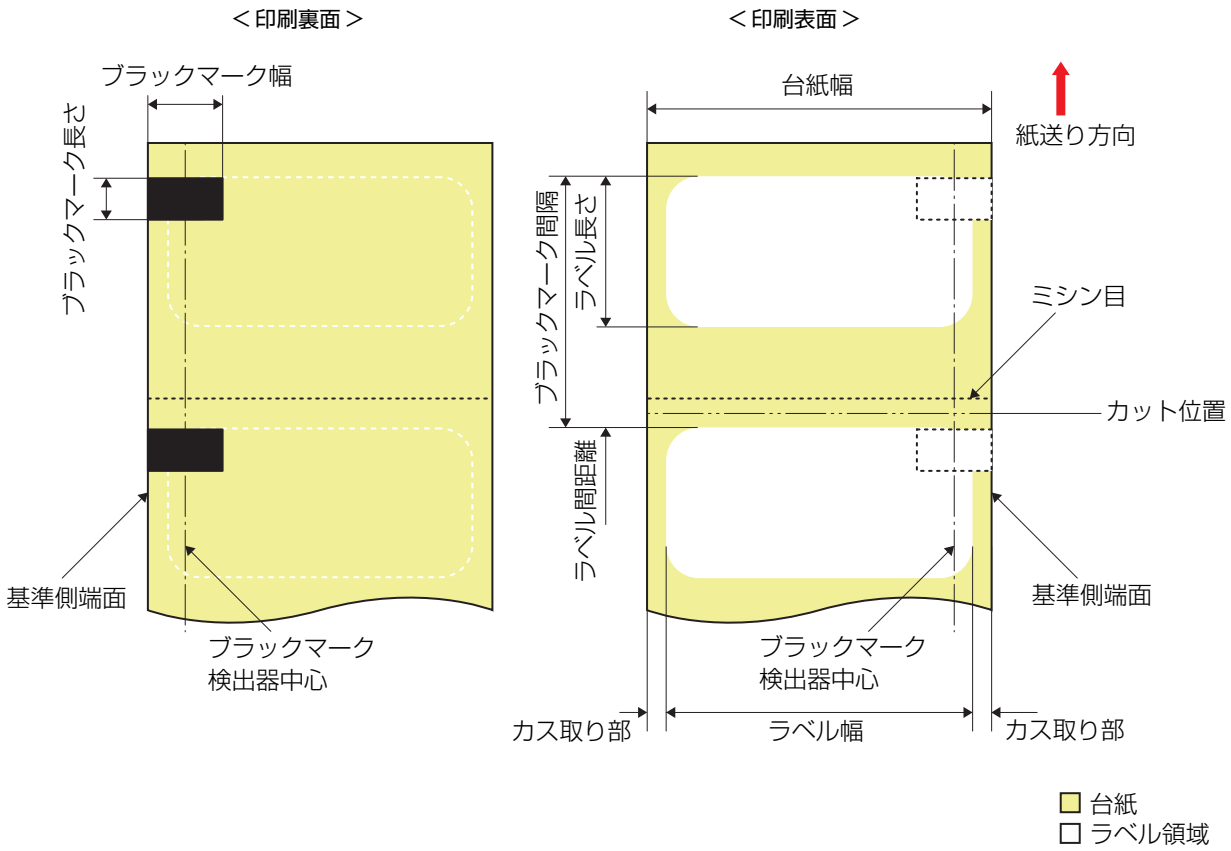
ロール紙 ダイカットラベル(ブラックマークなし)



形状	ロール紙
台紙幅	25.4 ～ 112 mm
ラベル幅	21.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	オートカット未使用時：8 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ） オートカット使用時：15 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ）
ラベル間距離	2 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ203.2 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- カット位置は、次に印刷するラベルの先端より 0.7 mm 以上離してください。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。

ロール紙 ミシン目付きダイカットラベル(ブラックマーク基準)



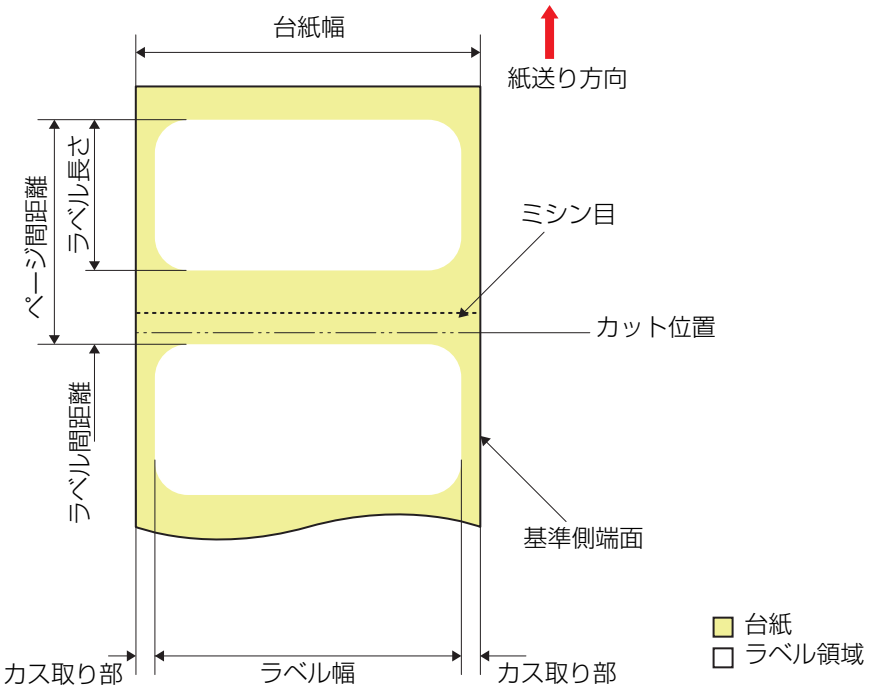
形状	ロール紙
台紙幅	25.4 ～ 112 mm
ラベル幅	21.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	オートカット未使用時：8 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ） オートカット使用時：15 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ）
ラベル間距離	オートカット未使用時：2 ～ 6 mm オートカット使用時：3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ203.2 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上

ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上
ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：10 ～ 615.6 mm オートカット使用時：18 ～ 615.6 mm
ミシン目ピッチ	3:1（カット : アンカット）
ミシン目形状	端面にカット部分があっても使用可能

*1: ブラックマーク間隔の余白領域へブラックマークは配置できません。

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.8 mm 以上離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より 2.5 mm 以上離してください。
- カット位置は、次に印刷するラベルのブラックマーク位置より 1.7 mm 以上離してください。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。

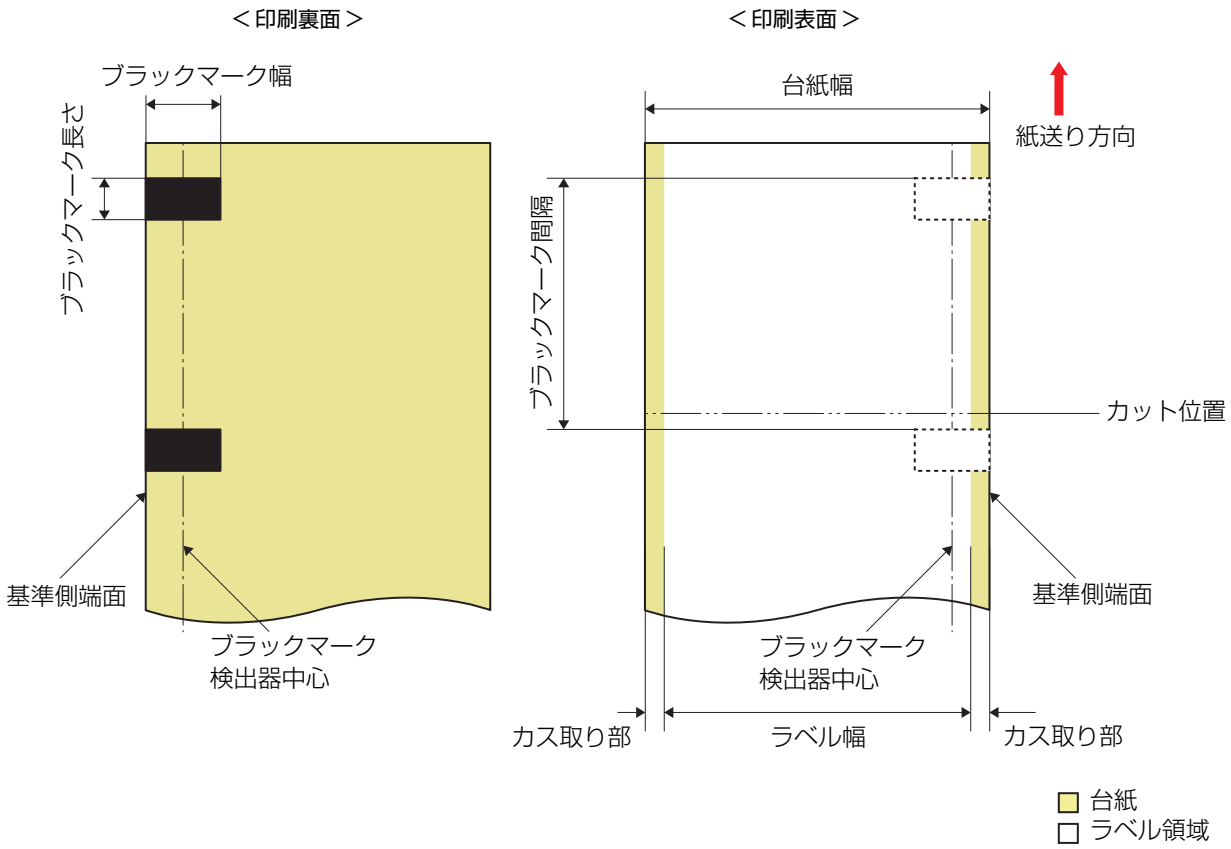
ロール紙 ミシン目付きダイカットラベル(ブラックマークなし)



形状	ロール紙
台紙幅	25.4 ～ 112 mm
ラベル幅	21.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	オートカット未使用時：8 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ） オートカット使用時：15 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ）
ラベル間距離	オートカット未使用時：2 ～ 6 mm オートカット使用時：3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ203.2 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ミシン目ピッチ	3:1（カット : アンカット）
ミシン目形状	端面にカット部分があっても使用可能

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.8 mm 以上離してオートカットしてください。
- 次に印刷するラベルの先端はミシン目より 1.5mm 以上離してください。
- カット位置は、次に印刷するラベルの先端より 0.7 mm 以上離してください。

ロール紙 全面ラベル(ブラックマーク基準)



形状	ロール紙
台紙幅	25.4 ～ 112 mm
ラベル幅	カス取りなし：25.4 ～ 112 mm カス取りあり：21.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	−
ラベル間距離	−
左右カス取り部	カス取りなし：− カス取りあり：2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	−
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ203.2 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上

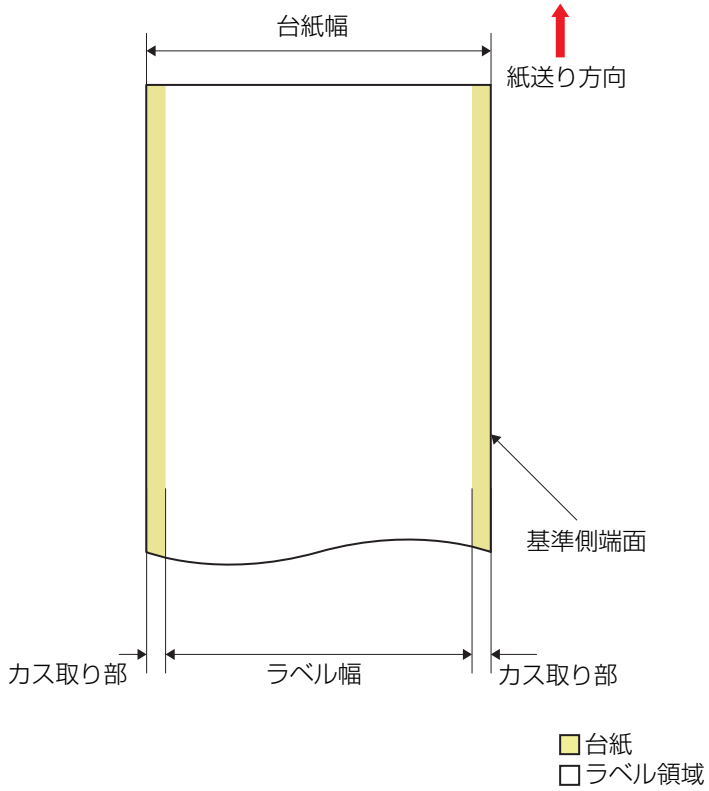
ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：8 ～ 615.6 mm オートカット使用時：15 ～ 615.6 mm

*1: ブラックマーク間隔の余白領域へブラックマークは配置できません。



- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- カット位置は、次に印刷するラベルのブラックマーク位置より 1.7 mm 以上離してください。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。

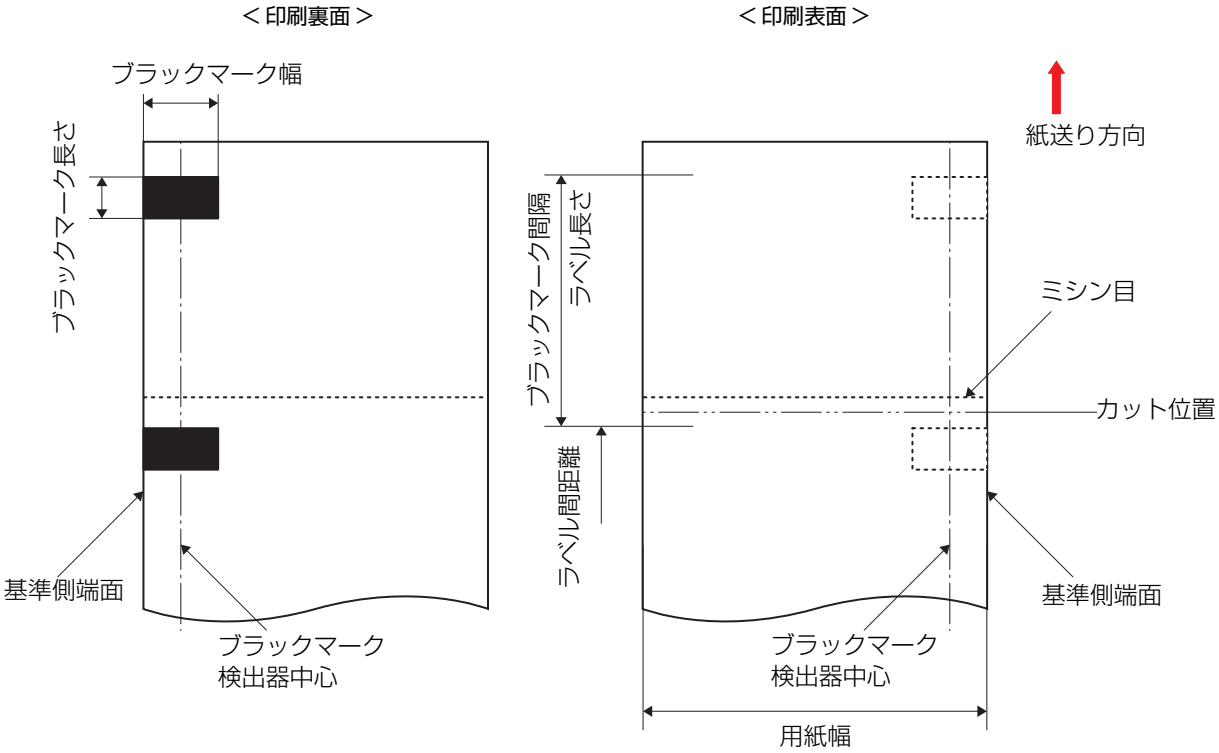
ロール紙 全面ラベル(ブラックマークなし)



形状	ロール紙
台紙幅	25.4 ～ 112 mm
ラベル幅	カス取りなし：25.4 ～ 112 mm カス取りあり：21.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	−
ラベル間距離	−
左右カス取り部	カス取りなし：− カス取りあり：2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	−
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ203.2 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

ファンフォールド紙 連続紙(ブラックマーク基準)



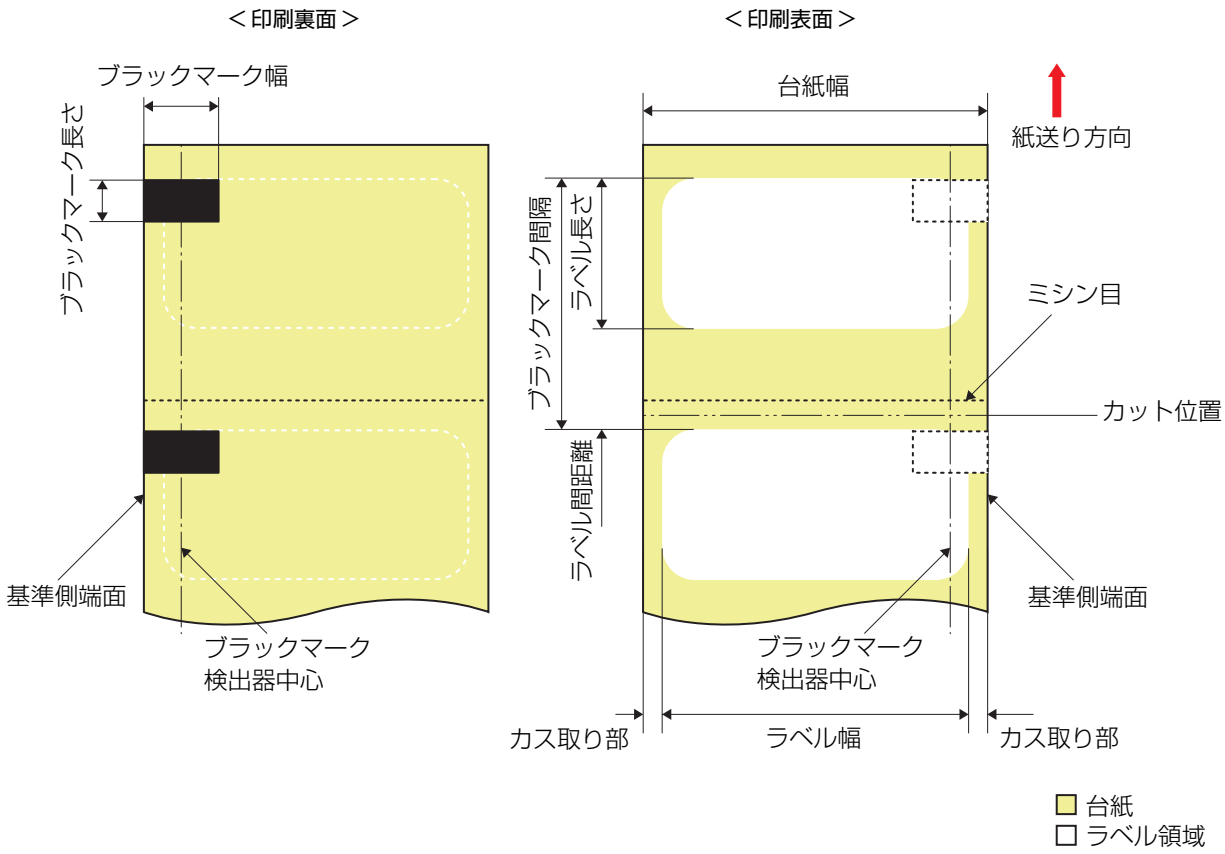
□ ラベル領域

形状	普通紙
用紙幅	25.4 ～ 112 mm
用紙厚	0.119 ～ 0.135 mm
許容折数	750 折以下
ミシン目間隔	152.4 ～ 304.8 mm（6 インチ～ 12 インチ）
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上
ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：8 ～ 304.8 mm オートカット使用時：15 ～ 304.8 mm
ミシン目形状	端面にカット部分があっても使用可能

*1: ブラックマーク間隔の余白領域へブラックマークは配置できません。

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.8 mm 以上離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より 2.5 mm 以上離してください。
- カット位置は、次に印刷するラベルのブラックマーク位置より 1.7 mm 以上離してください。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。
- 高温高湿環境下で用紙をセットしたまま放置すると、紙にしわが発生し印刷品質の低下や用紙づまりする可能性があります。

ファンフォールド紙 ダイカットラベル(ブラックマーク基準)



形状	ファンフォールド紙
台紙幅	25.4 ～ 112 mm
ラベル幅	21.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	オートカット未使用時：8 ～ 301.8 mm（最大 11.9 インチ） オートカット使用時：15 ～ 301.8 mm（最大 11.9 インチ）
ラベル間距離	オートカット未使用時：2 ～ 6 mm オートカット使用時：3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
許容折数	750 折以下
ミシン目間隔	152.4 ～ 304.8 mm（6 インチ～ 12 インチ）
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上

ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：10 ～ 307.8 mm オートカット使用時：18 ～ 307.8 mm
ミシン目ピッチ	3:1（カット : アンカット）
ミシン目形状	端面にカット部分があっても使用可能

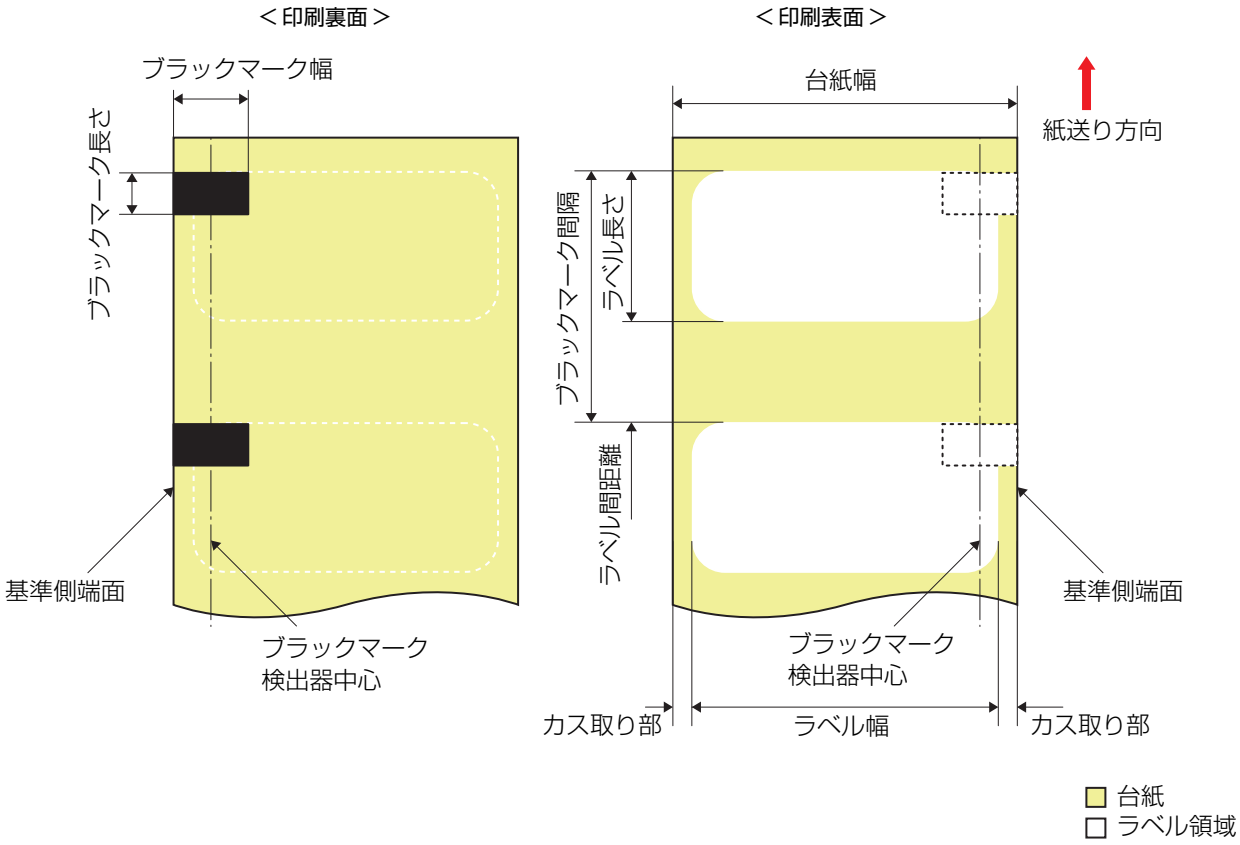
*1: ブラックマーク間隔の余白領域へブラックマークは配置できません。



- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.8 mm 以上離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より 2.5 mm 以上離してください。
- カット位置は、次に印刷するラベルのブラックマーク位置より 1.7 mm 以上離してください。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。

CW-C6020P(4 インチ・ピーラーモデル)の場合

ロール紙 ダイカットラベル(ブラックマーク基準)



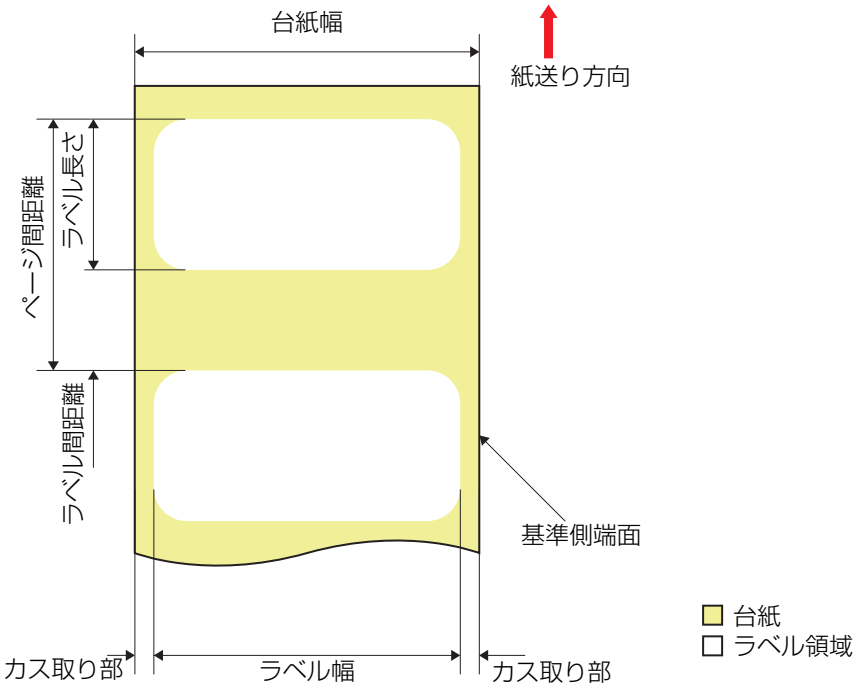
形状	ロール紙
台紙幅	50.8 ～ 112 mm
ラベル幅	46.8 ～ 108 mm
ラベル長さ	ピーラー未使用時：8 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ） ピーラー使用時：12.7 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ）
ラベル間距離	2 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ203.2 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上

ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上
ブラックマーク間隔	ピーラー未使用時：10 ～ 615.6 mm ピーラー使用時：14.7 ～ 615.6 mm



- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。
- ミシン目のある用紙は使用できません。ミシン目が切れたり、紙詰まりが発生するおそれがあります。
- ダイカット型抜きの刃が深く入った場合、ラベルが台紙から剥がれにくくなるためピーラーで剥離できない場合があります。

ロール紙 ダイカットラベル(ブラックマークなし)

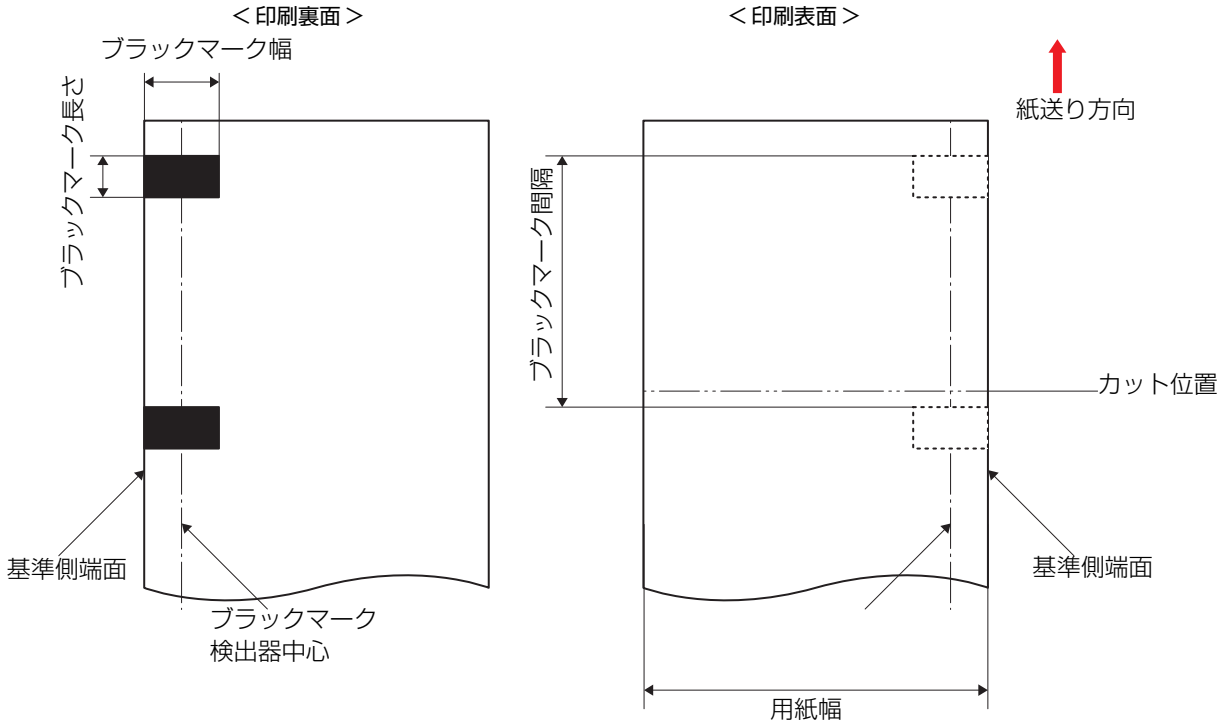


形状	ロール紙
台紙幅	50.8 ～ 112 mm
ラベル幅	46.8 ～ 108 mm
ラベル長さ	ピーラー未使用時：8 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ） ピーラー使用時：12.7 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ）
ラベル間距離	2 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ203.2 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。
- ミシン目のある用紙は使用できません。 ミシン目が切れたり、 紙詰まりが発生するおそれがあります。
- ダイカット型抜きの刃が深く入った場合、ラベルが台紙から剥がれにくくなるためピーラーで剥離できない場合があります。

CW-C6520A(8 インチ・オートカッターモデル)の場合

ロール紙 / 連続紙(ブラックマーク基準)



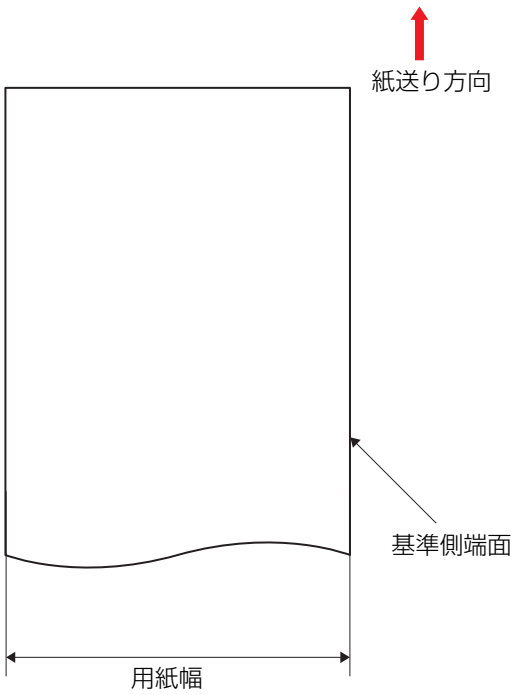
□ ラベル領域

形状	普通紙
用紙幅	25.4 ～ 215.9 mm
用紙厚	0.119 ～ 0.135 mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ152.4 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上
ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：8 ～ 615.6 mm オートカット使用時：15 ～ 615.6 mm

*1: ブラックマーク間隔の余白領域へブラックマークは配置できません。

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- カット位置は次の印刷領域のブラックマーク位置より 1.7 mm 以上離してください。
- 先頭となる印刷開始位置は、用紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。
- 高温高湿環境下で用紙をセットしたまま放置すると、紙にしわが発生し印刷品質の低下や用紙づまりする可能性があります。

ロール紙 連続紙



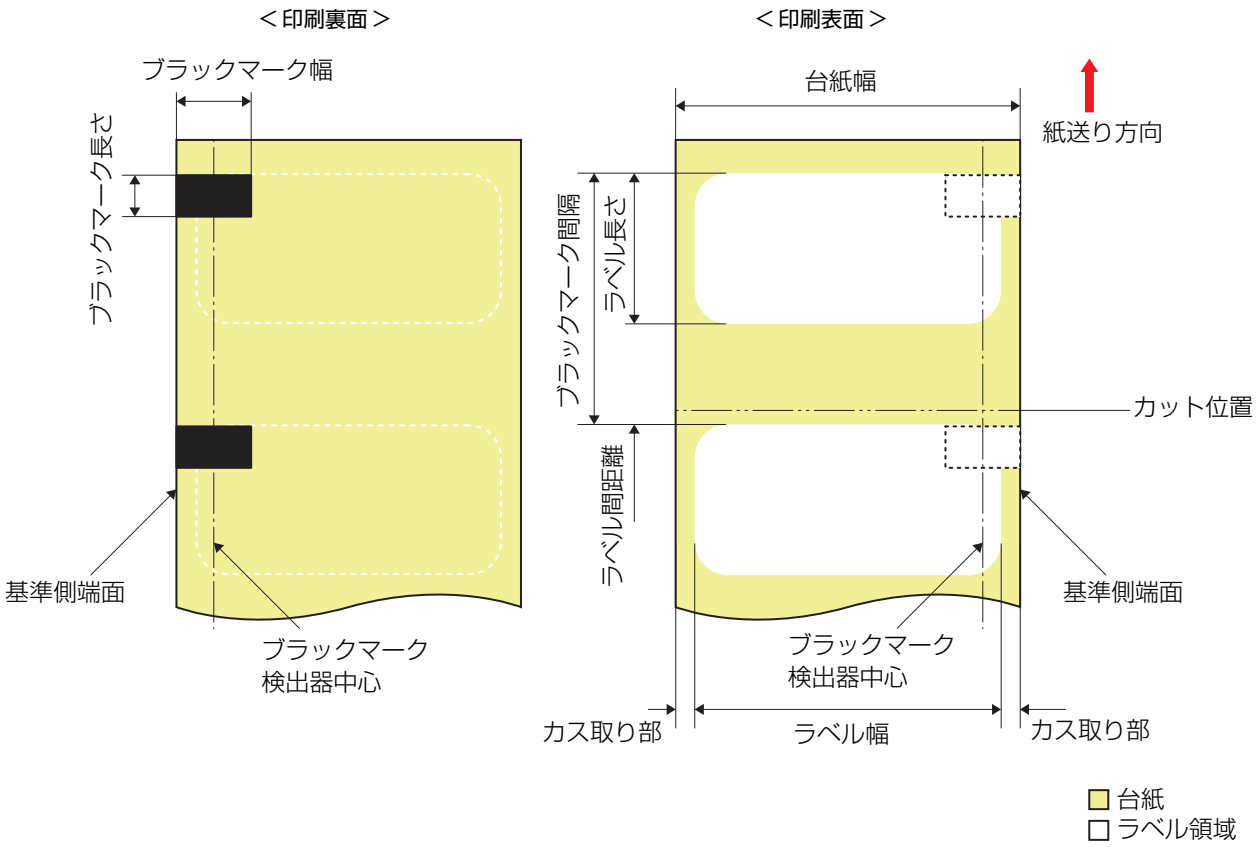
□ ラベル領域

形状	普通紙
用紙幅	25.4 ～ 215.9 mm
用紙厚	0.119 ～ 0.135 mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ152.4 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上
ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：8 ～ 615.6 mm オートカット使用時：15 ～ 615.6 mm

*1: ブラックマーク間隔の余白領域へブラックマークは配置できません。

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- 先頭となる印刷開始位置は、用紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。
- 高温高湿環境下で用紙をセットしたまま放置すると、紙にしわが発生し印刷品質の低下や用紙づまりする可能性があります。

ロール紙 ダイカットラベル(ブラックマーク基準)



形状	ロール紙
台紙幅	25.4 ～ 215.9 mm
ラベル幅	21.4 ～ 211.9 mm
ラベル長さ	オートカット未使用時：8 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ） オートカット使用時：15 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ）
ラベル間距離	オートカット未使用時：2 ～ 6 mm オートカット使用時：2.5 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ152.4 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上

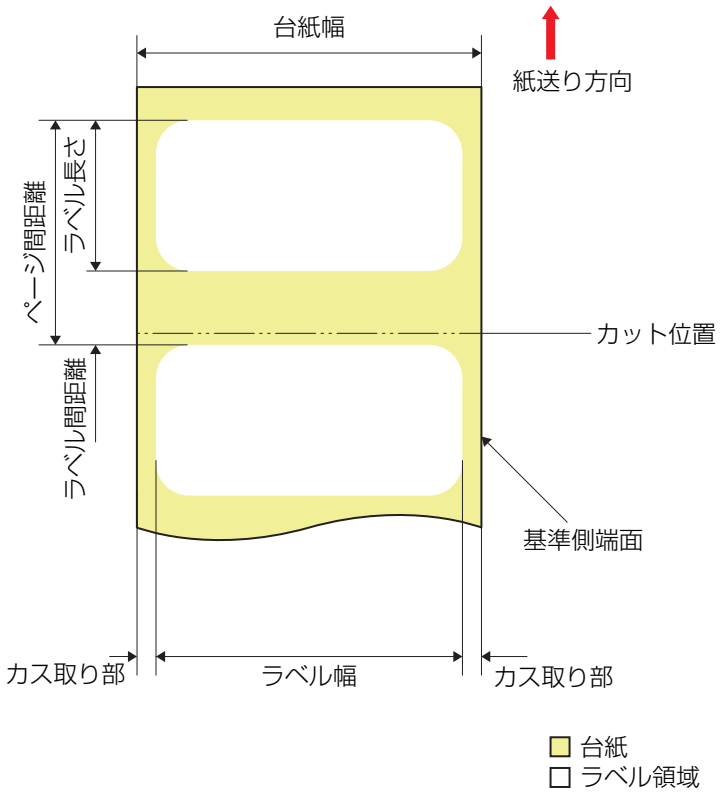
ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：10 ～ 615.6 mm オートカット使用時：18 ～ 615.6 mm

*1: ブラックマーク間隔の余白領域へブラックマークは配置できません。



- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- カット位置は、次に印刷するラベルのブラックマーク位置より 1.7 mm 以上離してください。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。

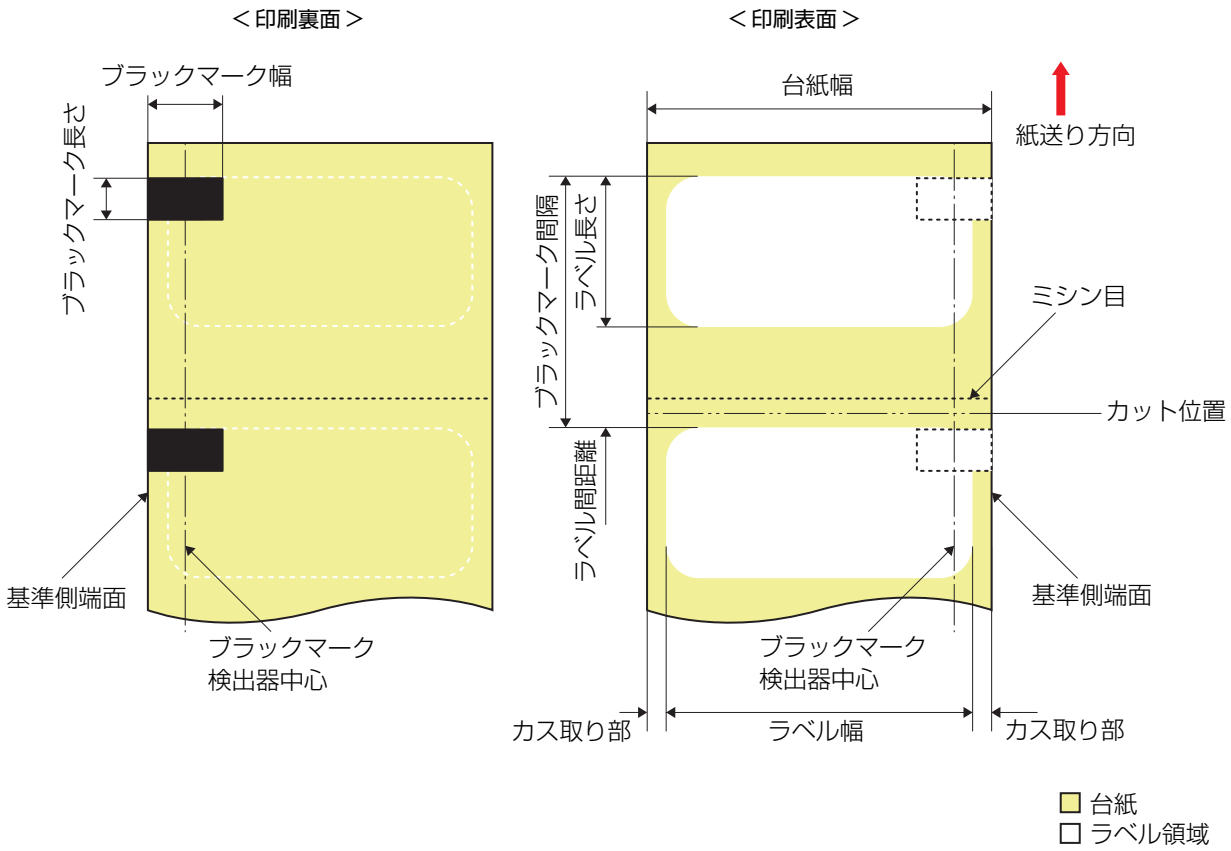
ロール紙 ダイカットラベル(ブラックマークなし)



形状	ロール紙
台紙幅	25.4 ～ 215.9 mm
ラベル幅	21.4 ～ 211.9 mm
ラベル長さ	オートカット未使用時：8 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ） オートカット使用時：15 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ）
ラベル間距離	2 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ152.4 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- カット位置は、次に印刷するラベルの先端より 0.7 mm 以上離してください。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。

ロール紙 ミシン目付きダイカットラベル(ブラックマーク基準)



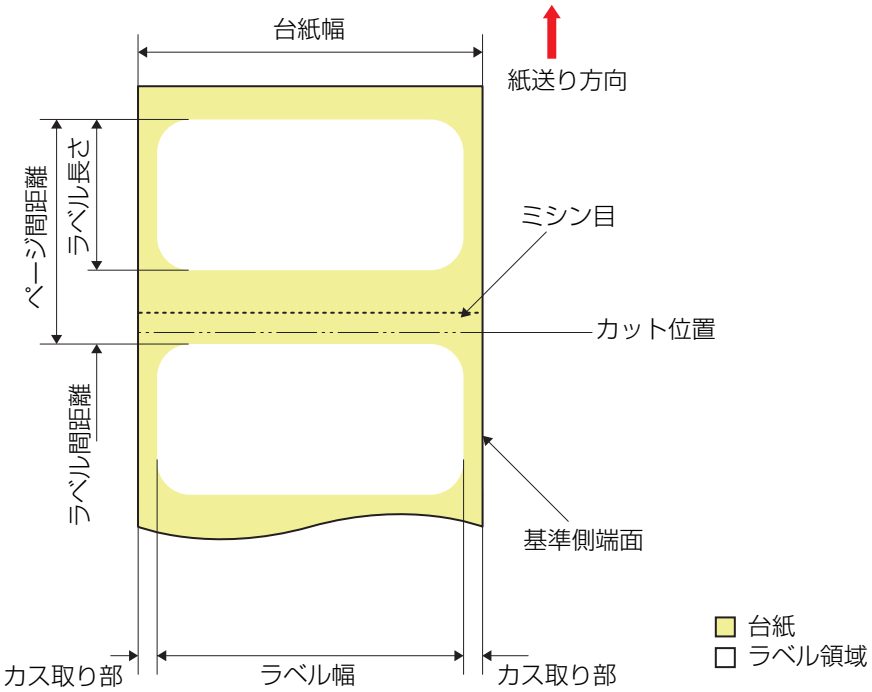
形状	ロール紙
台紙幅	25.4 ～ 215.9 mm
ラベル幅	21.4 ～ 211.9 mm
ラベル長さ	オートカット未使用時：8 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ） オートカット使用時：15 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ）
ラベル間距離	オートカット未使用時：2 ～ 6 mm オートカット使用時：3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ152.4 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上

ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上
ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：10 ～ 615.6 mm オートカット使用時：18 ～ 615.6 mm
ミシン目ピッチ	3:1（カット : アンカット）
ミシン目形状	端面にカット部分があっても使用可能

*1: ブラックマーク間隔の余白領域へブラックマークは配置できません。

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.8 mm 以上離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より 2.5 mm 以上離してください。
- カット位置は、次に印刷するラベルのブラックマーク位置より 1.7 mm 以上離してください。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。

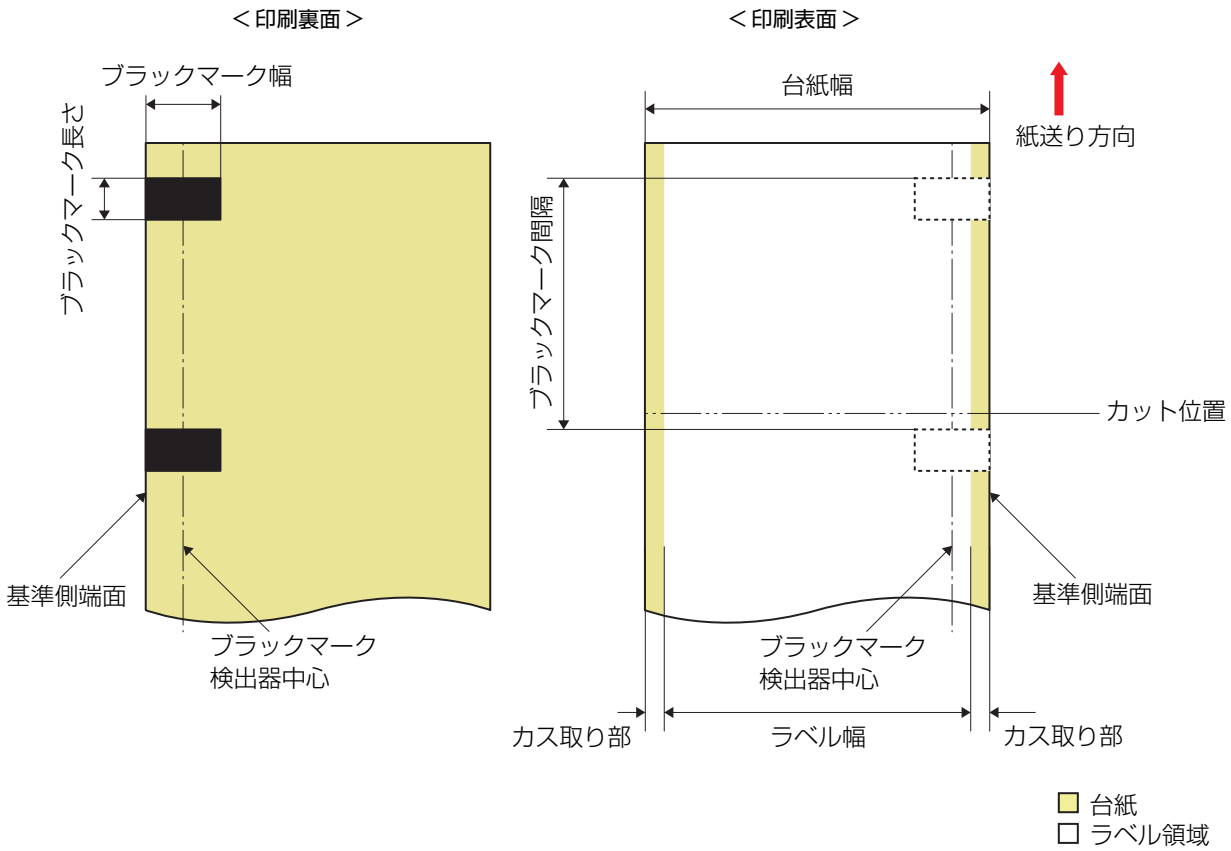
ロール紙 ミシン目付きダイカットラベル(ブラックマークなし)



形状	ロール紙
台紙幅	25.4 ～ 215.9 mm
ラベル幅	21.4 ～ 211.9 mm
ラベル長さ	オートカット未使用時：8 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ） オートカット使用時：15 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ）
ラベル間距離	オートカット未使用時：2 ～ 6 mm オートカット使用時：3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ152.4 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ミシン目ピッチ	3:1（カット : アンカット）
ミシン目形状	端面にカット部分があっても使用可能

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.8 mm 以上離してオートカットしてください。
- 次に印刷するラベルの先端はミシン目より 1.5 mm 以上離してください。
- カット位置は、次に印刷するラベルの先端より 0.7 mm 以上離してください。

ロール紙 全面ラベル(ブラックマーク基準)



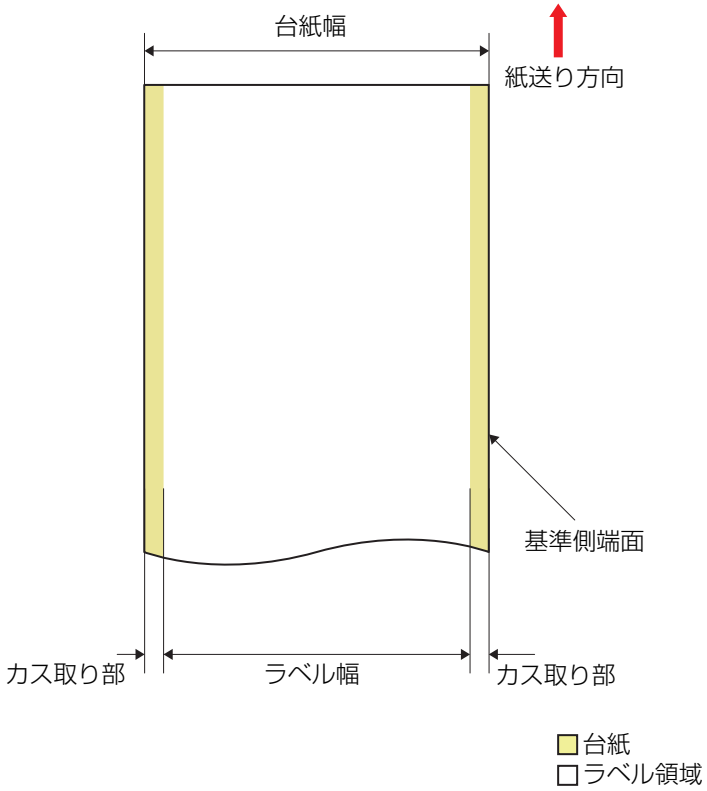
形状	ロール紙
台紙幅	25.4 ～ 215.9 mm
ラベル幅	カス取りなし：25.4 ～ 215.9 mm カス取りあり：21.4 ～ 211.9 mm
ラベル長さ	－
ラベル間距離	－
左右カス取り部	カス取りなし：－ カス取りあり：2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	－
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ152.4 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上

ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：8 ～ 615.6 mm オートカット使用時：15 ～ 615.6 mm

*1: ブラックマーク間隔の余白領域へブラックマークは配置できません。

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- カット位置は、次に印刷するラベルのブラックマーク位置より 1.7 mm 以上離してください。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。

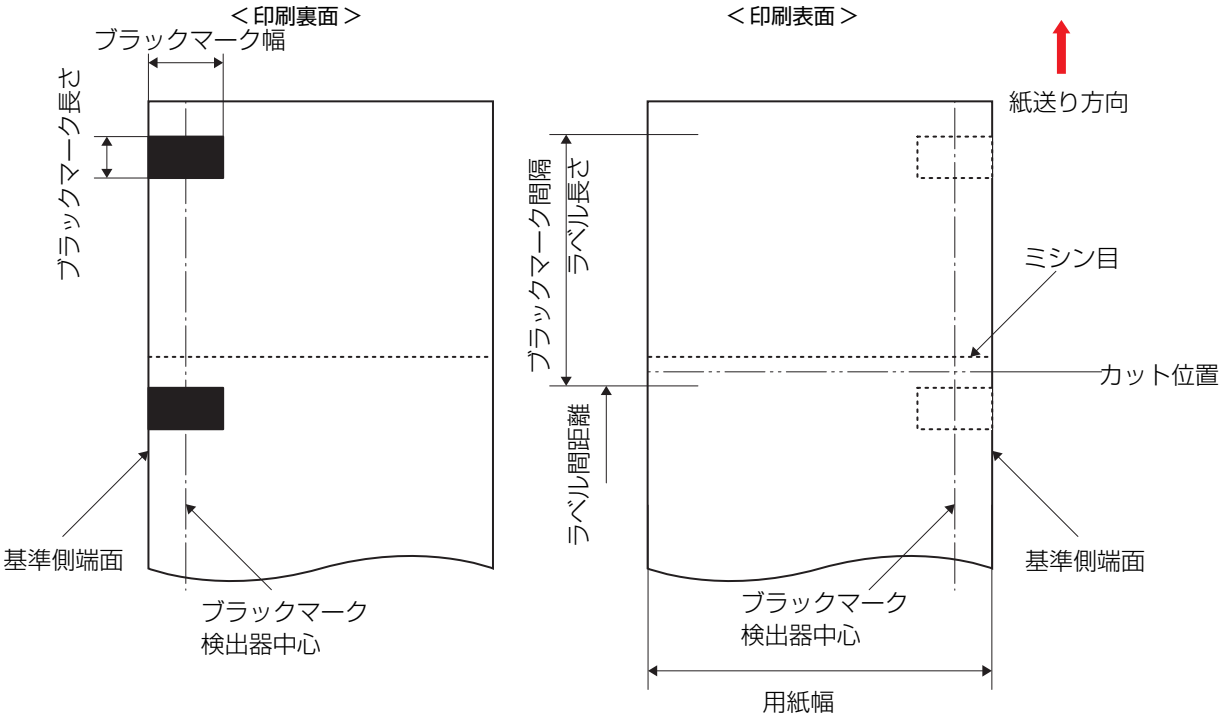
ロール紙 全面ラベル(ブラックマークなし)



形状	ロール紙
台紙幅	25.4 ～ 215.9 mm
ラベル幅	カス取りなし：25.4 ～ 215.9 mm カス取りあり：21.4 ～ 211.9 mm
ラベル長さ	−
ラベル間距離	−
左右カス取り部	カス取りなし：− カス取りあり：2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	−
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ152.4 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

ファンフォールド紙 連続紙(ブラックマーク基準)

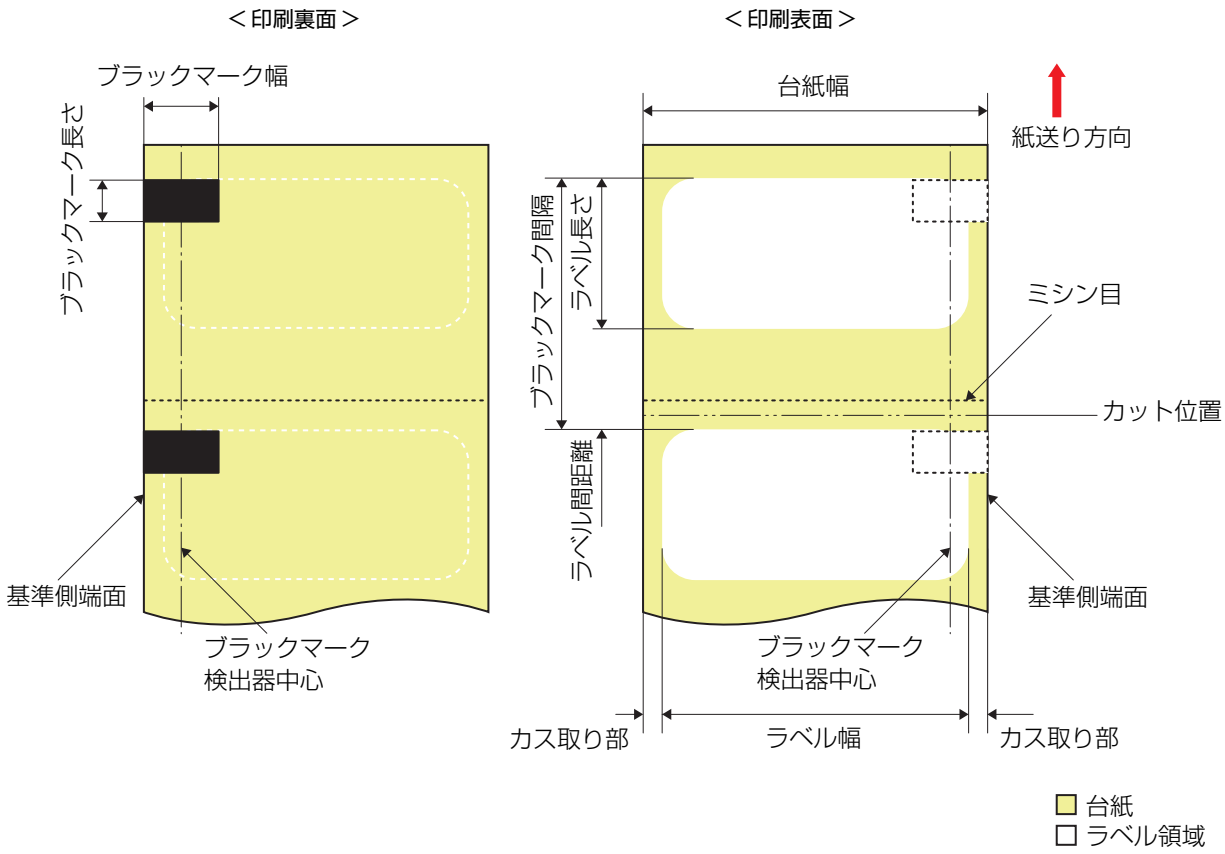


□ラベル領域

形状	普通紙
用紙幅	25.4 ～ 112 mm
用紙厚	0.119 ～ 0.135 mm
許容折数	750 折以下
ミシン目間隔	152.4 ～ 304.8 mm（6 インチ～ 12 インチ）
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上
ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：8 ～ 304.8 mm オートカット使用時：15 ～ 304.8 mm
ミシン目形状	端面にカット部分があっても使用可能

- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.8 mm 以上離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より 2.5 mm 以上離してください。カット位置は、次の印刷領域のブラックマーク位置より 1.7 mm 以上離してください。
- 先頭の印刷開始位置は、用紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。
- 高温高湿環境下で用紙をセットしたまま放置すると、紙にしわが発生し印刷品質の低下や用紙づまりする可能性があります。

ファンフォールド紙 ダイカットラベル(ブラックマーク基準)



形状	ファンフォールド紙
台紙幅	25.4 ～ 215.9 mm
ラベル幅	21.4 ～ 211.9 mm
ラベル長さ	オートカット未使用時：8 ～ 301.8 mm（最大 11.9 インチ） オートカット使用時：15 ～ 301.8 mm（最大 11.9 インチ）
ラベル間距離	オートカット未使用時：2 ～ 6 mm オートカット使用時：3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
許容折数	750 折以下
ミシン目間隔	152.4 ～ 304.8 mm（6 インチ～ 12 インチ）
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上

ブラックマーク間隔 *1	オートカット未使用時：10 ～ 307.8 mm オートカット使用時：18 ～ 307.8 mm
ミシン目ピッチ	3:1（カット : アンカット）
ミシン目形状	端面にカット部分があっても使用可能

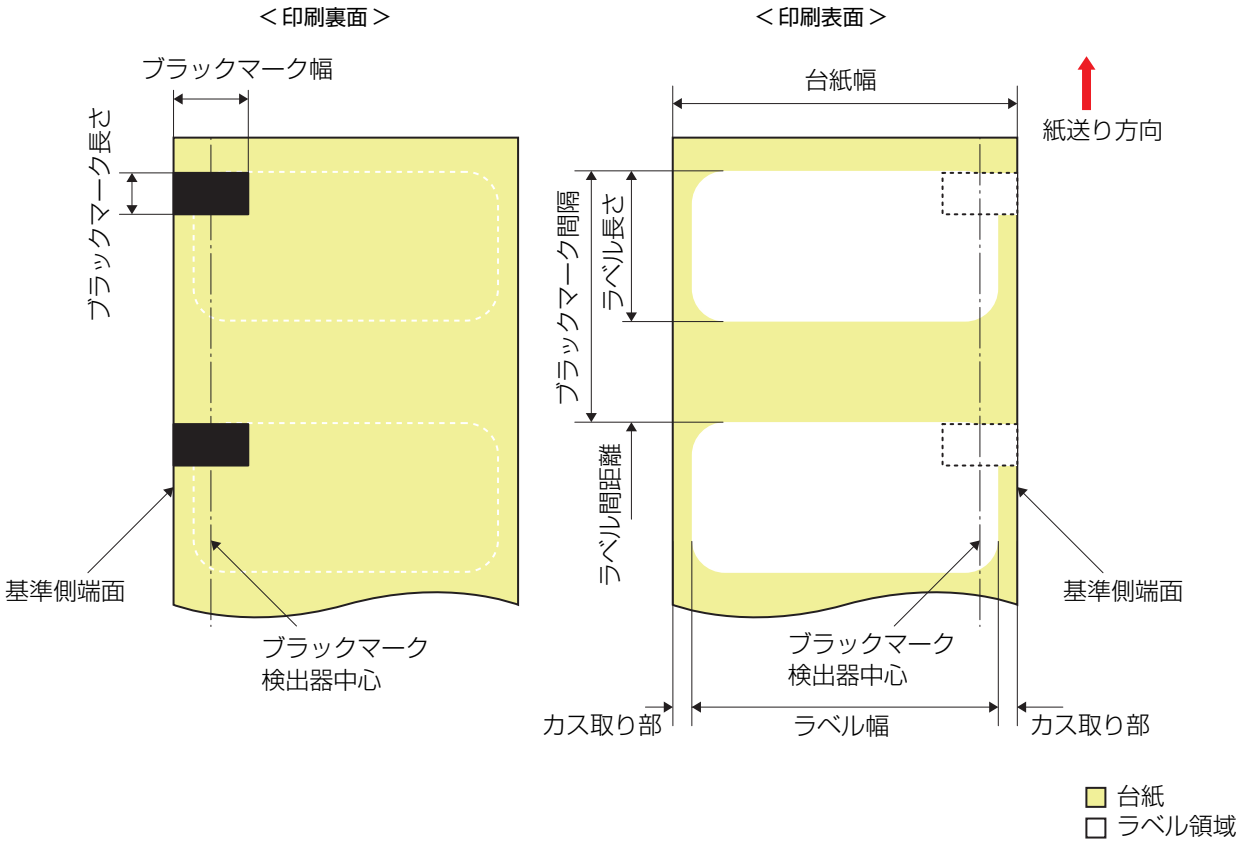
*1: ブラックマーク間隔の余白領域へブラックマークは配置できません。



- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.8 mm 以上離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より 2.5 mm 以上離してください。
- カット位置は、次に印刷するラベルのブラックマーク位置より 1.7 mm 以上離してください。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。

CW-C6520P(8 インチ・ピーラーモデル)の場合

ロール紙 ダイカットラベル(ブラックマーク基準)



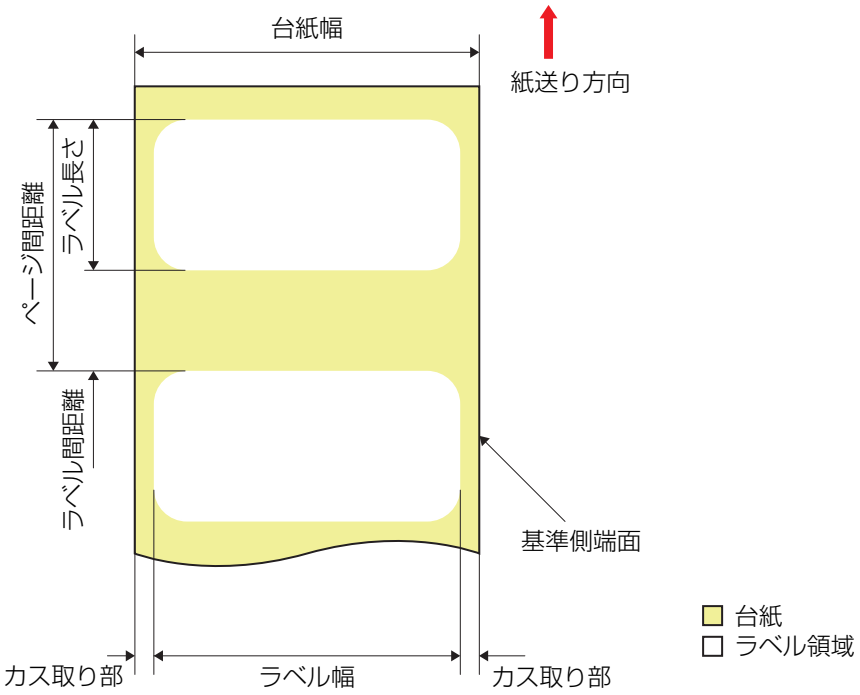
形状	ロール紙
台紙幅	50.8 ～ 215.9 mm
ラベル幅	46.8 ～ 211.9 mm
ラベル長さ	ピーラー未使用時：8 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ） ピーラー使用時：12.7 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ）
ラベル間距離	2 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ152.4 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)
ブラックマーク幅位置	基準側端面より：18.4 mm 以上の範囲
ブラックマーク幅	18.4 mm 以上

ブラックマーク長さ	4 mm 以上 25.4 mm 以下、ラベル空白部 4 mm 以上
ブラックマーク間隔	ピーラー未使用時：10 ～ 615.6 mm ピーラー使用時：14.7 ～ 615.6 mm



- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。
- ミシン目のある用紙は使用できません。ミシン目が切れたり、紙詰まりが発生するおそれがあります。
- ダイカット型抜きの刃が深く入った場合、ラベルが台紙から剥がれにくくなるためピーラーで剥離できない場合があります。

ロール紙 ダイカットラベル(ブラックマークなし)

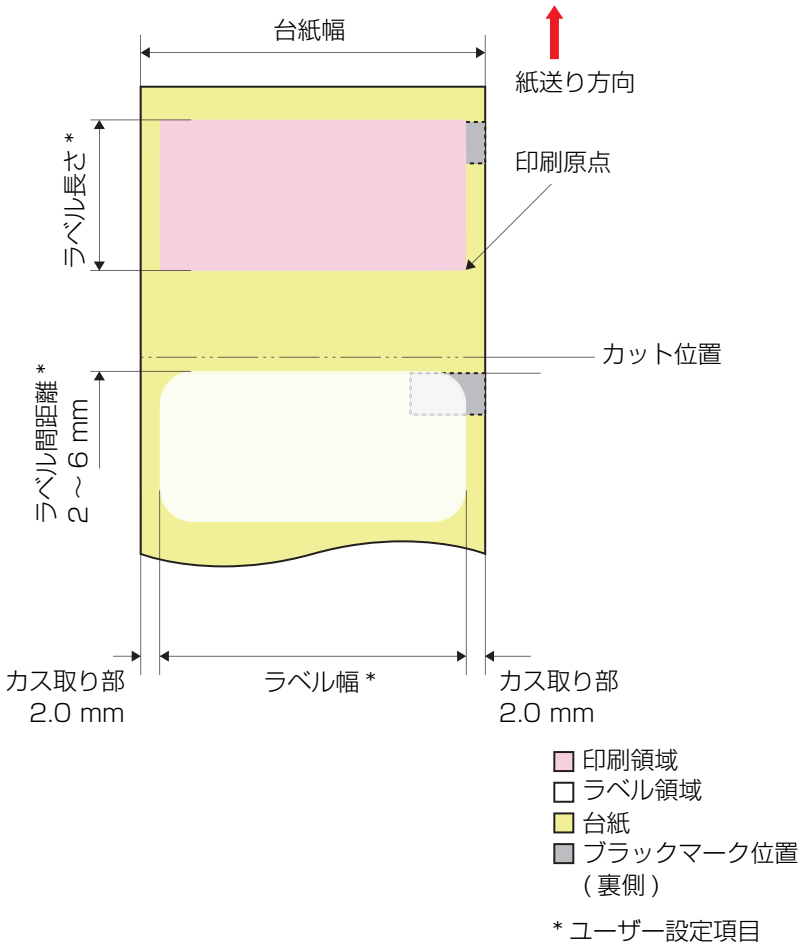


形状	ロール紙
台紙幅	50.8 ～ 215.9 mm
ラベル幅	46.8 ～ 211.9 mm
ラベル長さ	ピーラー未使用時：8 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ） ピーラー使用時：12.7 ～ 609.6 mm（最大 24 インチ）
ラベル間距離	2 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
用紙厚	普通紙／マット紙／合成紙／上質紙／光沢紙／光沢フィルム／高光沢紙 0.12 ～ 0.24mm
巻芯内径	φ76.2 ± 0.5 mm
ロール外径	φ152.4 mm 以下
巻き方向	印刷面を外側巻き (内巻き不可)

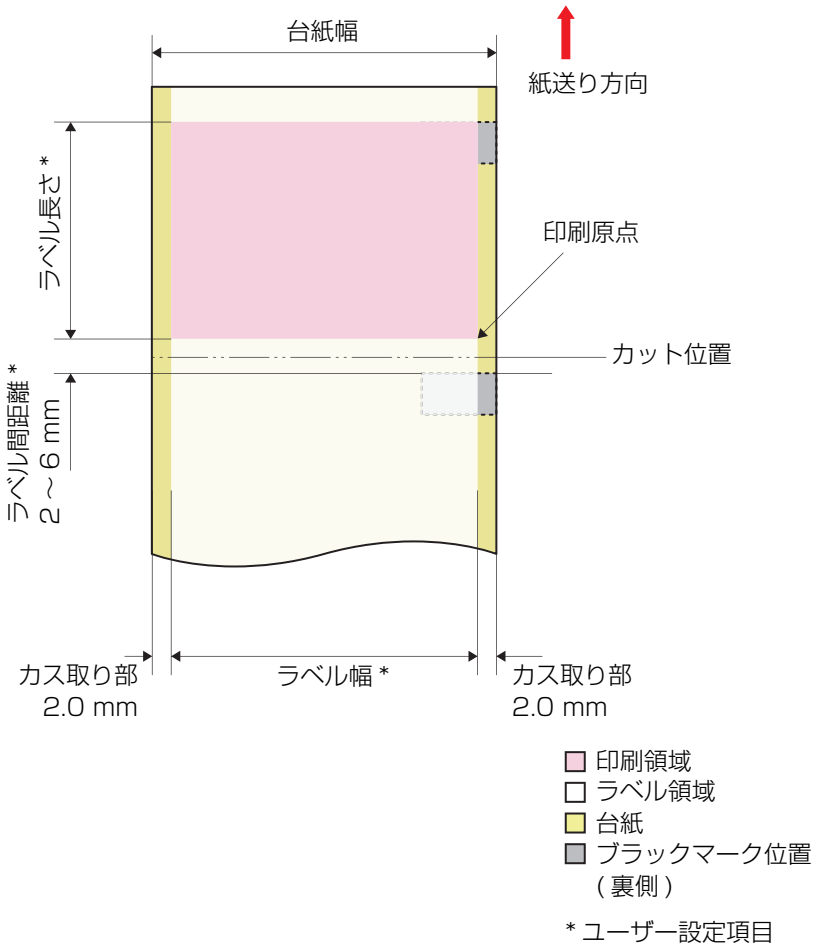
- ラベルまたは台紙に穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- 先頭のラベルの開始位置は、台紙の先端より 1.5 mm 以上離してください。
- ミシン目のある用紙は使用できません。ミシン目が切れたり、紙詰まりが発生するおそれがあります。
- ダイカット型抜きの刃が深く入った場合、ラベルが台紙から剥がれにくくなるためピーラーで剥離できない場合があります。

印刷領域

ダイカットラベル(ブラックマーク基準)、ダイカットラベル(ブラックマークなし)

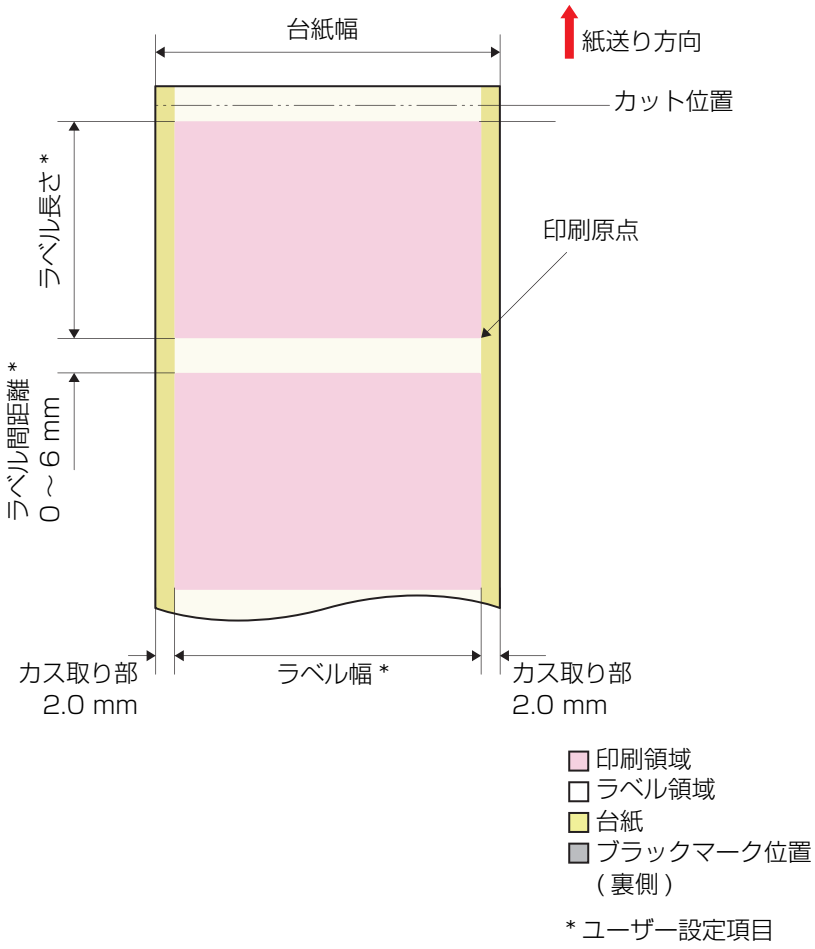


全面ラベル(ブラックマーク基準)



* ユーザー設定項目

全面ラベル



* ユーザー設定項目

電気的仕様

項目		CW-C6020 シリーズ	CW-C6520 シリーズ
電源供給		電源コネクターによる電源供給	
定格電圧		100 ～ 240 V	
定格電流		0.9 A	
消費電力	動作時 *	100 V：平均 約 39.4 W 230 V：平均 約 38.6 W	100 V：平均 約 39.5 W 230 V：平均 約 38.7 W
	待機時	100 V：平均 約 7.51 W 230 V：平均 約 5.82 W	100 V：平均 約 7.51 W 230 V：平均 約 5.82 W
	電源オフ時	100 V：平均 約 0.08 W 230 V：平均 約 0.24 W	100 V：平均 約 0.08 W 230 V：平均 約 0.24 W

* 動作時は、弊社動作条件による

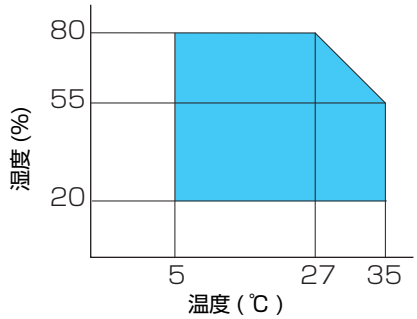
信頼性

寿命	本体	下記いずれか短い期間 • 5 年 • 200 km または 150 万ページ • キャリッジ 600 万パス • インク流路内バルブ動作回数 150 万回
	オートカッター機構	ダイカットラベル（普通紙）：150 万カット ダイカットラベル（マット紙）：150 万カット ダイカットラベル（合成紙）：50 万カット ダイカットラベル（上質紙）：50 万カット ダイカットラベル（光沢紙）：150 万カット ダイカットラベル（光沢フィルム）：150 万カット ダイカットラベル（高光沢紙）：150 万カット 全面ラベル（普通紙）：20 万カット 全面ラベル（マット紙）：20 万カット 全面ラベル（合成紙）：10 万カット 全面ラベル（上質紙）：10 万カット 全面ラベル（光沢紙）：30 万カット 全面ラベル（光沢フィルム）：10 万カット 全面ラベル（高光沢紙）：20 万カット



• 使用する用紙によって、信頼性が異なる場合があります。
• 用紙幅を狭い状態から広い状態へ変更すると、カッター刃の摩耗度の違いにより、信頼性は変わることがあります。

環境仕様

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="3">仕様</th></tr>
<tr><td rowspan="4">温度／湿度</td><td>印刷時</td><td colspan="3">5 ～ 35 °C、20 ～ 80 %RH 非結露（下図の網掛け領域）
 
</td></tr>
<tr><td>バーコード印刷時</td><td colspan="3">15 ～ 35°C、20 ～ 80%RH 非結露</td></tr>
<tr><td rowspan="3">保管時</td><td colspan="2">出荷梱包状態
（インク非充填）</td><td>-20 ～ 60 ℃、5 ～ 85%RH 非結露
(-20 ℃または 60 ℃の場合：120 時間以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">インク
充填状態</td><td>フォト
インク仕様</td><td>-15 ～ 40 ℃、20 ～ 85%RH 非結露
(-15 ℃の場合：120 時間以内)
(0 ～ 25 ℃の場合：6 か月以内)
(40 ℃の場合：1 か月以内)</td></tr>
<tr><td>マット
インク仕様</td><td>-10 ～ 40 ℃、20 ～ 85%RH 非結露
(-10 ℃の場合：120 時間以内)
(0 ～ 25 ℃の場合：6 か月以内)
(40 ℃の場合：1 か月以内)
インク抜きを行うことにより、-20 ℃までの保存を確保できる</td></tr>
<tr><td colspan="2">標高</td><td colspan="3">0 ～ 3000 m</td></tr>
<tr><td colspan="2">騒音</td><td colspan="3">オートカッターモデル：約 55 dB
ピーラーモデル：約 60 dB
弊社評価条件によります。</td></tr>
</table>

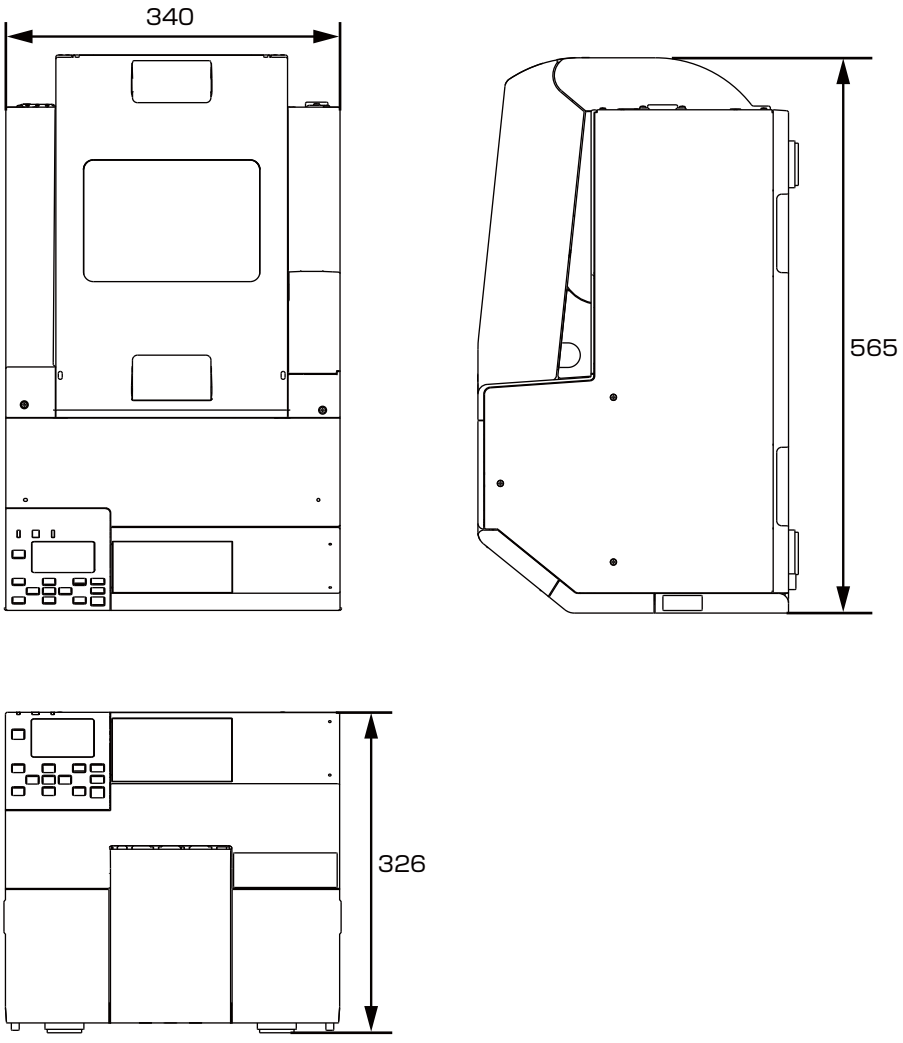
外形寸法

CW-C6020 シリーズ

■ 本体外形図

オートカッターモデル

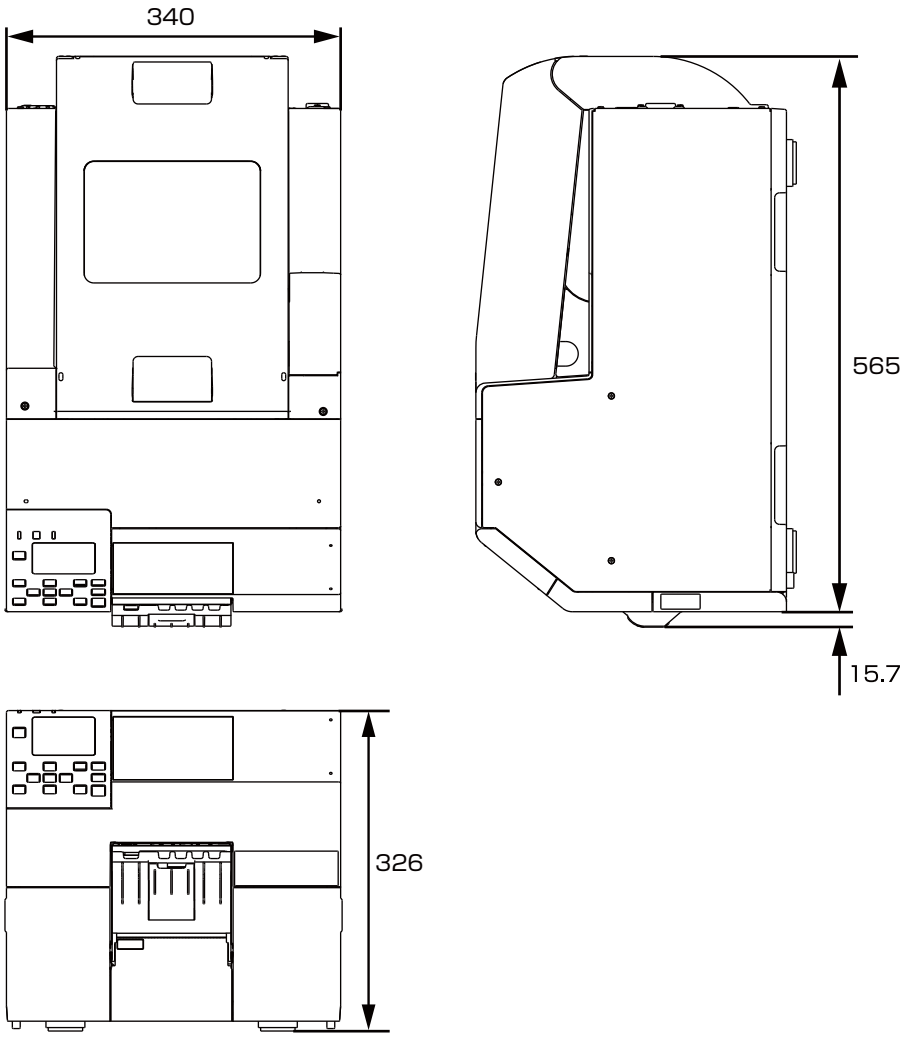
- 幅：　340 mm
- 奥行き：565 mm
- 高さ：　326 mm



[単位：mm]

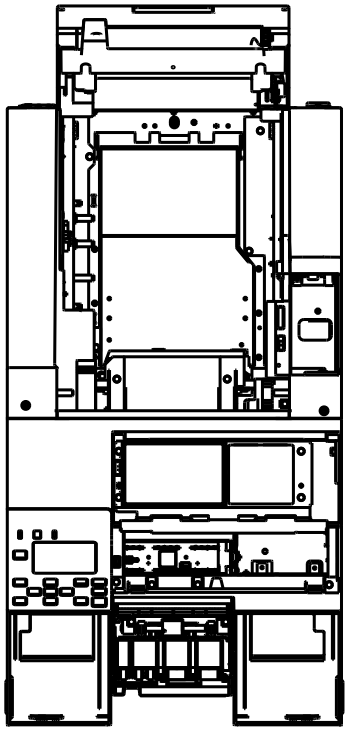
ピーラーモデル

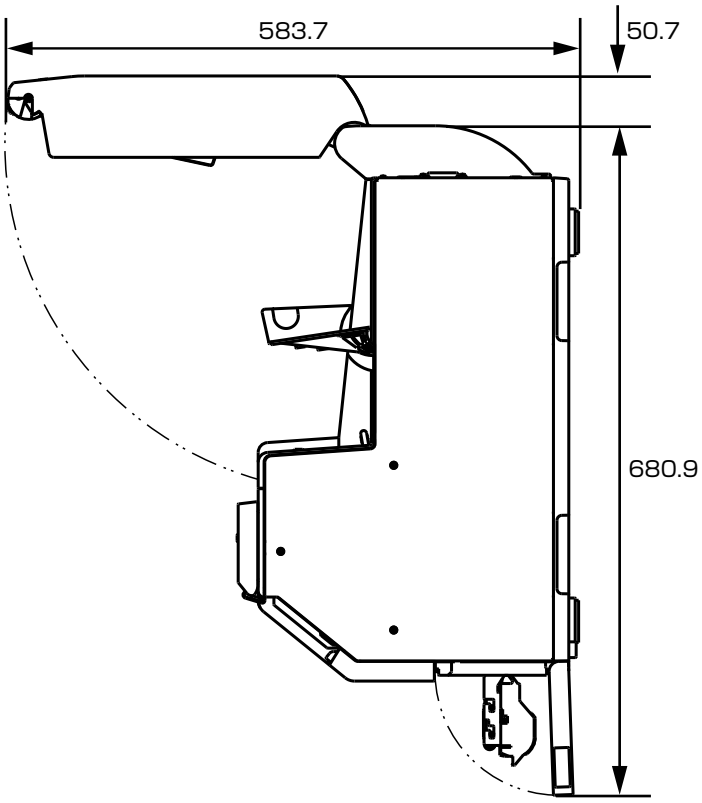
- 幅：　340 mm
- 奥行き：565 mm
- 高さ：　326 mm

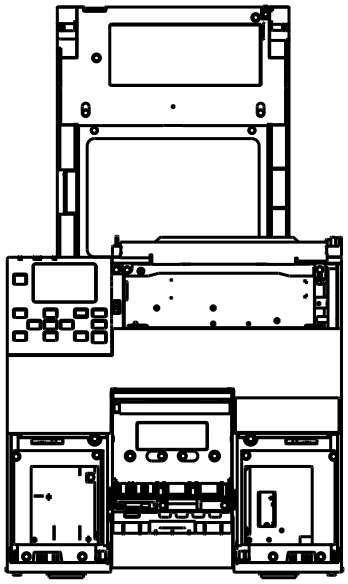


[単位：mm]

■ カバー 開口時 1

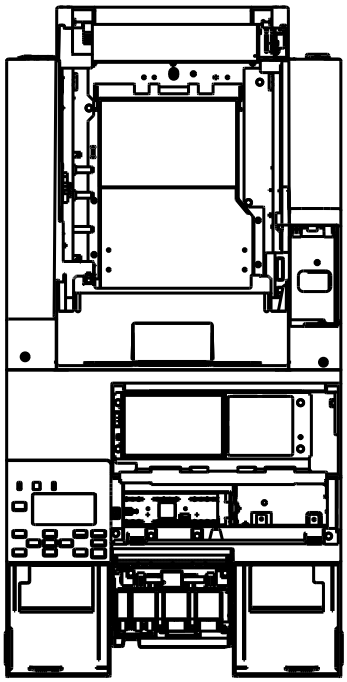


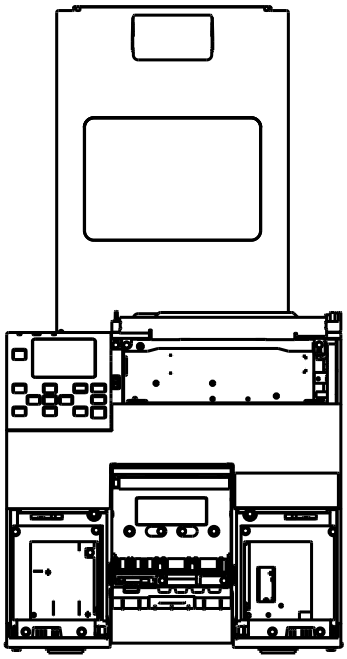


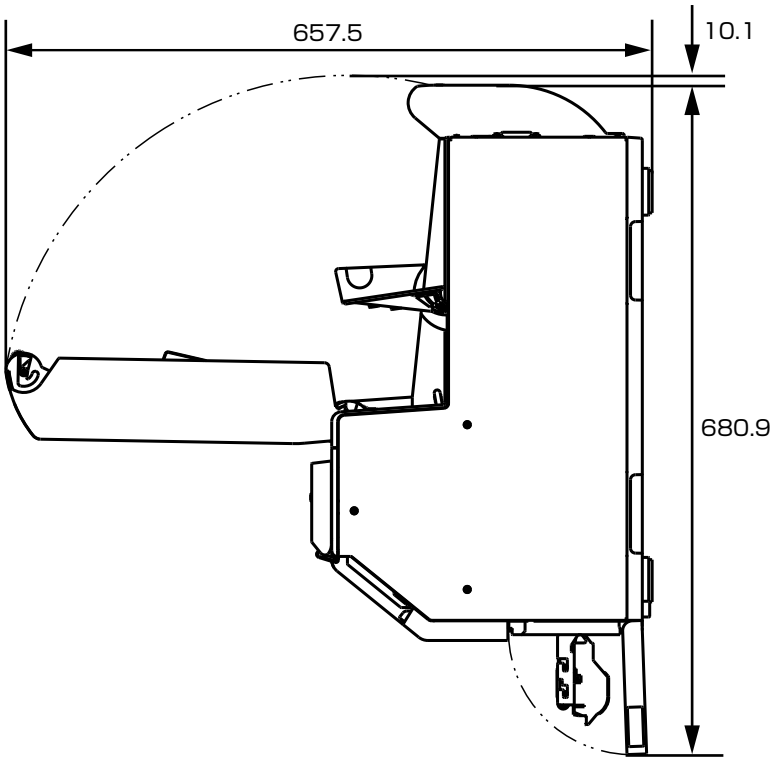


[単位：mm]

■ カバー 開口時 2







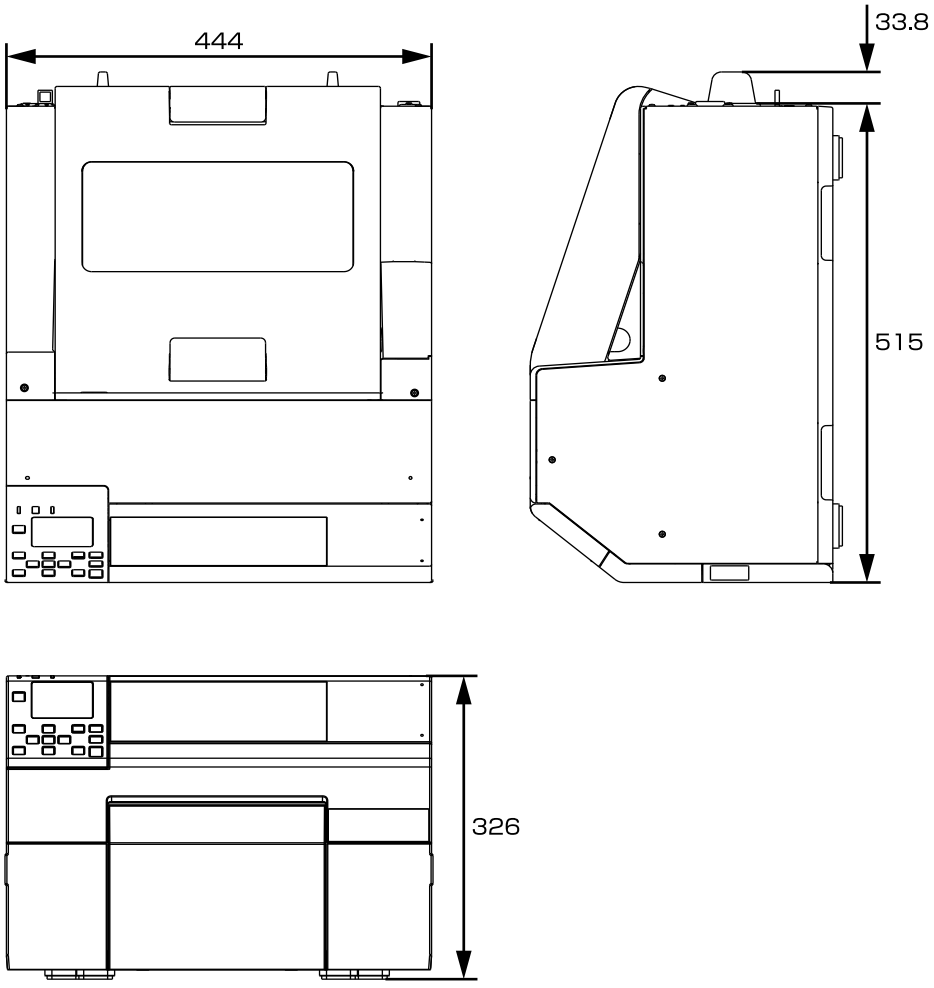
[単位 : mm]

CW-C6520 シリーズ

■ 本体外形図

オートカッターモデル

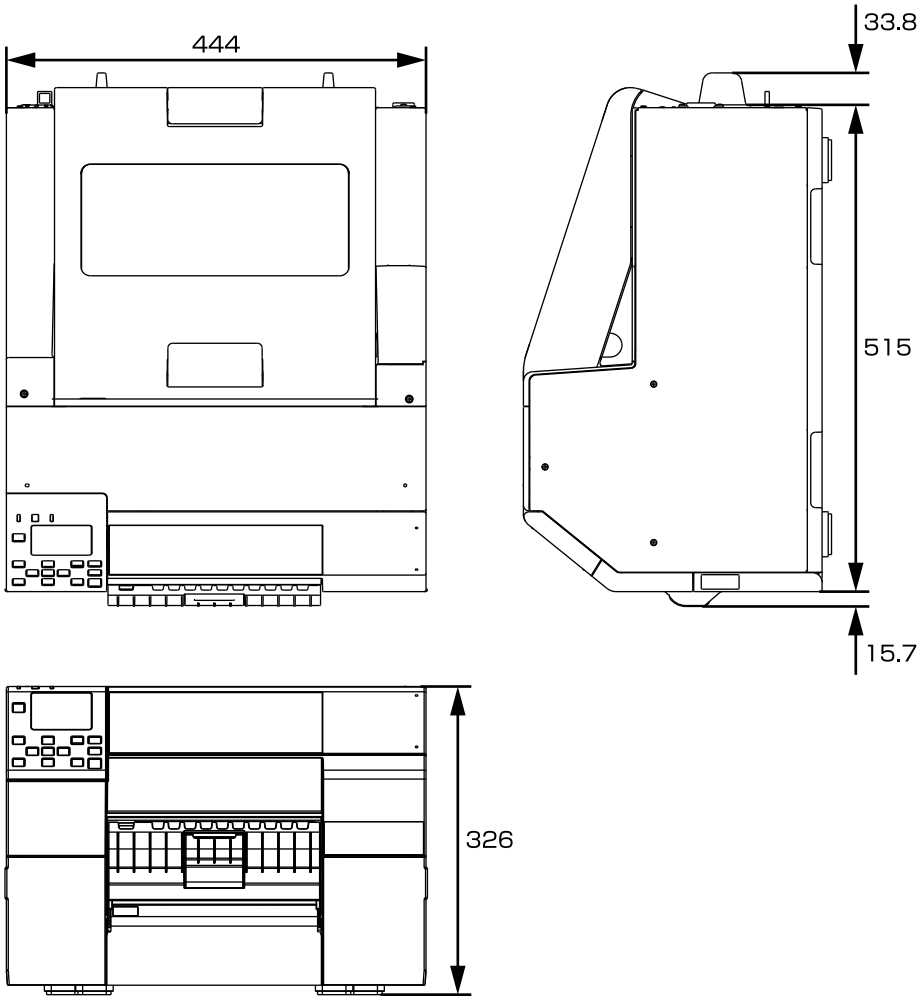
- 幅：　444 mm
- 奥行き：515 mm
- 高さ：　326 mm



[単位：mm]

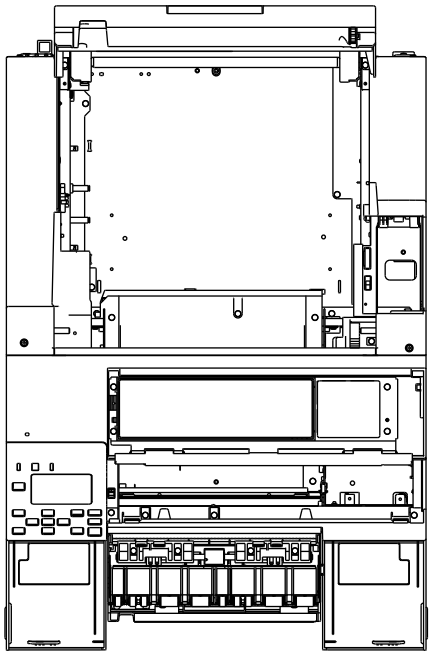
ピーラーモデル

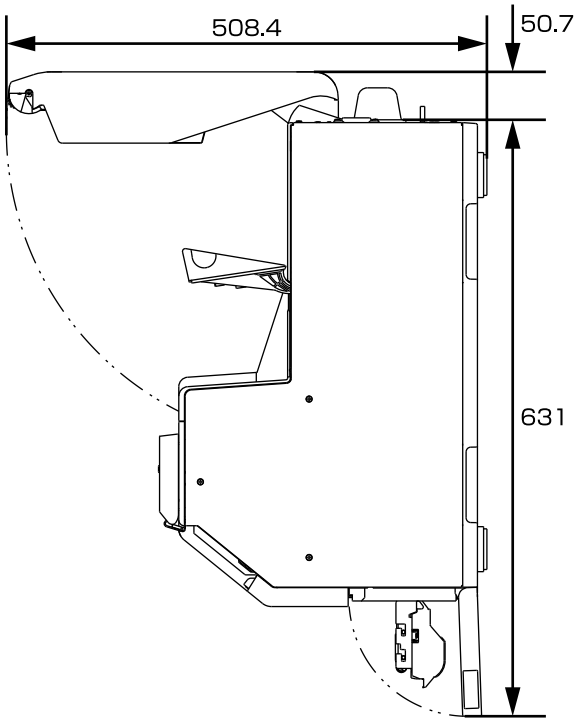
- 幅：　444 mm
- 奥行き：515 mm
- 高さ：　326 mm

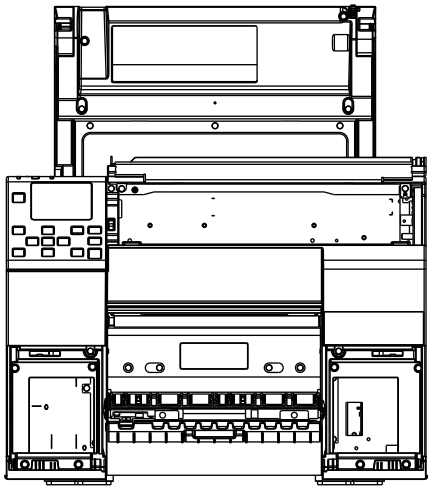


[単位：mm]

■ カバー 開口時 1

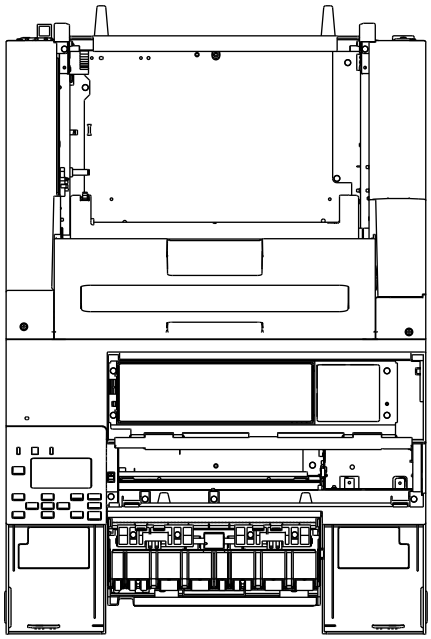


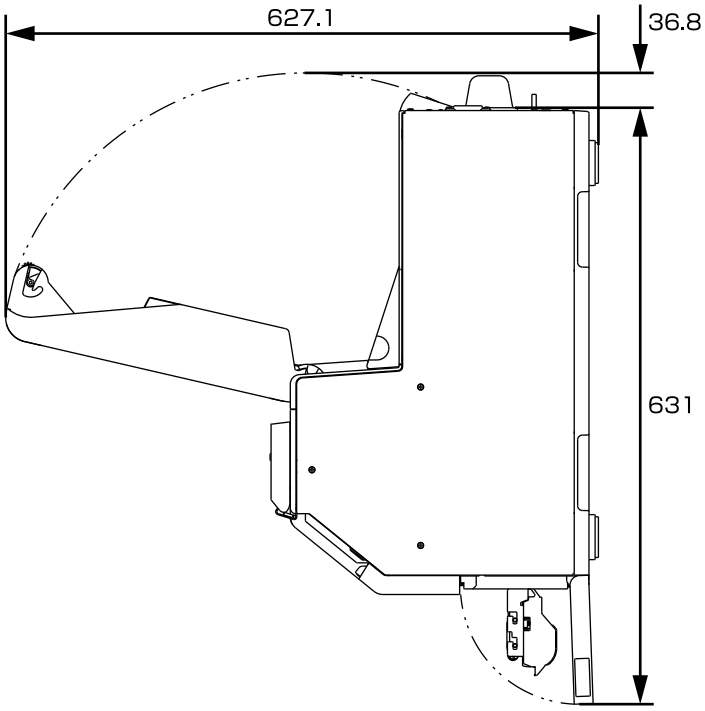


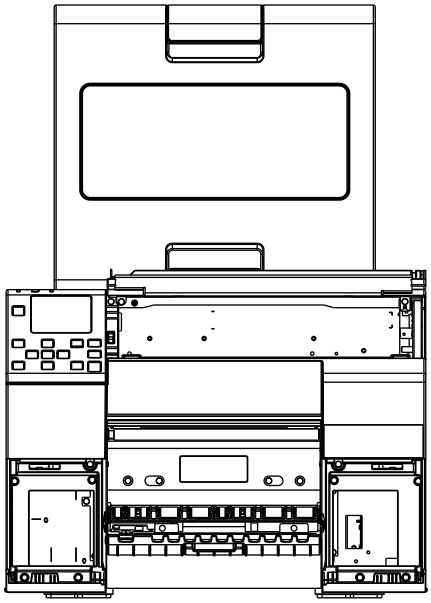


[単位：mm]

■ カバー 開口時 2







[単位 : mm]

消耗品仕様

インクカートリッジ

型番	CW-C6020A CW-C6020P CW-C6520A CW-C6520P	SJIC37P-BK/SJIC37P-MK*/SJIC37P-C/SJIC37P-M/SJIC37P-Y
形態		4 色インク別体型専用インクカートリッジ
インク色		ブラック（フォトインク（BK）、マットインク（MK）*）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）
インク種		顔料インク
有効期限		プリンター装着後 6ヵ月、使用期間を含め製造日から 3 年
保存温度	個装輸送時	-20 ～ 60 ℃ (60 ℃の場合、5 日以内)
	個装保存時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃の場合、1ヵ月以内)
	本体装着時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃の場合、1ヵ月以内)

* ブラックのマットインク（SJIC37P-MK）は、ファームウェアバージョン TS05JC、TS06JC、TS26JC、TS19K2、TS25K3、TS21K5 以外の製品で使用できます。

メンテナンスボックス

型番		SJMB6065
形態		廃液吸収材一体型メンテナンスボックス
保存温度	個装輸送時	-20 ～ 60 ℃ (60 ℃の場合、5 日以内)
	個装保存時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃の場合、1ヵ月以内)
	本体装着時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃の場合、1ヵ月以内)

オプション仕様

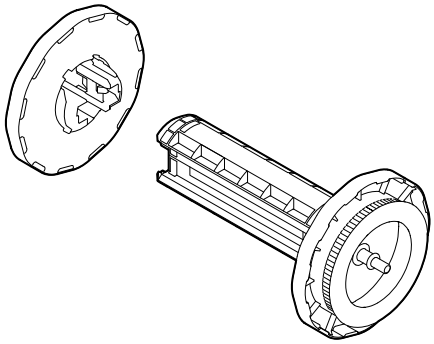
ロール紙ホルダー

スペアのロール紙ホルダーがオプションで用意されています。以下のような場合、スペアのロール紙ホルダーにあらかじめ用紙をセットしておくことで、ロール紙交換が素早く行えます。

- •異なるサイズ、材質のラベルを頻繁に入れ替えて使いたい場合
- •ロール紙交換によるダウンタイムを少なくしたい場合

型番：

- •Paper Holder C6000（CW-C6020A、CW-C6020P 用）
- •Paper Holder C6500（CW-C6520A、CW-C6520P 用）



項目	Paper Holder C6000	Paper Holder C6500
外形寸法 (H×W×D)	220×206×220 mm	175×310×175 mm
質量	0.65 kg	0.65 kg

外部装置仕様

本製品の設計は、内部供給するロール紙、もしくは外部供給するファンフォールド紙に印刷することを前提としています。
外部装置（用紙供給装置・用紙巻き取り装置）をお客様が自身で用意する場合は、以下の設定方法や仕様をよくお読みになり、十分な品質確認を実施したうえでご利用ください。

給紙方法の設定

本製品で用紙供給装置を使用する場合、[給紙方法] を外部供給（外部フィード）へ変更する必要があります。

プリンタードライバーから設定する場合

83 ページ「給紙方法・用紙検出の設定」を参照して［外部フィード］に設定してください。

操作パネルから設定する場合

[Menu] - [用紙設定] - [給紙方法] - [外部供給]

用紙送り速度

本製品の紙送り速度は以下の通りです。

印刷品質	最大紙送り速度
ドラフト	508mm/s
速い	508mm/s
普通	254mm/s
きれい	127mm/s
高精細	25.4mm/s
その他	254mm/s



- 「その他」は、Feed ボタン操作時などの連続送りの場合です。
- 最大紙送り速度は、印刷品質、送り長さにより自動で変化します。

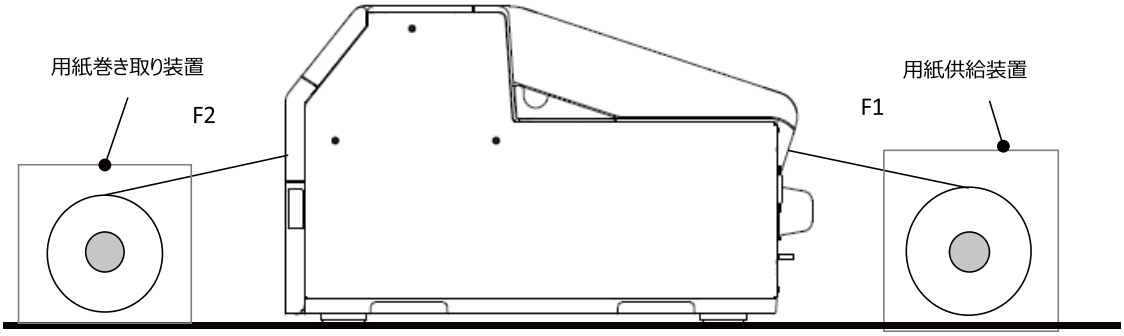
用紙張力

プリンターと、用紙供給装置や用紙巻き取り装置（または台紙巻き取り装置）の間に発生する用紙の張力（F1, F2）の許容値は以下の通りです。

重要

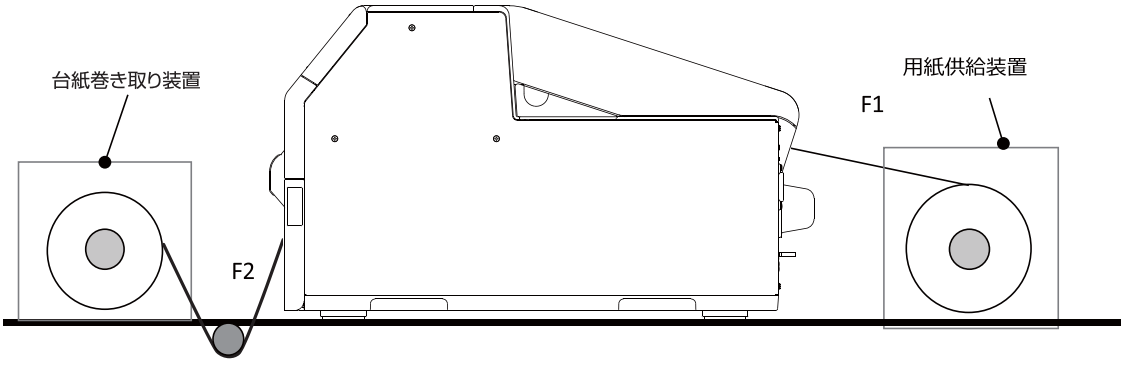
張力変動が大きいと紙送りピッチが乱れることがあります。

オートカッターモデルの場合



用紙供給装置側の用紙張力（F1）	2N 以下
用紙巻き取り装置側の用紙張力（F2）	2N 以下

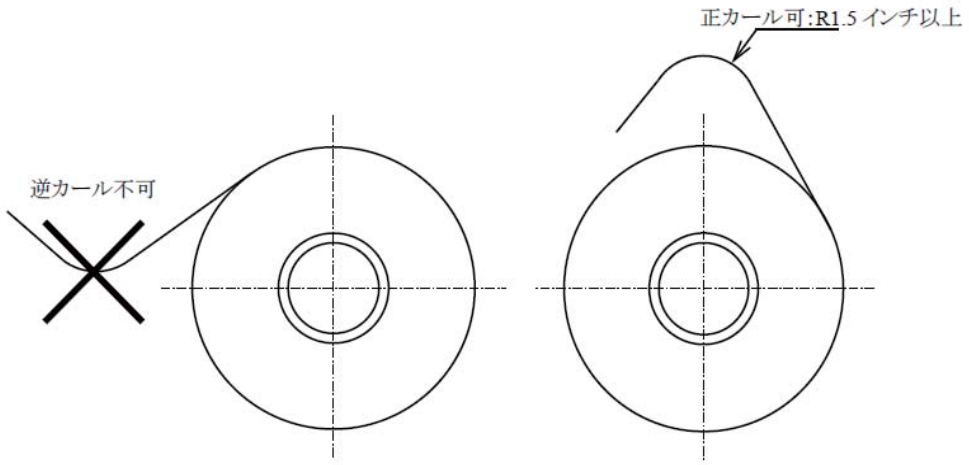
ピーラーモデルの場合



用紙供給装置側の用紙張力（F1）	2N 以下
台紙巻き取り装置側の用紙張力（F2）	1N 以下

用紙カール

用紙供給装置からプリンターへの紙経路は、以下の点に注意してください。
長期保存する場合、用紙に「逆カール」（ロール紙の巻き方向と逆方向のカール）が付かないように設置してください。
また、「正カール」（ロール紙の巻き方向と同じ方向のカール）についても、R1.5 インチ以下のカールが付かないように設置してください。



注意

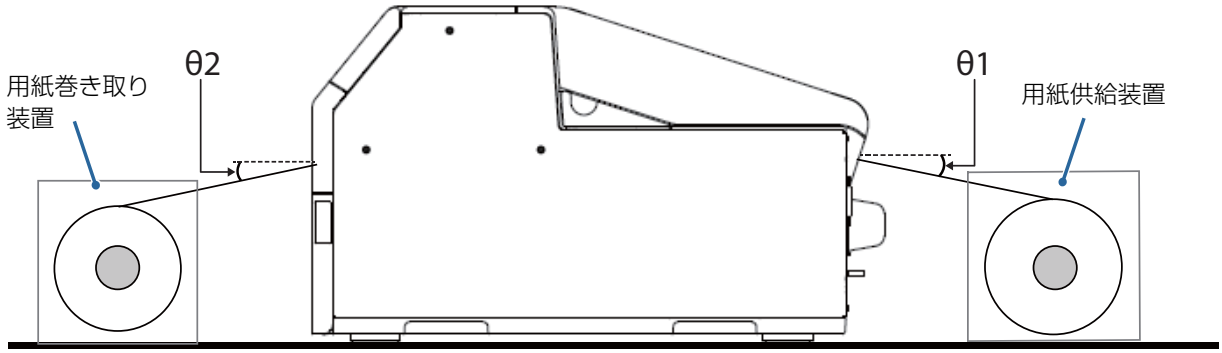
巻き芯の外径は 82mm 以上としてください。

用紙進入角･排出角

用紙供給装置からの用紙進入角度（θ1）と、用紙巻き取り装置への用紙排出角度（θ2）、および台紙巻き取り装置への排出角度（θ3）の許容値は以下の通りです。

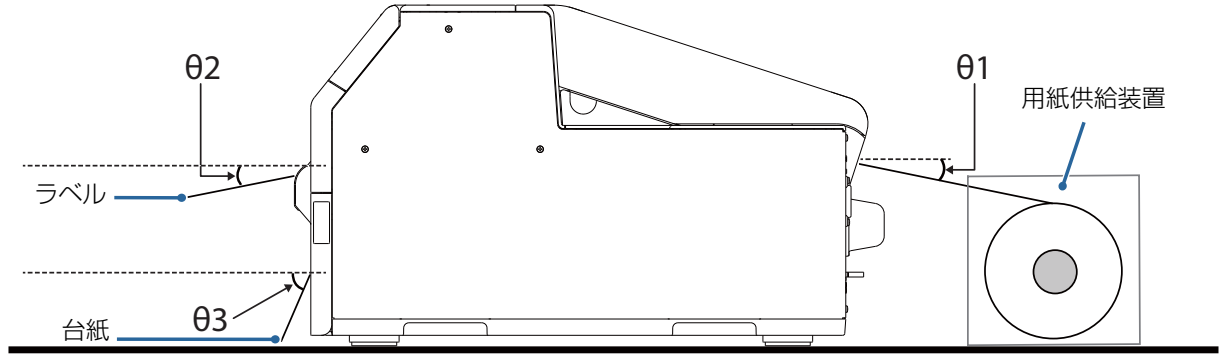
> **注意**
> 用紙の印刷面を各装置の外装に擦らないように配置してください。

オートカッターモデルの場合



用紙進入角：θ1	15° ≦ θ1 ≦ 30°
用紙排出角：θ2	0° ≦ θ2 ≦ 20°

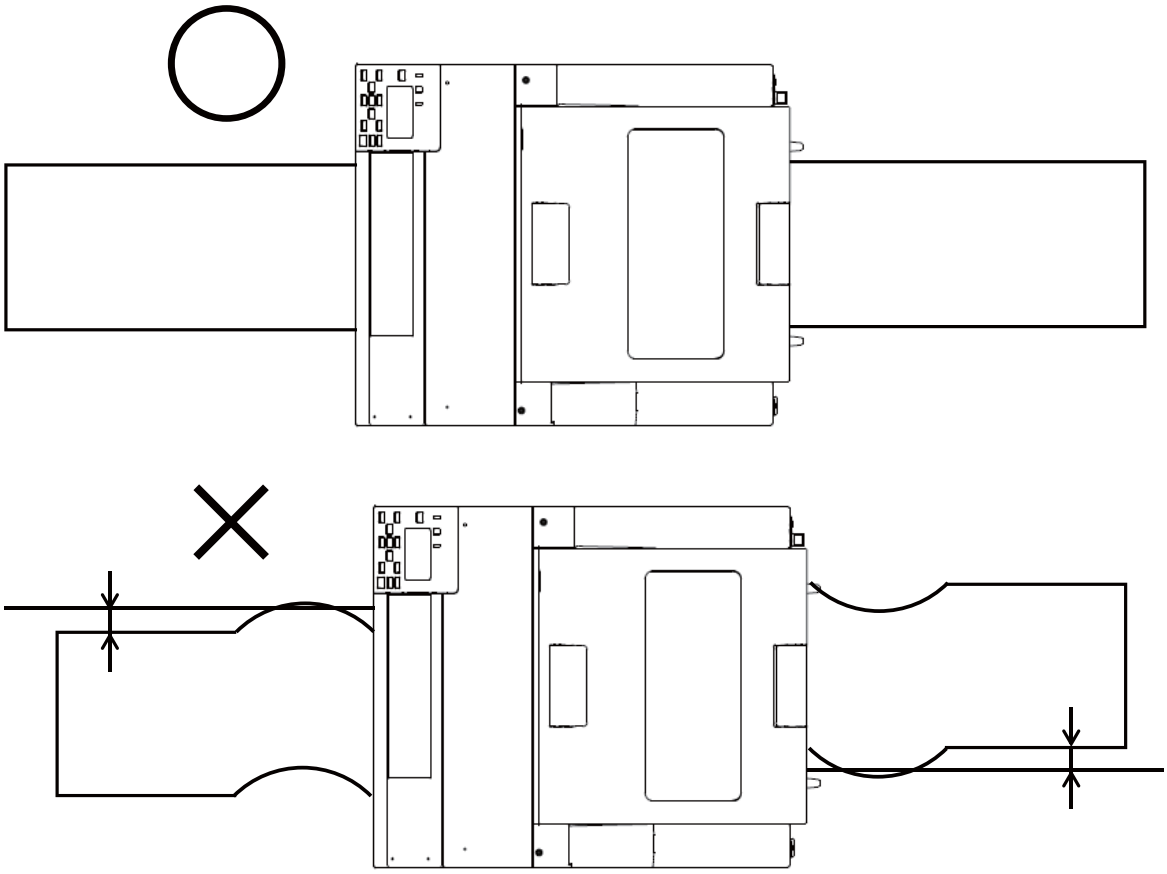
ピーラーモデルの場合



用紙進入角：θ1	15° ≦ θ1 ≦ 30°
剥離後の用紙排出角：θ2	0° ≦ θ2 ≦ 45° （用紙の剛性による）
台紙巻き取り排出角：θ3	45° ≦ θ3 ≦ 90°

用紙供給装置・用紙巻き取り装置の位置

用紙供給装置および用紙巻き取り装置は、プリンターの用紙進入方向・用紙排出方向に対して、まっすぐになるよう設置してください。



用紙経路が蛇行している場合は、各装置の位置を調整し直してください。

ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード

プリンタードライバー、ユーティリティー、マニュアル類の最新版は、下記 URL からダウンロードできます。
https://www.epson.jp/support/

ラベル印刷アプリケーション

市販のラベル印刷アプリケーションから本製品を容易に使えるように、各ラベル印刷アプリケーションが本製品の専用ドライバーを提供しています。これらの専用ドライバーを使うことで、アプリケーションから直接プリンターの設定や、プリンターの機能を活用できます。
これら専用ドライバーを使う場合、エプソンのプリンタードライバーを使用する必要はありません。
以下のラベル印刷用アプリケーションに対応しています。

- BarTender
- NiceLabel
- CODESOFT

入手方法

BarTender
https://www.bartendersoftware.com/

NiceLabel
https://www.nicelabel.com/

CODESOFT
https://www.teklynx.com/

お問い合わせ

本製品についての技術的な質問、疑問あるいは、障害がある場合、以下の情報を確認の上、販売店もしくはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

●エプソンインフォメーションセンター
製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
050-3155-7020

- 弊社への技術的な質問、疑問の問い合わせ内容については、弊社のプリンターに関することに限らせていただきます。それ以外の Microsoft Corporation ないしはその他の会社が所有する技術に関する内容については、それを所有する会社にお問い合わせください。
- 障害が発生した場合、お問い合わせの前に、物理的な障害 (接続、電源などの問題) がないかを確認してください。

❏ 問い合わせ分類：障害 / 質問
❏ 日付：
❏ 御社名：
❏ 部署名：
❏ お名前：
❏ お電話 /FAX/Email：
❏ コンピューター情報：
  - 製造メーカー
  - CPU
❏ OS(サービスパックも含む)：
❏ 対象プリンター機種名：
❏ プリンタードライバー：インストール済み (OS 標準 /Epson カスタム)/ インストールしていない
❏ 対象プリンター接続形態：USB / Ethernet / MS 共有 (クライアント / サーバー)
❏ ファイアウォール：OS 標準 / パーソナル (製品名 /Ver)/ なし
❏ 御社アプリケーション情報：
  - Windows サービス動作 / 通常 EXE 動作
❏ 弊社アプリケーション動作状況：EpsonNet WebManager / EpsonNet Log Browser / Epson Monitoring Tool/ EpsonNet Simple Viewer/ EpsonNet SDK for Windows / PrinterSetting / その他 (名前)
❏ 障害の現象 (or 質問内容)：
❏ システム構成：コンピューター、ネットワークなどハードウェア構成と、ソフトウェアモジュール構成
❏ 障害の再現手順 : 操作手順、関数実行手順、現象を発生させた関数とその引数の値
❏ 障害の再現性：再現する (　　回中　　回)/ 再現しない